

ISSN 1883-132X

# 沖縄県立博物館・美術館年報

(平成27年度版)

No. 9

2016

沖縄県立博物館・美術館

# 目 次

概要	1	
I. 沿革	2	
II. 日誌抄	7	
III. 施設・設備	9	
IV. 組織	12	
V. 沖縄県立博物館・美術館協議会	16	
VI. 予算	17	
VII. 収蔵資料現在高	18	
利用統計	19	
I. 入館者統計	20	
1. 総入館者集計	2. 団体別入館者集計	3. 展覧会別入館者集計
4. 2015年度月間入館者数	5. 年間入館者数の年次推移	6. 減免申請集計
7. 団体入館内訳		
II. 施設利用者統計	26	
1. 月別施設利用集計	2. 施設貸出内訳	
博物館	55	
I. 調査研究等の活動	56	
1. 調査研究の概要	2. 博物館総合調査－鳩間島・黒島・新城島総合調査－	
3. 博物館共同研究事業	4. 調査・研究・講演・著作論文等	5. 職員研修
II. 展示活動	69	
1. 展示活動概要	2. 常設展	3. 常設展 展示替え
4. 特別展 『琉球弧の葬墓制－風とサンゴの弔い－』		
5. 企画展 「うちくいー沖縄のふろしきー」		
6. 企画展 「新収蔵品展－平成26年度新収蔵資料－」		
7. 企画展 「大嶺薫コレクション展－探求する心とその世界－」		
8. 企画展 「大気と気象～見えない空気の“力と技”～」		
9. 平成27年度 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展 「沖縄の旧石器人と人類の起源」		
10. 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展 「芸大の御宝展～ものと ひとをつくる～」		
III. 教育普及活動	91	
1. 博物館教育普及活動の概要	2. 学校連携事業	3. 博物館体験学習教室
4. 博物館文化講座	5. 学芸員講座	6. 展示解説会
7. バックヤードツアー	8. 夏休み！博物館学芸員教室	9. 博物館ボランティア活動
10. ふれあい体験室機能強化事業	11. ふれあい体験室	12. 企画展関連事業
13. 常設展に関する取り組み	14. 沖縄県立博物館・美術館のフリーパス	
15. 普及資料の貸出	16. 職場体験受入	17. ボランティアによる展示ガイド
IV. 資料収集・保存管理	103	
1. 収蔵資料現在高	2. 2015（平成27）年度新収蔵資料高	
3. 2015（平成27）年度新収蔵資料目録	4. 所蔵指定文化財	5. 修理事業
6. レプリカ・剥製製作事業	7. 資料収集事業	8. 資料貸出
9. 写真貸出		
美術館	113	
I. 調査研究等の活動	114	
1. 調査研究の概要	2. 調査・研究・講演・著作論文等	
II. 展示活動	120	
1. 展示活動概要	2. 特別企画展 「戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンパス」	
3. 企画展1 「石田尚志 渦巻く光」 BILLOWING LIGHT: ISHIDA TAKASHI		
4. 企画展2 沖縄の美術シリーズ5 「大嶺政寛展－情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて－」		
5. 企画展3 「木梨憲武展×20years INSPIRATION－瞬間の好奇心－」		
6. 企画展4 「パブロ・ピカソ ゲルニカ（タピスリ）沖縄特別展－戦後70年、今ゲルニカで考える－」		
Pablo Picasso Guernica(tapestry) Okinawa special exhibition		
III. 教育普及活動	132	
1. 美術館教育普及活動の概要	2. 鑑賞活動支援	3. バックヤードツアー
4. 美術講座	5. コレクション・企画展関連催事	6. ワークショップ

7. 美術館招待事業（美術館へ行く）	8. 図工・美術担当教職員等講座	9. 鑑賞用ワークシート作成
10. 「移動展in伊是名」	11. 研修対応	12. その他の取組
IV. 資料収集・保存管理	143	
1. 収蔵作品現在高	2. 2015（平成27）年度新収蔵作品高	
3. 2015（平成27）年度新収蔵作品目録	4. 作品収集事業	
5. 保存管理事業	6. 作品貸出	
<b>文化の杜共同企業体（指定管理者）</b>	<b>149</b>	
I. 文化の杜共同企業体概要	150	
II. 運営方針	150	
III. 組織	151	
IV. 文化の杜共同企業体・美術館企画アドバイザー会議	152	
V. 展示活動	153	
1. 展示活動概要（美術館企画展）		
(1) 「報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展—二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後」		
(2) 「ディズニー 夢と魔法の90年展—ミッキーマウスからピクサーまで」		
(3) —1 「日本絵画はおもしろい～古くて新しい“和の美”～東京富士美術館所蔵名品展」		
(3) —2 「海底探検 海底二万里の世界」		
(4) 自主企画「大哺乳類展 ぼくらのなかまたち」		
VI. 教育・イベント活動	164	
1. ワークショップ等	2. 展示会等	3. しまくとぅばプロジェクト
4. その他		
VII. 広報・交流事業活動	170	
1. 広報事業	2. 地域イベントへの参加	
VIII. 調査・研究等の活動	173	
1. 調査・研究・講演・著作論文等		
IX. 研修	174	
1. 職員研修		
<b>全館共同事業</b>	<b>177</b>	
I. 学芸員実習及び職場体験学習	178	
1. 博物館実習	2. 美術館実習	3. 職場体験受け入れ
II. 国際博物館の日	179	
III. 移動展	180	
IV. 燻蒸・消毒処理	185	
V. 刊行物	186	
VI. 展覧会一覧（2015年度）	188	
<b>その他の活動</b>	<b>189</b>	
I. 沖縄県博物館協会	190	
II. 全国組織との関わり	190	
1. 日本博物館協会	2. 国立科学博物館主催 S-Net関連研修	
3. 全国歴史民俗系博物館協議会	4. 九州博物館協議会	
5. 平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」		
III. 沖縄博物館友の会	191	
IV. 特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ	193	
<b>関係法規抄録</b>	<b>197</b>	
○博物館法	198	
○博物館法施行令	200	
○博物館法施行規則	200	
○博物館の登録に関する規則	203	
○沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則	207	
○沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則	207	
○沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例	209	
○沖縄県立博物館・美術館管理規則	212	
○沖縄県立博物館・美術館館長職務規程	220	
○沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領	220	
○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領	228	

# 概 要

- I 沿革
- II 日誌抄
- III 施設・設備
- IV 組織
- V 沖縄県立博物館・美術館協議会
- VI 予算
- VI 收藏資料現在高



# I. 沿革

## 【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。

終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・A・ハンナ少佐とJ・T・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）8月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）3月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

## 【創設】

1946年（昭和21）4月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

## 【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。5月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）9月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に2階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）3月に閉館した。

2007年（平成19）11月1日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

## 【あゆみ】

- |            |     |  |
|------------|-----|--|
| 1946（昭和21） | 4月  | 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日）   |
| 1947（昭和22） | 12月 | 前年3月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。   |
| 1953（昭和28） | 3月  | 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。   |
|            | 5月  | 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日） |
| 1954（昭和29） | 8月  | ハワイから三線「江戸与那」が返還される。   |
| 1955（昭和30） | 9月  | 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。  |
| 1963（昭和38） | 4月  | 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。   |
| 1965（昭和40） | 9月  | 大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。   |
| 1966（昭和41） | 10月 | 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。  |
|            | 11月 | 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（3日）   |
| 1968（昭和43） | 9月  | 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日）   |
| 1970（昭和45） | 10月 | 沖縄タイムス社及びG.H.カー博士より前庭に花園を贈呈される。  |
| 1971（昭和46） | 2月  | 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。   |
| 1972（昭和47） | 2月  | サントリー美術館との共催で、『50年前の沖縄』写真展が開催される。サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日）   |
|            | 5月  | 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日）日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。   |
| 1973（昭和48） | 2月  | 国庫補助により2階部を増築し、展示室を3室増設する。   |
|            | 5月  | 「田名家文書」の寄託をうける。（9日）  |
|            | 7月  | 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日）  |
|            | 12月 | 琉球新報社から映画フィルム「沖縄」「海の民・沖縄島物語」「南の島・琉球」の3巻を寄贈される。（17日）  |

- 1973 (昭和48) 12月 多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。(19日)
- 1974 (昭和49) 11月 大阪天満宮から浦添王子朝熹書「徳馨」の寄託をうける。(27日)  
糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
- 1976 (昭和51) 4月 創立30周年記念式典を行う。(24日)  
7月 大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。  
12月 『博物館30年の歩み展』開催。
- 1977 (昭和52) 9月 玉陵石獅子を玉陵へ移管。  
11月 円覚寺の鐘、前庭に展示。
- 1978 (昭和53) 3月 G.H.カー博士より資料寄贈。  
7月 円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
- 1979 (昭和54) 2月 尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ2体が寄贈される。  
6月 特別展『沖縄の洞穴と洞穴生物』開催。
- 1980 (昭和55) 1月 特別展『日本の美-救世熱海美術館名品展-』及び『沖縄県立博物館名品展』開催  
2月 「移動博物館」を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する(2008年度からは「移動展」に改称)。  
8月 特別展『琉球のシダ植物』開催。  
11月 特別展『失われた生物たち-大恐竜展』開催
- 1981 (昭和56) 3月 博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。(3月30日付け)  
5月 仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。  
8月 G.H.カー博士より図書、写真等が寄贈される。  
10月 特別展『沖縄の美-日本民芸館蔵-』及び『戦前の沖縄写真展』開催。
- 1982 (昭和57) 5月 新たに常設展として自然部門を設置。  
7月 企画展『沖縄の昆虫』開催。  
10月 特別展『熊本県・沖縄県交流展-熊本の歴史と文化』開催。
- 1983 (昭和58) 5月 企画展『琉球の漆工芸』開催。  
11月 特別展『沖縄県・熊本県交流展-沖縄の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
- 1984 (昭和59) 6月 企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展-琉球芸能の世紀』開催。  
7月 企画展『沖縄のシダ・貝・昆虫標本展』開催。  
10月 企画展『今帰仁グスク展』開催。
- 1985 (昭和60) 2月 企画展『紅型衣装と型紙展』開催。  
3月 大嶺薫コレクションが贈呈される。  
11月 特別展『グスク-グスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
- 1986 (昭和61) 2月 特別展『大嶺薫コレクション-美術工芸の美を求めて』開催。  
12月 天野鉄夫コレクション1,588点の寄託をうける。
- 1987 (昭和62) 7月 「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。  
天野ハル氏より亡夫鉄夫氏収集コケ類1,562点が寄贈される。  
10月 スポーツ芸術・特別展『沖縄の自然・歴史・文化』『沖縄近代の絵画-物故作家』開催。  
企画展『田名家収蔵品展-ある首里土族の400年』開催。  
12月 企画展『現代沖縄の陶芸-天野鉄夫コレクション』開催。
- 1988 (昭和63) 8月 特別展『ヤンバルの自然』開催。  
11月 特別展『三線名器100挺展』開催。
- 1989 (平成元) 11月 特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。  
12月 企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
- 1990 (平成2) 1月 特別展『大アンデス文明展』開催。  
6月 湧田窯搬入。  
8月 企画展『沖縄の野鳥』開催。  
11月 企画展『沖縄の祭り』開催。
- 1991 (平成3) 2月 企画展『技と美-大城志津子の世界-』開催。  
8月 企画展『沖縄のチョウ展』開催。  
9月 企画展『壺屋陶工遺作展』開催。  
10月 特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
- 1992 (平成4) 2月 企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。  
3月 仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。  
4月 旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第1次埋蔵文化財発掘調査開始(～7月3日)  
6月 特別展『古代メキシコ至宝展』開催。

- 1992 (平成4) 8月 特別展『沖縄の貝類—海からの贈りもの』開催。  
10月 復帰20周年記念特別展『琉球王国—大交易時代とグスク』開催。
- 1993 (平成5) 1月 特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。  
2月 企画展『謝花雲石展』開催。  
3月 ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクション寄贈される。  
7月 旧中城御殿石垣工事にかかる第2次発掘調査開始。(～9月2日)  
企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。  
8月 特別展『沖縄の川と生きもの』開催。  
10月 企画展『刻まれた歴史—沖縄の石碑と拓本』開催。  
企画展『琉球王朝時代の楽器—三線と御座楽』開催。
- 1994 (平成6) 7月 特別展『子どもの世界』開催。  
旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始。(～8月20日)
- 1995 (平成7) 3月 横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。  
6月 戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
- 1996 (平成8) 3月 栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。  
7月 特別展『大久米島展—しぜん・ひと・もの』開催。  
10月 『新収蔵品展・ワラザン展』開催。  
福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈  
12月 企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
- 1997 (平成9) 4月 特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
- 1998 (平成10) 7月 企画展『琉球王国時代の植物標本—ペリーが持ち帰った植物たち』開催。  
11月 特別展『包むこころ ふろしき』開催。
- 1999 (平成11) 8月 特別展『三線のひろがりと可能性』開催。  
10月 企画展『日本の技—伝統のかたち』開催。  
(第7回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展)  
11月 ホノルル美術館からG.H.カー博士コレクション(考古資料6,000点余)寄贈。
- 2000 (平成12) 2月 企画展『工芸王国—きらめく手わざの世界を沖縄から』開催。  
7月 サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。  
11月 ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民1世紀展—From Bento to Mixed Plate』開催。
- 2001 (平成13) 2月 企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。  
3月 企画展『工芸王国—人・技・心』開催。  
11月 特別展『かざりとかたち』開催。
- 2002 (平成14) 8月 特別展『港川人展』開催。  
10月 企画展『沖縄の文化財展』開催。
- 2003 (平成15) 2月 企画展『おきなわナースものがたり』開催。  
7月 企画展『旅する種子—運ばれるための巧妙なしかけ』開催。  
10月 企画展『あじまゝ 沖縄の伝統とくらし—沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。  
特別企画展『沖縄織物へのメッセージ—田中俊雄の研究』開催。
- 2004 (平成16) 2月 企画展『戦前・戦後の文化財保護—仲座久雄の活動をとおして』開催。  
3月 企画展『工芸王国—てわざの今、そして未来へ』開催。  
8月 企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。  
11月 企画展『自然界のエイリアン—海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
- 2005 (平成17) 2月 特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会—入江正彦 児童文化史コレクション』開催。
- 2006 (平成18) 2月 閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼—柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。  
3月 『ありがとう・さよなら』キャンペーン(22日～31日 無料入館)  
企画展『わたしの宝もの展』(博物館友の会主催)開催。  
4月 1日から博物館新館移転準備のため2007年(平成19)10月末まで休館する。  
7月 博物館新館展示工事安全祈願祭。(於:波之上)  
8月 鳥籠7点寄贈。(11日)  
10月 尚順男爵関係資料寄贈。(19日)  
謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈。(26日)  
12月 稲嶺一郎関係資料寄贈。(26日)
- 2007 (平成19) 2月 坂口總之輔氏カメラ寄贈。(16日)

- 2007（平成19） 3月 新館へ事務所移転(29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式(30日)を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ(31日)。
- 4月 新館での事務を開始する。(1日)
- 7月 沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
- 8月 指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめ。
- 11月 那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。(1日)  
同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅ー港川人の来た道ー』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
- 2008（平成20） 2月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成17・18年度収蔵資料』開催。
- 3月 指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。  
美術館常設展開会式(25日)
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成19年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間でー無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。  
美術館企画展『新収蔵品展 ポリエドールー沖縄・アジアの多様性』開催。
- 7月 指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。  
指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
- 9月 博物館企画展『ずしがめの世界』開催。  
開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
- 11月 美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
- 2009（平成21） 1月 博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。  
博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。  
美術館企画展『移動と表現ー変容する身体・言語・文化』開催。
- 4月 指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ in 沖縄』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成20年度資料』開催。  
指定管理者自主事業『王昭展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『豊潤の美を求めてー金城安太郎と高島華宵』開催。  
指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
- 9月 指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
- 10月 博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く!』開催。  
美術館企画展『名渡山愛順展ー名渡山愛順が見た沖縄』開催。
- 12月 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 2010（平成22） 1月 美術館企画展『タカエトシコ展』開催。
- 2月 博物館企画展『造礁サンゴ展ー楽園をつくった偉大な建築家』開催。  
博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
- 4月 総務班が設置され、三班体制となる  
指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。  
指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成21年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『遠き道ーはて無き精進の道程』開催。
- 7月 指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
- 9月 指定管理者企画展『風土と建築』開催。  
博物館特別展『海のクロスロード 八重山展』開催。
- 11月 美術館企画展『母たちの神ー比嘉康雄』展開催。
- 12月 博物館・指定管理者企画展『アイヌー美を求める心』開催。
- 2011（平成23） 1月 美術館企画展『安谷屋正義』展開催。  
博物館企画展『琉球陶器の来た道』開催。
- 2月 博物館企画展『骨の科学』開催。
- 3月 博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。
- 4月 博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。  
指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展ー平成22年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『生誕100年記念展 岡本太郎と沖縄ーここが世界の中心だ』開催。
- 7月 指定管理者企画展『ロボット展』開催。  
指定管理者企画展『印象派の誕生展』開催。
- 9月 美術館企画展『東松照明展<太陽へのラブレター>』開催。



- 2011 (平成23) 10月 博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。  
博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国－受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
- 11月 博物館特別展『宇宙－遙かなるロマンを求めて』開催。
- 2012 (平成24) 1月 博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人－エイサーの起源をさぐる」』開催。  
美術館企画展『沖縄の美術シリーズ3 玉那覇正吉』開催。
- 3月 指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展－琉球弧で開花した美の世界」』開催。
- 4月 博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型BINGATA 琉球王朝のいろとかたち」』開催。
- 5月 指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
- 6月 博物館企画展『新収蔵品展－平成23年度収蔵資料』開催。  
博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『旅する仮面』開催。  
指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。(沖縄テレビ共催)
- 9月 美術館企画展『山田實展－人と時の往来』開催。  
博物館特別展『本土復帰40周年記念「OKINAWAから沖縄へ」』開催。
- 11月 美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐ－境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
- 12月 博物館企画展『大山盛保生誕100年記念 発見への情熱』開催。
- 2013 (平成25) 2月 指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。(沖縄タイムス共催)  
指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
- 5月 博物館企画展『大嶺薫コレクション－探求する心とその世界－』展開催。  
博物館企画展『新収蔵品展－平成24年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『佐川美術館蔵 平山郁夫－大唐西域画への道－』開催。
- 7月 博物館特別展『海山川のおくりもの 目からウロコの生き物展－生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。  
指定管理者自主事業『ジミー大西作品展－挑戦と革新－』開催。
- 9月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ4 安次嶺金正展－緑の抒情－』開催。
- 11月 指定管理者企画展『京都 清水寺展』開催。
- 2014 (平成26) 1月 美術館企画展『森山大道 終わらない旅 北/南』開催。
- 2月 博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。  
博物館企画展『三線のチカラ－形之美と音の妙－』開催。
- 4月 指定管理者企画展『木下晋展 生命の旅路』開催。
- 5月 指定管理者企画展『麗しき琉球の記憶－鎌倉芳太郎が発見した“美”』開催。  
博物館企画展『新収蔵品展－平成25年度収蔵資料』開催。
- 7月 指定管理者企画展『20世紀フランス絵画展－山形美術館 服部コレクション－』開催。
- 9月 博物館企画展 久米崇聖会創立100周年記念『久米村(クニダ)－琉球と中国の架け橋－』開催。  
美術館企画展『色彩と風のシンフォニー 内間安理の世界』開催。
- 11月 博物館企画展『大嶺薫コレクション－アジアへの眼差し－』開催。  
博物館特別展『水中文化遺産～海に沈んだ歴史のカケラ～』開催。
- 2015 (平成27) 1月 美術館企画展『ゴー・ビトゥイーンズ展 こどもを通して見る世界』開催。
- 2月 博物館企画展『イノシシとブタと私たち』開催。
- 3月 指定管理者企画展『報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展－二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後』開催。
- 4月 博物館企画展『うちくい－沖縄のふろしき－』開催。  
指定管理者企画展『ディズニー 夢と魔法の90年展－ミッキーマウスからピクサーまで』開催。
- 6月 美術館特別企画展『戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス』開催。
- 7月 指定管理者企画展『深海探検 海底二万里の世界』開催。  
指定管理者自主事業『大哺乳類展 ぼくらのなかまたち』開催。
- 9月 美術館企画展『石田尚志 渦まく光』開催。  
博物館特別展『琉球弧の葬墓制－風とサンゴの吊い－』開催。

- 2015 (平成27) 11月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ5 大嶺政寛展—情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて—』開催。  
 12月 博物館企画展『新収蔵品展—平成26年度収蔵資料—』開催。  
 博物館企画展『大嶺薫コレクション—探求する心とその世界—』開催。
- 2016 (平成28) 1月 博物館企画展『大気と気象～見えない空気の“力と技”～』開催。  
 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』を九州歴史資料館にて開催。  
 2月 美術館企画展『木梨憲武展×20years』開催。  
 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展『芸大の御宝展～ものごとをつくる～』開催。  
 3月 美術館企画展『パブロ・ピカソ グルニカ (タピスリ) 沖縄特別展—戦後70年、今グルニカで考える—』開催。

【歴代館長】

東恩納博物館

大嶺 薫 (1946年4月～1953年3月)

首里博物館

豊平 良顕 (1947年12月～1948年3月)

原田 貞吉 (1948年8月～1953年3月)

沖縄民政府立首里博物館

原田 貞吉 (1953年3月～1955年5月)

琉球政府立博物館

山里 永吉 (1955年5月～1958年8月)

大城 知善 (1962年2月～1969年11月)

金城増太郎 (1958年9月～1961年12月)

外間 正幸 (1969年12月～1972年4月)

沖縄県立博物館

外間 正幸 (1972年5月～1981年3月)

大城 立裕 (1983年4月～1986年3月)

宜保榮治郎 (1992年4月～1994年3月)

當間 一郎 (1996年4月～1999年3月)

平田 與進 (2000年4月～2002年3月)

名嘉 政修 (2005年4月～2006年3月)

新垣 隆雄 (2007年4月～2007年10月)

大城徳次郎 (1981年4月～1983年3月)

大城 宗清 (1986年4月～1992年3月)

糸数 兼治 (1994年4月～1996年3月)

大城 将保 (1999年4月～2000年3月)

當眞 嗣一 (2002年4月～2005年3月)

宮城 清志 (2006年4月～2007年3月)

沖縄県立博物館・美術館

牧野 浩隆 (2007年11月～2011年3月)

安里 進 (2013年5月～2016年3月)

白保 台一 (2011年4月～2013年2月)

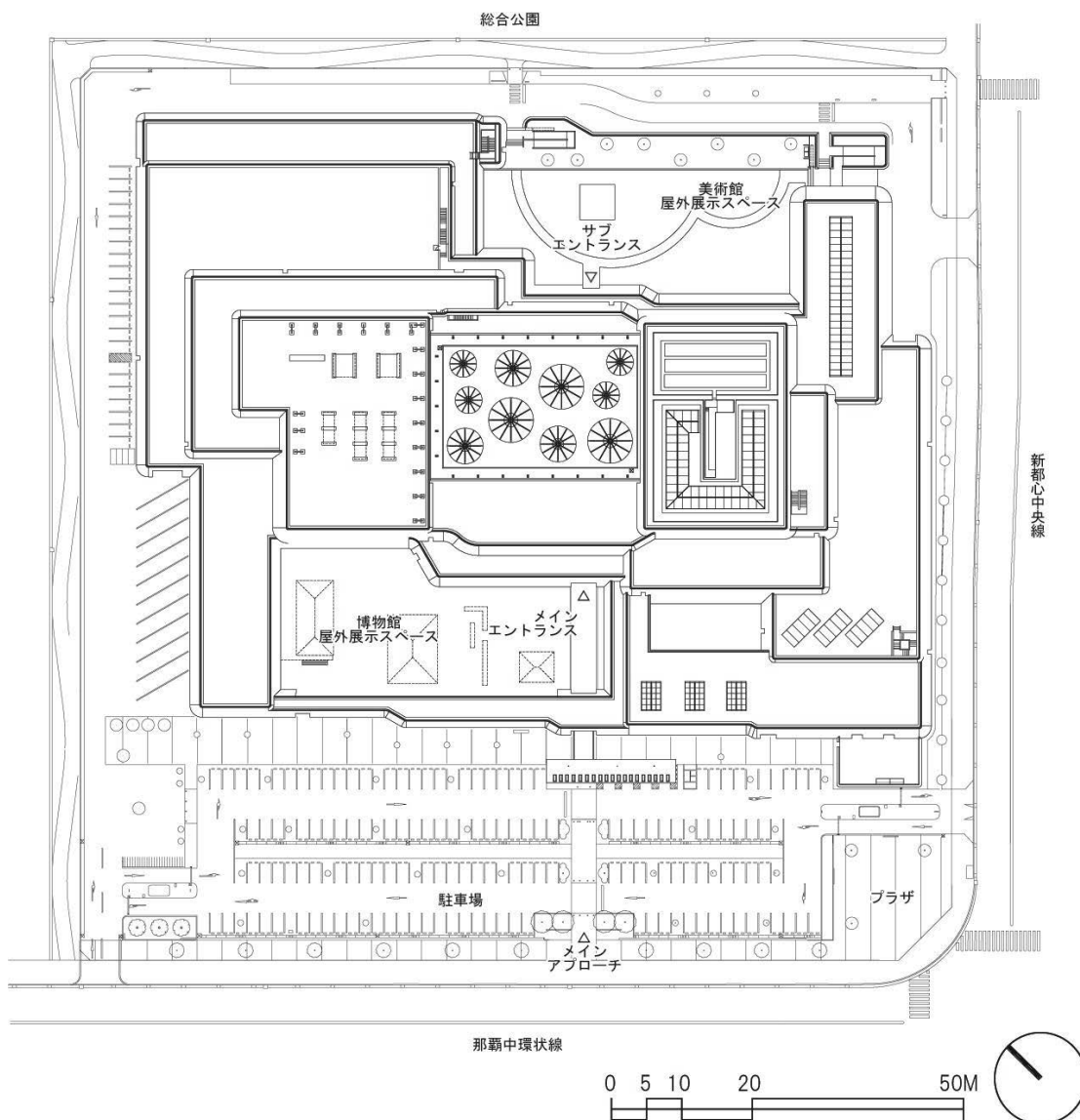
II. 日誌抄 (2015年4月1日～2016年3月31日)

2015年(平成27)

- 4月 1日 平成27年度辞令交付式  
 17日 JICA30周年記念式典出席 (館長)  
 24日 博物館ボランティア登録証交付式  
 27日 「うちくい～沖縄のふろしき～」展内覧会  
 28日 「ディズニー夢と魔法の90年展」開会式
- 5月 14日 沖縄博物館協議会理事会、総会出席 (館長)  
 21日 平成27年度九州博物館協議会理事会、総会出席 (館長)  
 21日 平成27年度博物館友の会総会
- 6月 13日 「ニシムイ展」開会式  
 14日 「ニシムイ展」シンポジウム  
 16日 学芸員実習 (琉大) ～20日  
 20日 終戦70年記念講座シンポジウム  
 21日 首里城公園友の会理事会 (館長)
- 7月 17日 「大哺乳類展」内覧会 (館長)  
 17日 「海底2万里の世界」展開会式 (館長)  
 22日 島根県立古代出雲歴史博物館・琉球王国展開会式出席 (博物館副館長)  
 23日 全国歴史民俗系博物館協議会年次集会出席 (博物館班長) ～24日

- 24日 島根県立古代出雲歴史博物館・琉球王国関連講座講師（館長）
- 8月 14日 伊是名村尚円王生誕600年祭記念式典・シンポジウム参加（館長）  
17日 博物館学芸員実習生展示～23日  
24日 美術館学芸員実習開講式  
27日 美術館学芸員実習館長講話
- 9月 6日 沖縄博物館友の会文化講演会講話（館長）  
18日 石田尚志展開会式  
25日 特別展「琉球弧の葬墓制」展開会式（館長）
- 10月 9日 沖縄県立博物館・美術館移動展（伊是名村）～11日  
16日 2015年度JICA理事長賞授賞式出席（館長）  
28日 指定管理者制度運用委員会  
28日 岡山県議会来館  
31日 特別展関連催事シンポジウム「琉球弧の葬墓制」（館長ほか）
- 11月 2日 職場一斉点検  
5日 ホノルル市長来館  
7日 沖縄県文化芸術祭開会式出席（館長）  
15日 中国第一歴史档案館副館長一行来館  
24日 消防訓練  
25日 「大嶺政寛展」開会式（館長）  
28日 大嶺政寛展記念シンポジウム「風景画と沖縄」
- 12月 8日 「新収蔵品展」開会式（館長）  
17日 「大嶺薫コレクション展」開会式  
18日 ハワイ大学図書館長来館  
28日 仕事納め
- 1月 4日 仕事始め  
18日 収蔵庫燻蒸・消毒～19日  
26日 「大気と気象展」開会式（館長）  
27日 九州歴史資料館、沖縄県立博物館・美術館企画展「沖縄の旧石器人と人類の起源」開会式（館長）
- 2月 3日 福州市視察団一行来館  
5日 福岡県文化議員連盟来館  
9日 「木梨憲武展」開会式（館長）  
16日 愛知県豊田市議会来館  
28日 沖縄県立芸術大学、沖縄県立博物館・美術館「県立芸大の御宝展」開会式（館長）
- 3月 13日 日本民藝館杉山学芸部長来館  
18日 平成27年度沖縄県立博物館・美術館協議会  
19日 「ゲルニカ展」開会式（館長）

### III. 施設・設備



#### 建築概要

●敷地面積……………	31,287㎡
●建築面積……………	13,452㎡
●延床面積……………	23,721㎡
博物館専有面積…	10,478㎡
美術館専有面積…	7,537㎡
共有面積……………	5,708㎡
●高さ・最高高さ…	GL+21.8m
●駐車場	
一般駐車場…………	140台
(うち身障者用4台)	
大型バス駐車場…	10台
駐輪場……………	25台
関係者駐車場…	22台
供用施設	
●エントランスホール	724㎡
●情報センター…	217㎡
●講堂 (212席) …	349㎡

#### 博物館の主たる施設

●展示施設	
総合展示室…	1,252㎡
部門展示室…	1,344㎡
自然史部門…	360㎡
考古部門…	262㎡
美術工芸部門	180㎡
歴史部門…	120㎡
民俗部門…	421㎡
屋外展示場…	1,425㎡
企画展示室…	351㎡
特別展示室…	459㎡
●教育普及施設	
ふれあい体験室	110㎡
博物館講座室…	191㎡
実習室……………	108㎡

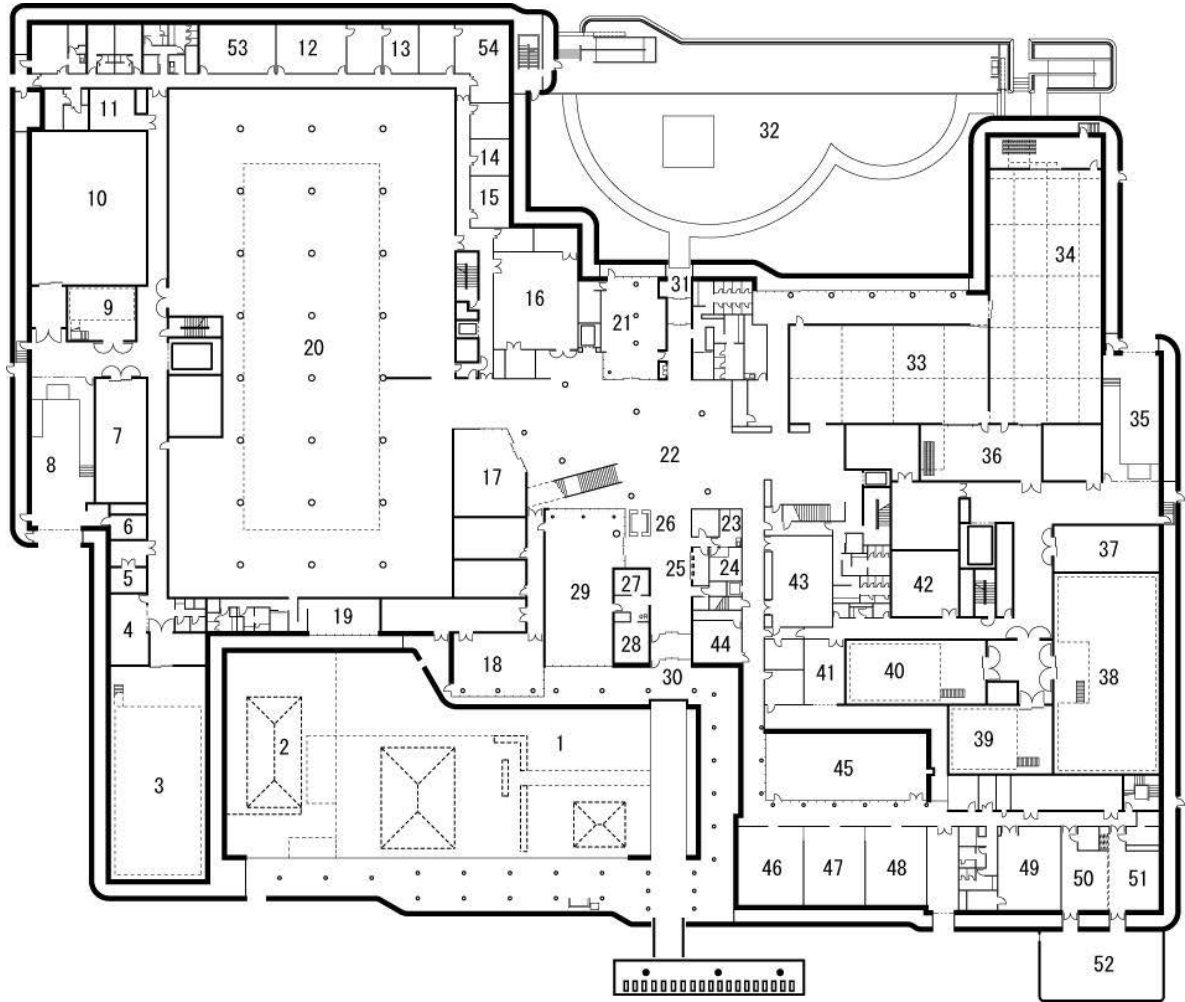
#### ●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)

自然史収蔵庫……………	417㎡
化石収蔵庫……………	245㎡
考古・陶磁器収蔵庫…	613㎡
特別収蔵庫……………	439㎡
民俗収蔵庫……………	668㎡
大型収蔵庫……………	358㎡
液浸標本室……………	97㎡
一時保管庫……………	119㎡
●調査研究施設	
研究室……………	176㎡
研究資料室……………	111㎡
会議室……………	72㎡

#### 美術館の主たる施設

●展示施設	
企画ギャラリー1……………	394㎡
企画ギャラリー2……………	490㎡
コレクションギャラリー1	164㎡
コレクションギャラリー2	284㎡
コレクションギャラリー3	370㎡
県民ギャラリー(1～3)・	277㎡
県民ギャラリー(スタジオ)	111㎡
県民アトリエ……………	65㎡
こどもアトリエ……………	70㎡
屋外展示場……………	1,368㎡
●教育普及施設	
美術館講座室……………	109㎡
●収蔵施設 (ダブルデッキ含む)	
収蔵庫A……………	683㎡
収蔵庫B……………	248㎡
収蔵庫C……………	204㎡
●調査研究施設	
研究室……………	98㎡
研究資料室……………	98㎡
会議室……………	58㎡

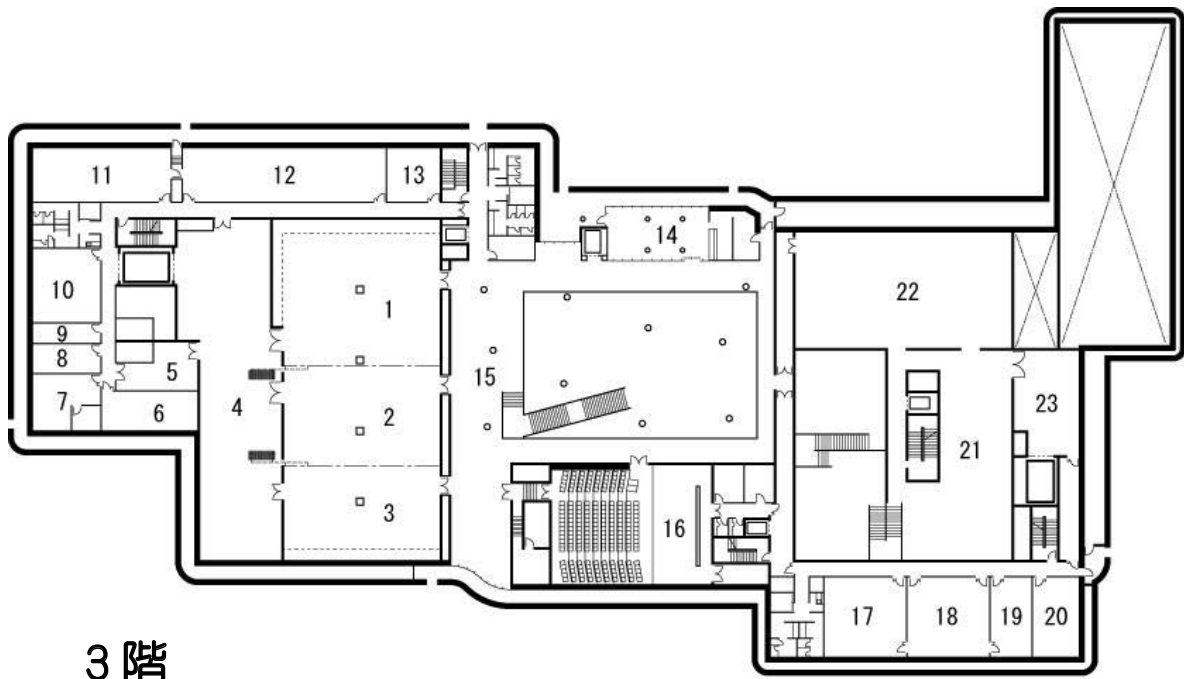




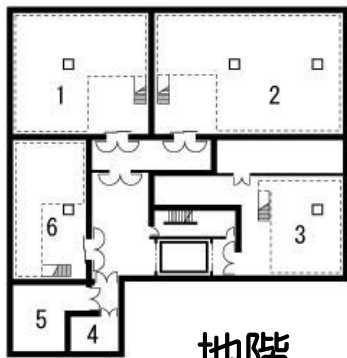
# 1階

## 1階

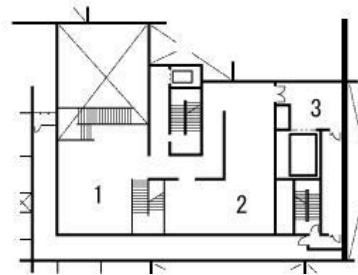
(博物館)	(共有)	(美術館)	(文化の杜共同企業体・指定管理者)
1 博物館野外展示	21 ミュージアムショップ	32 美術館野外展示	53 会議室
2 湧田古窯	22 エントランスホール	33 美術館企画ギャラリー1	54 事務室
3 民俗収蔵庫	23 授乳室	34 美術館企画ギャラリー2	55 展示交流員控室
4 写真撮影室	24 託児室	35 トラックヤード	
5 冷凍庫	25 券売	36 展示準備室	
6 石工室	26 総合案内	37 一時保管庫	
7 一時保管庫	27 救護室	38 収蔵庫A	
8 トラックヤード	28 コインロッカー	39 収蔵庫B	
9 液浸標本室	29 情報センター	40 収蔵庫C	
10 大型収蔵庫	30 メインエントランス	41 保存修復室	
11 修理修復室	31 サブエントランス	42 工作室	
12 博物館・美術館庶務室		43 美術館講座室	
13 館長室		44 美術館ボランティア室	
14 支援会室		45 中庭	
15 博物館ボランティア室		46 県民ギャラリー1	
16 博物館講座室		47 県民ギャラリー2	
17 博物館ふれあい体験室		48 県民ギャラリー3	
18 博物館実習室		49 県民ギャラリー (スタジオ)	
19 博物館常設展示休憩室		50 県民アトリエ	
20 博物館常設展示室		51 こどもアトリエ	
		52 屋外活動スペース	



3階



地階



2階

**3階**

(博物館)

- 1 企画展示室
- 2 特別展示室1
- 3 特別展示室2
- 4 展示準備室
- 5 工作室
- 6 自然史実験室
- 7 保存科学室
- 8 フィルム保管庫
- 9 映像編集室
- 10 学芸員会議室
- 11 研究資料室
- 12 学芸員研究室
- 13 研修室

(共有)

- 14 喫茶室
- 15 ホワイエ
- 16 講堂

(美術館)

- 17 研究資料室
- 18 学芸員研究室
- 19 情報処理室
- 20 学芸員会議室
- 21 コレクションギャラリー2
- 22 コレクションギャラリー3
- 23 展示準備室

**地階**

(博物館)

- 1 特別収蔵庫
- 2 考古陶磁器収蔵庫
- 3 自然史収蔵庫
- 4 劣化フィルム収蔵庫
- 5 写真パネル収蔵庫
- 6 化石収蔵庫

**2階**

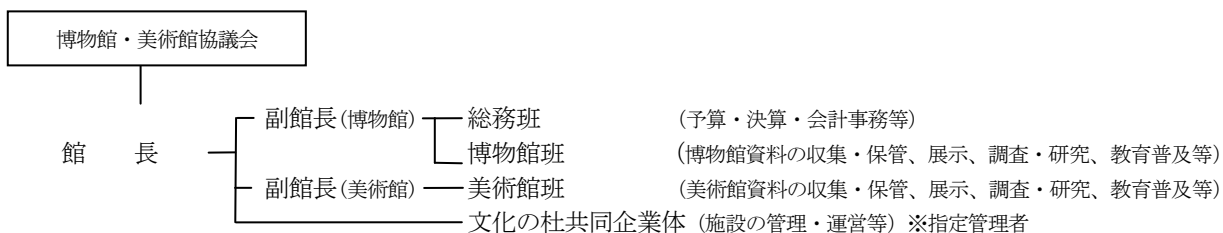
(美術館)

- 1 ホワイエ
- 2 コレクションギャラリー1
- 3 展示準備室

## IV. 組織

### 【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である文化の杜共同企業体の4つにより構成されている。なお、文化の杜共同企業体については別項にて記述しているので参照頂きたい。



### 【職員構成】

2015年4月1日 現在

職名	氏名	担当業務
館長	安里 進	◎博物館・美術館の総括に関すること。
参事兼副館長	村山 剛	◎博物館業務の統括に関すること。 ◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること。
副館長兼美術館班長	前田 比呂也	◎美術館業務の統括に関すること。 ◎美術館班の総括に関すること。

### (総務班)

総務班長	山川 優	◎総務班の総括に関すること。 ◎出納員に関すること。 ◎中長期計画策定に関すること。 ◎指定管理者との調整に関すること。 ◎指定管理者制度に関すること。 ◎視察対応の総括に関すること。 ◎博物館・美術館協議会に関すること。 ○その他特に上司が命ずる事項に関すること。
主査	宮野 陽子	◎会計業務(旅費、消耗品費を除く)に関すること。 ◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること。 ◎決算、監査に関すること。 ○情報管理に関すること。 ○備品の登録業務に関すること。 ○その他特に上司が命ずる事項に関すること。
主任	稲嶺 桂子	◎予算に関すること。 ◎出納業務に関すること。 ◎博物館・美術館魅力アップ事業(来館者サービス向上事業)に関すること。 ◎備品の登録業務に関すること。 ◎情報管理に関すること。 ◎歳入に関すること。 ◎施設・財産関連業務に関すること。 ◎博物館・美術館広報宣伝に関すること。 ○その他特に上司が命ずる事項に関すること。
主任	長濱 美奈子	◎会計業務(旅費、消耗品費)に関すること。 ◎博物館・美術館保全・修繕事業に関すること。 ◎庶務に関すること。 ◎文書、公印の管理業務に関すること。 ◎公用車の管理業務(支出含む)に関すること。 ○その他特に上司が命ずる事項に関すること。
事務補助員	田場 愛美了	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。
事務補助員	関戸 理恵	○文書受付に関すること。 ○業務補助に関すること。

## (博物館班)

博物館班長	園原 謙	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎博物館班の学芸業務総括に関する事。</li> <li>◎博物館・美術館魅力アップ事業に関する事。</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関する事。</li> <li>◎指定管理者との調整に関する事。</li> <li>◎沖縄県博物館協会に関する事。</li> <li>◎全国・九州ブロックの博物館協会等に関する事。</li> <li>◎視察対応に関する事。</li> <li>◎学芸員実習・教職員研修の受け入れに関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (美術工芸)	與那嶺 一子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術工芸資料(染織・書跡・彫刻)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎常設展総合・部門展示(美術工芸「染織・書跡・彫刻」)に関する事。</li> <li>◎平成27年度企画展「うちくいー沖縄の風呂敷展」に関する事。</li> <li>◎大嶺薫コレクション展に関する事。</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業(染織関係)に関する事。</li> <li>◎他部局連携「ソフトパワー」事業に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (美術工芸)	外間 一先	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術工芸資料(絵画・陶器・漆器)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎常設展総合・部門展示(美術工芸「絵画・陶器・漆器」)に関する事。</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業(染織関係)に関する事。</li> <li>◎博物館資料の修理・修復に関する事。</li> <li>◎平成28年度企画展「日本民芸館80周年記念展」に関する事。</li> <li>◎美術品等取得基金(博物館分)に関する事。</li> <li>◎県立芸術大学のコラボ展にかんすること。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (民俗)	大湾 ゆかり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎平成27年度特別展「琉球弧の墓墓制」に関する事。</li> <li>◎常設展総合・部門展示(民俗)・屋外展示(民家・高倉)に関する事。</li> <li>○IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事。</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (歴史)	石垣 忍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歴史資料(近現代)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎博物館・美術館魅力アップ事業(常設展改善「近現代」)に関する事。</li> <li>◎常設展総合・部門展示(歴史「近現代」)に関する事。</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関する事。</li> <li>◎博物館年報の編集・発行に関する事。</li> <li>◎平成28年度企画展「地区展」に関する事。</li> <li>◎「国際博物館の日」に関する事。</li> <li>○沖縄県博物館協会に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (自然史・生物)	山崎 仁也	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然史資料(動物・植物)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎総合調査に関する事。</li> <li>◎平成27年度企画展「大哺乳類展」の支援に関する事。</li> <li>◎常設展総合・部門展示(自然史「動物・植物」)・屋外展示(植生)に関する事。</li> <li>◎自然史部門の総括に関する事。</li> <li>◎S-netの登録に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (自然史・地学)	仲里 健	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然史資料(地質・化石)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎平成27年度企画展「大気と気象」に関する事。</li> <li>◎IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事。</li> <li>◎常設展総合・部門展示(自然史「地質・化石」)に関する事。</li> <li>◎平成28年度企画展「生物実験展」に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>

主任学芸員 (考古)	片桐 千亜紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>○沖縄遺産のブランド開発・発信事業（考古）に関すること。</li> <li>○平成27年度企画展「琉球弧の葬墓制」に関すること。</li> <li>○沖縄遺産のブランド開発・発信事業（考古）に関すること。</li> <li>○移動博物館に関すること。</li> <li>◎常設展総合・部門展示（考古）・屋外展示（湧田窯）に関すること。</li> <li>◎文化財公開承認施設及び登録博物館に関すること。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること。</li> </ul>
主任 (歴史)	崎原 恭子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>◎常設展総合・部門展示（歴史「古琉球・近世」）に関すること。</li> <li>◎博物館魅力アップ事業「万国津梁の鐘の展示」実施設計に関すること。</li> <li>◎平成28年度企画展「地区展」に関すること。</li> <li>◎琉球王国文化遺産集積・再興事業に関すること。</li> <li>◎歴史資料の購入に関すること。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること。</li> </ul>
主任 (人類)	藤田 祐樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然史資料（形質人類学）の収集・保管（港川人骨を含む）・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>○沖縄遺産のブランド開発・発信事業に関すること。</li> <li>◎常設展総合・部門展示（自然史「形質人類学」）に関すること。</li> <li>○平成27年度特別展「琉球弧の葬墓制」展に関すること。</li> <li>◎平成27年度企画展「新収蔵品展」に関すること。</li> <li>◎平成28年度特別展「旧石器時代の沖縄」（仮称）に関すること。</li> <li>◎博物館紀要の編集・発行に関すること。</li> <li>◎収蔵品データ・収蔵品台帳、情報リーダーに関すること。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること。</li> </ul>
主任 (人類)	山崎 真治	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自然史資料（先史人類学）の収集・保管（港川人骨）・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>○沖縄遺産のブランド開発・発信事業に関すること。</li> <li>◎図書資料に関すること。</li> <li>◎常設展総合・部門展示（自然史「先史人類学」）に関すること。</li> <li>◎平成28年度特別展「旧石器時代の沖縄」（仮称）に関すること。</li> <li>◎共同研究事業に関すること。</li> <li>◎博物館班情報の発信の取りまとめに関すること。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること。</li> </ul>
主任学芸員 (教育普及)	金城 久枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育普及資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>◎博物館・美術館魅力アップ事業（ふれあい体験室機能強化）に関すること。</li> <li>◎学校連携事業に関すること。</li> <li>◎文化講座・学芸員講座の企画調整に関すること。</li> <li>◎ボランティア活動事業に関すること。</li> <li>◎体験学習教室の企画及び野外展示の活用に関すること。</li> <li>◎博物館友の会に関すること。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関すること。</li> </ul>
嘱託員 (学芸補助)	三枝 大悟	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎『博物館・美術館年報』の編集・発行に関すること。</li> <li>◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等の受付に関すること。</li> <li>○写真資料等の整理に関すること。</li> <li>◎発送業務集約に関すること。</li> <li>◎展示公開事業の補佐に関すること。</li> <li>○学芸研究資料室の図書に関すること。</li> <li>◎学芸員の補佐に関すること。</li> <li>◎寄贈図書類の回覧に関すること。</li> </ul>
嘱託員 (教育普及)	比嘉 香織	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふれあい体験室、実習室、講座等に関すること。</li> <li>○教育資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること。</li> <li>○博物館学習等の調査研究に関すること。</li> <li>◎視聴覚機器の整理・保管に関すること。</li> <li>◎ボランティア活動の連絡調整に関すること。</li> <li>○総合・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること。</li> <li>◎博物館学習への各種照会事項対応の補助に関すること。</li> <li>◎教育普及担当学芸員の補佐に関すること。</li> </ul>



## (美術館班)

副館長 兼美術館班長	前田 比呂也	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術館業務の総括に関する事。</li> <li>◎館長の補佐に関する事。</li> <li>◎外郭団体等への対応に関する事。</li> <li>◎指定管理者との連絡調整に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎中長期計画の策定に関する事。</li> <li>◎指定管理者募集要項・仕様書等の作成に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	仲里 安広	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎展示公開活動部会に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事 (1950～1969年)。</li> <li>◎戦後70年特別企画展「ニシムイ」に関する事。</li> <li>◎企画展2「大嶺政寛展」に関する事。</li> <li>◎副館長の補佐に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	仲村 保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育普及活動部会に関する事。</li> <li>◎教育普及活動の調査・研究に関する事。</li> <li>◎企画展3「木梨憲武展」に関する事。</li> <li>◎戦後70年特別企画展「ニシムイ」に関する事 (教育普及)。</li> <li>◎移動展に関する事。</li> <li>◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等 (幼小・一般) に関する事。</li> <li>○その他特に上司の命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	豊見山 愛	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎調査研究活動部会に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事 (1879～1949年)。</li> <li>◎研究紀要に関する事。</li> <li>○戦後70年特別企画展「ニシムイ」に関する事。</li> <li>○企画展1「石田尚志展」に関する事。</li> <li>◎平成28年度企画展「山元恵一展」に関する事。</li> <li>◎平成28年度企画展「アジア交流展」に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	島筒 格	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料収集活動部会に関する事。</li> <li>◎教育普及活動の調査・研究に関する事。</li> <li>◎博物館・美術館魅力アップ事業 (美術館新規来館者拡大) に関する事。</li> <li>◎企画展4「ゲルニカ展」に関する事。</li> <li>◎美術品等取得基金に関する事 (美術館分)。</li> <li>◎教育普及事業・団体見学受入・出前授業等 (中高) に関する事。</li> <li>◎ボランティアに関する事。</li> <li>◎学芸員実習に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
主任	玉那覇 英人	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料保存管理活動部会に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事 (1990～2010年)。</li> <li>◎企画展1「石田尚志展」に関する事。</li> <li>○企画展2「大嶺政寛展」の補佐に関する事。</li> <li>◎平成28年度企画展「幻想美術館展」に関する事。</li> <li>◎収蔵作品データベース管理に関する事。</li> <li>○その他特に上司が命じる事項に関する事。</li> </ul>
嘱託員	大城 さゆり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作品の調査に関する事。</li> <li>◎収蔵品のデータベースに関する事。</li> <li>◎収蔵品の画像管理に関する事。</li> <li>◎作品画像貸出に関する事。</li> <li>○収集委員会資料作成に関する事。</li> <li>○情報センターのデータに関する事</li> <li>○美術館ホームページに関する事。</li> <li>○展示会の補助に関する事。</li> </ul>
嘱託員	梶原 正史	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎展示室等の環境点検管理に関する事。</li> <li>◎収蔵庫の環境点検管理に関する事。</li> <li>◎作品の保存管理に関する事。</li> <li>◎作品の修復に関する事。</li> <li>○作品貸出に関する事。</li> <li>○IPMに関する事。</li> <li>○展示会の補助に関する事。</li> </ul>

事務補助員	東川 悠香	◎文書の收受、発送に関すること。 ◎図書の受付、整理に関すること。 ○文書等の整理、保管に関すること。 ○業務補助に関すること
-------	-------	--

※◎は主担当業務、○は副担当業務。

【人事異動】

2015年4月1日 現在※

	班名	職名	氏名	摘要
転出	総務班	参事兼副館長	髙原 安伸	文化観光スポーツ部観光政策統括監
	博物館班	主査	古我知 泉	南部土木事務所
	美術館班	班長	上地 聡	スポーツ振興課
		主任学芸員	大城 仁美	県立浦添工業高等学校
転入	総務班	参事兼副館長	村山 剛	観光政策課
	博物館班	主任	稲嶺 桂子	環境政策課
	美術館班	主任学芸員	外間 一先	県立那覇国際高等学校
		主任学芸員	島筒 格	糸満市立兼城中学校
退職	博物館班	嘱託員	早瀬 千明	
	〃	事務補助員	川満 奈々	
	美術館班	嘱託員	齋 悠記	
	〃	事務補助員	武島 美和	

## V. 沖縄県立博物館・美術館協議会

【第1回会議】

日時：2016年3月15日（金） 9:15～11:15

場所：博物館講座室

協議会会長及び副会長の選任

会議

あいさつ（安里進県立博物館・美術館館長）

議題

- ・平成27年度事業実績報告
- ・平成28年度事業計画
- ・博物館・美術館中長期計画案説明

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿

（任期：2014年7月10日～2016年7月9日）

分野	氏名	所属	職名	
学識経験者	自然史	○新城 和 治	元琉球大学教育学部	元教授
	歴史	里井 洋 一	琉球大学教育学部	教授
	考古	當 眞 嗣 一	元沖縄県立博物館	元館長
	民俗	稲 福 みき子	沖縄国際大学総合文化学部	教授
	人類	土 肥 直 美	元琉球大学医学部	元准教授
	美術（画）	◎宮 城 篤 正	元沖縄県立芸術大学	元学長
	美術（立体）	西 村 貞 雄	元琉球大学教育学部	元教授
	美術（写真）	前 原 基 男	沖縄県写真連盟	会長
	博物館経営	岡 野 英 伸	近畿大学経営学部	教授
学校教育関係者	小学校教育	高 森 新 一	沖縄県小学校長会	副会長
	中学校教育	川 満 順 二	沖縄県中学校長会	副会長
	高校教育	山 城 邦 定	沖縄県高等学校長会	副会長
社会教育・家庭教育関係者	社会教育	仲 門 勇 市	沖縄県社会教育委員連絡協議会	会長
	家庭教育	仲 西 春 雅	沖縄県高等学校PTA連合会	副会長

（◎会長、○副会長 2016年3月31日現在）

## VI. 予算

2015歳出状況（決算）

単位：円

	博物館・ 美術館管理 運営費	博物館・ 美術館 指定管理費	博物館・ 美術館費	沖縄遺産の ブランド開 発・発信事業	博物館・ 美術館保全 修繕事業	博物館・ 美術館魅力 アップ事業	琉球王国文 化遺産集 積・再興事業	合 計
報 酬	6,019,085		7,523,889					13,542,974
賃 金			4,335,214	1,472,190			1,265,770	7,073,174
報 償 費			605,600			150,000	562,800	1,318,400
旅 費			7,347,295	2,393,590		823,590	3,449,050	14,013,525
需 用 費			13,644,285	2,739,607	3,787,849	64,800	119,265	20,355,806
役 務 費			1,355,814	3,314,390			369,832	5,040,036
委 託 料		303,867,000	59,955,290	10,905,624	1,976,400	39,328,200	34,128,000	450,160,514
使用料及 び賃借料			1,111,303	5,861			98,500	1,215,664
備品購入費			19,440,824	176,342	2,700,000			22,317,166
負担金、 補助及び 交付金			2,358,000					2,358,000
公 課 費			59,600					59,600
操 出 金			35,095					35,095
合 計	6,019,085	303,867,000	117,772,209	21,007,604	8,464,249	40,366,590	39,993,217	537,489,954

※本庁執行分を含む

2015歳入状況（決算）

単位：円

	収入金額	説 明
土 地 使 用 料	24,313	自動販売機土地使用料
建 物 使 用 料	4,166,424	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料
雑 入	1,362,385	電気料金、雇用保険料等
展示会等助成金	2,961,000	芸術文化振興基金助成金（独立行政法人日本芸術文化振興会）
合 計	8,514,122	※本庁収納分を除く



## VII. 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2016年3月31日現在

	分 類	件 数	小 計
博 物 館	自 然 史	56,169	93,865
	人 類	118	
	美 術 工 芸	10,377	
	歴 史	12,622	
	考 古	6,772	
	民 俗	7,807	
美 術 館	平 面	1,651	3,666
	立 体	258	
	映 像	1,728	
	そ の 他	29	
総 計			97,531

# 利用統計

- I 入館者統計
- II 施設利用者統計

# I. 入館者統計

## 1. 総入館者集計

年	博物館											美術館											全体				全体				入館者	入館日数	入館日数平均			
	常設展			企画展			特別展			全体			ミュージアム展			企画展			全体			展示以外(共有)			有料	無料	合計	有料	無料	合計				有料	無料	合計
	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	小計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計												
4	4,692	1,854	6,546	184	75	259	0	0	0	4,876	1,899	6,775	1,496	699	2,195	5,222	801	6,123	6,818	1,500	8,318	11,694	3,399	15,093	12,892	11,694	3,399	15,093	12,892	30,933	26	1,169				
5	3,514	2,004	5,518	497	2,266	0	0	0	5,283	2,801	7,884	1,586	1,136	2,822	12,017	1,719	13,736	2,855	13,573	2,855	16,428	18,866	5,466	24,332	14,013	18,866	5,466	24,332	36,777	27	1,362					
6	3,690	3,438	7,128	1,158	372	1,530	0	0	4,248	3,810	8,058	1,021	1,093	2,114	17,155	20,283	3,228	20,283	18,176	4,321	22,497	22,421	8,131	30,552	12,331	22,421	8,131	30,552	42,011	24	1,750					
7	3,378	2,187	5,565	0	0	0	0	0	3,378	2,187	5,565	1,576	732	2,308	20,149	2,828	22,877	21,225	3,760	24,985	25,203	5,417	30,720	14,596	25,203	5,417	30,720	43,731	19	2,302						
8	3,965	3,892	7,857	0	0	0	0	0	5,985	3,892	9,877	2,153	1,378	3,531	59,594	9,610	69,204	61,147	10,058	72,185	66,832	14,299	81,122	6,988	66,832	14,299	81,122	84,790	26	3,261						
9	3,945	1,445	5,390	0	0	0	0	373	446	1,518	5,836	1,373	503	1,876	7,721	1,088	8,809	9,104	1,991	10,995	13,422	3,109	16,531	16,687	13,422	3,109	16,531	32,478	26	1,249						
10	4,750	3,026	7,776	0	0	0	0	1,907	206	2,113	6,657	1,705	1,674	3,379	1,199	564	1,763	2,904	2,238	5,142	9,561	5,470	15,031	18,025	9,561	5,470	15,031	31,789	27	1,177						
11	4,711	4,532	9,243	0	0	0	0	2,142	290	2,432	6,833	4,822	1,235	2,807	3,642	564	129	693	2,236	4,335	8,672	7,538	16,210	22,140	8,672	7,538	16,210	37,600	25	1,500						
12	4,717	2,713	7,430	898	1,918	0	0	5,737	3,611	9,348	1,586	1,594	3,180	3,008	408	3,476	4,994	2,862	6,656	10,331	5,733	16,064	20,107	10,331	5,733	16,064	20,107	34,667	24	1,440						
平成 一 八 年	5,218	3,581	8,799	1,243	2,425	3,668	0	0	6,461	5,976	12,437	1,985	1,139	3,124	0	1,792	1,985	2,881	4,916	8,446	8,907	17,353	20,671	17,353	20,671	17,353	20,671	35,287	26	1,357						
平成 二 八 年	4,646	2,600	7,246	2,263	560	2,823	0	0	6,909	3,180	10,089	1,534	1,019	2,553	20,310	3,822	24,132	22,944	4,841	28,885	28,853	8,031	36,884	28,824	28,853	8,031	36,884	50,386	24	2,099						
3	4,498	2,993	7,491	1,281	456	1,737	0	0	5,779	3,049	8,828	816	812	1,628	39,527	362	39,889	40,143	1,174	41,317	45,922	4,223	50,145	23,096	45,922	4,223	50,145	76,285	27	2,825						
合計	52,444	33,895	86,339	8,918	5,293	14,201	4,422	4,991	65,784	39,747	105,531	18,236	14,186	32,422	186,376	25,531	211,907	204,612	39,717	244,329	270,396	79,464	349,860	209,160	270,396	79,464	349,860	535,094	301	1,781						
目標	56,482			7,351			21,230		85,963		117,291				44,529		62,529				147,283															
達成率	92.83%			121.32%			77.34%		77.34%		102.59%				418.53%		328.52%																			

※27年度指定管理者主催「二人が蔵らえた清瀬」の前年度3月分入館者716人(有料者数593人、無料者数123人)を含む。

## 2. 団体入館者集計

項目	県内											県外											合計																						
	小中生			高校生			特別支援			その他			小計			小中生			高校生			特別支援			その他			小計			小中生			高校生			特別支援			その他			小計		
	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率	団体数	人数	入館率									
4月	1	55	2	410	0	0	0	0	0	3	465	4	98	3	277	0	0	0	0	0	7	375	1	37	1	37	11	877																	
5月	6	407	1	21	0	0	2	86	9	514	3	66	0	0	0	0	0	0	0	0	3	66	2	77	0	0	2	77	14	657															
6月	12	288	9	483	1	33	6	123	28	927	1	30	4	189	0	0	0	0	0	0	5	229	1	40	0	0	1	40	34	1,196															
7月	4	64	1	89	0	0	12	450	17	603	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	619														
8月	4	132	1	17	0	0	62	2,449	67	2,598	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	446	0	0	0	0	0	0	0	0	67	2,598													
9月	5	232	2	169	1	22	8	234	16	657	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	446	0	0	0	0	0	0	0	0	20	1,103													
10月	34	2,014	5	139	3	87	1	27	43	2,267	2	70	9	1,133	0	0	0	0	0	0	11	1,203	0	0	0	0	0	0	0	54	3,470														
11月	24	2,069	4	82	0	0	0	23	29	2,204	1	21	8	1,310	0	0	0	0	0	0	9	1,331	0	0	0	0	0	0	0	38	3,535														
12月	17	1,046	5	380	3	114	1	23	26	1,563	0	0	12	1,348	1	12	0	0	0	13	1,360	2	107	0	0	2	107	41	3,050																
1月	26	1,918	5	187	0	0	3	223	34	2,328	0	0	2	287	1	12	0	0	0	3	299	2	75	0	0	2	75	39	2,702																
2月	16	1,153	3	69	3	101	2	107	24	1,430	3	322	2	216	0	0	0	0	0	5	538	1	63	0	0	1	63	30	2,031																
3月	10	721	2	43	0	0	10	286	22	1,050	0	0	2	202	0	0	0	0	0	3	69	5	271	1	108	1	54	29	1,483																
合計	159	10,129	40	2,089	11	357	108	4,031	318	16,606	14	607	46	5,418	2	24	3	69	65	6,118	10	507	2	70	12	577	395	23,301																	

※「その他」の団体に含まれるのは、保育園、幼稚園、学童クラブなどの教育施設団体である。

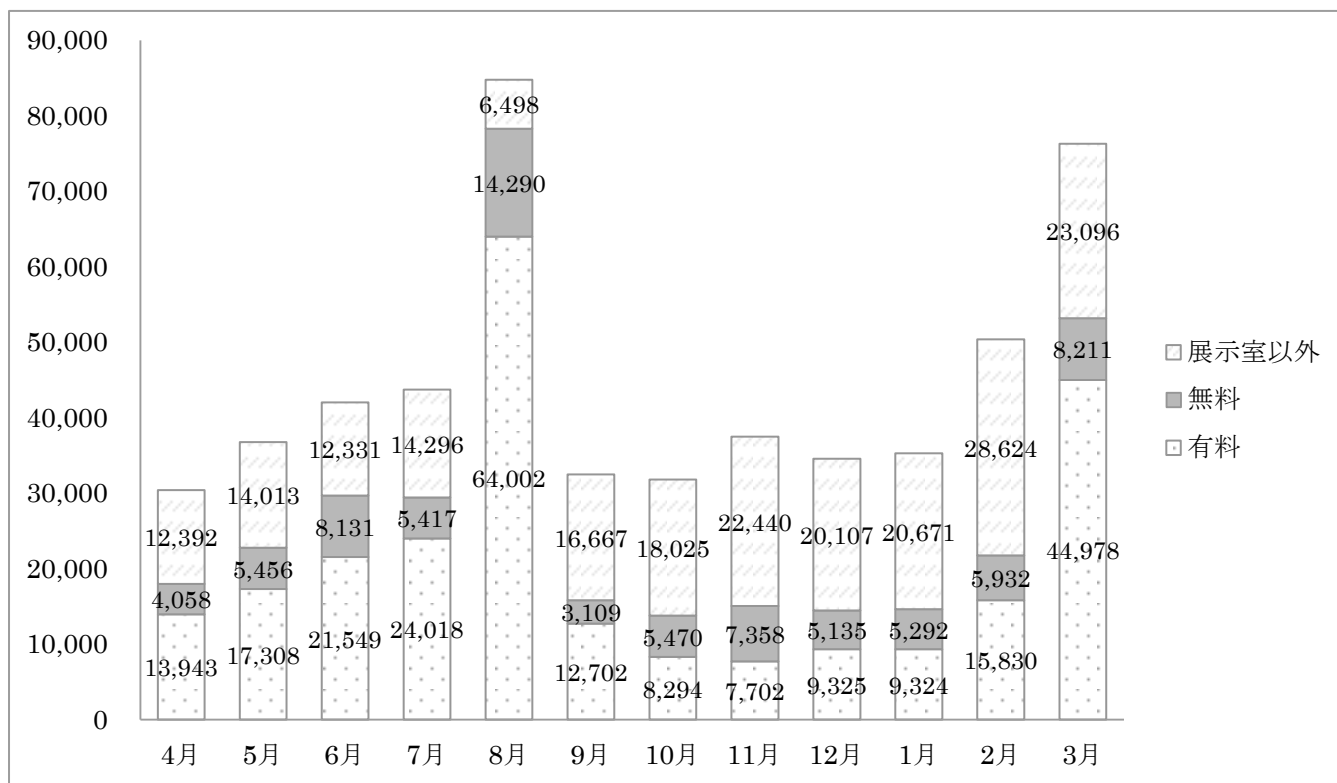
### 3. 展覧会別入館者集計

(単位：人)

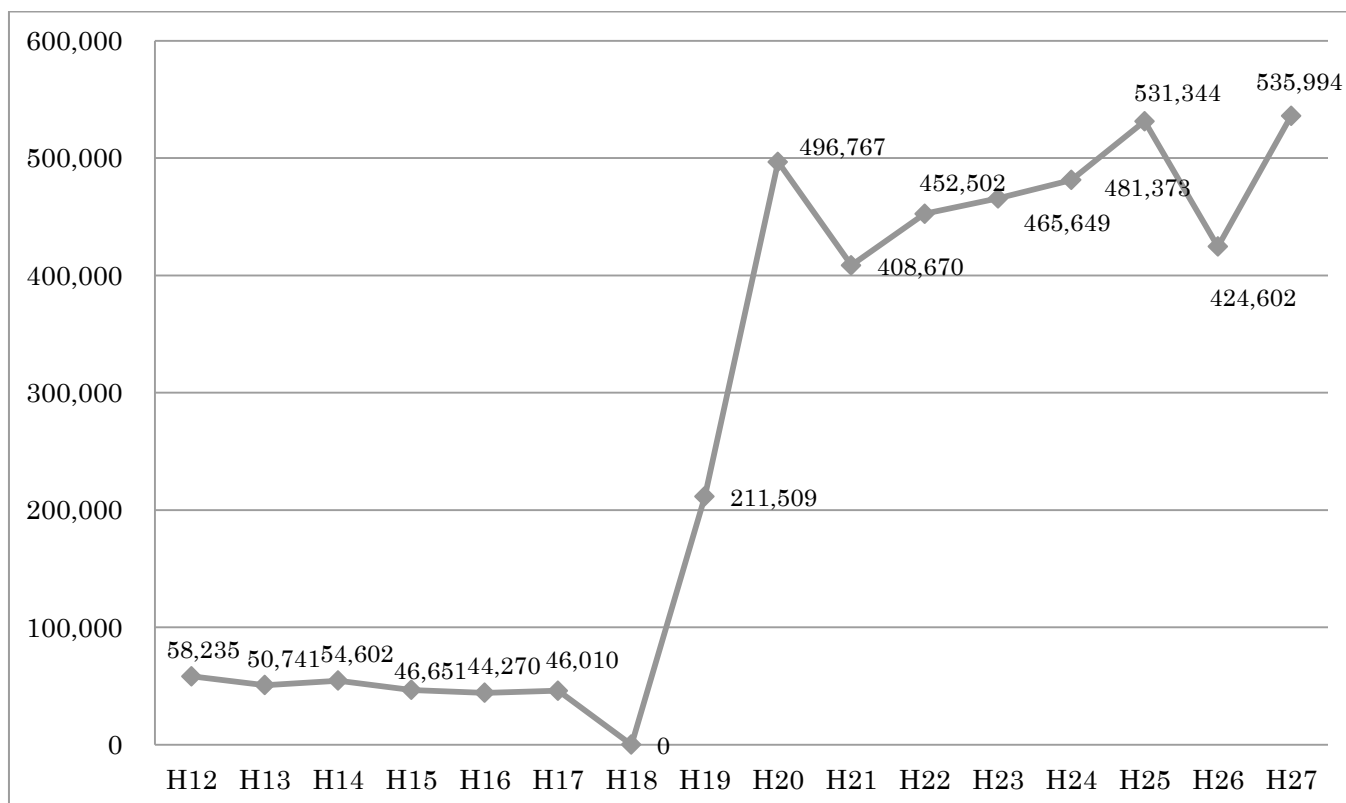
展覧会名	観覧者区分	当日券	団体券	前売券	1日利用券	年間パス	その他割引	優待(障害)	有料者合計	優待(障害)	無料者数	総合計	
博物館	企画展 「うちくいー沖繩のふろしきー」	一般	41	24	1,301	168	5	0	2,873	430	422	3,725	
		高・大学生	0	2	58	0	48	0	0	150	7	0	157
		小・中学生	0	0	36	0	0	0	0	88	11	74	173
	特別展 「琉球弧の葬墓制ー風とサンゴの用いー」	一般	72	59	1,807	163	140	121	0	4,069	0	480	4,549
		高・大学生	10	1	84	0	52	2	0	248	0	0	248
		小・中学生	31	0	21	0	2	3	0	1,055	0	89	1,144
	企画展 「新収蔵品展ー平成26年度収蔵資料ー」	一般	180	7	1,326	63	1	108	0	1,577	108	196	1,881
		高・大学生	9	0	93	0	10	0	0	112	0	0	112
		小・中学生	10	30	52	0	0	0	0	92	0	42	134
	企画展 「大嶺薫コレクション展 ー探求する心とその世界ー」	一般	0	0	0	0	47	0	0	47	0	2,505	2,552
		高・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	136
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	229	229
企画展 「大嶺薫と気象 ー見えない空気の“力と技”ー」	一般	918	0	1,196	144	1	337	0	2,259	337	193	2,789	
	高・大学生	93	0	197	0	7	0	0	297	4	0	301	
	小・中学生	278	0	70	0	0	0	0	348	9	182	539	
コラボ企画展 「芸大の御宝展 ーものと ひとをつくるー」	一般	452	50	314	70	1	887	0	1,522	66	310	1,898	
	高・大学生	25	0	101	0	33	0	0	159	2	19	180	
	小・中学生	23	0	6	0	0	0	0	29	1	0	30	
美術館	企画展 「石田尚志 渦まく光」	一般	738	15	540	129	48	52	1,522	0	653	2,175	
		高・大学生	110	13	56	0	48	1	0	228	0	0	228
		小・中学生	63	0	2	0	10	1	0	76	0	78	154
	企画展 「大嶺政寛展」	一般	2,129	0	35	804	159	122	134	3,383	0	546	3,929
		高・大学生	60	0	47	0	24	0	0	131	0	0	131
		小・中学生	50	0	8	0	0	0	0	58	0	51	109
	企画展 「木梨憲武展×20years」	一般	26,994	174	15,094	726	351	1,498	1,678	46,515	0	696	47,211
		高・大学生	1,656	20	651	105	0	196	57	2,685	0	0	2,685
		小・中学生	3,237	194	2,141	16	0	172	85	5,845	0	4,918	10,763
	企画展 「パブロ・ピカソゲルニカ展」	一般	2,379	1	913	0	143	1	325	3,762	0	136	3,898
		高・大学生	270	24	40	0	0	9	5	348	0	0	348
		小・中学生	355	0	116	0	0	0	11	482	0	226	708
企画展 「二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後」	一般	2,695	0	64	511	170	198	153	3,791	0	410	4,201	
	高・大学生	116	0	0	26	0	37	0	179	0	0	179	
	小・中学生	130	0	4	14	0	11	0	159	0	77	236	
企画展 「テイズニーー夢と魔法の90年展」	一般	15,235	54	2,102	998	281	2,668	764	22,102	0	1,149	23,251	
	高・大学生	1,616	300	260	113	0	402	58	2,749	0	0	2,749	
	小・中学生	3,789	51	549	59	0	942	124	5,514	0	4,112	9,626	
企画展 「深海探検「海底二万里の世界展」」	一般	11,826	85	1,894	1,201	297	494	506	16,303	0	1,554	17,857	
	高・大学生	618	0	51	137	0	55	16	877	0	0	877	
	小・中学生	8,368	411	1,164	297	0	258	166	10,664	0	5,059	15,723	
合計	一般	66,587	484	20,200	10,724	2,185	5,177	3,733	109,090	941	9,250	119,281	
	高・大学生	4,714	354	1,018	1,017	0	921	139	8,163	13	155	8,331	
	小・中学生	16,403	717	3,974	581	0	1,395	390	23,460	21	15,137	38,618	

※博物館企画展に関しては、優待(障害者)は無料者数へ含む。  
 ※美術館企画展「大嶺薫コレクション展」は、常設券で観覧できるため無料者へ含む。

#### 4. 2015年度月間別入館者数



#### 5. 年間入館者数の年次推移



## 6. 減免申請集計

(単位：人)

項目	学校関係 (下見)		旅行社関係 (視察・引率)		マスコ関係 (視察)		福祉関係 (引率)		博物館・美術館 関係者(視察)		その他		合計		
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	
2014	4月	2	3	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	12	13
	5月	4	8	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	10
	6月	2	4	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	9
	7月	14	434	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16	436
	8月	31	849	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	33	854
	9月	3	19	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	20
	10月	15	190	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	16	191
	11月	13	50	1	1	0	0	0	0	2	17	0	0	16	68
2015	1月	19	102	0	0	0	0	2	2	3	11	0	0	24	115
	2月	11	67	0	0	0	0	0	0	1	3	1	3	13	73
	3月	7	14	1	2	0	0	0	0	2	8	1	4	11	28
合計	129	1,769	20	27	0	0	3	3	9	40	4	38	165	1,877	

## 7. 団体入館内訳

県内 小学校

のべ144校 9272名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	
1	4	17	真嘉比小学校	55	45	10	22	平敷屋小学校	39	89	12	11	波照間小学校	16	
2	5	15	城辺小学校	18	46			具志頭小学校	55	90			津嘉山小学校	130	
3		22	西城小学校	21	47				城前小学校	89		91		13	西表・船浮・黒島小学校合同修学旅行
4		26	久松小学校	58	48		23	大北小学校	103	92		16	津嘉山小学校	114	
5		29	平良第一小学校	106	49					大山小学校			77	93	
6	6	2	上野小学校	33	50			与那国小学校	10	94		18	嘉芸小学校	32	
7		5	鏡原小学校	23	51					竹富小学校			10	95	
8			東小学校	54	52		27	城南小学校	77	96			奥間小学校	21	
9			砂川小学校	17	53					伊波小学校			117	97	1
10			カリッ学園海星小学校	19	54		28	西原南小学校3年生	64	98		8	古蔵小学校	70	
11		12	慶留間中学校	15	55					西原南小学校4年生			57	99	
12			西辺小学校	13	56		29	兼次小学校	30	100			泊小学校	138	
13			宮島小学校	6	57					中川小学校			13	101	
14			下地小学校	39	58		30	久辺小学校	31	102		15	真喜屋小学校	19	
15		16	伊是名小学校	14	59					今帰仁小学校			51	103	
16			北小学校	45	60	11	4	大里小学校	149	104		20	大原小学校	6	
17		26	池間小学校	10	61					船越小学校			49	105	
18	7	23	銘苅小学校	21	62		6	清水小学校	32	106			安謝小学校	107	
19			佐手小学校	20	63					東江小学校			89	107	
20	8	5	沖縄カリッ小学校	48	64			瀬喜田小学校	16	108			名護小学校	110	
21		7	Busy Bee School	42	65					コザ小学校			56	109	
22		11	アズ・アーク・チャーチ・スクール	21	66		10	与那原東小学校	88	110			宇原原小学校	128	
23		9	10	渡嘉敷小学校	25			67		11			銘苅小学校	140	111
24		15	小祿南小学校	124	68			12	真嘉比小学校	87	112		28	北谷小学校	75
25		18	大宜味小学校	7	69					13	塩屋小学校			14	113
26		25	玉城小学校	59	70			13	高原小学校	138	114		29	伊平屋小学校	25
27		29	キナワインターナショナルスクール	17	71					17	豊崎小学校			125	115
28	10	1	沖縄カリッ小学校	96	72			18	城北小学校	160	116			上間小学校	95
29		2	津波小学校	7	73					19	伊良波小学校			104	117
30		2	狩俣小学校	10	74			20	本部小学校	78	118			志真志小学校	67
31		8	米須小学校	27	75					20	上本部小学校			35	119
32		9	東小学校	12	76				仲西小学校	131	120			那覇小学校	82
33		14	前田小学校	6	77					26	神森小学校			125	121
34		15	屋我地小学校	12	78				普天間第二小学校	126	122		4	開南小学校	52
35		16	安和小学校	17	79						天妃小学校			76	123
36			屋部小学校	76	80				伊良波小学校	100	124			壺屋小学校	33
37			西小学校	33	81			12	1		光洋小学校			78	125
38		伊江小学校	18	82			2			天久小学校	140	126		9	松川小学校
39			北美小学校3年生	100	83				馬天小学校	51	127				
40			北美小学校5年生	113	84						大里北小学校		27	128	
41			中城南小学校	77	85			3	座安小学校	64	129			真嘉比小学校	97
42			兼城小学校	162	86					4	辺土名小学校			25	130
43			豊崎小学校	136	87			8	石嶺小学校	126	131			川平小学校	16
44		21	中城小学校	47	88						宮里小学校			31	132

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
133	2	25	小祿小学校	83	137	3	1	オキナワインターナショナルスクール	18	141	3	8	那覇小学校	77
134			曙小学校	55	138		2	城西小学校	36	142			糸満南小学校	77
135		26	喜納小学校	80	139		3	城西小学校	72	143		9	内間小学校	111
136	3	1	大道小学校	55	140		4	真和志小学校	94	144		10	沖縄三育小学校	29

県内 中学校

のべ15校 857名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	8	大里中学校	180	6	10	2	昭和薬科大学附属中学校	214	11	12	19	糸満中学校	10
2		28	伊良波中学校	24	7		21	アミガスターショナル中学校	28	12	1	8	渡嘉敷中学校	3
3	7	15	与那原中学校	13	8	11	17	具志頭中学校	74	13		20	那覇中学校	13
4		23	古蔵中学校	10	9		18	兼城中学校	98	14		28	沖縄県立若夏学院	8
5	8	18	大里中学校	21	10		29	久部良中学校	9	15	3	4	中城中学校	152

県内 高校

のべ25校 1667名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	
1	4	17	石川高校	161	10	10	15	浦添工業高校	83	19	1	27	北部農林高校	41	
2		24	北中城高校	249	11		23	浦添高校	4	20		29	開邦高校	21	
3	6	5	美里工業高校	40	12	11	12	沖縄水産高校	29	21			浦添工業高校	78	
4		9	美里工業高校	10	13		18	小祿高校	22	22	2	3	具志川高校	11	
5		12	美里高校	222	14	12	17	那覇高校	8	23		10	那覇国際高等学校	40	
6	9	8	球陽高校	160	15		18	具志川高校	11	24	3	17	西原高等学校	18	
7		30	浦添高校	9	16			小祿高校	21	25		23	那覇国際高等学校	25	
8	10	9	陽明高校	28	17		20	前原高校	331						
9			那覇西高校	13	18	1	22	興南高校	32						

県内 専門学校・大学

のべ15校 422名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	22	琉球大学	21	6	6	25	沖縄国際大学	18	11	11	12	琉球大学	18
2	6	10	琉球大学留学生クラス	42	7		26	KBC 学園	59	12		19	尚学院 SIBA	13
3		12	総合学園ユーマカゲミ那覇校	26	8	7	24	沖縄看護専門学校	89	13	12	4	沖縄大学	9
4		16	尚学院国際ビジネスアカデミー	59	9	8	20	沖縄国際大学経済学部	17	14	1	26	専門学校那覇日経ビジネス	15
5		20	沖縄県立芸術大学	7	10	10	21	琉球大学留学生センター 沖縄事情クラス	11	15	2	19	沖縄県立芸術大学	18

県内 特別支援学校

のべ11校 357名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	6	2	森川特別支援学校	33	5	10	21	大平特別支援学校中等部	30	9	2	5	仲西小学校・浦城小学校・宮城小学校特別支援学級	71
2	9	30	沖縄ろう学校 高等部	22	6	12	2	南風原町内中学校特別支援教室・適応教室	80	10		12	沖縄盲学校小学部	6
3	10	2	大平特別支援学校高等部	9	7		15	西崎特別支援学校小学部	17	11		24	那覇特別支援学校高等部	24
4		14	島尻特別支援学校中等部	48	8		24	神原小学校特別支援学級	17					

県内 幼稚園・保育園・その他

のべ108校 4031名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	2	木の国学童	55	22	8	4	大地学童クラブ	28	43	8	11	第2 汀良児童クラブ	19
2		4	ココニ児童クラブ	31	23			さつき保育園	25	44			沖縄キッズクラブ	26
3	6	5	なのはな保育園	14	24		5	大名学童クラブ	30	45		12	学童館	69
4		9	シメ保育園	22	25			上田学童クラブ	29	46			児童クラブイビスまつげ	20
5		6	ココニ児童クラブイビス与那原	14	26			童夢幼児園・保育園(学童部)	61	47			汀良児童クラブ	50
6		12	シメ保育園	30	27		6	みなみ学童保育園	65	48			ココニ児童クラブイビスちやたん	21
7		14	イビスちやたん	14	28			沖縄トリック小学校学童クラブ	42	49		13	わかなつ学童クラブ	26
8		23	千草保育園	29	29			登川みらい学童クラブ	29	50			第2 風の子学童クラブ	27
9	7	9	レインボーモンテッソーリ	14	30			城北児童クラブ	45	51			イビスくるみ	12
10		22	マリ保育園	29	31			石嶺保育園	27	52			ひかりの子保育園	39
11			こどもサウス	24	32			末吉児童クラブ	50	53			曙児童クラブ	45
12			開南小学校学童クラブ	33	33			城北児童クラブ	45	54			宮里キッズ学童クラブ	39
13		23	はんにすキッズ学童クラブ	53	34		7	子羊保育園	29	55		14	学童クラブわらびんちや	39
14			学童ファイトクラブ	24	35			沖縄トリック小学校学童クラブ	44	56			はごろも幼稚園	38
15		29	学童センターゆいゆい	34	36			安謝保育園	25	57			さつき学童	44
16		30	めかる児童クラブ	90	37			なかいま保育園	44	58			のびのび学童クラブ	66
17			学童塾琉童	34	38			みらい学童クラブ	21	59			安謝保育園	25
18			きらら保育園	48	39			児童クラブイビスまつもと	33	60			勢理客保育園	33
19		31	サンシャインモンテッソーリスクール	46	40		11	さつき保育園	26	61			沢岬学童クラブ	23
20			風の子学童クラブ	21	41			港川地域学童クラブ	47	62			松川児童クラブ	45
21	8	1	愛心学園	44	42			大道児童クラブ	43	63		15	めぐみ保育園(学童)	28

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
64	8	18	みつる保育園	53	79	8	23	たのしい保育園	25	94	1	6	よぎ南幼稚園	22
65			愛の星学童クラブ	55	80		25	中城南学童クラブ	42	95		9	あめく児童クラブ	16
66			児童がイヘビすみはま	26	81			まどか学童クラブ	14	96		22	天久幼稚園	185
67			津嘉山学童クラブ	52	82			北中城パークサイド児童学園	68	97	2	10	那覇幼稚園	57
68		19	アボロイニス	43	83	9	1	はごろも保育園	41	98		17	那覇市曙幼稚園	50
69			ワッツ学童	45	84		3	なかいま保育園	20	99	3	5	コロニー児童がイヘビ	33
70			絆保育園	39	85		4	ほとりのき保育園	24	100		8	MOA 沖縄幼児学園	54
71		20	ことぶき学童クラブ	58	86		4	すだつ保育園	21	101		10	こざくら保育園	24
72			わかば児童クラブ	43	87		5	みらい保育園	34	102		11	まなぶ保育園	20
73		20	平良川学童クラブ	71	88		5	玉の子保育園	39	103			久場川保育所	32
74		21	ゆたか学童クラブ	53	89		18	団体名不明(予約なし)	26	104			がじゅまる保育園	23
75			泊キッズクラブ	50	90		25	オキワインターナショナルスクール	29	105		12	内間児童センター	25
76			すこやか児童クラブ	38	91	10	27	第二エミール保育園	27	106		16	はごろも保育園	17
77			こざくら児童クラブ	33	92	11	13	がじゅまる保育園	23	107		25	第二エミール保育園	27
78		22	木の国学童	75	93	12	11	ビビキ保育所	23	108		30	小祿南保育園	31

県外 小学校 のべ4校 175名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	5	20	那間小学校(鹿児島県)	21	3	10	21	常葉大学教育学部附属小学校(静岡県)	56
2		26	花徳小学校(鹿児島県)	18	4	2	23	広島大学附属小学校(広島県)	80

県外 中学校 のべ10校 432名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	10	川崎中学校(岩手県)	29	5	5	23	とびこみ(兵庫県)	27	9	2	9	近江兄弟社中学校(滋賀県)	178
2		16	鹿野中学校(鳥取県)	30	6	6	5	本宮中学校(和歌山県)	30	10		24	札幌光星中学校(北海道)	64
3		24	大島中学校(山口県)	18	7	10	30	東京大学教育学部附属中等教育学校(東京都)	14					
4			答志中学校(山口県)	21	8	11	12	神奈川学園中学校(神奈川県)	21					

県外 高等学校 のべ43校 5318名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	14	お茶の水女子大学附属高校(東京都)	3	16	10	28	袖ヶ浦高校(千葉県)	24	31	12	5	静岡西高校(静岡県)	42
2		24	国際基督教大学高校(東京都)	266	17		29	加藤学園暁秀高校(静岡県)	142	32		8	三島南高校(静岡県)	259
3	6	23	明法高校(東京都)	123	18		30	東京大学教育学部附属中等教育学校(東京都)	13	33			巨摩高校(山梨県)	234
4			北陸高校(福井県)	22	19	11	4	野沢北高校(長野県)	73	34		9	都留興譲館高校(山梨県)	23
5		24	倉敷中央高校(岡山県)	48	20		11	前橋高校(群馬県)	83	35			甲府西高校(山梨県)	40
6		25	北陸高校(福井県)	6	21		12	木更津高校(千葉県)	36	36		10	甲府西高校(山梨県)	41
7	9	18	昌平高校(福島県)	121	22		13	磐田北高校(静岡県)	198	37		15	甲府南高校(山梨県)	40
8		29	学習院高等科(東京都)	213	23		17	市川高校(山梨県)	152	38		17	正智深谷高校(埼玉県)	139
9			横浜旭陵高校(神奈川県)	77	24		18	有朋高校(福島県)	33	39	1	10	武蔵野北高校(東京都)	247
10	10	4	所沢高校(埼玉県)	378	25		19	山形学院高校(山形県)	187	40		31	川越工業高校(埼玉県)	40
11		6	メノール女子学園高校(三重県)	97	26		28	宇都宮短期大学附属高校(栃木県)	548	41	2	24	広島学院高等学校(広島県)	159
12		20	桃山高校(京都府)	162	27	12	1	宇都宮短期大学附属高校(栃木県)	312	42	3	8	岐阜東高等学校(岐阜県)	75
13		21	とびこみ	43	28		2	浜名高校(静岡県)	168	43		30	岐阜東高等学校(岐阜県)	127
14		22	掛川東高校(静岡県)	233	29			田方農業高校(静岡県)	22					
15		23	千葉商業高校(千葉県)	41	30		3	厚木高校(神奈川県)	28					

県外 専門学校・大学 のべ6校 169名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	14	東洋きもの専門学校(大阪府)	8	3	2	11	2015年度教職沖縄研修(立命館大学)(京都府)	57	5	3	4	DWCLA スプリングキャンプ ※同志社大学(京都府)	30
2	9	9	近畿大学文化会美術部(大阪府)	35	4	3	1	パースペクティブ研究会※早稲田大学(東京都)	22	6		17	東邦大学看護学部(東京都)	17



県外 特別支援学校

のべ2校 24名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	12	3	浜松特別支援学校城北分校 (静岡県)	12	2	1	28	筑波大附属視覚特別支援学校 (東京都)	12

国外 その他 (基地内含む)

のべ12校 577名

No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数	No.	月	日	学校名	人数
1	4	14	リュウキュウミッドルスクール	37	5	7	8	沖縄県青少年交流プログラム	16	9	1	14	カテナミッドルスクール	32
2	5	13	リュウキュウミッドルスクール	56	6	12	8	アメリカエアート小学校	76	10	2	5	香港からの中学生(代新華刺テニッジャパン) (中国)	63
3		22	Kadena High School	21	7		13	JENESYS2.0 韓国中学生訪問団 (韓国)	31	11	3	20	(一財) 日本国際協力センター (多国籍)	54
4	6	23	香港学校視察 (中国)	40	8	1	13	カテナミッドルスクール	43	12	24	アメリカエアートプライマリースクール	108	

## II. 施設利用者統計

### 1. 月別施設利用集計

(単位:人)

項目	博物館				美術館							共有		その他			計
	特別展示室	企画展示室	博物館講座室	実習室	企画ギャラリー1	企画ギャラリー2	美術館講座室	県民アトリエ	子供アトリエ	スタジオ	県民ギャラリー	講堂	エントランス	3階回廊	屋外展示場	中庭	
4月	0	0	21	7	0	0	28	7	12	16	2	12	0	0	0	0	105
5月	0	0	25	7	0	0	31	9	19	22	3	12	6	1	0	0	135
6月	0	0	24	9	0	0	29	11	16	16	5	16	0	0	0	0	126
7月	0	0	19	5	0	0	21	21	15	17	7	13	0	0	0	0	118
8月	0	0	26	7	0	0	32	12	10	19	7	20	0	0	0	0	133
9月	0	0	29	19	0	0	30	16	22	15	6	20	0	0	0	0	157
10月	0	0	30	16	0	0	36	13	9	20	7	22	1	2	0	0	156
11月	0	1	30	16	0	0	31	19	18	19	5	25	6	3	3	0	176
12月	0	7	17	13	0	0	25	18	12	16	8	19	0	1	0	0	136
1月	0	0	28	12	24	24	25	15	12	18	3	21	2	0	0	0	184
2月	0	0	28	15	2	2	24	16	12	19	7	15	5	0	0	0	145
3月	0	0	21	9	8	8	22	12	13	19	6	19	8	0	0	0	145
合計	0	8	298	135	34	34	334	169	170	216	66	214	28	7	3	0	1,716

### 2. 施設貸出内訳

【2015年4月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	水	子供アトリエ	ハンドライフ セミナー	11	7	火	博物館講座室	琉球法律事務所 会社法「大」改正
2	2	木	博物館実習室	イオン琉球 SSM 同友店連合会 泡瀬支部結成総会	12	7	火	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 新規入場者教育
3	3	木	子供アトリエ	ハンドライフ セミナー	13	7	火	スタジオ	沖縄朝鮮友好の会 上映会
4	3	金	博物館講座室	日本公文教育研究会那覇事務局 尾崎主幹ゼミ	14	7	火	共有講堂	明治安田生命 2015年4月中間研修大会
5	4	金	美術館講座室	オム・ファム㈱ 第21期オム・ファム㈱経営計画発表会	15	8	水	博物館講座室	盛和塾沖縄 定例会
6	4	土	美術館講座室	JICA 沖縄国際センター JICA ボランティア「体験談&説明会」	16	8	水	スタジオ	クラブプラチナム 素粒子に関する勉強会
7	5	日	博物館講座室	ミキ沖縄 食の勉強会	17	9	木	スタジオ	日本メナード化粧品㈱沖縄ランチ 春のジョアレットフェア
8	5	日	子供アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School	18	10	金	博物館講座室	アクサ生命保険㈱ 保険社員研修
9	5	日	スタジオ	㈱ライラック 糖鎖の勉強会	19	10	金	美術館講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 教弘委員会
10	5	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	20	10	金	県民アトリエ	合資会社ファンタジー 新スタッフ研修 レジ研修

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
21	11	土	県民アトリエ	合資会社ファンタジー 新スタッフ研修 レジ研修	59	19	日	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
22	11	土	博物館 実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 27 年度第 1 回 happ 理事会	60	19	日	美術館 講座室	日本編集者学会 沖縄大会
23	11	土	美術館 講座室	㈱CSK サービスウェア 登録説明会	61	19	日	共講 有堂	琉球大学医学部附属病院 第 10 回沖縄県民の健康講座「消化器外科の最新治療」
24	12	日	スタジオ	サンクスアイ 健康セミナー	62	19	日	共講 有堂	琉球新報・沖縄タイムスをしる県民・国民の会 結成式講演会
25	12	日	子供アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School	63	21	火	博物館 実習室	SG 沖縄 勉強会
26	12	日	県民アトリエ	トータルケアにしぎき整体院 enjoyclub(キャンセル 100%)	64	21	火	博物館 実習室	㈱マネジメントアシスタント 社内研修
27	12	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	65	21	火	博物館 講座室	㈱沖縄銀行 新入行員研修
28	14	火	スタジオ	グッドワン合同会社 「グッドワンクラブ説明会」	66	21	火	博物館 講座室	㈱アイトゥー 面接ミーティング
29	14	火	美術館 講座室	フリーバレット集客施設研究所 エクスペリエンス・マーケティングセミナー	67	21	火	スタジオ	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会
30	15	水	博物館 講座室	社・本郷税理士法人 沖縄支部 相続税セミナー	68	21	火	県民アトリエ	御茶屋御殿復元期成会 シンポジウム 知られざる琉球文化の殿堂「御茶屋御殿」を語る！打合せ会
31	15	水	博物館 講座室	沖縄農業技術企業化協同組合 山下一仁氏講演会	69	21	火	子供アトリエ	合同会社ハーネクト ㈱ミシキル健康・長生きセミナー
32	15	水	スタジオ	グッドワン合同会社 「グッドワンクラブ説明会」	70	21	火	美術館 講座室	㈱レキオス レキオス倶楽部ビジネスネットワークセミナー
33	15	水	美術館 講座室	沖縄弁護士会 遺言の日記念 無料法律相談会	71	21	火	美術館 講座室	公文エルアイエル 公文書写教室 開設説明会
34	15	水	美術館 講座室	ワクワク旅行倶楽部 説明会	72	21	火	美術館 講座室	VS コンサルティング合同会社 損害保険を活用した医療法人の資金調達スキームと相続・事業承継対策
35	16	水	共講 有堂	沖縄弁護士会 遺言の日の記念講演会	73	22	水	博物館 講座室	㈱沖縄銀行 研修説明会
36	16	木	博物館 講座室	㈱イー・コミュニケーションズ フォルスクラブ 事業説明会	74	22	水	スタジオ	プラスインターナショナル(株) 勉強会講習
37	16	木	美術館 講座室	タマホーム沖縄(株) 協力業者安全・工程会議	75	22	水	美術館 講座室	㈱CSK サービスウェア 登録説明会
38	17	金	博物館 講座室	医療法人ミラソルのはら元氣クリニック サイモントン療法講演会	76	23	木	美術館 講座室	公文エルアイエル 公文書写教室 方針共有講座
39	17	金	博物館 講座室	沖縄県総務部税務課 平成 27 年度地方税徴収担当職員地方税法総則研修会	77	24	金	スタジオ	合同会社ハーネクト 呉王朝の會
40	17	金	スタジオ	ピオ倶楽部(株) アミノ酸説明会	78	24	金	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
41	17	金	美術館 講座室	㈱沖縄銀行 ノムラ日米 REIT ファンド運用報告会	79	24	金	美術館 講座室	電子情報通信学会 ISAP2016 実行委員会
42	17	金	美術館 講座室	チャレンジ未来塾 日本の未来を考える勉強会	80	24	金	共講 有堂	㈱沖縄ダイケン安全大会及び協力会社安全大会
43	18	土	博物館 実習室	M・ダンク倶楽部 勉強会	81	25	土	博物館 講座室	宮本 武 様 ラジウム勉強会とガン専門病院について
44	18	土	博物館 講座室	実践倶楽部 実践哲学勉強会 第 3 会場	82	25	土	博物館 講座室	尚友会 沖縄尚学高等学校 同窓会
45	18	土	スタジオ	実践倶楽部 実践哲学勉強会 第 1 会場	83	25	土	スタジオ	寺谷千穂 様 日韓文化交流風流道
46	18	土	県民アトリエ	石こう版画の会 石こう版画	84	25	土	美術館 講座室	沖縄県海外子女教育・国際理解教育研究会 帰国報告会
47	18	土	子供アトリエ	版の会 版画教室	85	25	土	共講 有堂	文教楽器(株) 幼児科親子オリエンテーション&入会おめでとうコンサート 準備
48	18	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る	86	26	日	博物館 実習室	一般社団法人 IT 検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会 IVEC(知識)
49	18	土	美術館 講座室	実践倶楽部 実践哲学勉強会 第 2 会場	87	26	日	博物館 講座室	ニューウェイズジャパン合同会社/デアアジャパン合同会社 プロダクトフェア
50	18	土	美術館 講座室	一般社 家庭倫理の会 那覇市 倫理セミナー(心境向上)	88	26	日	スタジオ	グッドワンクラブ合同会社 グッドワンクラブ説明会
51	18	土	共講 有堂	㈱oMac エンターテイメント 琉球ヴィルトオーズ「0歳からの親子コンサート」 準備	89	26	日	子供アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School
52	19	日	共講 有堂	㈱oMac エンターテイメント 琉球ヴィルトオーズ「0歳からの親子コンサート」	90	26	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
53	19	日	博物館 実習室	パワフルチェンジコーチング 潜在パワー養成講座	91	26	日	美術館 講座室	パワフルチェンジコーチング 潜在パワー養成講座
54	19	日	スタジオ	ピオ倶楽部(株) アミノ酸説明会	92	26	日	共講 有堂	文教楽器(株) 幼児科親子オリエンテーション&入会おめでとうコンサート
55	19	日	県民アトリエ	㈱MIZ 会社説明会	93	28	火	博物館 講座室	第 4 回 戦後沖縄研究コロキウム
56	19	日	県民アトリエ	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	94	28	火	博物館 講座室	報告会
57	19	日	子供アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School	95	28	火	美術館 講座室	盛和塾定例会
58	19	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	96	28	火	共講 有堂	情報労連「4・28 平和行動」

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
97	28	火	共有講堂	沖縄国際物流セミナー～沖縄と世界をつなぐ海と空の物流戦略のこれから～	101	29	水	共有講堂	文教ハーモニー那覇店 ピアノ・ヴァイオリン発表会
98	29	水	博物館講義室	戦後70年企画「歌の力、ウタの記憶—音>満つる島」	102	30	木	博物館講義室	第46回南洋群島・慰霊と交流の旅行説明会
99	29	水	スタジオ	ファーストクラス勉強会	103	30	木	美術館講義室	沖縄県囲碁連盟 総会
100	29	水	美術館講義室	オールジャパン勉強会					

【2015年5月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	土	子供アトリエ	版の会 版画教室	32	15	金	子供アトリエ	実践倶楽部 実践哲学の勉強会
2	3	日	博物館講義室	自主憲法制定沖縄会議 第10回「新しい憲法をつくる沖縄県民の集い」	33	15	金	美術館講義室	(公財)日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部/全国賃貸管理ビジネス協会 相続支援コンサルタント(一般)認定試験
3	3	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 ミキ沖縄 食の勉強会	34	15	金	美術館講義室	SG沖縄 勉強会
4	3	日	子供アトリエ	合同会社ハーネット ハンドライブ勉強会	35	15	金	共有講堂	沖縄県南部医療センター/㈱エーザイ 膝痛地域連携懇話会
5	4	月	美術館講義室	K2アカデミー/一般社団法人日本コミュニケーションリーダー協会 心書講座	36	16	土	博物館実習室	㈱ケイショウカイ アーユルヴェーダ初級認定講座 1日目(キャンセル30%)
6	8	金	博物館講義室	沖縄タイムス社 文化事業局事業部 沖展会議(意見交換会)	37	16	土	博物館講義室	干瀬の会 第24回講演～源氏物語を読む～
7	8	金	スタジオ	ブルーコンシャス(株)28年度単独説明会	38	16	土	スタジオ	生活協同組合 コープおきなわ 地域別総代会議
8	8	金	子供アトリエ	合同会社ハーネット ㈱ミングル勉強会	39	16	土	県民アトリエ	嘉数 靖子 色の勉強会
9	8	金	美術館講義室	ジブラルタ生命保険(株)沖縄支社 教弘委員会	40	16	土	子供アトリエ	石こう版の会 石こう版画
10	8	金	美術館講義室	グッドワーククラブ説明会	41	16	土	美術館講義室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る
11	8	金	県民アトリエ	おきなわ水素研究会 ヒロミック勉強会	42	16	土	美術館講義室	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ 第2回 NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会
	9	土	県民アトリエ		43	16	土	美術館講義室	生活協同組合 コープおきなわ 地域別総代会議
13	9	土	スタジオ	SARA エンタープライズ 心理カウンセラー・セラピスト養成コース 1日目	44	16	土	共有講堂	沖縄・韓国民衆連帯 沖縄・韓国 平和交流講演会
14	9	土	美術館講義室	festivo/Air-bnb セミナー沖縄運営委員会 Air-bnb セミナー沖縄	45	16	土	博物館講義室	一般社団法人IT検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会 IVEC(実務) 準備
15	10	日	博物館講義室	ビオ倶楽部(株) 会長講演会	46	17	日	博物館講義室	一般社団法人IT検証産業協会/一般社団法人コンピュータ教育振興協会 IVEC(実務)
16	10	日	スタジオ	㈱ライラック 「カラダと糖鎖」勉強会	47	17	日	博物館実習室	㈱ケイショウカイ アーユルヴェーダ初級認定講座 2日目(キャンセル30%)
17	10	日	県民アトリエ	沖縄美術家連盟 理事会	48	17	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 総会
18	10	日	子供アトリエ	SARA エンタープライズ 心理カウンセラー・セラピスト養成コース 2日目	49	17	日	スタジオ	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会
19	10	日	美術館講義室	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School	50	17	日	スタジオ	㈱リリアン 還元性ミネラル岩塩説明会
20	10	日	共有講堂	沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター 県民公開講座県立南部医療センター発!～みんなで支える重症心不全治療の現在と未来～	51	17	日	子供アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School
21	13	水	博物館講義室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんマネジメントスクール	52	17	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
22	13	水	博物館講義室	盛和塾沖縄 定例会	53	17	日	美術館講義室	ワクワク旅行倶楽部 旅行の説明会
23	13	水	美術館講義室	那覇商工会議所/アクサ生命保険(株) アクサ生命保険(株)先進医療セミナー	54	19	火	博物館講義室	(有)エステル/㈱健康血流研究所/大城龍昭 様 美原垣氏講演会 (宮崎大学医学部名誉教授)
24	13	水	共有講堂	㈱エフアンドエム沖縄支社開設記念講演会	55	19	火	博物館講義室	サンワコムシスエンジニアリング(株) FTTH 安全大会
25	14	木	博物館講義室	サンワコムシスエンジニアリング(株) 平成27年度サンコム上期安全大会	56	19	火	スタジオ	金融庁取引調査課 金融関係現地ヒアリング
26	14	木	スタジオ	㈱ベルシステム24 面接会	57	19	火	美術館講義室	公益社団法人 北那覇法人会 銀行の融資判断のポイント
27	14	木	県民アトリエ	シャンデール CSI 更新研修	58	19	火	美術館講義室	ワクワク旅行倶楽部 旅行の説明会
28	14	木	美術館講義室	サンクスアイ(株) フルボ酸植物性ミネラルセミナー	59	19	火	共有講堂	㈱シネマ沖縄 「はるかなるオンライン山」上映会
29	15	金	博物館実習室	TB 国内旅行企画沖縄事業部 沖縄商品会議	60	20	水	博物館講義室	りゅうせき商事(株) 会社説明会
30	15	金	博物館講義室	「戦後70年・沖縄美術 すでている—REGENERATION プロジェクト実行委員会 シンポジウム」表象としての肖像—王権・主権・自己決定権—	61	20	水	スタジオ	山本 修 ビューティブッター 資産運用勉強会
					62	20	水	スタジオ	金融取引調査課 金融関係現地ヒアリング

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
31	15	金	スタジオ	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	63	20	水	美術館 講座室	琉球びんがた事業協同組合 平成27年度 通常総会 講演会
64	20	水	美術館 講座室	阪阪急交通社沖縄支店 阪急トラビックス 国内旅行説明会	97	26	火	博物館 実習室	ブラスインターナショナル㈱ テラカッサマッサージの講習及び血流観察
65	20	水	県民 アトリエ	公文教育研究会 ファシリテーターゼミ(武内)	98	26	火	博物館 講座室	宮本 武 様 ラジウムの勉強会
66	21	木	博物館 実習室	㈱ジェフプラン 沖縄 AES クラブ	99	26	火	美術館 講座室	盛和塾沖縄 定例会
67	21	木	博物館 講座室	沖縄博物館友の会 平成27年度 沖縄博物館友の会 総会	100	26	火	共有 講堂	a t elier es HAIRDESING 今更聞けない毛髪科学のウソホント?
68	21	木	博物館 講座室	沖縄県文化協会 平成27年度定期総会	101	27	水	博物館 講座室	公益社団法人沖縄県建築士会 改正建築基準法の解説講習会
69	21	木	スタジオ	金融取引調査課 金融関係現地ヒアリング	102	27	水	スタジオ	㈱Message/沖縄県キャリアセンター 若手社員を育成するチカラ UP セミナー
70	21	木	美術館 講座室	タマホーム沖縄㈱ 協力業者安全・工程会議	103	28	木	博物館 講座室	沖縄県地域づくりネットワーク 総会・研修会
71	21	木	美術館 講座室	㈱リレーションシップ 『企業を元気にする外国人採用のすすめ』	104	28	木	博物館 講座室	在沖米国総領事館 Teaching English in English
72	22	金	博物館 実習室	都市環境デザイン会議(JUDI) 代表幹事会 in 沖縄	105	28	木	子供 アトリエ	㈱ケイオーパートナーズ 未来のIT人材創出促進 事業コンソーシアムミーティング
73	22	金	博物館 講座室	沖縄総合事務局農林水産部生産振興課 平成27年度 畜産再興プラン説明会	106	28	木	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
74	22	金	スタジオ	全国賃貸管理ビジネス協会 少短推進・会員拡大委員会 定例会	107	28	木	美術館 講座室	㈱ハウ コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会
75	22	金	スタジオ	㈱オペラ 事業説明会	108	29	金	博物館 講座室	沖縄県企画部地域・離島課 ゆいゆい SNS 運用開始 1周年研修会
76	22	金	美術館 講座室	ビサイジャパン研修会	109	29	金	スタジオ	ファーストクラス勉強会
77	22	金	美術館 講座室	フォトネシア沖縄 零度の眼—写真と批評が出会うとき 大城弘明×仲里功トークセッション	110	29	金	県民 アトリエ	㈱青木商店・果汁工房果琳/㈱エムジョイ 果汁工房果琳 那覇メインプレイス店 面接会場
78	22	金	共有 講堂	那覇市文化協会 平成27年度 定例総会 講演会	111	29	金	子供 アトリエ	㈱EMA 健康セミナー
79	23	土	博物館 講座室	都市環境デザイン会議 沖縄における 21世紀型のまちづくり ～省エネ義務化を機に沖縄の都市環境デザインを考える～	112	29	金	美術館 講座室	グラフィソフトジャパン㈱ GRAPHISOFT 全国ロードショー2015
					113	30	土	博物館 講座室	沖縄県企画部交通政策課/㈱ケー・シー・エス 沖縄鉄軌道県民会議
80	23	土	博物館 講座室	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成27年度沖縄県立美術館支援会 happ 通常総会	114	30	土	スタジオ	海洋平和セミナー
81	23	土	スタジオ	㈱ケイショウカイ 女性がおさえておきたいキレイをつくる運動と栄養の考え方	115	30	土	美術館 講座室	沖縄ツーリスト㈱ 飛鳥IIクルーズ旅行募集説明会
82	23	土	県民 アトリエ	㈱ベルソナッツ コミュニケーション ワークショップ	116	30	土	共有 講堂	㈱大塚製薬工場 熱中症フォーラム2015
83	23	土	子供 アトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 沖縄に根づいた聖書の習慣	117	31	日	博物館 講座室	NPO法人統合医療と健康を考える会 「がん治療の鍵セミナー」
84	23	土	子供 アトリエ	生活協同組合 沖縄県高齢者協同組合 定例理事会	118	31	日	スタジオ	ミキワールド沖縄 食の勉強会
85	23	土	美術館 講座室	SARAエンタープライズ アトラクティブセミナー	119	31	日	子供 アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School
86	23	土	共有 講堂	'御茶屋御殿復元期成会 シンポジウム 知られざる琉球文化の殿堂「御茶屋御殿」を語る!～文化財指定と早期復元を～	120	31	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
					121	31	日	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
87	23	土	3階回廊	御茶屋御殿復元期成会 シンポジウム 知られざる琉球文化の殿堂「御茶屋御殿」を語る!～文化財指定と早期復元を～	122	31	日	美術館 講座室	クラブブラチナム 素粒子についての勉強会
					123	31	日	共有 講堂	とくだ歯科クリニック 子どもの食事「いちばん簡単でいちばん大切なこと」
88	24	日	スタジオ	日本アーユルヴェーダスクール/㈱ケイショウカイ 「アーユルヴェーダにおけるアンチエイジング」	124	13～15	水	子供 アトリエ	
89	24	日	スタジオ	合同会社ハーネット インドネシア・ロンボク島 案件説明会			木	子供 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会
90	24	日	県民 アトリエ	知行会 資産育成勉強会			金	子供 アトリエ	
91	24	日	子供 アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School			火	エントランス ホール	
92	24	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会			水	エントランス ホール	
93	24	日	美術館 講座室	SARAエンタープライズ SARAメンタルトレーニング	125	19～24	木	エントランス ホール	戦後70年・沖縄美術「すでている—REGENERATION プロジェクト実行委員会 うぐい肖像巡回展—Portrait Art Exhibition
94	24	日	共有 講堂	アステラス製薬㈱ 第5回 腎移植市民フォーラム～いのちの贈り物～			金	エントランス ホール	
95	24	日	共有 講堂	琉球大学医学部附属病院 第十一回 沖縄県民の健康公開講座「潜水・高気圧医学」～安全なダイビングを目指して～			土	エントランス ホール	
							日	エントランス ホール	
96	26	火	美術館 講座室	フリーバレット集客施設研究所 エクスベリエンス・マーケティング塾 2015(キャンセル 50%)					

【2015年6月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	火	共 講 有 堂	金城由美子琉舞道場 道扇流、道扇会 金城由美子琉舞道場&藤代の会 名嘉正光琉舞道場 合同おさらい会 リハーサル	38	13	土	スタジオ	サンクスアイ 健康セミナー
					39	13	土	県 民 アトリエ	宮城清 数学学習会
2	2	火	博 物 館 室	TOA㈱技術研修所 TOA 技術研修会 準備	40	13	土	子 供 アトリエ	合同会社ハーネット ㈱ミシロ勉強会
3	3	水	博 物 館 室	TOA㈱技術研修所 TOA 技術研修会	41	13	土	美 術 館 講 座 室	沖縄国際大学研究員 山田浩世 第三回 琉球身分制研究報告会
4	3	水	博 物 館 室	㈱キタムラカメラのキタムラ アップル製品サー ビス九州・沖縄地区ブロック会	42	13	土	共 講 有 堂	戦略塾 開講3周年記念 小島安「戦略経営セミナー」
5	3	水	スタジオ	沖縄税務経理学院 OA 経理事務科 (7月開講) 選考試験 第二会場	43	14	日	博 物 館 講 座 室	沖縄タイムスサービスセンター タイムス海外ホ ームステイオリエンテーション
6	3	水	美 術 館 室	沖縄税務経理学院 OA 経理事務科 (7月開講) 選考試験 第一会場	44	14	日	スタジオ	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会
7	4	木	博 物 館 室	カメラのキタムラ アップル製品サービス九州・ 沖縄地区ブロック会	45	14	日	子 供 アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School
8	4	木	博 物 館 室	㈱生活科学研究会 新商品発表会&ケトン体ワ ークショップ	46	14	日	子 供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
9	4	木	スタジオ	㈱ベルシステム24 面接会	47	14	日	美 術 館 講 座 室	日本秘書クラブ沖縄 サービス接遇検定試験
10	4	木	県 民 アトリエ	Release&Awakening System RAS(Release&Awakening System)体験	48	14	日	美 術 館 講 座 室	扇流、道扇会 金城由美子琉舞道場&藤代の会 名嘉 正光琉舞道場 合同おさらい会 リハーサル 控室
11	4	木	県 民 アトリエ	南風原町母子保健推進員 研修会	49	14	日	共 講 有 堂	㈱沖縄タイムスサービスセンター タイムス海外ホ ームステイ 研修 (全体オリエンテーション)
12	4	木	子 供 アトリエ	合同会社ハーネット ハンドライブセミナー(キャンセル 100%)	50	14	日	共 講 有 堂	道扇流、道扇会 金城由美子琉舞道場&藤代の会 名 嘉正光琉舞道場 合同おさらい会 リハーサル
13	5	金	博 物 館 室	沖縄県国民健康保険団体連合会 平成27年度国保担当新任職員研修会	51	16	火	美 術 館 講 座 室	フリーバレット集客施設研究所 エクスベリエン ス・マーケティング塾2015(キャンセル 30%)
14	5	金	美 術 館 室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 教弘委員会	52	16	火	博 物 館 実 習 室	㈱リリアン 還元性ミネラル岩塩の説明会(㈱リリ アン)
15	6	土	スタジオ	沖縄県中小企業家同友会 浦西支部役員研修会	53	16	火	博 物 館 講 座 室	笈川久美 ラジウムの勉強会
16	6	土	共 講 有 堂	稲葉学校 出版記念講演会 (食べない・死なない・争わない)	54	16	火	博 物 館 講 座 室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 安全会 議
17	7	日	博 物 館 室	㈱トリム・㈱トリムフーズ 飲食事業部 繁盛会 議	55	16	火	スタジオ	阪急交通社㈱ トラビック旅行説明会社 第二会場
18	7	日	県 民 アトリエ	合同会社ハーネット 高林ビジネスセミナー	56	16	火	美 術 館 講 座 室	阪急交通社㈱ トラビック旅行説明会 第一会場
19	7	日	子 供 アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School	57	16	火	美 術 館 講 座 室	SG 沖縄 勉強会
20	7	日	子 供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	58	17	水	博 物 館 実 習 室	アップリンクジャパン 健康セミナー
21	7	日	美 術 館 室	日本秘書クラブ沖縄支部 ビジネス電話検定試 験	59	17	水	博 物 館 講 座 室	那覇市文化協会古典芸能部会 定例総会
22	7	日	美 術 館 室	(有)ラ・ボール 鈴木洋子 講演会	60	17	水	スタジオ	㈱Message/沖縄県キャリアセンター 若手社員スキルUPセミナー
23	7	日	共 講 有 堂	在日本大韓民国沖縄地方本部 第9回韓国語弁論大会	61	17	水	県 民 アトリエ	日本モルデン㈱ 営業会議
24	9	火	博 物 館 室	㈱FINESS 山口啓メイクアップセミナー(実践 編)	62	17	水	美 術 館 講 座 室	知行会 資産形成勉強会
25	9	火	博 物 館 室	㈱琉球新報開発 沖縄県中高齢者再チャレンジ事業説明会	63	17	水	美 術 館 講 座 室	GGC 沖縄 GGC 事業説明会
26	9	火	美 術 館 室	㈱24 オールジャパン勉強会	64	18	木	博 物 館 講 座 室	盛和塾 定例会
27	9	火	共 講 有 堂	㈱FINESS 山口啓 メイクアップセミナー	65	18	木	博 物 館 講 座 室	ホームネットカーズ㈱ スーパーオークション事業説明会 2015
28	9	火	博 物 館 室	不二経営 スターライズ勉強会(キャンセル 30%)	66	18	木	スタジオ	ガスト那覇新都心店 リモデルミーティング
29	10	水	県 民 アトリエ	公文教育研究会 ファシリテーターゼミ(三宅)	67	18	木	美 術 館 講 座 室	沖縄県高等学校地理歴史科公民科教育研究会 平成27年度第38回沖高地理公民研定期総会
30	10	水	子 供 アトリエ	合同会社ハーネット 高林ビジネスセミナー	68	18	木	美 術 館 講 座 室	沖縄県イコマース協議会 Eコマース活用人材育成事業説明会
31	11	木	美 術 館 室	辻・本郷税理士法人沖縄支部 相続セミナー	69	18	木	共 講 有 堂	沖縄総合事務局経済産業部地域経済課 新たな機能性表示制度に係る説明会
32	11	木	共 講 有 堂	医)新美会 新垣形成外科 “笑いと免疫” 真打ち Dr.春雨や落雷 落語会	70	19	金	博 物 館 実 習 室	MMJ358㈱ サリエ事業説明会
33	12	金	博 物 館 室	公益財団法人北那覇法人会 マイナンバーQ&A 研修会	71	19	金	博 物 館 講 座 室	一般財団法人沖縄県建設技術センター 第78回建設材料品質管理試験実務研修
34	12	金	美 術 館 室	アクサ生命保険㈱ 社員研修	72	19	金	スタジオ	実践倶楽部 実践哲学の勉強会
35	12	金	美 術 館 室	沖縄朝鮮友好の会 アジアの文化の勉強会	73	19	金	県 民 アトリエ	㈱ベルシステム24 面接会
36	12	金	共 講 有 堂	全国賃貸管理ビジネス協会 「相続支援ビジネ ス」があなたの会社を変える！！	74	19	金	子 供 アトリエ	実践倶楽部 実践哲学勉強会
37	13	土	博 物 館 室	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成27年6 月度 沖縄県立美術館支援会 happ 理事会	75	19	金	美 術 館 講 座 室	チャレンジ未来塾 日本の未来を考える



No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
76	20	土	博物館 講座室	モデーアジャパン合同会社 プロダクトフェア	100	24	水	美術館 講座室	メットライフ生命保険㈱沖縄営業所 メットライフ生命 グループ保険勉強会
77	20	土	スタジオ	リッチウェイアンドライフジャパン㈱ 知って徳する 健康講座	101	24	水	共有 講堂	沖縄県商業教育研究会 定期総会及び研修会
78	20	土	子供 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画	102	25	木	博物館 講座室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんマネジメントスクール
79	20	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を 観る	103	25	木	スタジオ	フォーエバークリーン(商品の説明会)
80	20	土	美術館 講座室	日本秘書クラブ沖縄支部 交流旅行の打ち合わせ	104	25	木	県民 アトリエ	㈱青木商店・果汁工房 果琳/㈱エムジョイ 果汁工房 果琳 メインプレイス店 面接会場
81	20	土	共有 講堂	沖縄県糖尿病療養指導士会/沖縄県地域糖尿病療 養指導士会/サノフィ㈱ 沖縄県糖尿病学術講演会	105	25	木	美術館 講座室	㈱Message/沖縄県キャリアセンター 印象美 R コミュニケーション～相手の五感へ心地良 い余韻を届ける心理的演出
82	21	日	博物館 講座室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科) 第122回 沖縄眼科集談会					
83	21	日	博物館 講座室	住医学研究会/㈱財地建設 本当に良い家づくりセミナー 住まいと健康	106	26	金	博物館 実習室	タマホーム沖縄㈱ タマホーム沖縄協力業者工程会議
84	21	日	スタジオ	沖縄伝統生薬研究会 漢方薬の勉強会	107	26	金	博物館 講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 業務用ヒートポンプ給湯システム設計支援セミナー
85	21	日	スタジオ	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	108	26	金	スタジオ	㈱ベルシステム 24 面接会
86	21	日	県民 アトリエ	医学研究会/㈱財地建設 本当に良い家づくりセ ミナー 住まいと健康 託児所	109	26	金	共有 講堂	劇團おとな団 第8回公演 準備&リハーサル
87	21	日	子供 アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School	110	27	土	共有 講堂	劇團おとな団 第8回公演
88	21	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	111	27	土	博物館 講座室	首里城公園友の会 平成27年度首里城公園友の会 定期総会及び記念講演会
89	21	日	美術館 講座室	道扇流、道扇会 金城由美子琉舞道場&藤代の会 名嘉正光琉舞道場 合同おさらい会 控室	112	27	土	県民 アトリエ	ポスチュアウオーキング レッスン
90	21	日	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から(泉館)	113	27	土	県民 アトリエ	沖縄チーム 色の勉強会
91	21	日	共有 講堂	道扇流、道扇会 金城由美子琉舞道場&藤代の会 名嘉正光琉舞道場 合同おさらい会)	114	28	日	博物館 実習室	パワフルチェンジコーチング 潜在パワー養成講座
92	23	火	博物館 講座室	照屋 智子 様 宮川千明 集めるのではなく集まる集客セミナー	115	28	日	子供 アトリエ	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School 第二会場
93	23	火	博物館 講座室	公益社団法人北那覇法人会 マイナンバーセミナーQ&A 研修会	116	28	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
94	23	火	スタジオ	㈱ケイオーパートナーズ 全体会議	117	28	日	美術館 講座室	㈱CA Tech Kids CA Tech Kids School 第一会場
95	23	火	美術館 講座室	盛和塾 定例会	118	28	日	共有 講堂	兵庫県健康福祉部こども局青少年課 戦後70年記念フォーラム～沖縄の島守が原点とな った兵庫・沖縄友愛～
96	23	火	美術館 講座室	ピオ倶楽部㈱ アミノ酸説明会					
97	24	水	博物館 講座室	一般社団法人公共建築協会沖縄地区事務局 「新営予算単価と設計料算定」説明会	119	23	火	子供 アトリエ	your'sの会 絵画研修会 1日目
98	24	水	スタジオ	MCJ international㈱那覇店 Mフェイス勉強会	120	24	水	子供 アトリエ	your'sの会 絵画研修会 2日目
99	24	水	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から	121	25	木	子供 アトリエ	your'sの会 絵画研修会 3日目

【2015年 7月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	8	水	博物館 講座室	行政書士法人なか 研修会	13	11	土	県民 アトリエ	ポスチュアウオーキング レッスン
2	8	水	スタジオ	㈱LEJ管理本部 植物ミネラル勉強会	14	11	土	県民 アトリエ	NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネッ トワーク JCDN国際ダンス・イン・レジデンス・エク スチェンジプロジェクト VOL.5
3	8	水	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会					
4	8	水	美術館 講座室	金城一也税理士事務所 マイナンバー対策セ ミナー	15	11	土	子供 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画制作
5	8	水	美術館 講座室	GGC 事業説明会	16	11	土	美術館 講座室	ジブラルタ生命労働組合 沖縄分会 労働組合 分会大会開催
6	8	水	共有 講堂	明治安田生命 2015年度7月中旬研修大会	17	11	土	共有 講堂	コンパテックジャパン㈱ 第1回沖縄クリティカル ケアセミナー
7	9	木	スタジオ	㈱ベルシステム 24 面接会	18	12	日	博物館 実習室	パワフルチェンジコーチング 潜在パワー養成講座
8	9	木	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会	19	12	日	博物館 講座室	日経教育グループ㈱ TPS 思考能力研究会 主催講 演会
9	10	金	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会	20	12	日	博物館 講座室	住みよい那覇市をつくる会 講演会
10	11	土	博物館 実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会	21	12	日	スタジオ	食の勉強会
11	11	土	博物館 講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外短期インターシップ 事前研修	22	12	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
12	11	土	スタジオ	㈱ミングル/合同会社ハーネクト 勉強会	23	12	日	共有 講堂	ピオ倶楽部㈱ 会長宮原先生ジョイント講演会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
24	14	火	博物館 講座室	金城達也税理士事務所 TRC 経営支援セミナー 2015	58	20	月	博物館 講座室	沖縄住民と自治研究会 講演会「地方創生」の課題と 地域・自治体の役割を考える
25	14	火	スタジオ	プラスインターナショナル㈱ テラカッサマッ サージの講習・血流観察	59	20	月	県民 アトリエ	公益財団法人 JAA 人間力育成協会 親子航空教室 2日目
26	14	火	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会	60	22	水	スタジオ	知行会 資産形成勉強会
27	14	火	子供 アトリエ	沖縄イーコマース協議会 勉強会	61	22	水	スタジオ	合同会社ハーネクト 案件保全構築セミナー
28	14	火	美術館 講座室	㈱テラ・ウェブクリエイト 業績好調企業の共通 点とは?	62	22	水	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会
29	14	火	美術館 講座室	サンワコムシステムエンジニアリング㈱ FTTH 安全 会議	63	22	水	美術館 講座室	盛和塾 沖縄 定例会
30	15	水	博物館 講座室	笈川久美 様 ラジウム勉強会とガン専門病院 について	64	23	木	博物館 講座室	一般財団法人総合福祉研究所/EY 税理士法人 社会福祉会計簿記入門講座
31	15	水	スタジオ	アカーシャ 沖縄の農業の活性化	65	23	木	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会
32	15	水	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会	66	23	木	子供 アトリエ	合同会社ハーネクト 波多野セミナー
33	15	水	子供 アトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 定例会 1日 目	67	23	木	美術館 講座室	㈱ハウ コーヒーエネマゴ愛用者フォローアップ講 習会
34	15	水	美術館 講座室	沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会 役 員会	68	23	木	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
35	16	木	博物館 講座室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんマネジメントスクール	69	23	木	共講 有堂	沖縄県商業教育研究会(教科研究部) 第57回沖縄県商業教育研究大会 リハーサル
36	16	木	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会	70	24	金	共講 有堂	沖縄県商業教育研究会(教科研究部) 第57回沖縄県商業教育研究大会
37	16	木	子供 アトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 定例会 2日 目	71	24	金	博物 館実習室	
38	16	木	美術館 講座室	㈱琉球新報開発 生涯設計セミナー1+相談会	72	24	金	博物 館講座室	
39	17	金	博物 館実習室	タマホーム沖縄 協力業者工程会議	73	24	金	美術 館講座室	(有)ラ・ポール 今、話題のファスティングセミナー
40	17	金	博物 館実習室	MMJ358㈱ サリエ事業説明会	74	24	金	スタジオ	
41	17	金	博物 館講座室	外間経営労務管理事務所 『マイナンバー(法)制度』実務対応セミナー	75	24	金	美術 館講座室	ファーストクラス 勉強会
42	17	金	スタジオ	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	76	26 ~ 31	日	博物 館講座室	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ りっかりっかフェスタ
43	17	金	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会		月	博物 館講座室		
44	17	金	子供 アトリエ	㈱ベルシステム 24 面接会		火	博物 館講座室		
45	17	金	美術 館講座室	一般社団法人沖縄県損害保険代理店協会 損害保険大学課程 コンサルティングコース 第1回セミナー		水	博物 館講座室		
46	17	金	美術 館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部 秘書検定準1級面接 試験対策講座		木	博物 館講座室		
47	17	金	共講 有堂	(公財)沖縄県労働者福祉基金協会/就職・生活支 援パーソナル・サポート・センター 第1回 沖縄 県生活困窮者自立支援制度 人材養成研修		金	博物 館講座室		
48	18	土	博物 館講座室	沖縄工業高等専門学校 学校説明会	77	26 ~ 31	日	県民 アトリエ	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ りっかりっかフェスタ
49	18	土	スタジオ	㈱ケイショウカイ アーユルヴェーダにおけるアンチエイジング		月	県民 アトリエ		
50	18	土	県民 アトリエ	沖縄県高齢者協同組合 定例理事会		火	県民 アトリエ		
51	18	土	県民 アトリエ	一般社団法人クリスタルボールアカデミー ジャボン長崎校/ニコニコニコニ+ ふんわりしあわ せになるクリスタルボール演奏会		水	県民 アトリエ		
52	18	土	子供 アトリエ	版の会 版画教室		木	県民 アトリエ		
53	19	日	博物 館講座室	沖縄県平和大使協議会 家庭ビジョンセミナー	78	26 ~ 31	日	子供 アトリエ	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ りっかりっかフェスタ
54	19	日	県民 アトリエ	公益財団法人 JAA 人間力育成協会 親子航空教 室 1日目		月	子供 アトリエ		
55	19	日	美術 館講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から		火	子供 アトリエ		
56	19	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会(キャンセ ル100%)		水	子供 アトリエ		
57	19	日	共講 有堂	アーツピアノアカデミー 発表会		木	子供 アトリエ		
							金	子供 アトリエ	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
79	26 ~ 31	日	美術館 講座室	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきな わりっかっかフェスタ	81	26 ~ 31	日	スタジオ	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきな わりっかっかフェスタ
		月	美術館 講座室				月	スタジオ	
		火	美術館 講座室				火	スタジオ	
		水	美術館 講座室				水	スタジオ	
		木	美術館 講座室				木	スタジオ	
		金	美術館 講座室				金	スタジオ	
80	26 ~ 31	日	共講 有堂	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきな わりっかっかフェスタ	81	26 ~ 31	日	スタジオ	2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきな わりっかっかフェスタ
		月	共講 有堂				月	スタジオ	
		火	共講 有堂				火	スタジオ	
		水	共講 有堂				水	スタジオ	
		木	共講 有堂				木	スタジオ	
		金	共講 有堂				金	スタジオ	

【2015年8月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	4	火	博 物 館 講 座 室	㈱沖縄銀行 「ダイワ高格付カナダドル債オープン」運用報告 会/「ブラジル・ボンド・オープン」運用報告会	24	8	土	博 物 館 講 座 室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 平成 27 年 第 5 回理事会
					25	8	土	県 民 ア ト リ エ	JTB 沖縄労働組合 定例会
2	4	火	博 物 館 講 座 室	NTT 労組沖縄分会 分会総対話	26	8	土	美 術 館 講 座 室	フォルスクラブ/㈱イーラーニング 経済セミナー
3	4	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修	27	9	日	博 物 館 講 座 室	一般社団法人組込みシステム技術協会/特定非営利 活動法人フロム沖縄推進機構 ET ロボコン独自試走会 1
4	4	火	美 術 館 講 座 室	野原税理士事務所 第 3 回お客様支援セミナー					
5	4	火	美 術 館 講 座 室	沖縄県中小企業家同友会 那覇支部北地区 8 月 地区例会	28	9	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 ミキ・沖縄 食の勉強会
6	5	水	博 物 館 講 座 室	㈱ケイオーパートナーズ 社員の成長が会社の 成長！人が輝く組織づくりセミナー	29	9	日	子 供 ア ト リ エ	グローバルインパクトセンター 集会
7	5	水	スタジオ	㈱日本デジタル研究所 JDL システム説明会 講 習会	30	9	日	共 講 有 堂	日本肝臓学会(沖縄県) 肝臓の病気を正しく理解するために
8	5	水	共 講 有 堂	幸和農園 世界一の熱帯植物マーケット「タイ王 国」よりプラントハンターが来る	31	9	日	共 講 有 堂	琉球新報・沖縄タイムスを正す県民・国民の会 第 2 回大会
9	5	水	子 供 ア ト リ エ	㈱琉球銀行総合企画部 第 13 回 りゅうぎんキッズスクール 1 日目	32	9	日	共 講 有 堂	家庭倫理の会那覇市 役職者研修
10	6	木	子 供 ア ト リ エ	㈱琉球銀行総合企画部 第 13 回 りゅうぎんキ ッズスクール 2 日目 第 2 会場	33	10	月	共 講 有 堂	沖縄県特別支援学校中学校部 平成 27 年度第 21 回 沖縄県特別支援学校中学校部総合文化祭準備
11	5	水	県 民 ア ト リ エ	㈱琉球銀行総合企画部 第 13 回 りゅうぎんキッズスクール 1 日目	34	11	火	共 講 有 堂	沖縄県特別支援学校中学校部文化連盟 平成 27 年度 第 21 回 沖縄県特別支援学校中学校部総合文化祭
12	6	木	県 民 ア ト リ エ	㈱琉球銀行総合企画部 第 13 回 りゅうぎんキ ッズスクール 2 日目 第 2 会場	35	11	火	県 民 ア ト リ エ	シャンデール CSI 更新研修
13	6	木	博 物 館 講 座 室	㈱琉球銀行総合企画部 第 13 回 りゅうぎんキ ッズスクール 2 日目 第 1 会場	36	11	火	美 術 館 講 座 室	居酒屋甲子園 勉強会
14	7	金	博 物 館 講 座 室	㈱琉球銀行総合企画部 第 13 回 りゅうぎんキッズスクール 3 日目	37	12	水	博 物 館 講 座 室	盛和塾 定例会
15	6	木	スタジオ	ブルーコンシャス㈱ 平成 28 年度 単独説明会	38	12	水	博 物 館 講 座 室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 不動産物件の管理と不良入居者の排除問題
16	6	木	美 術 館 講 座 室	㈱琉球新報開発 生涯設計セミナー1 相談会	39	12	水	県 民 ア ト リ エ	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会
17	6	木	共 講 有 堂	㈱生活科学研究会 ケトンダイエット&ココナッツフラワー	40	12	水	美 術 館 講 座 室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外長期ジョブトレーニング事前研修
18	7	金	スタジオ	フォルスクラブ 研修会	41	12	水	美 術 館 講 座 室	早稲田イーライフ安里/㈱ジーセットメディカル 睡眠薬のなぜ？なに？について
19	7	金	県 民 ア ト リ エ	㈱ジョイント 社員研修	42	12	水	共 講 有 堂	MBS(大阪毎日放送)/沖縄タイムスサービスセンター (1万人の第九教室 サントリー 1万人の第九 沖縄クラス
20	7	金	子 供 ア ト リ エ	㈱ケイオーパートナーズ 第 3 回 IT 津梁まつり 2016 実行委員会					
21	7	金	美 術 館 講 座 室	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構沖 縄障害者職業センター 事業主支援ワークショップ	43	13	木	博 物 館 講 座 室	沖縄県金融広報委員会 授業に役立つ金融経済セミナー
22	7	金	美 術 館 講 座 室	モデアージャパン合同会社 モデアー ビジネス ベーシックセミナー	44	13	木	博 物 館 講 座 室	世界日報社那覇支局 記者を囲む会
23	7	金	共 講 有 堂	沖縄県商工労働部産業政策課/一般社団法人沖縄 県中小企業診断士協会 平成 27 年度 沖縄県知的 資産経営普及啓発シンポジウム	45	13	木	美 術 館 講 座 室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外長期ジョブトレーニング事前研修
					46	13	木	共 講 有 堂	一般社団法人沖縄しまたて協会 平成 27 年度 (一社) 沖縄しまたて協会講演会



No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
47	14	金	博物館実習室	りゅうせき商事㈱ カーブス事業説明会・面接会	83	21	金	県民アトリエ	㈱ベルシステム24 面接会
48	14	金	博物館講座室	㈱大城マネジメント研究所 事業者・事務担当者のためのマイナンバー事前準備セミナー	84	21	金	美術館講座室	沖縄県金融広報委員会 中学校・社会科教員向け研修会
49	14	金	博物館講座室	琉球法律事務所 第8回法務セミナー「労働者派遣法改正法案のポイントと対策」	85	21	金	美術館講座室	タマホーム沖縄㈱ 協力業者工程会議
50	14	金	美術館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外長期ジョブトレーニング事前研修	86	21	金	共有堂	沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課 在宅医療・介護連携をどうすすめるか
51	14	金	共有堂	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 代理店賠償セミナー	87	22	土	博物館講座室	菱川 久美 ラジウム勉強会とガン専門病院について
52	15	土	博物館講座室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	88	22	土	博物館講座室	公益財団法人 沖縄県産業振興公社 沖縄県よろず支援拠点 ゼロから始める WEB集客超活用セミナー
53	15	土	子供アトリエ	NPO 法人沖縄県立美術館治宴会 happ ゆうたくミュージアムガイド育成講座プレ講座	89	22	土	県民アトリエ	ベルソナツ LAB プロファイルプラクティショナー認定コース
54	15	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	90	23	日	博物館講座室	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会 市民公開講座 鼻の日講演会(みみ・はな、などなんでも相談補聴器相談)
55	15	土	美術館講座室	㈱海洋平和 海洋セミナー	91	23	日	県民アトリエ	ベルソナツ LAB プロファイルプラクティショナー認定コース
56	16	日	博物館実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	92	23	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
57	16	日	博物館講座室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	93	23	日	美術館講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
58	16	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	94	23	日	共有堂	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会沖縄県地方部会 市民公開講座「鼻の日講演会」
59	16	日	共有堂	㈱サン・エージェンシー 「北大東の景観」展 シンポジウム「文化財・景観・まちづくり」	95	25	火	博物館講座室	日本賃貸住宅管理ビジネス協会・全国賃貸管理ビジネス協会 支部合同定例会
60	18	火	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ りゅうぎんマネジメントスクール	96	25	火	美術館講座室	盛和塾沖縄 定例会
61	18	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修	97	26	水	博物館講座室	冒険王㈱ 県外合同企業説明会
62	18	火	美術館講座室	SG 沖縄 勉強会	98	26	水	美術館講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
63	18	火	美術館講座室	㈱琉球新報開発 連絡会議「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」	99	26	水	美術館講座室	キャピタルラボインターナショナル 為替の勉強会
64	19	水	美術館講座室	福働会 労務管理セミナー(キャンセル 50%)	100	26	水	共有堂	沖縄総合事務局 地域経済課 沖縄イノベーションフォーラム 2015
65	19	水	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー	101	27	木	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー
66	19	水	博物館講座室	JTB 沖縄労働組合 決起大会	102	29	土	美術館講座室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座
67	19	水	スタジオ	ブラスインターナショナル㈱ テラカッサマッサージの講習・血流観察	103	29	土	スタジオ	NPO 法人沖縄県立美術館治宴会 happ ゆんたくミュージアムツアーガイド育成講座
68	19	水	県民アトリエ	㈱IMI CORPORATION パワーアップ会議	104	30	日	スタジオ	フリーベル天久新都心第2管理組合 1年間の決算報告
69	19	水	共有堂	MBS(大阪毎日放送)沖縄タイムスサービスセンター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス	105	30	日	博物館実習室	琉球大学 熱帯生物園研究センター市民公開展示会
70	19	水	子供アトリエ	島尻地区美術科教諭研究会 美術科教諭研究会 (キャンセル 50%)	106	30	日	博物館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部 交流旅行打ち合わせ
71	20	木	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー	107	30	日	県民アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
72	20	木	スタジオ	野原税理士事務所 第四回お客様支援セミナー	108	30	日	子供アトリエ	文教楽器㈱ 文教ミュージックサロン エマターテ コンサート
73	20	木	県民アトリエ	クリプトコインサークル 暗号通貨勉強会	109	30	日	共有堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
74	20	木	子供アトリエ	クリプトコインサークル 暗号通貨勉強会	110	1~2	土	博物館講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
75	20	木	美術館講座室	サンワコムシステムエンジニアリング㈱ FTTH 安全会議	111	1~2	日	博物館講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
76	20	木	共有堂	公益財団法人沖縄県産業振興公社/ジェトロ沖縄/独立行政法人日本貿易振興機構沖縄貿易情報センター 輸出戦略セミナー 「食」に関する海外市場の「今」が分かる!	112	1~2	土	スタジオ	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
78	20	木	美術館講座室	全国私立保育園連盟 幹事会	113	1~2	土	共有堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
79	21	金	美術館講座室	全国私立保育園連盟 幹事会	113	1~2	日	美術館講座室	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
80	20	木	博物館講座室	沖縄県総務部税務課 平成 27 年度 滞納整理の実務研修会	113	1~2	土	共有堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
81	21	金	博物館講座室	沖縄県総務部税務課 平成 27 年度 滞納整理の実務研修会	113	1~2	日	共有堂	一般社団法人エーシーオー沖縄 2015 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわりっかりっかフェスタ
82	21	金	スタジオ	㈱モイスティス熊本販売 ①モイスティスパートナー勉強会 ②モイスティスアドバイザー研修会					

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
114	11 ~ 16	火	スタジオ	沖縄県特別支援学校中部文化連盟 平成27年度第21回 沖縄県特別支援学校中部 総合文化祭	115	9・ 16・ 23・ 30	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 写真審査会
		水	スタジオ				日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 書道審査会
		木	スタジオ				日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 美術審査会
		金	スタジオ				日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 審査会予備日①
		土	スタジオ						
		日	スタジオ						

【2015年9月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	火	スタジオ	合同会社ハーネクト 資産保全構築案件セミナー	29	6	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
2	1	火	美術館 講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 沖縄県観光危機管理実行計画 第1回策定委員会	30	6	日	共 講 有 堂	沖縄博物館友の会 平成27年度文化講演会「トート ーメーの敬称の今・昔そして未来」
3	2	水	博物館 実習室	㈱ノエビア カフェ更新研修	31	8	火	博 物 館 実 習 室	日本の農業を考える会 勉強会
4	2	水	博 物 館 講 座 室	沖縄タイムス社/タイムス住宅新聞社/沖縄タイム スサービスセンター 第29回沖縄県トータルリ ビングショウ出展者説明会	32	8	火	博 物 館 講 座 室	㈱大城マネジメント研究所 事業者・事務担当者の ためのマイナンバー事前準備セミナー
					33	8	火	博 物 館 講 座 室	EY 税理士法人 沖縄事務所 マイナンバー制度 研修会
5	2	水	スタジオ	㈱LEJ管理本部 植物ミネラル勉強会	34	8	火	博 物 館 講 座 室	盛和塾 定例会
6	2	水	美術館 講座室	GOCJAPAN カード事業セミナー	35	8	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修
7	2	水	共 講 有 堂	MBS(大阪毎日放送)/沖縄タイムスサービスセン ター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス	36	8	火	美 術 館 講 座 室	有)オーシャン・トゥエンティワン/㈱ラジカル沖縄 「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」 自立型社員育成講座 第1回
8	2	水	共 講 有 堂	福直治税理士事務所 【経営支援セミナー2015】 マイナンバー制度実務対応セミナー	37	8	火	共 講 有 堂	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 改正保険 業法セミナー
9	3	木	博 物 館 実 習 室	㈱ノエビア SKAD(スキンケアアドバイザー)更新研修	38	9	水	博 物 館 講 座 室	一般社団法人沖縄県労働基準協会/公益社団法人全 国労働基準関係団体連合会沖縄県支部 労務管理セミナー
10	3	木	博 物 館 講 座 室	冒險王(㈱) ミニシゴトフェア					
11	3	木	博 物 館 講 座 室	EY 税理士法人沖縄事務所 マイナンバー制度研 修会	39	9	水	スタジオ	㈱琉球新報開発 ひとり親世帯就職サポート事業フ ォローアップ研修
12	4	金	博 物 館 講 座 室	玉木流流装からじ結い研究所 くしの日 美ら姿 結い遊び	40	9	水	県 民 ア ト リ エ	㈱琉球新報開発 ひとり親世帯就職サポート事業フ ォローアップ研修
13	4	金	美 術 館 講 座 室	㈱マネジメントアシスタント キャッシュフロー 全国会フォロー研修(キャンセル100%)	41	9	水	子 供 ア ト リ エ	㈱琉球新報開発 ひとり親世帯就職サポート事業フ ォローアップ研修
14	4	金	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修	42	9	水	美 術 館 講 座 室	㈱大城マネジメント研究所 事業者・事務担当者のた めのマイナンバー事前準備セミナー
15	4	金	県 民 ア ト リ エ	沖縄 AES クラブ(㈱ジェフプラン(キャンセル 100%))	43	9	水	共 講 有 堂	公文教育研究会 教室発展講座
16	4	金	子 供 ア ト リ エ	㈱ベルシステム24 面接会	44	9	水	共 講 有 堂	MBS(大阪毎日放送)/沖縄タイムスサービスセン ター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス
17	4	金	美 術 館 講 座 室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 教弘委員会					
18	4	金	美 術 館 講 座 室	島尻地区公立小中学校教頭会 視察研修	45	10	木	博 物 館 実 習 室	㈱海音 ケイ素水勉強会
19	4	金	共 講 有 堂	情報労連沖縄県協議会 情報労連「9.7平和学 習会」	46	10	木	博 物 館 講 座 室	社・本郷税理士法人 沖縄支部 相続対策セミナー
20	5	土	博 物 館 実 習 室	学校法人 日本航空学園 日本航空高等学校 学校 説明会	47	10	木	博 物 館 講 座 室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 新新委員会
21	5	土	県 民 ア ト リ エ	フリーベル泊第2管理組合 総会	48	10	木	博 物 館 講 座 室	㈱オキジム/㈱平仲 世界におけるセキュリティのト レンドと企業に求められる対策
22	5	土	美 術 館 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語 教養講座	49	10	木	スタジオ	㈱みなと食品沖縄 面接会
23	5	土	美 術 館 講 座 室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 理事会	50	10	木	子 供 ア ト リ エ	㈱みなと食品沖縄 採用試験
24	5	土	共 講 有 堂	㈱沖縄タイムスサービスセンター タイムス海外ホームステイ研修(帰国交歓会)	51	10	木	美 術 館 講 座 室	ソニービジネスオペレーションズ(㈱)富士通ラー ニングメディア/沖縄県事務職育成協会 沖縄県事務職育成連携協会設立プロジェクト研修
25	6	日	博 物 館 実 習 室	㈱CA Tech Kids Tech Kids School(キャンセル 30%)					
26	6	日	博 物 館 講 座 室	ピオライズ沖縄 ピオライズ オープンセミナー	52	10	木	共 講 有 堂	SMBC 日興証券(㈱) 電話応対社内コンクール社内発 表会
27	6	日	県 民 ア ト リ エ	沖縄チーム 色の勉強会	53	11	金	博 物 館 実 習 室	アライヴンセミナー
28	6	日	子 供 ア ト リ エ	版の会 版画教室	54	11	金	博 物 館 講 座 室	沖縄タイムス社 文化事業局事業部 「沖展」運営委 員会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
55	11	金	美術館 講座室	沖縄タイムス社 文化事業局事業部 「沖展」運営委員会	91	18	金	博物館 実習室	タマホーム沖縄県 協力業者工程会議
56	11	金	スタジオ	㈱ベルシステム 24 面接会	92	18	金	博物館 講座室	㈱りゅうせきビジネスサービス 人材バンク事業「シニア人材活用セミナー」
57	12	土	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	93	18	金	スタジオ	実践倶楽部 実践哲学勉強会 1 回目
58	12	土	博物館 実習室	沖縄婦人平和懇和会 勉強会	94	18	金	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 面接会
59	12	土	博物館 講座室	ちゅらびさ会 勉強会	95	18	金	子供 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会
60	12	土	スタジオ	クリプトコインサークル 暗号通貨勉強会(キャンセル 100%)	96	18	金	美術館 講座室	実践倶楽部 実践哲学勉強会 2 回目
61	12	土	県民 アトリエ	ポストウェアウォーキング ポストウェアウォーキングレッスン	97	18	金	共講 有堂	沖縄県文化財観光スポーツ部文化振興課/文化庁平成 27 年度危機的な状況にある言語・方言サミット(沖縄大会)
62	12	土	県民 アトリエ	イメージUP プロデューサー Bloom コミュニケーション・外見磨きの勉強会					
63	12	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観る	98	19	土	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄教養講座
64	12	土	子供 アトリエ	㈱ククルビジョン 映画オーディション	99	19	土	県民 アトリエ	㈱アライヴン アライヴンセミナー
65	13	日	子供 アトリエ		100	19	土	共講 有堂	The Liam Brand ミュージックビデオの撮影
66	13	日	子供 アトリエ		101	20	日	博物館 実習室	㈱CA Tech Kids Tech Kids School(キャンセル 30%)
67	13	日	博物館 講座室	沖縄ジョン万次郎会 新刊発売記念ジョン万次郎講演会	102	20	日	博物館 講座室	実践倶楽部 実践哲学勉強会
68	13	日	博物館 講座室	Hyper- ストレート工法協会 Hyper- ストレート工法 講習会	103	20	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
69	13	日	県民 アトリエ	一般社団法人日本コミュニケーションリーダー協会 K2アカデミー4期マスタークラス	104	21	月	県民 アトリエ	㈱ククルビジョン 映画「わたしの宝もの」出演者面談
70	13	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	105	22	火	共講 有堂	リジョイス 結成 22 周年記念コンサート リハーサル
71	13	日	美術館 講座室	(有)ピビアン ガイヤの水 135 食生活について考える会	106	22	火	共講 有堂	公益社団法人沖縄県建築士会 渡辺邦夫 特別講演会「コラボレーションの時代」
72	15	火	美術館 講座室	公文エルアイエル 公文書写教室開設説明会(キャンセル 30%)	107	23	水	博物館 講座室	ピオライズ沖縄 美 body セミナー
73	15	火	博物館 講座室	沖縄タイムス/㈱エスエフシー タイムス就職フォーラム「人事・採用担当者セミナー」	108	23	水	県民 アトリエ	ベルソナツ LAB プロファイルプラクティショナー認定コース
74	15	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修	109	23	水	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
75	15	火	美術館 講座室	(有)オーシャン・トゥエンティワン/㈱ラジカル沖縄 「地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」自立型社員育成講座 第2回	110	23	水	共講 有堂	リジョイス 結成 22 周年記念コンサート
					111	25	金	博物館 実習室	漢方みず堂/(有)みなと薬品/ヴァインドラッグ 漢方講座
76	15	火	美術館 講座室	一般社団法人沖縄県労働基準協会 マイナンバー説明会	112	25	金	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 研修会
77	15	火	共講 有堂	沖縄タイムス/㈱エスエフシー タイムス就職フォーラム「人事・採用担当者セミナー」	113	25	金	美術館 講座室	アクサ生命保険㈱ 沖倉経営セミナー
78	16	水	博物館 実習室	ブラスインターナショナル㈱ テラカッサマツサージの講習・血流観察	114	26	土	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語普及協議会
79	16	水	博物館 講座室	社会保険労務士法人バテソネルマネジメント勉強会	115	26	土	博物館 講座室	爰川久美 様 ラジウムの勉強会
80	16	水	博物館 講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 教弘会議	116	26	土	県民 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画制作
81	16	水	博物館 講座室	住みよい那覇市をつくる会 報告会	117	26	土	子供 アトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 定例会
82	16	水	子供 アトリエ	㈱ケイオーパートナーズ IT 津梁祭り 2016 実行委員会	118	26	土	子供 アトリエ	沖縄ケンタマ倶楽部 ACNN(今後のエネルギー全般の勉強会)
83	16	水	共講 有堂	MBS(大阪毎日放送)/沖縄タイムスサービスセンター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス	119	26	土	共講 有堂	一般社団法人ロケーションコーディネーター協会おきなわ 海外撮影隊受入強化事業 世界を相手にするロケーションコーディネーターが見る沖縄
84	17	木	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー	120	27	日	博物館 実習室	㈱CA Tech Kids Tech Kids School(キャンセル 30%)
85	17	木	博物館 講座室	外間経営労務管理事務所 「まだ間に合うマイナンバー制度」対応セミナー	121	27	日	博物館 実習室	ソウルメイト交流会 第3回きよし式高周波誘導明想会
86	17	木	県民 アトリエ	シャンデール CSI 更新研修	122	27	日	博物館 講座室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科) 第123回 沖縄眼科集談会
87	17	木	県民 アトリエ	日本秘書クラブ沖縄支部 交流旅行の打合せ	123	27	日	博物館 講座室	沖縄産科婦人科学会/沖縄県産婦人科医会 子宮頸がんから女性を守る市民公開講座
88	17	木	子供 アトリエ	(有)エバ・グリーン エバ・グリーンゆんたく会	124	27	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
89	17	木	美術館 講座室	在沖米国総領事館 起業家講演会「シリコンバレーグリーン&コネクテッドシティの技術」	125	27	日	県民 アトリエ	T.Dance Factory バレエ&コンテンポラリーダンス At the Studio(アット ザ ステューディオ)
90	17	木	共講 有堂	沖縄総合事務局農林水産部経営課 沖縄地域農業分野における障害者の就労・雇用促進セミナー	126	27	日	子供 アトリエ	T.Dance Factory バレエ&コンテンポラリーダンス At the Studio(アット ザ ステューディオ)

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	
127	27	日	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から	140	6	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 審査会予備日②	
128	27	日	共有 講堂	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 海外短期インターンシップ成果発表会		6	日	美術館 講座室	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 審査会予備日③	
129	29	火	博物館 実習室	とまと社労士オフィス マイナンバー制度直前セミナー	141	9	水	子供 アトリエ	your'sの会 絵画研修会(キャンセル30%)	
130	29	火	スタジオ	ソニー生命保険㈱ 那覇支社 第4営業所研修会		9	木	子供 アトリエ		
131	29	火	美術館 講座室	盛和塾沖縄 定例会		9	金	子供 アトリエ		
132	29	火	美術館 講座室	一般社団法人 国際旅行業協会「ワールド・ベンチャーズ」	142	16	水	美術館 講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブトレニング事前研修	
133	30	水	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター		16	木	美術館 講座室		
134	30	水	博物館 講座室	冒険王㈱ 県外合同企業説明会		16	金	美術館 講座室		
135	30	水	スタジオ	合同会社ハーネクト 資産保全構築案件セミナー	143	25	金	スタジオ	熊谷職業和裁学院 今・時「琉服仕立&和服から琉服へのリメイク」作品展	
136	30	水	子供 アトリエ	沖縄県 BPO 産業協議会/㈱ケイオーパートナーズ 役員会		25	土	スタジオ		
137	30	水	美術館 講座室	㈱ハウ コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会		25	日	スタジオ		
138	30	水	美術館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング㈱ FTTH 安全会議						
139	30	水	共有 講堂	MBS(大阪毎日放送)沖縄タイムスサービスセンター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス						

【2015年10月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	木	博物館 講座室	公文教育研究会 那覇事務局 ていだふふぁ講演会「子どもの脳の育て方」	21	6	火	美術館 講座室	㈱丹青社 沖縄伝統工芸の未来を創るワークショップ
2	1	木	美術館 講座室	㈱みなのクリエト ビジョン研修	22	6	火	美術館 講座室	糸満克也税理士事務所 マイナンバー制度実務対応セミナー
3	1	木	共有 講堂	沖縄県観光振興課/㈱ノイズ・バリュー社 世界の「食べたい！」トレンドを沖縄に	23	6	火	美術館 講座室	VS コンサルティング合同会社 相続診断士資格取得についての説明会
4	2	金	博物館 講座室	沖縄県税務課/沖縄県市町村税徴収対策支援本部 平成27年度沖縄県自主財源確保対策研修会	24	7	水	博物館 実習室	合同会社シーナプロジェクト アライヴインセミナー
5	2	金	博物館 講座室	ブレンドルモンドオー ワールドファミリー勉強会(広告等の勉強会)	25	7	水	博物館 講座室	沖縄税務経理学院 平成27年度 OA 経理事務科(11月開講)選考試験
6	2	金	スタジオ	㈱ベルシステム 24 面接会	26	7	水	美術館 講座室	㈱求人おきなわ 2016年度求人おきなわ新卒採用試験
7	2	金	県民 アトリエ	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会	27	7	水	美術館 講座室	㈱建設システム 建設業の動向(小黒板電子化・CIM)セミナー
8	3	土	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 幼稚園 保育園指導向け講座	28	7	水	共有 講堂	MBS(大阪毎日放送)沖縄タイムスサービスセンター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス
9	3	土	子供 アトリエ	Jコスメ((有)リオラッキー) Jコスメ健康と美の勉強会					
10	3	土	美術館 講座室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 第7回 理事会	29	8	木	博物館 講座室	冒険王㈱ ミニシゴトフェア
11	3	土	共有 講堂	㈱沖縄銀行 土曜講座「心ゆたかに生きる」	30	8	木	スタジオ	ISK ジャパン ケンタマグループ勉強会(インターネットの勉強会)
12	3	土	美術館 講座室	Shines(シャインズ) 歴史講演会 古代史から見た朝鮮と日本の歴史 ＜檀君神話から大和朝廷へ＞ 1日目	31	8	木	県民 アトリエ	琉球 Belly Dance Priscilla ダンス練習
					32	8	木	美術館 講座室	税理士法人タックスサポート・イトカズ マイナンバー制度対策セミナー
13	4	日	美術館 講座室	Shines(シャインズ) 歴史講演会 古代史から見た朝鮮と日本の歴史 ＜檀君神話から大和朝廷へ＞ 2日目	33	8	木	共有 講堂	㈱IRBANK 個人投資家向け説明会
					34	9	金	博物館 実習室	沖縄県広報交流課/アドスタッフ博報堂 シンポジウム終了後の情報交換会
14	4	日	博物館 実習室	弘学館沖縄父母会 沖縄地区別懇談会	35	9	金	博物館 講座室	㈱沖縄ファミリーマート 新卒採用試験
15	4	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 ミキ沖縄 食の勉強会	36	9	金	博物館 講座室	ジブラルタ生命保険㈱沖縄支社 教弘委員会
16	4	日	美術館 講座室	家庭倫理の会那覇市 生活倫理相談士認定筆記審査	37	9	金	スタジオ	阪急交通社トラビックス 海外旅行説明会 第二会場
17	4	日	共有 講堂	NPO 法人エスパーロ 今、子ども・若者たちの間に何が起きているか!	38	9	金	美術館 講座室	阪急交通社トラビックス 海外旅行説明会 第一会場
18	4	日	共有 講堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 (APTF) 家庭講演会	39	9	金	共有 講堂	沖縄県広報交流課/㈱アドスタッフ博報堂 沖縄県・ハワイ州姉妹提携30周年記念事業 人材交流シンポジウム これからの21世紀を見据えながら
19	6	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修					
20	6	火	県民 アトリエ	㈱ブレンドルモンドオー ワールドファミリー	40	10	土	県民 アトリエ	イメージUP プロデュース Bloom 勉強会



No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
41	10	土	美術館 講座室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座	74	21	水	博物館 講座室	冒険王㈱ 県外合同企業説明会
42	10	土	博物館 講座室	㈱PB コミュニケーションズ スキルアップ研修	75	21	水	スタジオ	㈱日本デジタル研究所 JDL マイナンバーシステム説明会
	11	日	博物館 講座室		76	21	水	美術館 講座室	AIG 富士生命保険㈱ 新医療保険商品説明会
43	11	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	78	22	木	博物館 実習室	漢方みず堂/(有)みなと薬品 漢方講座
44	11	日	共有 講座室	沖縄県精神保健福祉会連合会 沖福連 家族大会 2015	79	22	木	博物館 講座室	外国人受入れ医療機関認定制度(JMIP)推進協議会事務局/㈱ニチイ学館
45	11	日	共有 講座室	日経教育グループ㈱PPS 思考開発研究会 TPS 主催 夢発表会					外国人受入れ医療機関認定制度(JMIP) 沖縄県エリア別説明会
46	12	月	共有 講座室	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱ 骨と関節の日 市民セミナー 健康日本 21 第2次 における瀬系外科学会の取り組み	80	22	木	スタジオ	ビオ倶楽部㈱ アミノ酸についての勉強会
					81	22	木	県民 アトリエ	沖縄県地域・離島課 地域おこし協力隊集落支援員 及び受け入れ自治体職員を対象とした研修会
47	12	月	3階回廊	沖縄県整形外科医会/エーザイ㈱ 骨と関節の日 市民セミナー 医療相談と骨密度測定	82	22	木	子供 アトリエ	沖縄県地域・離島課 地域おこし協力隊集落支援員 及び受け入れ自治体職員を対象とした研修会
48	14	水	博物館 講座室	盛和塾 沖縄 定例会	83	22	木	美術館 講座室	㈱ミロク情報サービス沖縄支社 会計事務所だからできる!経営判断に役立てるための 管理会計〜経営支援力を徹底的に高めるセミナー〜
49	14	水	博物館 講座室	三井生命保険㈱/住宅金融支援機構 建築士様向けフラット 35S の技術基準説明会					
50	14	水	美術館 講座室	アクサ生命保険㈱ 先進医療セミナー	84	22	木	美術館 講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 全管協 ちんたい支部 会議
51	14	水	美術館 講座室	㈱クリード沖縄 平成 27 年クリードグループ安全 衛生大会	85	22	木	共有 講座室	明治安田生命 11 月チャレンジ月間進捗研修大会
52	14	水	共有 講座室	MBS(大阪毎日放送)沖縄タイムサービスセン ター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス	86	23	金	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー
					87	23	金	博物館 実習室	那覇市文化協会 古典芸能部会運営委員会
53	14	水	共有 講座室	沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課/沖縄 広告㈱ ちゃーがんじゅう地域大賞表彰式& トークショー	88	23	金	博物館 講座室	笈川 久美(宮本) 様 ラジウム勉強会
					89	23	金	博物館 講座室	㈱大城マネジメント研究所 マイナンバー事前準備セミナー
54	15	木	博物館 実習室	ローズコーポレーション 健康セミナー	90	23	金	スタジオ	日本メナード化粧品㈱沖縄ランチ 冬のジョアレットフェア
55	15	木	博物館 講座室	沖縄県社会保険労務士会 社労士会セミナー「マイナンバー制度」について	91	23	金	県民 アトリエ	プレナスワールド 健康セミナー
56	15	木	共有 講座室	沖縄県雇用政策課/NPO 法人人財クラスタ研究会 沖縄県人材育成シンポジウム ～働きがいのあ る企業と人材育成企業認証制度～	92	23	金	美術館 講座室	泉館 真の家庭は、正しい先祖供養から
					93	23	金	美術館 講座室	㈱沖縄銀行 ノムラ日米 REIT ファンド運用報告会
57	16	金	博物館 実習室	タマホーム沖縄協力業者工程会議	94	24	土	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 第8回沖縄語幼稚園、保育園指導向け講座
58	16	金	博物館 講座室	公益社団法人北那覇法人会 消費税転嫁対策講 習会	95	24	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会 第2回研究協議会
59	16	金	博物館 講座室	アールブランニング Creator Night Vol.19 YAMATOWORKS の森田修平セミナー	96	24	土	博物館 講座室	㈱ユニヴェール 新商品発表会
60	16	金	共有 講座室	学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナル デザインアカデミー Design Exhibition2015	97	24	土	スタジオ	(有)アルソア花 アルソア化粧品 健康セミナー
61	17	土	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 幼稚園 保育園 指導者向け講座	98	24	土	美術館 講座室	ワールド・ベンチャーズ 勉強会
62	17	土	博物館 実習室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	99	25	日	博物館 講座室	一般社団法人 IT 検証産業協会 IVEC(知識)
63	18	日	博物館 実習室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会	100	25	日	博物館 講座室	サンクスアイ 健康セミナー
64	18	日	博物館 講座室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	101	25	日	スタジオ	M・ダンケ倶楽部 勉強会(エムフェイス勉強会)
65	18	日	共有 講座室	専門学校日経ビジネス 日経教育グループ講演 会 生きる力を育てる学力	102	25	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
66	18	日	3階回廊	専門学校日経ビジネス 日経教育グループ講演会	103	25	日	美術館 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
67	20	火	博物館 講座室	りゅぎんビジネスクラブ主催セミナー「継続発展 する会社をつくる 10 の鉄則」	104	25	日	共有 講座室	沖縄県保険医協会 ゆたか はじめ氏 講演会
68	20	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修	105	25	日	共有 講座室	Ma・Tsu・Ri Project 実行委員会/アララ㈱ Ma・ Tsu・Ri
69	20	火	県民 アトリエ	沖縄県雇用政策課/㈱琉球新報開発 ひとり親事業フォローアップ研修	106	27	火	博物館 実習室	(有)オーシャン 21 平成 26 年度補正予算「地域中 小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」
70	20	火	子供 アトリエ	沖縄県雇用政策課/㈱琉球新報開発 ひとり親事業フォローアップ研修	107	27	火	博物館 講座室	阪急交通社トラビックス海外旅行説明会
71	20	火	美術館 講座室	㈱琉球新報開発 連絡会議「地域中小企業・小規 模事業者人材確保等支援事業」	108	27	火	スタジオ	㈱クリフ 従業員研修
72	20	火	美術館 講座室	SG 沖縄 勉強会	109	27	火	美術館 講座室	沖縄県商工労働部/一般社団法人沖縄県中小企業診 断士協会 沖縄県飲食業成長促進支援セミナー
73	21	水	博物館 実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働セン ター 次世代経営者育成セミナー	110	27	火	美術館 講座室	阪急交通社トラビックス海外旅行説明会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
111	27	火	美術館 講座室	盛和塾沖縄 定例会	129	15 ~ 18	木	子供 アトリエ	学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナルデ ザインアカデミー Design Exhibition2015
112	28	水	博物館 講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株) 平成 27 年度 サンコム下期安全大会			金	子供 アトリエ	
113	28	水	博物館 講座室	(株)ケイオーパートナーズ 未来の産業人材育成事業合同会議			土	子供 アトリエ	
114	28	水	スタジオ	(株)海音 海音ケイ素水勉強会			日	子供 アトリエ	
115	28	水	共 有 講 堂	MBS(大阪毎日放送)/沖縄タイムスサービスセン ター(1万人の第九教室) サントリー1万人の第九 沖縄クラス	130	15 ~ 18	木	県 民 アトリエ	学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナルデ ザインアカデミー Design Exhibition2015
116	29	木	博物館 講座室	公益社団法人北那覇法人会 マイナンバー研修 会			金	県 民 アトリエ	
117	30	金	博物館 講座室	般社団法人全国専門学校教育研究会 専門学校教員向け教育力向上研修会			土	県 民 アトリエ	
118	30	金	県 民 アトリエ	ブレナスワールド 健康セミナー			日	県 民 アトリエ	
119	30	金	共 有 講 堂	(一社)沖縄しまて協会 平成 27 年度 技術環境 研究所「研究発表会」	131	15 ~ 18	木	美 術 館 講 座 室	学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナルデ ザインアカデミー Design Exhibition2015
120	30	金	エントランス ホ ール	KIFFO 実行委員会(株)クルビジョン/NPO 法人地 域サポートわかさ 第2回こども国際映画祭 i n 沖縄<KIFFO> 記者会見			金	美 術 館 講 座 室	
121	31	土	博物 館 実 習 室	フリーベル天久新都心管理組合 フリーベル天久新都心第 16 期通常総会			土	美 術 館 講 座 室	
122	31	土	博物 館 講 座 室	沖縄県キャリアセンター/㈱りゅうせきビジネス サービス 「親のためのキャリア講演会」~20 年 後の社会は?その時子どもたちにどうなってい てほしいですか?~			日	美 術 館 講 座 室	
123	31	土	スタジオ	SARA エンタープライズ 心理カウンセラー・セラピスト 養成コース	132	15 ~ 18	木	スタジオ	学校法人 KBC 学園専修学校インターナショナルデ ザインアカデミー Design Exhibition2015
124	31	土	県 民 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画制作			金	スタジオ	
125	31	土	美 術 館 講 座 室	特定非営利活動法人沖縄語普及協議会 沖縄語教養講座(幼稚園・保育園)			土	スタジオ	
126	31	土	美 術 館 講 座 室	IREM JAPAN 九州支部 IREM JAPAN 九州支部セミナー			日	スタジオ	
127	31	土	共 有 講 堂	文楽楽器(株) ヤマハ音楽教室オリエンテーシ ョン準備	133	28 ~ 30	水	美 術 館 講 座 室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブトレ ーニング事前研修
128	10 ~ 11	土 日	スタジオ スタジオ	那覇情報システム専門学校デジタルクリエイ ター科 n-cis デジタルクリエイター科作品展			木	美 術 館 講 座 室	

【2015年11月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	日	博物 館 実 習 室	SARA エンタープライズ 心理カウンセラー・セ ラピスト 養成コース	16	7	土	美 術 館 講 座 室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を観 る
2	1	日	博物 館 講 座 室	琉球大学大学院医学研究科眼科学講座・参天製薬 (株) 第 30 回 沖縄緑内障研究会	17	8	日	博物 館 講 座 室	(株)インテリジェンス・アンリミテッド インテリジ ェンス・セルフプロデュース・コーチング
3	1	日	子 供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	18	7	土	博物 館 実 習 室	一般社団法人 IT 検証産業協会 IVEC(実務)(キャン セル 50%)
4	1	日	美 術 館 講 座 室	(株)MSS オーソモレキュラー療法 研修会	19	8	日	博物 館 実 習 室	
5	1	日	共 有 講 堂	文楽楽器(株) 幼児科親子オリエンテーション& 入会おめでとうコンサート	20	8	日	スタジオ	フォルス沖縄 フォルスクラブ事業説明会
6	1	日	共 有 講 堂	(医)新美会 新垣形成外科 赤ちゃんが欲しい人のための分子栄養学	21	8	日	子 供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
7	1	日	共 有 講 堂	社会医療法人友愛会豊見城中央病院 ピンクリ ボンセミナーもっと知ってほしい乳がんのこと	22	8	日	子 供 アトリエ	FGX Press 製品説明会
8	3	火	博物 館 講 座 室	沖縄士業等ネットワーク協議会 よろず相談会	23	8	日	美 術 館 講 座 室	親と子の食と心の支援プロジェクト アンサー 新次元思考テクノロジー「ミロス」の話
9	3	火	県 民 アトリエ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ happ まつり ワークショップ	24	8	日	エントランス ホ ール	沖縄県文化振興会 平成 27 年度 沖縄県芸術文化 祭 体験教室
10	5	木	スタジオ	HiT Management(株) けん玉研修会	25	10	火	博物 館 講 座 室	沖縄県消費・くらし安全課 沖縄県 NPO プラザ主催 NPO 会計講座・税務講座
11	6	金	スタジオ	HiT Management(株) けん玉研修会	26	10	火	博物 館 講 座 室	盛和塾沖縄 定例会
12	6	金	共 有 講 堂	沖縄県文化振興会 平成 27 年度 沖縄県芸術文 化祭 表彰式 準備	27	10	火	スタジオ	(株)公文エールアイエル くもん書写教室開設説明会
13	7	土	共 有 講 堂	沖縄県文化振興会 平成 27 年度 沖縄県芸術文 化祭 表彰式	28	10	火	県 民 アトリエ	ラウダ(株) パソコン教室
14	7	土	県 民 アトリエ	ボスチュアウォーキング レッスン	29	10	火	子 供 アトリエ	j コスメ (有)リオリッキー 健康と美についての勉 強会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
15	7	土	子供アトリエ	版の会 版画教室	30	10	火	美術館講座室	ソニービジネスオペレーションズ㈱ 沖縄県事務職育成連携協会設立プロジェクト研修
31	10	火	共有講堂	沖縄税理士会 北那覇支部 年末調整説明会	65	15	日	共有講堂	日本遺跡学会 沖縄大会 2日目
32	11	水	県民アトリエ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ happまつりワークショップ	66	15	日	エントランスホール	沖縄県文化振興会 平成27年度 沖縄県芸術文化祭 体験教室
33	11	水	美術館講座室	ソニービジネスオペレーションズ㈱ 沖縄県事務職育成連携協会設立プロジェクト研修	67	17	火	博物館実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ happまつりワークショップ
34	11	水	美術館講座室	㈱ジーセットメディカル/早稲田イーライフアイランドアサト 痛みどめ薬のなぜ?~意外に知らない高齢者に使うときの注意点~	68	17	火	博物館講座室	尚学院 国際ビジネスアカデミー (SIBA) 近畿大学 豊岡短期大学 卒業研究発表
					69	17	火	博物館講座室	盛和塾沖縄 定例会
35	11	水	共有講堂	沖縄タイムスサービスセンター サントリー1万人の第九 沖縄クラス	70	17	火	スタジオ	公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会 チーフ会議
36	12	木	博物館講座室	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会 生命保険証券診断士Rセミナー	71	17	火	県民アトリエ	㈱IMI CORPORATION パワーアップ会議
37	12	木	スタジオ	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会	72	17	火	子供アトリエ	㈱ベルシステム24 研修会
38	12	木	美術館講座室	イオン琉球㈱ 社内試験	73	17	火	美術館講座室	尚学院 国際ビジネスアカデミー (SIBA) 近畿大学 豊岡短期大学 卒業研究発表
39	12	木	美術館講座室	㈱琉球新報開発 沖縄県中高年齢者再チャレンジ支援事業 相談会	74	17	火	共有講堂	一般社団法人沖縄県ビルメンテナンス協会 第11回環境衛生シンポジウム
40	13	金	博物館講座室	琉球大学医学部附属病院第一内科 沖縄県肝疾患診療連携拠点病院医療従事者向けの研修会	75	17	火	共有講堂	公益財団法人沖縄県労働福祉基金協会 労働者福祉に関する講演会
41	13	金	県民アトリエ	㈱プレナスワールド 健康セミナー	76	18	水	博物館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー
42	13	金	子供アトリエ	㈱ベルシステム24 面接会	77	18	水	博物館講座室	㈱沖縄銀行人事部研修グループ 中堅女性行員対象『キャリアアップ研修』
43	13	金	美術館講座室	ソニービジネスオペレーションズ㈱ 沖縄県事務職育成連携協会設立プロジェクト研修	78	18	水	スタジオ	㈱日本デジタル研究所 JDL マイナンバー説明会
44	13	金	共有講堂	干瀬の会 第25回講演~源氏物語を読む~	79	18	水	子供アトリエ	ブラスインターナショナル㈱ テラカッサマッサーの講習&血流観察
45	14	土	博物館実習室	シンポジウム 沖縄に国立自然史博物館設を！実行委員会 第二回シンポジウム 沖縄に国立自然史博物館設を！ ~次世代の博物館像を求めて~ 事前打ち合わせ	80	18	水	美術館講座室	沖縄総合通信事務所 信書便制度に関する説明会
					81	18	水	美術館講座室	㈱ブレンドルモンドオー ワールドファミリー
46	14	土	博物館講座室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	82	18	水	共有講堂	沖縄タイムスサービスセンター サントリー1万人の第九 沖縄クラス
47	14	土	スタジオ	㈱南日本カルチャーセンター わんぱく・ジュニア 留学 説明会	83	19	木	博物館講座室	沖縄総合事務局 総務部 公正取引室 下請取引適正化推進講習会
48	14	土	県民アトリエ	イメージUPプロデュース Bloom スキルUP 勉強会	84	19	木	県民アトリエ	ブレンドルモンドオー 勉強会
49	14	土	子供アトリエ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 第8回理事会	85	19	木	美術館講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
50	14	土	美術館講座室	日本遺跡学会 沖縄大会 1日目	86	19	木	美術館講座室	㈱大城マネジメント研究所 事業者・事務担当者のためのマイナンバー事前準備セミナー
51	14	土	美術館講座室	Astro Ninja Project(アストロ ニンジャ プロジェクト) アイヌの星座ワークショップ in 沖縄 ~うちなーぬなちぶしや、ふゆ、うみぬしじむん~	87	19	木	共有講堂	公共建築協会沖縄地区事務局 「公共建築の日」及び「公共建築月間」講演会
					88	20	金	博物館講座室	一般社団法人沖縄県発明協会 沖縄から世界に羽ばたく先端技術~夢を技術に~
52	14	土	共有講堂	埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科/沖縄コングレ 日本神経消化器病学会 第11回市民公開講座	89	20	金	美術館講座室	沖縄県商工労働部 ものづくり課 第38回 沖縄県工芸公募展 表彰式
					90	20	金	美術館講座室	タマホーム沖縄㈱ 協力業者工程会議
53	14	土	共有講堂	第二回シンポジウム 沖縄に国立自然史博物館設を！~次世代の博物館像を求めて~	91	21	土	県民アトリエ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ happまつりワークショップ
54	14	土	エントランスホール	平成27年度 沖縄県芸術文化祭 体験教室	92	21	土	美術館講座室	一般社団法人幸せ相続計画推進協会 設立記念セミナー
55	14	土	スタジオ	沖縄県文化振興会/(有)沖縄マーケットプランニング 第44回 沖縄県芸術文化祭 作品鑑賞&ワークショップ	93	21	土	共有講堂	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄 <KIFFO>前夜祭
56	15	日	スタジオ		94	22	日	博物館講座室	沖縄地学会・琉球大学合同シンポジウム「異分野融合による琉球弧の島嶼地球環境科学」
57	15	日	博物館講座室	イネイト研究会 会員セミナー	95	22	日	県民アトリエ	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄 <KIFFO>前夜祭
58	15	日	博物館講座室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	96	22	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
59	15	日	博物館講座室	㈱七田チャイルドアカデミー 「これからの時代に活躍できる強くたくましくかしこい子どもを育てるコツ」	97	22	日	子供アトリエ	特定非営利活動法人沖縄県美術館支援会 happ happまつり 控室
					98	22	日	美術館講座室	㈱ハウ コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会
60	15	日	県民アトリエ	イメージUPプロデュース Bloom スキルUP 勉強会	99	22	日	美術館講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
61	15	日	県民アトリエ	㈱かなえ 社員研修会	100	22	日	共有講堂	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄 <KIFFO>前夜祭
62	15	日	子供アトリエ	㈱かなえ 社員研修会	101	23	月	博物館講座室	三基商事㈱ ミキグループ W アップ研修
63	15	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	102	23	月	博物館講座室	沖縄県商工労働部ものづくり振興課/沖縄広告 うちなーの工芸ふれあい祭り特別講演会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
64	15	日	美術館 講座室	実践倶楽部 実践哲学の勉強会	103	23	月	県民 アトリエ	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄 <KIFFO>前夜祭
104	23	月	子供 アトリエ	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄<KIFFO>前夜祭	136	4 ~ 6	水	美術館 講座室	電子情報通信学会 アンテナ・電番、無線通信、衛星通信、無線電力伝送技術 合同研究会 第3会場
105	23	月	美術館 講座室	北星学園余市高等学校 教育講演 相談会			木	美術館 講座室	
106	23	月	共講 有堂	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄<KIFFO>前夜祭			金	美術館 講座室	
107	25	水	博物館 講座室	㈱阪急交通社 トラビックス海外旅行説明会 第一会場	137	4 ~ 6	水	博物館 講座室	電子情報通信学会 アンテナ・電番、無線通信、衛星通信、無線電力伝送技術 合同研究会 第2会場
108	25	水	スタジオ	㈱阪急交通社 トラビックス海外旅行説明会 第二会場			木	博物館 講座室	
109	25	水	県民 アトリエ	バイオ倶楽部㈱ アミノ酸説明会			金	博物館 講座室	
110	25	水	美術館 講座室	盛和塾 沖縄 定例会	138	4 ~ 6	水	共講 有堂	電子情報通信学会 アンテナ・電番、無線通信、衛星通信、無線電力伝送技術 合同研究会 第1会場
111	25	水	共講 有堂	沖縄タイムスサービスセンター サントリー1万人の第九 沖縄クラス			木	共講 有堂	
112	26	木	博実 習室	漢方みずず堂/南みなと薬品 漢方講座			金	共講 有堂	
113	26	木	美術館 講座室	ブルデンシャル生命保険㈱ 生命保険信託の説明会	139	19 ~ 22	木	スタジオ	My Piece Art Project 「小さな絵本展 Vol.6」Little Picturebook Exhibition 1回目
114	26	木	美術館 講座室	㈱プレナスワールド 健康セミナー			金	スタジオ	
115	26	木	共講 有堂	㈱琉球新報開発 生涯設計セミナーI+相談会			土	スタジオ	
116	26	木	共講 有堂	世日フォーラム沖縄 沖縄と日本の未来を考える講演会			日	スタジオ	
117	27	金	博実 習室	ブルーコンシャス㈱ 面接会	140	26 ~ 29	木	スタジオ	My Piece Art Project 「小さな絵本展 Vol.6」Little Picturebook Exhibition 2回目
118	27	金	博物館 講座室	辻・本郷税理士法人沖縄支部 経営ノート2015 出版記念セミナー(キャンセル50%)			金	スタジオ	
119	27	金	博物館 講座室	㈱JTB 沖縄 リゾートダイビングアイランド沖縄 形成事業経営者支援セミナー			土	スタジオ	
120	27	金	博物館 講座室	琉球法律事務所 第9回法務セミナー(キャンセル100%)	141	26 ~ 28	日	スタジオ	創元会沖縄 研修会
121	27	金	博物館 講座室	社会保険労務士法人なか マイナンバー個人番号通知後の事業所の実務対応			木	県民 アトリエ	
122	28	土	博実 習室	㈱ATIMA 大人の為のOTONA シリーズ			金	県民 アトリエ	
123	28	土	博実 習室	スターリジャパン 免疫勉強会	151	26 ~ 28	土	県民 アトリエ	創元会沖縄 研修会
124	28	土	美術館 講座室	GOC ジャパン カード事業セミナー			木	子供 アトリエ	
125	28	土	博物館 講座室	アステラス製薬㈱ アステラス・ピアサポート研修(沖縄)			金	子供 アトリエ	
126	29	日	博物館 講座室		152	3	土	子供 アトリエ	安岡中学校区青少年健全育成協議会青年部旗頭 青少年健全育成支援行事 2015 旗頭と音楽フェスタ
127	29	日	博実 習室	生協労連九州地連パート部会 平和学習会			火	屋外 展示場	
128	29	日	博物館 講座室	㈱Y・G テック 純金量子機能水と日向 四億年の雫の不思議			土	屋外 展示場	
129	29	日	県民 アトリエ	あいエフビー・コンサルタント YouTube 攻略セミナー	153	21	日	屋外 展示場	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄 <KIFFO>前夜祭
130	29	日	県民 アトリエ	IRC JAPAN 勉強会			日	屋外 展示場	
131	29	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会			土	3階回廊	
132	29	日	美術館 講座室	日本秘書クラブ沖縄支部 ビジネス電話実務検定試験	154	21 ~ 23	日	3階回廊	㈱クルビジョン 第2回こども国際映画祭 in 沖縄 <KIFFO>前夜祭
133	29	日	共講 有堂	APTF 真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会			月	3階回廊	
134	30	月	博物館 特別展示室	城間びんがた工房 城間びんがた三代継承展			日	エントランスホール	
135	19 ~ 23	木	博実 習室	琉球バードカービングクラブ 羽ばたけ木彫りの野鳥たち	156	22	日	エントランスホール	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ happ まつり
		金	博実 習室						
		土	博実 習室						
		日	博実 習室						
		月	博実 習室						

【2015年12月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	火	博物館 講座室	グラフィソフトジャパン㈱ GRAPHISOFT 全国ロードショー2015	4	2	水	博実 習室	㈱アライヴン/ (同) シーナプロジェクト アライヴンセミナー
2	1	火	子供 アトリエ	㈱ベルシステム24 面接会	5	2	水	博物館 講座室	㈱みたのクリエイト 第8期 決算報告会
3	1	火	共講 有堂	城間びんがた工房 城間びんがた三代継承展」関連イベント 紅型トーク	6	2	水	子供 アトリエ	フリーベル新都心第3管理組合 11期通常総会



No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
7	2	水	美術館 講座室	沖縄県キャリアセンター/株Message 最強のチームを作りたいマネージャーのための 対人力アップコーチングセミナー	39	11	金	博物館 実習室	ブラスインターナショナル(株) テラカッサマッサージ の講習&血流観察
					40	11	金	スタジオ	㈱ベルシステム 24 面接会
8	3	木	博物館 講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 健康で快適な住宅環境形成に向けた 住宅リフォー ムセミナー	41	11	金	美術館 講座室	沖縄朝鮮友好の会 アジア文化の勉強会
					42	11	金	美術館 講座室	㈱日本経営 今こそ必要! 医療機関におけるコスト マネジメント
9	3	木	共講 有堂	那覇市/那覇市文化協会 フォーラム 王朝文化 への誘い	43	11	金	共講 有堂	沖縄県/NPO 法人おきなわCAPセンター 子ども虐待防止推進事業
10	4	金	博 実習室	㈱建設システム デキスパート勉強会	44	11	金	共講 有堂	沖縄機能性食品推進モデル事業共同企業体 公益財団法人沖縄県産業振興公社 沖縄機能性食品推進モデル事業セミナー機能性表示 食品制度と沖縄のこれから
11	4	金	博 講座室	一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター 平成 27 年度 電力負荷平準化・省エネルギー社会 実現セミナー					
12	4	金	博 講座室	炭川 久美 様 ラジウムの勉強会	45	11 ~ 12	金 土	博 講座室 博 講座室	㈱ビジネスブレイクスルー(キャンセル 50%)
13	4	金	美 講座室	ソニービジネスオペレーションズ(株) 沖縄県事 務職育成連携協会設立プロジェクト研修	46	11	土	博 実習室	㈱LEJ 管理本部 植物ミネラル勉強会
14	4	金	美 講座室	AHA ユニオン沖縄 会議	47	11 ~ 12	金 土	民 アトリエ 民 アトリエ	㈱松竹撮影所 MKT 映画面接
15	4	金	共講 有堂	公益社団法人 土木学会 CIM 講演会 2015					
16	5	土	博 実習室	銘苅小学校 PTCA/NPO 法人沖縄県立美術館支援 会 happ ペーパークラフトでクリスマスオーナメントを 作ろう!!	48	12	土	スタジオ	高齢者住宅研究会沖縄支部/㈱T&T 相続対策セミナー&高齢者住宅セミナー
					49	12	土	民 アトリエ	ポスチュアウオーキング レッスン
17	5	土	博 実習室	一般社団法人日本コミュニケーションリーダー 協会 Kアカデミーマスタークラス	50	12	土	子 供 アトリエ	BBT 大学沖縄 政治経済セミナー
18	5	土	博 講座室	ワールドベンチャーズ 旅行代理店の説明会	51	12	土	美 講座室	㈱海燕社 海燕社の小さな映画会/「イザイホウ」 (1966年) 「イザイホー1990年久高島の女たち」
19	5	土	子 供 アトリエ	㈱南日本カルチャーセンター わんぱくジュニ ア留学説明会/冬のホームステイオリエンテーション	52	12	土	美 講座室	智創クラブ 勉強会
20	5	土	美 講座室	㈱アフロンジャパン事業説明会	53	12	土	共講 有堂	沖縄ツーリスト(株) 2016 ばしふいっくびいなすで行 く 第5回屋久島チャータークルーズ3日旅行説明会
21	5	土	共講 有堂	琉球大学国際サング礁研究教育ハブ形成プロジ ェクト 公開シンポジウム「琉球列島の自然講座 ーサン ゴ礁・島の生き物達・自然環境ー」	54	13	日	博 実習室	パワフルチェンジコーチング ストレスクリア養成 講座
					55	13	日	博 講座室	EIGO 那覇校 第5回 EIGO コンテスト
22	5	土	3階回廊	琉球大学国際サング礁研究教育ハブ形成プロジ ェクト 公開シンポジウム「琉球列島の自然講座 ーサン ゴ礁・島の生き物達・自然環境ー」 パネル展	56	13	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 食の勉強会
					57	13	日	民 アトリエ	沖縄伝統生薬研究会 漢方薬の勉強会
23	6	日	子 供 アトリエ	グローバルインパクトセンター集会	58	13	日	子 供 アトリエ	グローバルインパクトセンター集会
24	6	日	美 講座室	表千家同門会 沖縄県支部 表千家同門会教授者 会議	59	13	日	美 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から
25	6	日	共講 有堂	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF) 家庭講演 会	60	13	日	共講 有堂	公益社団法人久米国鼎会 平成 27 年度公開文化講 座
26	8	火	博 講座室	沖縄総合事務局総務部公正取引室 入札談合等関与行為防止法研修会	61	15	火	博 講座室	キャピタルラボインターナショナル 為替の勉強会
27	8	火	美 講座室	ソニービジネスオペレーションズ(株) 沖縄県事 務職育成連携協会設立プロジェクト研修	62	15	火	民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 面接会
28	9	水	博 講座室	沖縄労働局/㈱琉球新報開発 生涯設計セミナー II+相談会	63	15	火	美 講座室	㈱琉球新報開発 連絡会議「地域中小企業・小規模 事業者人材確保等支援事業」
29	9	水	美 講座室	ソニービジネスオペレーションズ(株) 沖縄県事 務職育成連携協会設立プロジェクト研修	64	15	火	美 講座室	SG 沖縄 勉強会
30	9	水	美 講座室	住みよい那覇市をつくる会 那覇市住民訴訟報 告会	65	15	火	スタジオ	(公財)日本賃貸住宅管理協会沖縄支部 相続支援コンサルタント(一般)講習会
31	9	水	共講 有堂	公文教育研究会 教室発展講座	66	15	火	共講 有堂	一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS) IOT セキュリティウィーク in 沖縄
32	10	木	博 実習室	沖縄労働局 女性活躍推進法等説明会・相談会	67	16	水	博 実習室	一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 CCDS 企業説明会
33	10	木	博 講座室	日本の母女性の会 会議	68	16	水	博 講座室	宮城秀敏税理士事務所 法定調書セミナー
34	10	木	スタジオ	㈱日本デジタル研究所 JDLマイナンバー管理システム 説明講習会	69	16	水	民 アトリエ	シャンデール CSI 更新研修
35	10	木	民 アトリエ	㈱琉球新報開発 ひとり親事業フォローアップ 研修	70	16	水	子 供 アトリエ	㈱ケイオーパートナーズ 「IT津梁まつり 2016 実 行委員会」
36	10	木	子 供 アトリエ	㈱琉球新報開発 ひとり親事業フォローアップ 研修	71	16	水	美 講座室	(公財)日本賃貸住宅管理協会沖縄支部 相続支援コンサルタント(一般)講習会
37	10	木	美 講座室	ソニービジネスオペレーションズ(株) 沖縄県事 務職育成連携協会設立プロジェクト研修	72	16	水	共講 有堂	一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 (CCDS) IOT セキュリティウィーク in 沖縄
38	10	木	共講 有堂	沖縄労働局 女性活躍推進法等説明会	73	17	木	博 実習室	漢方みず堂末吉店/(有)みなと薬品 漢方講座

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
74	17	木	県民 アトリエ	㈱IMI CORPORATION パワーアップ会議	100	26	土	美術館 講座室	NPO法人HIV人権ネットワーク沖縄/那覇市 人権フォーラム2015in 那覇控室
75	17	木	子供 アトリエ	㈱プレナスワールド 健康セミナー	101	26	土	共有 講座室	NPO法人HIV人権ネットワーク沖縄/那覇市 人権フォーラム2015in 那覇控室
76	17	木	共有 講座室	一般社団法人IHOT IOTセキュリティウィーク in 沖縄	102	27	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
77	17 ~ 18	木	美術館 講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブト レーニング事前研修	103	18 ~ 20	金	スタジオ	一般社団法人沖縄県発明協会 第32回未来の科学の夢絵画展(県内展)
		金	美術館 講座室				土	スタジオ	
79	18	金	博物 館実習室	タマホーム沖縄㈱協力者工程会議			日	スタジオ	
80	18	金	博物 館講座室	沖縄県文化観光スポーツ部/㈱JTB 沖縄 リゾートダイビングアイランド沖縄形成事業 ワークショップ	106	1	火	共有 講座室	沖縄県精神保健福祉連合会 第11回こころの美 術・文化フェスティバル開会式・表彰式
81	18	金	県民 アトリエ	合資会社 沖縄時事出版 東アジア出版人会議 準備委員会	107	1 ~ 6	火	県民 アトリエ	沖縄県精神保健福祉連合会 第11回こころの美術・文化フェスティバル
82	18	金	美術 館講座室	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ 第9回理事 会			水	県民 アトリエ	
83	19	土	博物 館講座室	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブト レーニング事前研修			木	県民 アトリエ	
84	19	土	県民 アトリエ	ライオンズマンション新都心管理組合 第14回 通常総会			金	県民 アトリエ	
85	19	土	美術 館講座室	沖縄の教育を良くする会 テレビ「生命の光」を 観る	108	1 ~ 7	土	県民 アトリエ	沖縄県精神保健福祉連合会 第11回こころの美術・文化フェスティバル
86	19	土	共有 講座室	一般社団法人沖縄県発明協会 第32回未来の科学の夢絵画展(県内展) 表彰式			火	スタジオ	
87	20	日	博物 館実習室	沖縄県美術家連盟 理事会			水	スタジオ	
88	20	日	県民 アトリエ	㈱ライラック 「からだと糖鎖」勉強会			木	スタジオ	
89	20	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会			金	スタジオ	
90	20	日	子供 アトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 勉強会&交流 会			土	スタジオ	
91	20	日	美術 館講座室	沖縄スクラップ&ビルドプロジェクト はじめての新次元思考テクノロジー ミロス			日	スタジオ	
92	20	日	美術 館講座室	GOC ジャパン 事業説明会	109	1 ~ 7	火	博物 館特別 展示室	城間びんかた工房 城間びんがた三代継承展
93	20	日	共有 講座室	公益社団法人才能教育研究会 沖縄地区ピアノ 科 第30回 宝くじコンサート			水	博物 館特別 展示室	
94	22	火	博物 館実習室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センタ ー 次世代経営者育成セミナー			木	博物 館特別 展示室	
95	22	火	博物 館講座室	㈱ミログ情報サービス沖縄支社 経営指標(沖縄版) システム研修会			金	博物 館特別 展示室	
96	22	火	スタジオ	㈱ベルシステム24 面接会			土	博物 館特別 展示室	
97	22	火	美術 館講座室	宜野湾市民の安全な生活を守る会 報告会			日	博物 館特別 展示室	
98	23	水	共有 講座室	宮城若狭音楽教室 発表会			月	博物 館特別 展示室	
99	26	土	県民 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画					

【2016年1月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	3	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	8	9	土	共有 講座室	女性と子ども人権啓発 i-Dear 舎 貧困から性をみ る~自分のココロとカラダを守るために法を学ぶ~
2	6	水	スタジオ	㈱ベルシステム24 研修会	9	10	日	博物 館実習室	㈱ライヴンセミナー
3	6	水	美術 館講座室	沖縄県就職・生活支援パーソナルサポートセンタ ー南部 沖縄県生活困窮者自立支援制度 人材養成研修	10	10	日	博物 館講座室	金日成・金正日主義研究沖縄連絡会/沖縄朝鮮友好の 会 初春にどう一基地をなくし平和な沖縄をー
					11	10	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 食の勉強会
4	7	木	博物 館講座室	公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)/沖縄農業研究会 アグリ技術シーズセミナーin 沖縄	12	10	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
					13	10	日	美術 館講座室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
5	7	木	スタジオ	㈱ベルシステム24 研修会	14	10	日	共有 講座室	真の家庭運動推進沖縄協議会(APTF) 第4回 家庭 講演会
6	7	木	美術 館講座室	㈱ケイオーパートナーズ 全体会議	8	9	土	共有 講座室	女性と子ども人権啓発 i-Dear 舎 貧困から性をみ る~自分のココロとカラダを守るために法を学ぶ~
7	8	金	県民 アトリエ	㈱ベルシステム24 研修会	9	10	日	博物 館実習室	㈱ライヴンセミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
15	11	月	博物館 講座室	沖縄素粒子研究会 素粒子研修会	47	20	水	共有 講堂	沖縄県/沖縄県地産地消推進県民会議/光文堂コミ ュニケーションズ 沖縄県地産地消シンポジウム 2016
16	11	月	美術館 講座室	弘学館中学校・高等学校沖縄父母会 平成 28 年 弘学館中学校・高等学校入学試験合格者説明会	48	21	木	博物館 実習室	海南日本カルチャーセンター 2016 年新報アカデミ ックホームステイ 海外派遣事業事前説明会
17	13	水	博物館 講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部 成功事例シンポジウム	49	21	木	博物館 講座室	㈱日本証券新聞リサーチ 株式講演会・IR セミナー
18	13	水	スタジオ	平仲絢子 自分の強みを知る	50	21	木	県民 アトリエ	漢方みず堂末吉店/(有)みなと薬品 漢方講座
19	13	水	県民 アトリエ	㈱アイアム 「おもてなし研修」	51	21	木	県民 アトリエ	那覇新都心ゆいスポーツ・文化クラブ 子育てワー クショップ
20	13	水	子供 アトリエ	東アジア出版人会議/合資会社 沖縄時事出版 東アジア出版人会議 準備委員会	52	21	木	美術 講座室	一般社団法人日本損害保険協会/一般社団法人沖縄 県損害保険代理業協会 平成 27 年度 損害保険大学課程 第 2 回コンサルテ ィングコースセミナー
21	13	水	美術 講座室	日本秘書クラブ沖縄支部 秘書検定準 1 級面接試 験対策講座					
22	13	水	美術 講座室	㈱アイエヌジーアットマーク沖縄 WMW 九州勉 強会 in 沖縄	53	21	木	共有 講堂	沖縄税理士会 北那覇支部 確定申告研修会
23	13	水	美術 講座室	㈱イー・ラーニング研究所 フォルスクラブ経済 セミナー	54	21	木	博物 講座室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー
24	14	木	博物 講座室	㈱・本郷税理士法人 沖縄支部 「本当は怖い相続 の失敗事例 55」出版記念セミナー	55	22	金	博物 実習室	一般社団法人日本 LCQS 生命保険診断士協会沖縄支 部 生命保険証券診断士資格習得セミナー
25	14	木	スタジオ	東アジア出版人会議/合資会社 沖縄時事出版 東アジア出版人会議 準備委員会	56	22	金	博物 講座室	イオン琉球㈱ 取締役会
26	14	木	県民 アトリエ	沖縄県雇用政策課/琉球新報開発 ひとり親事 業フォローアップ研修	57	22	金	博物 講座室	外間経営労務管理事務所 医師&産業カウンセラー によるストレスチェック実務対応セミナー
27	14	木	子供 アトリエ	沖縄県雇用政策課/琉球新報開発 ひとり親事 業フォローアップ研修	58	22	金	県民 アトリエ	㈱ベルシステム 24 面接会
28	15	金	博物 講座室	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット IPCC リポートコミュニケーター養成セミナー	59	22	金	美術 講座室	(有)オーシャン・トゥエンティワン 「地域中小企 業・小規模事業者人材確保等支援事業」内定者研修
29	15	金	スタジオ	タマホーム沖縄㈱ 協力者工程会議	60	22	金	美術 講座室	アクサ生命保険㈱ 沖縄支社 KOM
30	15	金	美術 講座室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ ゆんたくミュージアムツアーガイド育成講座	61	22	金	共有 講堂	イオン琉球㈱ 2016 年度 イオン琉球㈱方針発表会
31	15	金	共有 講堂	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部 「平成 27 年度 JA 共済全国小・中学生書道交通安 全ポスター 沖縄県コンクール表彰式 準備	62	23	土	博物 実習室	合同会社シーナプロジェクト/㈱アライヴン ㈱ア ライヴンセミナー
					63	23	土	博物 実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ 第 10 回理事 会
32	16	土	博物 講座室	縄素粒子研究会 素粒子研修	64	23	土	博物 講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会 第 3 回研究協議会
33	16	土	スタジオ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ ゆんたくミュージアムツアーガイド育成講座	65	23	土	博物 講座室	公益財団法人日本棋院/沖縄県囲碁連盟 ゆうちょ ファミリー囲碁体験教室
34	16	土	県民 アトリエ	石こう版画の会 石こう版画	66	23	土	博物 講座室	一般社団法人家庭倫理の会 那覇市 心境向上会
35	16	土	子供 アトリエ	聖書と日本フォーラム沖縄支部 第 7 回 聖書と日本フォーラム沖縄交流会	67	23	土	県民 アトリエ	生活協同組合沖縄県高齢者協同組合 定期理事会
36	16	土	美術 講座室	公益財団法人沖縄県産業振興公社 沖縄発ベンチャー企業の成長戦略～スタートアッ プのグロース戦略～	68	23	土	美術 講座室	海南日本カルチャーセンター/琉球新報社 沖縄県 PTA 連合会 わんぱく・ジュニア留学説明会
					69	23	土	美術 講座室	サンクスアイ 健康セミナー
37	16	土	共有 講堂	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部 平成 27 年度 JA 共済全国小・中学生書道交通安 全ポスター 沖縄県コンクール表彰式	70	23	土	共有 講堂	那覇市まちづくり協働推進課 楽しみながらまちづ くりを継続していくために～まちを元気にする秘訣～
					71	23	土	共有 講堂	あらかき美容医学研究所 「心を癒す医療催眠」前 世療法
38	17	日	博物 講座室	沖縄県保険協会 涙のあととは乾く～横須賀で起 きたレイプ事件の被害者が語る～ 講演会	72	24	日	博物 実習室	特定非営利活動法人音楽で「つながる」会 Caprice 0 歳児から OK! こどもも大人も楽しめる音楽会
39	17	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	73	24	日	博物 講座室	沖縄素粒子研究会 素粒子研究会
40	17	日	美術 講座室	沖縄県保健医療政策課/㈱富士通総研 地域医療 を考えるシンポジウム これからの医療の受け方 ～住み慣れた地域で医療を受け、暮らし続けるた めに	74	24	日	県民 アトリエ	あいエフピー・コンサルタント Youtube 攻略セミ ナー
					75	24	日	子供 アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
41	17	日	共有 講堂	沖縄県保健医療政策課/㈱富士通総研 地域医療 を考えるシンポジウム これからの医療の受け方 ～住み慣れた地域で医療を受け、暮らし続けるた めに	76	24	日	共有 講堂	GGC 沖縄 GGC 事業説明会
					77	26	火	博物 講座室	㈱ラジカル沖縄 「ルーキーナビ 2017」業界研究セ ミナー
42	20	水	博物 実習室	㈱LEJ 管理本部 ミネラル勉強会	78	26	火	県民 アトリエ	㈱琉球新報開発 ひとり親事業フォローアップ研修
43	20	水	博物 講座室	㈱リクルートキャリア 採用試験の手間を効率 化! 適性検査のスタンダード OP13 セミナー	79	26	火	子供 アトリエ	㈱琉球新報開発 ひとり親事業フォローアップ研修
44	20	水	県民 アトリエ	一般社団法人沖縄イーコマース協議会 高度実践型 e コマース人材育成セミナー	80	26	火	美術 講座室	㈱リクルートキャリア リクナビ 2017 採用実務セ ミナー
45	20	水	美術 講座室	泉館 真の家庭は正しい先祖供養から	81	26	火	共有 講堂	みはら保育園 おゆうぎ会 リハーサル
46	20	水	美術 講座室	沖縄県よろず支援拠点・公益財団法人沖縄県産業 振興公社 沖縄県よろず支援拠点主催 90 日であなただの会社 が儲かる 2016 セミナー	82	27	水	博物 講座室	盛和塾 定例会
					83	27	水	美術 講座室	沖縄県よろず支援拠点・公益財団法人沖縄県産業振 興公社 沖縄県よろず支援拠点主催 動画マーケテ ィングセミナー

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
84	27	水	共有講堂	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 Innovation を巻き起こせ！Google 流ワークスタイル ～クラウドを活用した、企業成長の可能性	112	20 ～ 24	水	スタジオ	総合学園ヒューマンアカデミー那覇1校 第7回卒業・進級展示会
85	28	木	博物館講義室	文教楽器(株) 2016年システム講師全体講師会			木	スタジオ	
86	28	木	博物館講義室	㈱エスエフシー メンタルヘルス社内対策セミナー			金	スタジオ	
87	28	木	県民アトリエ	Natural care gu 感じてわかる！セラピストのための解剖生理セミナー			土	スタジオ	
88	28	木	美術館講義室	㈱ハウ コーヒーエネマゴ愛用者フォローアップ講習会			日	スタジオ	
89	29	金	博物館講義室	㈱阪急交通社 阪急交通社トラビックス海外旅行説明会	113	4 ～ 21	月	美術館 企画ギャラリー1	第7回 沖縄ねりんピック かりゆし美術展
90	29	金	県民アトリエ	Natural care gu 感じてわかる！セラピストのための解剖生理セミナー			火	美術館 企画ギャラリー1	
91	29	金	美術館講義室	㈱阪急交通社 阪急交通社トラビックス海外旅行説明会			水	美術館 企画ギャラリー1	
92	29	金	美術館講義室	㈱木立 IT技術者研修オープン講座 説明会			木	美術館 企画ギャラリー1	
93	29	金	共有講堂	一般社団法人教育振興会/㈱アイ・ラーニング 新春経営講演会 朝の来ない夜はない！負債40億円からの挑戦			金	美術館 企画ギャラリー1	
94	29	金	共有講堂	沖縄県観光振興課/㈱国建 2016 沖縄 MICE シンポジウム			土	美術館 企画ギャラリー1	
95	30	土	博物館講義室	Natural care gu ホームセラピーに使える解剖学 「カラダと心はこんな風につながっているんだ！」			日	美術館 企画ギャラリー1	
96	30	土	県民アトリエ	内閣府/沖縄科学技術大学院大学 理工系女子の未来を考えよう in 沖縄 事前打合せ			月	美術館 企画ギャラリー1	
97	30	土	子供アトリエ	シーガル(株) リーダー会議			火	美術館 企画ギャラリー1	
98	30	土	美術館講義室	㈱海燕社 海燕社の小さな映画館 2016/「イヨマンテ～熊送り」(1977年)			水	美術館 企画ギャラリー1	
99	30	土	共有講堂	専門学校ITカレッジ沖縄 平成27年度 卒業研究発表会			木	美術館 企画ギャラリー1	
100	30	土	共有講堂	内閣府/沖縄科学技術大学院大学 理工系女子の未来を考えよう in 沖縄			金	美術館 企画ギャラリー1	
101	31	日	博物館実習室	沖縄素粒子研究所 素粒子研修会			土	美術館 企画ギャラリー1	
102	31	日	博物館講義室	NPO 法人統合医療と健康を考える会 第30回「ガン治療の鍵セミナー」			日	美術館 企画ギャラリー1	
103	31	日	博物館講義室	日経教育グループ(株) TPS 思考能力研究会保護者会			月	美術館 企画ギャラリー1	
104	31	日	県民アトリエ	特定非営利活動法人沖縄県福祉ネットワーク協会 臨床美術ワークショップ			火	美術館 企画ギャラリー1	
105	31	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会			水	美術館 企画ギャラリー1	
106	31	日	子供アトリエ	特定非営利活動法人沖縄県福祉ネットワーク協会 臨床美術ワークショップ			木	美術館 企画ギャラリー1	
107	31	日	美術館講義室	琉球大学国際沖縄研究所 公開ワークショップ 交差する地域文化とイノベーション—保護から自律的創生へ—			金	美術館 企画ギャラリー1	
108	31	日	共有講堂	みはら保育園 おゆうぎ会	土	美術館 企画ギャラリー1			
109	31	日	共有講堂	沖縄県高等学校PTA連合会 ネット被害防止講演会	日	美術館 企画ギャラリー1			
110	5～6・8	火	博物館講義室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構 中国・台湾ブリッジSE研修	111	15～17	水	美術館 企画ギャラリー1	
		水	博物館講義室				木	美術館 企画ギャラリー1	
		金	博物館講義室				金	美術館 企画ギャラリー1	
111	15～17	金	博物館実習室	日本竹箴技術保存研究会 第12回試作竹箴と織布展	112	18～20	土	美術館 企画ギャラリー1	
		土	博物館実習室				日	美術館 企画ギャラリー1	
		日	博物館実習室				月	美術館 企画ギャラリー1	

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)			
114	4 ~ 21	月	美術館 ギャラリー2	第7回 沖縄ねんりんピック かりゆし美術展	116	8	金	共 有 講 堂	社団福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 第7回 沖縄ねんりんピック かりゆし美術展 表彰式			
		火	美術館 ギャラリー2		117	24 ~ 31	日	美術館 ギャラリー1	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第27回 卒業・修了作品展			
		水	美術館 ギャラリー2				月	美術館 ギャラリー1				
		木	美術館 ギャラリー2				火	美術館 ギャラリー1				
		金	美術館 ギャラリー2				水	美術館 ギャラリー1				
		土	美術館 ギャラリー2				木	美術館 ギャラリー1				
		日	美術館 ギャラリー2				金	美術館 ギャラリー1				
		月	美術館 ギャラリー2				土	美術館 ギャラリー1				
		火	美術館 ギャラリー2				日	美術館 ギャラリー1				
		水	美術館 ギャラリー2				118	24 ~ 31		日	美術館 ギャラリー2	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第27回 卒業・修了作品展
		木	美術館 ギャラリー2							月	美術館 ギャラリー2	
		金	美術館 ギャラリー2							火	美術館 ギャラリー2	
		土	美術館 ギャラリー2							水	美術館 ギャラリー2	
		日	美術館 ギャラリー2							木	美術館 ギャラリー2	
水	美術館 ギャラリー2	金	美術館 ギャラリー2									
115	7	木	共 有 講 堂	社団福祉法人 沖縄県社会福祉協議会 第7回 沖縄ねんりんピック かりゆし美術展 表 彰式 準備	日	美術館 ギャラリー2						

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
119	26 ～ 31	火	スタジオ	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第27回 卒業・修了作品展	120	28	木	美術館 講座室	沖縄県立芸術大学 第27回 卒業・修了作品展 関連事業 作品鑑賞会・大学説明会
		水	スタジオ		121	29	金	子供アトリエ	沖縄県立芸術大学 第27回 卒業・修了作品展 関連事業 作品鑑賞会・大学説明会
		木	スタジオ		122	30	土	博物館 実習室	沖縄県立芸術大学 第27回 卒業・修了作品展 関連事業 ワークショップ
		金	スタジオ		123	27	水	エントランスホール	沖縄県立芸術大学 第27回 卒業・修了作品展 オープニングセレモニー
		土	スタジオ		124	31	日	エントランスホール	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第27回 卒業・修了作品展 関連催事 音楽イベント
		日	スタジオ		120	28	木	美術館 講座室	沖縄県立芸術大学 第27回 卒業・修了作品展 関連事業 作品鑑賞会・大学説明会

【2016年2月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	2	火	博物館 講座室	2016 トレンドスタイリングセミナー	32	10	水	博物館 講座室	経理担当者必見! 規制緩和でここまでできる「e-文書」活用セミナー
2	2	火	スタジオ	南部徳洲会病院 医療講演	33	10	水	県民アトリエ	eコマース活用人材育成セミナー
3	3	水	スタジオ	くもん書写教室開設説明会	34	10	水	美術館 講座室	肝炎コーディネーター研修会
4	3	水	美術館 講座室	ISO2015 規格改訂説明会	35	10	水	共講 有堂	平成28年度 沖縄県那覇国際倫理法人会 倫理経営講演会 岐路に立つ〜いま、求められる経営者の気骨〜
5	4	木	博物館 講座室	平成27年度観光人材育成プラットフォーム構築事業 観光産業中核人材リーダー育成セミナー					
6	5	金	博物館 講座室	沖縄県よろず支援拠点主催 クラウドソーシング活用セミナー	36	11	木	博物館 実習室	子どもの生活習慣を見直そう! 一子どもたちの未来のために、今やるべきことー 託児室
7	5	金	スタジオ	南部徳洲会病院 医療講演	37	11	木	博物館 講座室	子どもの生活習慣を見直そう! 一子どもたちの未来のために、今やるべきことー
8	5	金	県民アトリエ	ユニチャームメンリック(株) Dist 会議	38	11	木	県民アトリエ	臨床美術ワークショップ
9	5	金	子供アトリエ	ミネラル勉強会	39	11	木	子供アトリエ	臨床美術ワークショップ
10	5	金	共講 有堂	平成27年度 省エネルギー設備導入等促進広報事業 エネルギー使用合理化シンポジウム	40	11	木	美術館 講座室	心理学セミナー
11	5	金	共講 有堂	IDA 高等課程「卒業制作展」オープニング式典	41	11	木	共講 有堂	市民講演会「乳がんの放射線治療」
12	6	土	博物館 実習室	ラジウムの勉強会	42	12	金	博物館 講座室	Creators Night vol.20「ゲームメイキング・現場の裏側」
13	6	土	博物館 講座室	平成28年度 SIBA 留学説明会	43	12	金	博物館 講座室	マイナンバーセミナー
14	6	土	スタジオ	自然保護助成金 沖縄発表会ー南西諸島の自然を未来に残そうーパネル展示	44	12	金	スタジオ	証券診断士セミナー
15	6	土	美術館 講座室	第四回 琉球身分制研究報告会	45	12	金	共講 有堂	家主セミナー<相続対策所有不動産を法人化するメリット>
16	6	土	共講 有堂	自然保護助成金 沖縄発表会ー南西諸島の自然を未来に残そうー	46	13	土	博物館 実習室	わくわくカラーワーク♪
17	6	土	共講 有堂	「野球選手の肩関節障害に対する診断と治療・コンディショニング」講演会	47	13	土	博物館 実習室	第11回 happ 理事会
18	6	土	博物館 講座室	IDA 高等課程「卒業制作展」ファッションショー準備	48	13	土	博物館 講座室	映文連アワード2015 受賞作品上映会 in 沖縄
19	7	日	博物館 講座室	IDA 高等課程「卒業制作展」ファッションショー	49	13	土	スタジオ	一般社団法人日本LCQS 生命保険診断士協会 理事会
20	7	日	博物館 実習室	グローバルインパクトセンター 集会	50	13	土	県民アトリエ	養育費セミナー(託児室)
21	7	日	博物館 実習室	沖縄健康道場研修会	51	13	土	子供アトリエ	養育費セミナー(個別相談)
22	7	日	スタジオ	ミキ・ワールド沖縄 食の勉強会	52	13	土	美術館 講座室	養育費セミナー
23	7	日	美術館 講座室	秘書技能検定試験	53	13	土	美術館 講座室	薬が子どもの成長に与える影響
24	7	日	共講 有堂	家庭講演会	54	13	土	共講 有堂	日教弘沖縄支部 退職予定者説明会
25	9	火	博物館 講座室	万国医療津梁協議会ヘルスケアセミナー	55	14	日	博物館 実習室	日本アーユルヴェーダスクールフォローアップセミナー
26	9	火	スタジオ	フォルクスクラブ経済セミナー	56	14	日	博物館 講座室	大学コンソーシアム沖縄 県民向け公開講座
27	9	火	県民アトリエ	(株)ベルシステム 24 面接会	57	14	日	博物館 講座室	沖縄健康道場研修会
28	9	火	子供アトリエ	平成28年度秋津書道・しきなみ短歌指導資格認定試験・更新審査	58	14	日	スタジオ	日本アーユルヴェーダスクール フォローアップセミナー
29	9	火	美術館 講座室	未来の産業人材育成合同会議	59	14	日	県民アトリエ	VIP オーシャンセミナー
30	9	火	美術館 講座室	教弘委員会	60	14	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
31	10	水	博物館 講座室	盛和塾沖縄 定例会	61	14	日	美術館 講座室	40代から始めちゃおうボケ対策セミナー



No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
62	14	日	共有講堂	医療講演会	99	23	火	美術館講義室	看護師及び精神保健福祉士のためのストレスチェック実施者養成研修
63	16	火	スタジオ	ピッカーズ リペア説明会	100	24	水	博物館講義室	健康被害者委員会・雇用フォーラム実行委員会
64	16	火	美術館講義室	海外展開支援セミナー	101	24	水	県民アトリエ	ひとり親世帯就職サポート事業フォローアップ研修
65	16	火	美術館講義室	食文化に関する会議	102	24	水	子供アトリエ	ひとり親世帯就職サポート事業フォローアップ研修
66	17	水	博物館講義室	ヤマハ音楽教室 システム講師 全体研修会	103	24	水	美術館講義室	「平成26年度補正予算『地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業』」
67	17	水	スタジオ	㈱ブレナスワールド 健康セミナー	104	25	木	博物館講義室	ジョイント25周年記念講演
68	17	水	美術館講義室	サイバーセキュリティの最新動向～ずる賢い人たちは、ここを狙ってくる！～	105	25	木	県民アトリエ	シンポジウム「再生可能エネルギーを考える」～地域に根ざした再生可能エネルギーの創造に向けて～控室
69	18	木	博物館実習室	次世代経営者育成セミナー					
70	18	木	博物館講義室	ハイサイプロジェクト 合同企業説明会	106	25	木	子供アトリエ	CMS 研修
71	18	木	スタジオ	JDL システム講習説明会	107	25	木	美術館講義室	沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブトレーニング事前研修
72	18	木	県民アトリエ	漢方講座	108	25	木	共有講堂	シンポジウム「再生可能エネルギーを考える」～地域に根ざした再生可能エネルギーの創造に向けて～
73	18	木	県民アトリエ	わくわくすくすく～るワークショップ	109	26	金	博物館実習室	カフェノエビア研修
74	18	木	美術館講義室	AIG CultureWorkshop Harassment-free Workshop	110	26	金	博物館講義室	アンガーマネジメント講座
75	18	木	共有講堂	栄光学園 修学旅行 安里要江さん講演会	111	26	金	県民アトリエ	第3回アジア風水ワークショップ(風水研究会議)
76	18	木	共有講堂	DFS Journey	112	26	金	子供アトリエ	第3回アジア風水ワークショップ(風水研究会議)
77	19	金	博物館実習室	タマホーム沖縄㈱協力者工程会議	113	26	金	美術館講義室	沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブトレーニング事前研修
78	19	金	博物館講義室	第36回 那覇地区学校保健研究発表会及び講演会	114	27	土	博物館実習室	㈱アライヴンセミナー
79	19	金	スタジオ	公文エルアイエル「知っておきたい文字の知識」講座	115	27	土	博物館実習室	こく労共済 SUN テックセミナー
80	19	金	県民アトリエ	パワーアップ会議	116	27	土	博物館講義室	沖縄県海外ジョブチャレンジ事業 長期ジョブトレーニング事前研修
81	19	金	子供アトリエ	㈱ベルシステム24 面接会	117	27	土	県民アトリエ	第3回アジア風水研究会議
82	19	金	美術館講義室	H28年度 税制改正セミナー	118	27	土	子供アトリエ	第3回アジア風水研究会議
83	20	土	博物館実習室	資産運用セミナー「お金と上手につき合う術」	119	27	土	美術館講義室	ブリュッセル イン 沖縄
84	20	土	博物館講義室	沖縄県高等学校教頭・副校長会 第4回研究協議会	120	27	土	美術館講義室	謎解きゲームイベント「時空探偵と琉球の秘宝」説明会場
85	20	土	博物館講義室	企業研究やり方セミナー	121	28	日	博物館実習室	沖縄健康道場研修会
86	20	土	博物館講義室	一般社団法人国際旅行業協会「ワールド・ベンチャーズ」	122	28	日	博物館講義室	わんぱく・ジュニア留学オリエンテーション
87	20	土	スタジオ	ISI 国際学院 オープンキャンパスツアー事前説明会	123	28	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会
88	20	土	県民アトリエ	石こう版画	124	28	日	美術館講義室	パズル道場春期体験会
89	20	土	美術館講義室	テレビ「生命の光」を観る	125	24～28	水	スタジオ	第42回 沖縄県工芸振興センター展
90	20	土	共有講堂	平成27年度第2回がんフォーラム「がんと就労～事業所と働く人のためのがん治療と仕事～」			木	スタジオ	
91	21	日	博物館実習室	沖縄県美術家連盟 理事会			金	スタジオ	
92	21	日	博物館講義室	沖縄健康道場研修会			土	スタジオ	
93	21	日	県民アトリエ	一般社団法人国際旅行業協会「ワールド・ベンチャーズ」勉強会・ミーティング			日	スタジオ	
94	21	日	子供アトリエ	グローバルインパクトセンター 集会	126	1～2	月	美術館企画ギャラリー-1	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第27回卒業・修了作品展
95	21	日	美術館講義室	風通しのよい職場にするためのTA・NLPのコミュニケーション技法			火	美術館企画ギャラリー-1	
96	21	日	共有講堂	バレンタインコンサート					
97	23	火	博物館講義室	助成金で活用でIT講座説明会					
98	23	火	県民アトリエ	㈱ベルシステム24 面接会					

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
127	1 ~ 2	月	美術館 ギャラリー2	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科 第27回 卒業・修了作品展	128	24 ~ 28	水	エントランス ホール	世界児童絵画展
		火	美術館 ギャラリー2				木	エントランス ホール	
	金	エントランス ホール	土				エントランス ホール		
	日	エントランス ホール							

【2016年3月】

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
1	1	火	博物館 講座室	一般財団法人沖縄建設技術センター 平成28年度 ゆいくる材の更新申請にかかる説明会	28	11	金	スタジオ	内閣府沖縄総合事務局/ブレーン沖縄 沖縄サイバーセキュリティネットワークセミナー 事前研修
2	1	火	美術館 講座室	有限責任監査法人トーマツ・トーマツベンチャーサポート(株) 有限責任監査法人トーマツ 那覇事務所 海外展開支援セミナー					
3	2	水	博物館 講座室	グラフィソフトジャパン(株)/㈱ビッグビート GRAPHISOFT 全国ロードショー2016	30	11	金	子供 アトリエ	㈱ベルシステム 24 面接会
4	2	水	共講 有堂	沖縄県よろず支援拠点・公益財団法人沖縄県産業振興公社 沖縄県よろず支援拠点 支援事例発表セミナー	31	11	金	美術 講座室	沖縄県商工労働部ものづくり振興課/ゆいまーる沖縄(株) 沖縄県工芸製品新ニーズモデル創出事業成果発表会
5	3	木	博 習 室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー	32	11	金	共講 有堂	内閣府 沖縄総合事務局/㈱ブレーン沖縄 沖縄サイバーセキュリティネットワークセミナー
6	3	木	博 講 室	特定非営利活動法人沖縄県工芸産業協働センター 次世代経営者育成セミナー	33	12	土	スタジオ	南日本カルチャーセンター (午前)「米国高校留学説明会」/(午後)新報アカデミックホームステイ説明会
7	3	木	スタジオ	㈱ベルシステム 面接会	34	12	土	県民 アトリエ	IPS COSMETICS (株)IPS コスメティックス IPS コスメティックス説明会
8	3	木	美術 講座室	メットライフ生命 勉強会	35	12	土	美術 講座室	沖縄県自然保護・緑化推進課/沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/一般財団法人沖縄県環境科学センター 春の一日講座・サンゴとわたしのものがたり —沖縄県サンゴ礁保全再生事業シンポジウム
9	4	金	博 習 室	一般社団法人日本LCQS 生命保険診断士協会 沖縄支部 証券診断士セミナー					
10	4	金	博 講 室	アリババ(株) インターネットから始める海外市場開拓セミナー	36	12	土	共講 有堂	公益財団法人九州文化協会/沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課 第46回 九州芸術祭文学賞表彰式・記念対談
11	4	金	スタジオ	沖縄県立学校事務職員協会 第6回役員会議及び第3回理事会					
12	4	金	共講 有堂	大学コンソーシアム沖縄/沖縄県立芸術大学附属研究所 鎌倉芳太郎資料に関する講演会「鎌倉芳太郎と琉球芸術」	37	13	日	博 習 室	グローバルインパクトセンター 集会
13	4	金	共講 有堂	スベラ音楽院 ピアノ調律	38	13	日	博 講 室	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協会 第14回(平成27年度)那覇市障がい者美術展 表彰式・閉会式
14	5	土	美術 講座室	蘭科研究会(あららぎかけん けんきゅうかい) 蘭科研 沖縄班研究会	39	13	日	スタジオ	ミキワールド沖縄 食の勉強会
15	5	土	共講 有堂	スベラ音楽院 発表会	40	13	日	県民 アトリエ	沖縄伝統製薬研究会 漢方薬の勉強会
16	6	日	博 習 室	グローバルインパクトセンター 集会	41	13	日	美術 講座室	㈱ブリリアント上田 メイクアップレッスン
17	6	日	博 講 室	一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会沖縄県支部 会 市民公開講座 耳の日 講演会	42	13	日	美術 講座室	㈱メディアコミュニケーションズ 「みんなて学ぼう18歳選挙 work shop
18	6	日	美術 講座室	一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会沖縄県支部 会 市民公開講座 耳の日 講演会「耳の日相談会・補聴器相談会」	43	13	日	共講 有堂	真の家庭運動推進沖縄協議会 家庭講演会
					44	15	火	スタジオ	SPC 沖縄理美容事業協同組合 経営セミナー
19	8	火	博 講 室	フコク生命沖縄支社 住宅ローンセミナー	45	15	火	美術 講座室	モデアアジャパン合同会社 モデアアマスタープロモ認定定セミナー
20	8	火	県民 アトリエ	芭蕉布句会 俳句の勉強会	46	16	水	博 講 室	EY 税理士法人沖縄事務所 平成28年度 税制改正セミナー
21	8	火	子 供 アトリエ	㈱ジェイコスメジャパン 勉強会	47	16	水	スタジオ	ミラクリエーション沖縄 ニューベラス・スーパーフード勉強会
22	8	火	美術 講座室	㈱イー・ラーニング研究所 フォルスクラブ経済セミナー	48	16	水	県民 アトリエ	イメージ up プロデュース Bloom 勉強会(カラー、メイク復習)
23	9	水	博 講 室	シーガル(株) リーダー会議	49	16	水	子 供 アトリエ	沖縄県中小企業家同友会 eおきなワレ報告会・運営委員会
24	9	水	スタジオ	㈱LEJ 管理本部 ミネラル勉強会	50	17	木	博 講 室	㈱大城マネジメント研究所 事業主・管理監督者・責任者のための有期契約労働者の雇用管理実務
25	9	水	県民 アトリエ	ピオ倶楽部(株) トレーニング	51	17	木	スタジオ	㈱ベルシステム 24 面接会
26	9	水	美術 講座室	(有)オーシャン・トゥエンティワン 「平成26年度補正予算『地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業』」	52	17	木	美術 講座室	労働保険事務組合 福働会 福働会労務管理セミナー
					53	18	金	博 習 室	タマホーム沖縄(株) 協力者工程会議
27	9	水	共講 有堂	真喜志 早江子 グランドピアノの練習	54	18	金	博 講 室	㈱求人おきなわ 県外就職合同説明・面談会

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)
55	18	金	スタジオ	公益財団法人介護労働安定センター沖縄支部 平成27年度 第2回介護労働懇談会	88	25	金	博物館 講座室	北那覇税務署/公益社団法人北那覇法人会/沖縄税理 士会北那覇支部 決算法人説明会
56	18	金	美術 講座 室	那覇東地区宅地建物取引業者会 講演会	89	25	金	スタジオ	㈱SUNテック(こく労共済) こくみん労共済SUN テックセミナー
57	18	金	美術 講座 室	大和ライフネクスト(那覇沖縄支店) 38下期フロン トマネージャー研修会	90	25	金	美術 講座 室	澤原ひろし YouTube 完全攻略セミナー
58	18	金	共 講 有 堂	公益社団法人日本建築家協会 「ケンチク」ってなあ〜に建築文化講演会	91	25	金	共 講 有 堂	那覇市文化協会王朝禮楽部会 那覇市文化協会あけも どろ総合文化祭 琉球王朝禮楽演奏会・空手演武2016
59	19	土	博 物 館 講 座 室	沖縄の文化表象にみるジュリ(遊女)の諸相研究 プロジェクト/琉球大学教育センター シンポジ ウム 『沖縄の文化表象にみるジュリ(遊女)の諸相』	92	26	土	博 物 館 講 座 室	りゅうせき商事(株) 平成28年度経営方針発表会
					93	26	土	博 物 館 講 座 室	発川 久美(宮本) ラジウム勉強会
60	19	土	スタジオ	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合 定例理事 会	94	26	土	スタジオ	㈱海洋平和 海洋セミナー
61	19	土	子 供 ア ト リエ	「ケンチク」ってなあ〜に(卒業設計作品選奨)	95	26	土	県民ア ト リエ	こころ版画の会 こころ版画
62	19	土	美術 講座 室	㈱リアルシティーコーポレーション リアルシテ ィお客様勉強会	96	26	土	美術 講座 室	㈱海燕社 海燕社の小さな映画会2016/「イヨマン テ〜熊送り」(1977年)
63	19	土	共 講 有 堂	ピティナ那覇ミュージアムステーション/一般社 団法人全日本ピアノ指導者協会 2015年度ピティナ・ピアノステップ那覇春季地区	97	26	土	共 講 有 堂	㈱沖縄ヒューマンキャピタル 沖縄県海外ジョブチ ャレンジ事業 海外短期インターンシップ成果発表会
					98	27	日	博 物 館 講 座 室	沖縄OE研究会 勉強会
64	19	土	県 民 ア ト リエ	公益社団法人日本建築家協会 「ケンチク」 ってなあ〜に(卒業設計作品選奨ならび作品展示)	99	27	日	博 物 館 講 座 室	㈱カフーブランディング/㈱リパネス 理系進学セ ミナー
	20	日	県 民 ア ト リエ		100	27	日	スタジオ	沖縄自然医食センター 保険の勉強会
65	19	土	博 物 館 講 座 室	公益社団法人日本建築家協会 「ケンチク」てなあ〜にワークショップ(大きな 秘密基地をつくろう)	101	27	日	子 供 ア ト リエ	グローバルインパクトセンター 集会
66	20	日	博 物 館 講 座 室	同上	102	27	日	美術 講座 室	一般社団法人沖縄県美術家連盟 理事会
67	20	日	博 物 館 講 座 室	沖縄県眼科医会(琉球大学眼科) 第125回 沖縄 眼科集談会	103	27	日	美術 講座 室	㈱ハウ コーヒーエネマゴ愛用者フォローアップ講 議会
68	20	日	博 物 館 講 座 室	首里城公園友の会 首里城文化講演会「近世の琉 球人と和歌」	104	27	日	共 講 有 堂	上原 明美 第10回 ピアノ発表会
69	20	日	スタジオ	第4回沖縄マシーネンクリーグ作品展示会実行 委員会 第4回沖縄 Ma.k.作品展示会	105	29	火	博 物 館 講 座 室	茅原書藝会展関連イベント『にぎり墨体験』
70	20	日	子 供 ア ト リエ	グローバルインパクトセンター 集会	106	29	火	スタジオ	㈱JTB 沖縄 平成27年度広域連携型観光魅力創出事 業 第4回検討委員会
71	20	日	美術 講座 室	外務省/一般財団法人日本国際協力センター KAKEHASHI Project	107	29	火	県民ア ト リエ	㈱ベルシステム24 面接会
72	20	日	共 講 有 堂	沖縄リュウマチ薬研究会/ファイザー(株) 市民公開講座 沖縄県関節リュウマチセミナー〜 リュウマチに克つ〜	108	30	水	博 物 館 講 座 室	合同会社リパスイノベーション 沖縄革真塾「For the Customer」と「真空マーケット」
					109	30	水	共 講 有 堂	「戦前の沖縄本島・八重山諸島・台湾のラジオ音楽番組 における洋楽受容と郷土意識の形成」プロジェクト チーム 公開講演会 東洋音楽学会沖縄支部第65回 定例研究会 人びとの記憶と記録に残るラジオ放送
73	20	日	共 講 有 堂	音楽教室らん リトルコンサート	110	24 ~ 31	木	美術 館 画 キ ャ ラ ー 1	茅原書藝会展
74	21	月	博 物 館 講 座 室	日経教育グループ(株)/TPS 思考能力研究会 パズ ル道場春期体験会					
75	21	月	県 民 ア ト リエ	PERSONUTS/天野愛己 LABプロ コミュニケー ション					
76	21	月	子 供 ア ト リエ	特定非営利活動法人沖縄県立美術館支援会 happ 第12回 理事会					
77	21	月	共 講 有 堂	琉球放送(株) ゴッホ、モネ、セザンヌ「巨匠たち の奇跡」開催決定記念講演会					
78	21	月	共 講 有 堂	沖縄県那覇新都心倫理法人会 平成28年度 倫理経営講演会 岐路に立つ い ま求められる経営者の気骨					
79	23	水	博 物 館 講 座 室	県外企業合同説明会					
80	23	水	スタジオ	YouTube 攻略セミナー					
81	23	水	子 供 ア ト リエ	一般社団法人倫理研究所/家庭倫理の会那覇市 平成28年度 秋津書道しきみなみ短歌会指導資格認 定試験・更新審査					
82	23	水	美術 講座 室	(有)オーシャン・トゥエンティワン ミライキャリアプログラム最終プレゼン					
83	23	水	共 講 有 堂	㈱エフアンドエム 美ら海ビジネススクール創立1周年記念講演会					
84	24	木	スタジオ	沖縄県スポーツツーリズムモデル事業事務局 ㈱JTB 沖縄交流事業部営業開発第二課 平成27年度スポーツツーリズム戦略推進事業 スポーツツーリズムモデル事業 事業者共有会					
85	24	木	スタジオ	㈱イー・ラーニング研究所 フォルスクラブ経済 セミナー					
86	24	木	子 供 ア ト リエ	㈱ベルシステム24 面接会					
87	24	木	美術 講座 室	澤原ひろし YouTubu 完全攻略セミナー					

No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	No.	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者)	
111	24 ～ 31	木	美術館 企画 ギャラリー2	茅原書藝會展	113	3 ～ 6 ・ 12 ～ 13	土	子供 アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/沖縄県自然保護・緑 化推進課 おきなわサンゴ礁ウィーク 2017 年関連イベント	
		金	美術館 企画 ギャラリー2				日	子供 アトリエ		
		土	美術館 企画 ギャラリー2				土	子供 アトリエ		
		日	美術館 企画 ギャラリー2				日	子供 アトリエ		
		月	美術館 企画 ギャラリー2		114	5 ～ 13	3 ～ 6 ・ 12 ～ 13	土	エントランス ホー ル	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/沖縄県自然保護・緑 化推進課 第7回『わたしのサンゴ礁』イメージ展
		火	エントランス ホー ル							
		水	エントランス ホー ル					日	エントランス ホー ル	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/沖縄県自然保護・緑 化推進課 おきなわサンゴ礁ウィーク 2017 年関連イベント
		木	エントランス ホー ル					火	エントランス ホー ル	
		金	エントランス ホー ル					水	エントランス ホー ル	
		土	エントランス ホー ル					木	エントランス ホー ル	
日	エントランス ホー ル	金	エントランス ホー ル							
土	子供 アトリエ	土	エントランス ホー ル							
日	子供 アトリエ	日	エントランス ホー ル							
土	子供 アトリエ	土	子供 アトリエ							
日	子供 アトリエ	日	子供 アトリエ							
112	6	日	県民 アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/沖縄県自然保 護・緑化推進課 おきなわサンゴ礁ウィーク 2016 年関連イベント	114	5 ～ 13	土	エントランス ホー ル	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/沖縄県自然保護・緑 化推進課 第7回『わたしのサンゴ礁』イメージ展	

### 3. 県民ギャラリー貸出件数

No.	使用ギャラリー	開催期間	イベント名	主催者
1	県民ギャラリー1	4月1日～4月5日	岩橋格 マンダラ by Photos 展	なごみデザイン研究所
2	県民ギャラリー2	4月1日～4月5日	平成26年度 公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室 発表会	公文大里仲間・那覇真嘉比書写教室
3	県民ギャラリー1・2	5月12日～5月17日	2015 ロゼの会展	ロゼの会
4	県民ギャラリー1・2・3	5月19日～5月24日	第11回 龍賓曹源書道展	龍賓曹源書道会
5	県民ギャラリー1・2	5月26日～5月31日	第48回 書遊会 沖縄書道会展	書遊会 沖縄書道会
6	県民ギャラリー2	6月2日～6月7日	英国で学んだボタニカルアート展	志賀美恵
7	県民ギャラリー1	6月9日～6月14日	第33回沖縄広告賞展	沖縄広告協会 制作委員会
8	県民ギャラリー1・2	6月16日～6月21日	沖縄県真弓書道展	沖縄県真弓書道会
9	県民ギャラリー3	6月16日～6月25日	「定点慰霊の日」	文化の杜共同企業体
10	県民ギャラリー1・2	6月23日～6月28日	第22回 日本現代美術協会沖縄県支部展	日現会 沖縄支部
11	県民ギャラリー1・2	7月11日～7月12日	初めての文化展&書道教室・短歌教室	家庭倫理の会那覇市
12	県民ギャラリー1	7月14日～7月19日	沖縄旺玄会(絵画)小品展	沖縄旺玄会
13	県民ギャラリー3	7月14日～7月19日	60days Art therapy	宮里彩香
14	県民ギャラリー1・2・3	7月22日～7月26日	琉球ガラス×ヴェネチアングラス モダンア ートの世界	琉球ガラス工芸協業組合
15	県民ギャラリー1	7月28日～8月2日	毅彦・毅志+亘3人展	佐川毅彦
16	県民ギャラリー2	7月28日～8月2日	bitter melon	島袋零二

No.	使用ギャラリー	開催期間	イベント名	主催者
17	県民ギャラリー3	7月31日～8月2日	建築模型展	サイテクカレッジ那覇
18	県民ギャラリー1	8月4日～8月8日	筆文字あへと展	田場珠翠
19	県民ギャラリー2	8月4日～8月9日	禅画展	沖縄県禅画協会
20	県民ギャラリー1	8月14日～8月21日	北大東村の景観	北大東村/サンエージェンシー
21	県民ギャラリー2・3	8月11日～8月16日	平成27年度第21回 沖縄県特別支援学校中学校部総合文化祭	沖縄県特別支援学校中学校部文化連枝
22	県民ギャラリー2・3	8月18日～8月23日	美術の先生がつくった作品展vo13	美術の先生がつくった作品展実行委員会
23	県民ギャラリー1・2・3	8月25日～8月30日	第24回りゅうぎん紅型デザイン展	琉球銀行/アドスタッフ博報堂
24	県民ギャラリー1	8月23日	キャンドルスクールかふ～生徒作品展	㈱Fu&Ka Happiness
25	県民ギャラリー1・2・3	9月1日～9月6日	JAGDA沖縄地区グラフィックデザイン展2015 たのしいデザイン	公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 沖縄地区
26	県民ギャラリー1	9月8日～9月13日	Techura works 木彫展	Techura works
27	県民ギャラリー1・2・3	9月15日～9月21日	希望のカタチ展VI～もとぶ総合病院利用者の 造形作品展～	医療法人博寿会
28	県民ギャラリー1	9月23日～9月27日	公文書写教室浦添地区合同成果展	公文エルアイエル
29	県民ギャラリー2・3	9月26日	熱帯生物園研究センター市民公開展示会	琉球大学 熱帯生物園研究センター
30	県民ギャラリー1	9月30日	香港子ども絵画展	Un Reu De Puie Arts Work
31	県民ギャラリー1・2・3	10月1日～10月4日	デジタルデザイン展	国際電子ビジネス専門学校
32	県民ギャラリー1・2	10月6日～10月11日	沖縄県男女共同参画センターているる 女性 史展示事業	沖縄県男女共同参画センターているる
33	県民ギャラリー3	10月10日～10月11日	n-cisデジタルクリエイター科作品展	那覇情報システム専門学校
34	県民ギャラリー1・2・3	10月15日～10月18日	デザイン展	学校法人KBC学園専修学校 インターナショナルデザインアカデミー
35	県民ギャラリー1・2	10月20日～10月25日	大倫書道展	大倫書道会
36	県民ギャラリー3	10月20日～10月25日	琉球補聴器presentsブルースオズボーン「親子の 写真展」	㈱琉球補聴器
37	県民ギャラリー2・3	10月27日～11月1日	父子三人展 -それぞれの軌跡-	大嶺信孝
38	県民ギャラリー1・2・3	11月3日～11月15日	第44回 沖縄県芸術文化祭	公益財団法人沖縄県文化振興会
39	県民ギャラリー1・2・3	11月17日～11月23日	第38回 沖縄県工芸公募展	商工労働部ものづくり振興課
40	県民ギャラリー1・2	11月25日～11月29日	第12回 創元会沖縄支部展	創元会沖縄支部
41	県民ギャラリー3	11月25日～11月29日	第22回 肢体不自由児・者の作品展	社会福祉法人沖縄肢体不自由児協
42	県民ギャラリー1・2・3	12月1日～12月6日	第11回 こころの芸術・文化フェスティバル	沖縄県精神保健福祉連合会
43	県民ギャラリー1	12月8日～12月13日	城間勇美 写真展	城間勇美
44	県民ギャラリー2	12月8日～12月13日	又吉一仁展	又吉一仁
45	県民ギャラリー3	12月8日～12月13日	パッチワーク教室QuiltAlice展	パッチワーク教室QuiltAlice
46	県民ギャラリー2	12月15日～12月20日	時計文字盤～琉球織物コレクション～	沖縄芸術大学/花城美弥子
47	県民ギャラリー1	12月17日～12月20日	又吉亮太写真展「即興」	又吉亮太
48	県民ギャラリー3	12月17日～12月20日	ハートワークス臨床美術作品展	沖縄県福祉ネットワーク協会
49	県民ギャラリー1・2	12月22日～12月27日	第15回 押し花&ガラスアート合同作品展	沖縄ガイア押花会
50	県民ギャラリー1・2・3	1月15日～1月17日	平成27年度JA共済全国小・中学生書道交通安全 ポスター沖縄県コンクール展示会	全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部
51	県民ギャラリー1・2・3	1月20日～1月24日	第8回卒業・進級展示会	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校
52	県民ギャラリー1・2・3	1月26日～1月31日	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科第27 回卒業・修了作品展	沖縄県立芸術大学
53	県民ギャラリー1・2・3	2月4日～2月7日	IDA 高等課程 「卒業制作展	学) KBC学園 インターナショナルデザインアカデミー 高等課程
54	県民ギャラリー1	2月9日～2月14日	カメラ女子同好会PhotoRingグループ展「Ring」	カメラ女子同好会PhotoRing

No.	使用ギャラリー	開催期間	イベント名	主催者
55	県民ギャラリー2	2月9日～2月14日	東 邦定 写真展	東邦定
56	県民ギャラリー3	2月9日～2月14日	二ライ風 匂うて	玉城紀子
57	県民ギャラリー1・2	2月16日～2月21日	グループP展	グループP
58	県民ギャラリー3	2月16日～2月21日	写真サークル「カエル」	写真サークル「カエル」
59	県民ギャラリー1・2・3	2月24日～2月28日	第42回沖縄県工芸振興センター展	沖縄県工芸振興センター
60	県民ギャラリー1	3月1日～3月6日	岩橋 格のマンガラ展	なごみデザイン研究所
61	県民ギャラリー2	3月1日～3月6日	ウエルカルチャースクール絵画展	ウエルカルチャースクール
62	県民ギャラリー1・2・3	3月8日～3月13日	第14回（平成27年祖）那覇市障がい者美術展	一般社団法人那覇市身体障害者福祉協議会
63	県民ギャラリー1	3月15日～3月20日	新春展	一般社団法人沖縄県美術家連盟
64	県民ギャラリー3	3月15日～3月21日	「ケンチク」ってなあ～に	公益財団法人日本建築家協会
65	県民ギャラリー1・2・3	3月24日～3月31日	茅原書藝會展	茅原書藝會





# 博物館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

# I. 調査研究等の活動

## 1. 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という4つの大きな柱によって構成されている。これらは互いに相互に関連しているが、調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。当館における調査研究活動は、全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、学芸員それぞれによる個別の調査研究がある。

総合調査では、各島において自然、歴史、民俗、考古、美術工芸、建築の基礎資料の掘り起こしと収集を行ってきた。久米島（1993・1994年度）を皮切りに、波照間島（1996・1997年度）、西表島（1998～2000年度）、小浜島（2001～2003年度）、与那国島（2004～2008年度）、竹富島（2009～2011年度）で調査を行った。2012～2015年度は鳩間島・新城島・黒島での調査を完了し、報告書を刊行した。

共同研究事業としては、国立科学博物館、東京大学と共同で、南城市玉城のハナダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなわワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を調査対象とした。2012年度から沖縄振興特別推進交付金対象事業（一括交付金）「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」を立ち上げ、サキタリ洞遺跡の本調査を実施している。これまで9千年前以前のものと考えられる人骨が発見されたほか先史時代の貝器などが出土し、全国的に注目される貴重な成果が得られた。これら資料を沖縄以外で初めて公開する巡回展を同事業の発信事業として位置づけ、九州歴史資料館で「沖縄の旧石器人と人類の起源」展を開催した。

また、本年度より一括交付金により5年計画で「琉球王国文化遺産集積・再興事業」を開始し、王国ブランディングの有形無形の遺産を創出し、国内で唯一の王国文化を有した本県の文化観光の魅力を発信する。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形でも生かされている。

2015年度における学芸員個々の調査研究等の活動状況は以下のとおりである。

(園原 謙)

## 2. 博物館総合調査—鳩間島・黒島・新城島総合調査—

総合調査事業は県内離島の自然・歴史・文化について、博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島についておもに現地調査をおこない、それらの成果とともに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2012年度から、鳩間島・黒島・新城島総合調査を4年間で実施し報告書を2015年度末に刊行した。

2016年度からは3年計画で伊是名島、伊平屋島の調査を行う予定である。

### 【組織】

本調査組織は博物館班の学芸員(自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗)によって構成されるが、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマにそったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集(借用の可能性)や撮影にも努める。

### 【報告書の目次】

以下に報告書の目次を示す。本報告書は関係機関約300カ所に無料頒布した。また、一般希望者向けには弊館ホームページから、PDFファイルとしてダウンロードが可能となっている。

#### 《自然史》

仲里 健 (Takeshi NAKAZATO)

鳩間島・黒島・新城島(上地・下地)の地質…………… 1

Geology of Hatoma Island, Kuroshima Island, and Aragusuku(Kamiji・Shimoji) Island.

山崎仁也 (Jinya YAMAZAKI), 横田昌嗣 (Masatsugu YOKOTA), 知念美香 (Mika CHINEN), 仲宗根忠樹 (Tadaki NAKASONE), 比嘉清文 (Seibun HIGA), 加島幹男 (Mikio KASHIMA)

鳩間島・新城(上地・下地)島・黒島の植物相 (FLORA) …………… 13

Flora of Hatoma Island, Aragusuku (Kamiji・Shimoji) Island, and Kuroshima Island, The Yaeyama Islands.

山崎仁也 (Jinya YAMAZAKI), 松村雅史 (Masafumi MATSUMURA), 吉田和久 (Kazuhisa YOSHIDA), 力身恭二 (Kyouji RIKIMI), 目黒賢児 (Kenji MEGURO)

鳩間島・新城(上地)島・黒島の動物相 (FAUNA) —昆虫相を中心に…………… 69

Fauna of Hatoma Island, Aragusuku (Kamiji) Island, and Kuroshima Island, The Yaeyama Islands –Mainly, report about the insect fauna–

《考古》

片桐千亜紀 (Chiaki KATAGIRI), 岸本敬 (Takashi KISHIMOTO) 鳩間島・新城島(上地)の古墓調査……………	81
Investigation of old tombs in Hatomajima Island and Aragusukujima (Kamiji) Island	
山崎真治 (Shinji YAMASAKI) 伝説の土器・パナリ焼を探る……………	93
An archaeological study of the Panari-yaki pottery in the recent Aragusukujima Island	
《歴史》	
岸本弘人 (Hiroto KISHIMOTO), 石垣 忍 (Shinobu ISHIGAKI) 鳩間島・黒島・新城島における石碑・記念碑等の調査報告……………	109
The investigation report of the monument in Hatomajima Island/Kuroshima Island/Aragusukushima Island	
崎原恭子 (Kyoko SAKIHARA) 近世琉球における烽火(火立)のネットワークについて—新城島・黒島・鳩間島を中心に—……………	147
Brief notes on network of Pre-modern beacon fires in Aragusuku Island, Kuro Island, Hatoma Island	
《美術工芸》	
園原 謙 (Ken SONOHARA) 鳩間島、黒島所在・由来の三線……………	153
The Trace of Sanshins in Hatomajima and Kuroshima Islands	
與那嶺一子 (Ichiko YONAMINE) 黒島の染織概観……………	165
The outline of textile in Kuroshima Island	
《民俗》	
大湾ゆかり (Yukari OWAN) 黒島の古墓及び葬法調査……………	175
Investigation of old tombs and funeral ceremony in Kuroshima Island	

(山崎 仁也)

### 3. 博物館共同研究事業

#### ○沖縄遺産のブランド開発・発信事業

[趣旨]

歴史的・地理的要因により日本本土と異なる発達をとげた本県は、固有の文化・歴史的資源を有しながらも、本県独自の歴史や文化（沖縄遺産）は県外にまだ十分に認知されていない。特に沖縄遺産の目玉となる旧石器人骨は、日本人のルーツを解明する重要な鍵となる資料であり、日本本土では1ヶ所（静岡；浜北人）のみのところ、本県からは港川人をはじめ数多く発見されている。本県が旧石器人骨の調査場所として圧倒的に有利な立場にあることは明らかである。そこで、本事業では沖縄県立博物館・美術館のこれまでの試掘調査結果に基づいて、沖縄県南城市のサキタリ洞遺跡の発掘調査を行い、同遺跡の調査成果を利用した新たな観光資源の創出及び博物館の価値増大を図ることを目的とする。

[事業概要]

沖縄県南城市のサキタリ洞遺跡の調査区Ⅰおよび調査区Ⅱの二か所の発掘調査を進めた。Ⅰ区では、約3万年前ごろまでさかのぼる良好な堆積層が確認されており、これまでの調査で1万4千年前の旧石器と人骨や、約2万年前の貝製品を発見していた。今年度は、さらに下層の調査を進め、人類の痕跡がどのくらい古くまで遡るかを調査した。平成27年度に発掘していた遺物の整理を進め、新たに2万年前の地層から発見された貝製品を論文発表し、また、動物遺骸等の分析結果を日本人類学会や国際学会



調査区Ⅰにおける調査のようす



調査区Ⅱにおける調査のようす

(SEASIA2015)にて発表した。調査区Ⅱでは、平成27年度に発表した9千年前以前の人の骨を含む地層（Ⅶ層）の調査を進め、本人骨の埋葬状態や年代に関する調査を、化学分析等の手法を含めて進めた。

一連の調査成果について、九州歴史資料館にて出張展示を行い、この展示会に関連してメディア等の取材を通じ、広く県外へも情報発信を行った。

(藤田 祐樹)



9千年前以前の人の骨のクリーニングのようす

#### 4. 調査・研究・講演・著作論文等

園原 謙 (博物館班班長)

##### ○調査・研究等

- ・総合調査：黒島所在の三線調査等（八重山諸島黒島）（2015年4月21日～23日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：第1回絵画部会監修者会議参加のため（東京芸術大学）（2015年8月25日～26日）
- ・九州博物館協議会学芸員・事務職員研修会：平成27年度第45回九州博物館協議会秋季研修会（佐賀県唐津市）（2015年10月1日～2日）
- ・第11回JICA理事長賞授賞式（東京都市ヶ谷、JICA研究所）（2015年10月16日～17日）
- ・博物館・美術館魅力アップ事業（博物館常設展示改善事業）：梵鐘等展示調査（泉屋博古館・京都国立博物館）の展示調査（京都府）（2015年11月9日～10日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：金工部会の第2回監修者会議及び資料レファレンス（九州国立博物館）（2015年11月17日～18日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：絵画部会の第2回監修者会議及び資料調査等（九州国立博物館）（2015年11月30日～12月2日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：ベルリンダーレムの民族学博物館所蔵資料の染織品の調査、平成31年度のヨーロッパでの成果展の会場調査（ドイツ〔ベルリン、ダーレム〕、オランダ〔ライデン、アムステルダム〕）（2016年1月31日～2月7日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：絵画部会の模造復元予定資料の所有者調整、発信事業の調整（東京国立博物館等）（2016年3月14日～15日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業調査：成果品の発信事業に係る調整（九州国立博物館）（2016年3月29日～30日）

##### ○講演・学会発表等

- ・名称：おきなわ国際協力人材育成事業「沖縄県のカンボジア博物館支援プロジェクトの事業概要」  
期日：2015年7月25日  
場所：JICA沖縄国際センター ニライセンター  
依頼機関：公益社団法人青年海外協力協会
- ・名称：なずな沖縄障害者教育福祉会宿研修会「沖縄の伝統とこころー博物館資料が語りかけてくることー」  
期日：2015年6月20日  
場所：ユインチホテル南城（南城市佐敷新里）  
依頼機関：なずな学園
- ・名称：移動展in伊是名島：村ふれあい改善センター及び村立民俗資料館での展示解説会  
期間：2015年10月9日～11日  
場所：伊是名島
- ・名称：佛教大学 第29回シアター公演念仏踊りの道 ～エイサー・じゃんがら・六斎念仏～「沖縄における祖霊のへり（供養）の姿ー盆行事としてのエイサーー」  
期日：2015年11月7日  
場所：佛教大学ミュージアム（京都府）  
依頼機関：佛教大学ミュージアム
- ・名称：博物館学芸員講座「沖縄から発信する「平和文化」創造のチカラー沖縄・カンボジアの博物館づくり協力事業を通してー」  
期日：2016年1月9日
- ・名称：「資料がつなぐ大学と博物館ー研究循環型アクセスモデル」の構築にむけて」シンポジウムのパネリスト

期 間：2016年2月28日

場 所：朝日生命大手町ビル5F フクラシア東京ステーション

依頼機関：国立歴史民俗博物館

- ・名 称：沖縄県立芸術大学開学30周年記念事業 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画芸大の御宝展—ものとひとつをつくる記念講演「沖縄の三線の歴史と現在—ウチナーンチュはなぜ三線を大切にするのか?!—」

期 間：2016年2月28日

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

依頼機関：沖縄県立芸術大学

○著作論文等

- ・「沖縄の博物館—固有の歴史と戦争体験をめぐる博物館展示」『新訂 博物館展示論』放送大学教育振興会 2016年3月
- ・「鳩間島、黒島所在・由来の三線」『鳩間島・新城島・黒島 総合調査報告書』2016年3月
- ・「沖縄発の「平和文化」創造の国際協力について—沖縄・カンボジア「平和文化」創造の博物館づくり協力2009-2014—」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月

與那嶺一子（主任学芸員 美術工芸）

○調査・研究等

- ・神衣裳調査（名護博物館・恩納村博物館・北中城村教育委員会）（2015年7月3日・10月30日）
- ・琉球の工芸品調査（米国、メトロポリタン美術館・スミソニアンフリーエ美術館）（2015年11月9日～10日）
- ・染織品（織物裂）調査（南風原町立南風原文化センター）（2015年11月23日）
- ・染織品の色材分析調査（デンマテリアル色材研究所）（2016年2月9日～11日）
- ・染織品（紅型幕）調査（沖縄県立博物館・美術館）（2016年2月19日）
- ・染織品（紅型型紙）調査（沖縄県立芸術大学）（2016年2月29日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：博物館学芸員講座「“うちくい”の話 part 2」
- 期 日：2015年5月9日
- ・名 称：The workshop, Creating Bingata, Okinawa's Vibrant Textils
- 期 日：2015年11月8日
- 場 所：Japan Society（米国、NY）

○著作論文等

- ・「黒島の染織概観」『鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書』沖縄県立博物館・美術館 2016年3月
- ・「紅型の歴史」『琉球びんがた技術・技法に関する記録集』琉球びんがた事業共同組合 2016年3月
- ・「資料紹介 御辻」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月

外間 一先（主任学芸員 美術工芸）

○調査・研究等

- ・平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」  
第1回全体会議、第1回ワーキング会議（九州国立博物館）（2015年6月14～15日）  
関東地方調査情報収集（宮内庁書陵部、国文学研究資料館、東京文化財研究所）（2015年7月7～8日）  
関西地方B調査情報収集（人と未来防災センター、神戸大学震災文庫、国立民族学博物館、宮内庁正倉院）（2015年12月9～12日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業「沖縄県立博物館・美術館所蔵 朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯のCT調査」（九州国立博物館）（2015年8月4～7日）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業「久米島博物館所蔵 沈金丸櫃」（久米島博物館）（2016年1月8～9日）（室瀬和美氏同行）
- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業「沖縄県立博物館・美術館所蔵 陶器に関する蛍光X線調査及びCT調査」（沖縄県立博物館・美術館及び一般財団法人美ら島財団総合研究センター）（2015年1月12～15日、3月9日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：博物館学芸員教室「漆喰シーサーをつくろう」
- 期 日：2015年7月31日
- ・名 称：出前授業「沖縄の美術・工芸について」



期 日：2015年9月15日

依頼機関：沖縄県立球陽高等学校

・名称：博物館学芸員講座「柳宗悦と『琉球の富』そして昭和10年代の沖縄」

期 日：2016年3月12日

・名称：沖縄ソフトパワー発信事業「Okinawa Cherry Blossom Festival」紅型ワークショップ対応

期 間：2016年3月18日～20日

場 所：米国・ワシントンD.C.

依頼機関：沖縄県知事公室広報交流課

○著作論文等

・展評「中嶋鉄利退任記念展」『沖縄タイムス』 2016年1月13日

・「柳と沖縄そして工芸の現状と日本民藝館80周年」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月

大湾ゆかり（主任学芸員 民俗）

○調査・研究等

- ・毛氏護佐丸墓の清明祭調査（中城村）（2015年4月5日）
- ・国場の念仏エイサーの調査（那覇市）（2015年4月6日、8月27日）
- ・特別展に伴う葬墓制調査（勝連・宜野座）（2015年4月8日）
- ・同上（読谷村・石川市）（2015年4月14日）
- ・同上（名護市・今帰仁村）（2015年4月15日）
- ・同上（国頭村・大宜味村）（2015年4月17日～18日）
- ・同上（上米次腹門中・糸満市）（2015年5月1日）
- ・同上（那覇市）（2015年5月11日）
- ・同上（那覇市）（2015年5月28日）
- ・映像資料の保存措置調査（南風原町）（2016年2月4日）
- ・染織品の色材調査（岡山市）（2016年2月9日～11日）

○講演等

- ・名称：博物館学芸員講座「洗骨儀礼について考える」  
期 日：2015年10月14日
- ・名称：夏休み！博物館学芸員教室「アダン葉のハブグラーを作ってみよう！」  
期 日：2015年7月29日

○著作論文等

- ・『琉球弧の葬墓制—風とサンゴの弔い—』図録（編著）沖縄県立博物館・美術館 2015年9月
- ・「黒島の古墓及び葬法調査」『鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書』沖縄県立博物館・美術館 2016年3月
- ・「竹富町西表島祖納の葬墓制—特別展関連の調査報告—」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第9号 2015年3月

山崎 仁也（主任学芸員 生物）

○調査・研究等

- ・鳩間・新城島のフロラ・ファウナ（総合調査4月）
- ・オカガニ産卵降海調査（瀬長島）（2015年5月～11月、満月前後4日間、日没～2時間）
- ・H28年度企画展「目からウロコの生物実験展」企画調査  
東京 2015年10月9～13日、有限会社浜野顕微鏡、日本甲殻類学会、明治大学、東京農業大学、都立新宿高校、都立国立高校、都立両国高校  
北海道 2015年10月29日～11月1日、北海道大学、北海道立教育研究所附属理科教育センター、市立札幌大通高等学校、札幌稲雲高等学校、北海道博物館、野幌森林公園自然ふれあい交流館、札幌市豊平川サケ科学館  
福岡・山口 2016年1月7～8日、北九州市立いのちのたび博物館、岩国市立ミクロ生物館  
東京 2016年1月9～12日、日本生物教育学会  
大阪・和歌山 2016年2月18～19日、近畿大学水産研究所、きしわだ自然資料館  
兵庫・京都・大阪 2016年3月1～3日、神戸大学大学院医学研究科、生物教育研究所、京都大学総合博物館、大阪大学総合学術博物館  
千葉 2016年3月18～21日、県立船橋高校、市川自然博物館  
石垣島 2016年3月25日、株式会社ユーグレナ生産技術研究所

- ・H29年度企画展「ウィルソンの見た沖縄（仮称）」企画調査（鹿児島県立博物館）（2015年10月17～18日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：出前授業「鳩間島の生き物を調べよう！①昆虫について ②星砂について」  
期 日：2015年4月22日  
依頼機関：鳩間小中学校
- ・名 称：体験学習教室「昆虫標本づくり」  
期 日：2015年7月26日、8月22日
- ・名 称：夏休み！博物館学芸員教室「レインボーゾウリムシをつくろう！」  
期 日：2015年7月30日 博物館実習室
- ・名 称：夏休み哺乳類実験教室「マンガースの解剖と骨格標本づくり」  
期 日：2015年8月4、5、6、11日
- ・名 称：夜のやんばるの森観察会 与那覇岳  
期 日：2015年8月8日
- ・名 称：博物館学芸員講座「哺乳類のかたちと進化」  
期 日：2015年9月5日
- ・名 称：出前授業・伊是名中学校「生き物のすすめ」  
期 日：2015年9月7日  
場 所：伊是名中学校
- ・名 称：沖縄生物教育研究会宿泊研「アクティブラーニングの授業例ー両国高校の山藤先生の授業見学ー」  
期 日：2015年11月20日

○著作論文等

- ・「鳩間島・新城（上地・下地）島・黒島の植物相（FLORA）」、「鳩間島・新城（上地）島・黒島の動物相（FAUNA）ー昆虫相を中心に」『鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書』 沖縄県立博物館・美術館 2016年3月
- ・「瀬長島におけるオカガニ*Discoplax hirtipes*の産卵生態 その3」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月

石垣 忍（主任学芸員 歴史：近現代）

○講演・学会発表等

- ・名 称：出前授業「ケンパク（県博）のヒミツ、そして 学芸員って何だ!？」  
期 日：2015年7月14日  
場 所：沖縄県立コザ高等学校
- ・名 称：博物館学芸員教室「印じゃな〜い？」  
期 日：2015年7月28日
- ・名 称：出前授業「尚円王生誕600年 伊是名から「沖縄の歴史」を考えよう」  
期 日：2015年10月9日  
場 所：伊是名村立伊是名中学校
- ・名 称：学芸員講座「先生のための展示解説会 ～博物館で授業や解説をしてみたい先生のために」  
期 日：2015年11月7日
- ・名 称：出前授業「船浦中から「沖縄の歴史」を考えよう」  
期 日：2016年2月17日  
場 所：竹富町立船浦中学校

○著作論文等

- ・「鳩間島・黒島・新城島における石碑・記念碑等の調査報告」『鳩間島・新城島・黒島 総合調査報告書』 2016年3月（岸本弘人と共著）
- ・「ケンブリッジ大学所蔵の琉球古写真コレクション-ギルマールの見た琉球-」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月（片桐千亜紀と共著）

仲里 健（主任学芸員 地学）

○調査・研究等

- ・博物館総合調査（新城島）（2015年4月23日～25日）
- ・移動展講演会・ジオツアー下見に関わる調査（伊是名島）（2015年8月29日～31日）
- ・大気と気象～見えない空気の”力と技”～に関わる調査・調整  
気象台 2015年10月30日

NICT沖縄電磁波技術センター 2015年11月5日

沖縄こどもの国

2015年12月11日・22日

- ・玉陵石材調査 (2015年12月1日)
- ・凝灰岩調査 (名護市呉我) (2016年2月23日)

○講演・学会発表等

- ・名称：沖縄県立博物館・美術館 県職員研修 (IPM)  
期日：2015年4月1日
- ・名称：文化の杜 職員研修 (IPM)  
期日：2015年4月19日・27日  
依頼機関：文化の杜共同企業体 (当館指定管理者)
- ・名称：ボランティア養成講座  
期日：2015年5月16日
- ・名称：全国科学博物館協議会理事会・総会及び研究発表大会  
期日：2015年6月11～12日  
場所：東京
- ・名称：学芸員実習IPM研修  
期日：2015年6月16日
- ・名称：名護博物館友の会研修 (嘉陽層巡検)  
期日：2015年7月5日  
依頼機関：名護博物館友の会
- ・名称：夏休み！博物館学芸員教室「砂の中から宝を探せ」  
期日：2015年7月28日
- ・名称：学芸員実習IPM研修  
期日：2015年8月11日
- ・名称：常設展示室展示解説会  
期日：2015年8月13日
- ・名称：学芸員実習IPM研修 (美術館班)  
期日：2015年8月25日
- ・名称：出前授業  
期日：2015年9月16日  
依頼機関：コザ高等学校
- ・名称：移動展in伊是名における出前授業  
期日：2015年10月9日  
場所：伊是名中学校
- ・名称：移動展in伊是名における講演会「伊是名島の成り立ち ～古生代からの物語～」  
期日：2015年10月10日  
場所：伊是名村産業支援センター
- ・名称：移動展in伊是名におけるジオツアー  
期日：2015年10月10日  
場所：伊是名島
- ・名称：バックヤードツアー  
期日：2015年11月14日
- ・名称：学芸員実習 (宜野座村ジオツアー)  
期日：2015年12月5日
- ・名称：全国科学博物館協議会理事会・総会及び研究発表大会  
期日：2016年2月25日、27日  
場所：富山

○著作論文等

- ・「鳩間島・黒島・新城島 (上地・下地) の地質」『鳩間島・黒島・新城島総合調査』 沖縄県立博物館・美術館 2016年3月

藤田 祐樹 (主任 人類)

○調査・研究等

- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る研究調整 (東京) (2015年4月6～7日)
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る研究調整 (東京) (2015年8月26～27日)

- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報発信（東京）（2015年10月10～12日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報発信（東京）（2015年12月12～13日）
- ・化石シカ研究に関する比較資料調査（千葉県立中央博物館）（2016年2月22～25日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：博物館学芸員講座「ハトはなぜ首を振って歩くのか」  
期 日：2015年7月18日
- ・名 称：ハトの“首振り”の謎にせまる！  
期 日：2015年10月3日  
講演会名：岩波科学ライブラリー刊ハトはなぜ首を振って歩くのか発売記念トークイベント  
場 所：ジュンク堂那覇店
- ・名 称：サキタリ洞遺跡I区の更新世堆積層より得られた動物遺存体  
期 日：2015年10月12日  
講演会名：第69回日本人類学会大会、シンポジウムS6「洞窟遺跡の新視線（骨考古学分科会）」  
場 所：産総研臨界副都心センター、東京
- ・名 称：講演「旧石器時代の沖縄を訪ねて」  
期 日：2015年11月18日  
講演会名：OISTオープンキャンパス
- ・名 称：Late Pleistocene lifestyle adaptive to the island in Okinawa.  
期 日：2015年12月12～13日  
講演会名：SEASIA2015 Conference.  
場 所：京都国際会館、京都
- ・名 称：出前授業「遺跡を調べて考える、大昔のヒトと暮らし」  
期 日：2016年3月2日  
場 所：伊是名小学校
- ・名 称：出前授業「港川人と沖縄の旧石器時代」「動物の体とヒトの体」  
期 日：2016年3月3日  
場 所：伊是名中学校

○著作論文等

- ・Mugino Ozaki Kubo, Eisuke Yamada, Masaki Fujita, Ituro Oshiro. (2015) Paleocological reconstruction of Late Pleistocene deer from the Ryukyu Islands, Japan: combined evidence of mesowear and stable isotope analyses. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology* 435
- ・「リュウキュウシカ研究における近年の成果と課題」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月（久保麦野と共著）
- ・『岩波科学ライブラリー ハトはなぜ首を振って歩くのか？』岩波書店 2015年4月
- ・「丁寧に考えるということ」『アリストテレス全集』10月報 岩波書店 2016年3月
- ・コラム随筆喫茶「今日も学芸員は頭を悩ませる」西日本新聞 2016年2月
- ・「広辞苑を3倍楽しむ 第82回 豆鉄砲」『科学』8月号 岩波書店 2015年7月

片桐 千亜紀（主任学芸員 考古）

- ・宜名真沖海底遺跡調査（国頭村）（2015年4月12～13日）
- ・「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上」に伴う氷見調査（富山県）（2015年4月20～23日）  
依頼機関：総合地球環境学研究所
- ・「沖縄の水中文化遺産と『海底遺跡ミュージアム』総合プロジェクト」に伴う宮古島水中文化遺産調査（宮古島市）（2015年5月30日～6月3日）  
依頼機関：東海大学プロジェクト研究
- ・白保竿根田原洞穴遺跡発掘調査（石垣市）（2015年6月16～18日）  
依頼機関：国立科学博物館
- ・国立民族学博物館共同研究「アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク社会の人類史的研究－資源利用と物質文化の時空間比較」（大阪府）（2015年6月20～22日）  
依頼機関：国立民族学博物館
- ・「マルチビーム測深技術を用いた浅海底地形学の開拓と防災・環境科学への応用」に伴うエモンズ調査（本部町）（2015年6月27～30日）  
依頼機関：九州大学
- ・水納沖海底遺跡調査（本部町水納島）（2015年7月14日）

- ・宜名真沖海底遺跡調査（国頭村）（2015年7月15日）
- ・「墓制展」資料借用（徳之島伊仙町）（2015年7月23～27日）
- ・「ウォーラシア海域と環太平洋域における人類移住・海洋適応・物質文化の比較研究」に伴うインドネシア調査（インドネシア共和国）（2015年7月30日～9月2日）  
依頼機関：東海大学
- ・「沖縄海域の沈没船遺跡の調査と保存活用を通じた水中文化遺産の国際研究体制の開拓と確立のための基礎研究」に伴うイギリス・イタリア調査（イギリス・イタリア）（9月26～10月6日）
- ・移動展in伊是名村（伊是名村）（2015年10月7～14日）
- ・国立民族学博物館共同研究「アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク社会の人類史的研究－資源利用と物質文化の時空間比較」（大阪府）（2015年10月25～27日）  
依頼機関：国立民族学博物館
- ・「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上」に伴う屋良部沖海底遺跡調査（石垣市）（2015年11月3～8日）  
依頼機関：総合地球環境学研究所
- ・徳之島面縄海域水中文化遺産調査1（徳之島伊仙町）（2015年11月15～19日）  
依頼機関：伊仙町教育委員会
- ・沖縄県博物館協議会及び奄美大島墓制等調査（奄美市・瀬戸内町・宇検村）（2015年11月26～29日）
- ・プロビデンス号調査（北海道室蘭市）（2015年12月3～6日）
- ・SEASIA2015 Conference, International Conference Center, Kyoto, Japan.（京都）（2015年12月12～14日）  
依頼機関：東海大学
- ・平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業に伴う東北地方調査情報収集（東北歴史博物館、奥松島縄文村歴史資料館、石巻市文化財仮設収蔵庫、東北大学災害科学国際研究所）（2016年1月6～8日）  
依頼機関：九州国立博物館
- ・徳之島面縄海域水中文化遺産調査2（徳之島伊仙町）（2016年1月9～13日）  
依頼機関：伊仙町教育委員会
- ・シンポジウム「東アジア島嶼沿岸域における広領域学際研究」（福岡市・九州大学）（2016年1月22～24日）  
依頼機関：九州大学
- ・沖縄博物館友の会「カンボジア研修」（カンボジア王国）（2016年2月16～21日）  
依頼機関：沖縄博物館友の会
- ・移動展に伴う事前調整（座間味島）（2016年2月25～26日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展示撤収（福岡市・九州歴史資料館）（2016年2月28日～3月2日）
- ・「地図展」に伴うイギリス資料調査（イギリス・大英図書館他）（2016年3月2日～9日）
- ・「墓制展」に伴う資料返却（徳之島伊仙町）（2016年3月10～12日）
- ・講演会「沖縄の海と水中文化遺産の魅力」に伴う与那国出張（与那国町）（2016年3月15日～16日）
- 講演・学会発表等
  - ・名 称：沖縄歴史教育入門講座「先史沖縄の自然人類学」  
期 日：5月28日
  - ・名 称：放送大学面接授業「見えてきた琉球列島旧石器時代」（第7回沖縄の先史時代人骨調査／第8回八重山の水中文化遺産）  
期 日：2015年6月7日  
場 所：大濱信泉記念館（石垣市）  
依頼機関：放送大学
  - ・名 称：Maritime History of Anglo-Japanese Cultural Interaction—Underwater Archaeology of the British Wrecks in Okinawa（中西裕見子と連名）  
場 所：イギリス・ダラム大学 オリエンタル博物館／ロンドン  
期 日：2015年9月28日／29日
  - ・名 称：Late Pleistocene lifestyle adaptive to the island in Okinawa.（藤田祐樹・山崎真治と連名）  
期 日：2015年12月12～13日  
場 所：京都国際会館  
学会名等：SEASIA2015 Conference, International Conference Center, Kyoto, Japan.
  - ・名 称：The First Colonizations and Maritime Adaptation in Northern Maluku Islands during the late Pleistocene and Holocene（小野林太郎、Fadhila Aziz、Adhi Agus Oktavianas、田中和夫と連名）



期 日：2015年12月12～13日

場 所：京都国司会館

学会名等：SEASIA2015 Conference, International Conference Center, Kyoto, Japan.

依頼機関：東海大学

- ・名 称：「琉球列島：サンゴ礁域の水中文化遺産～マルチビームによる遺跡の可視化～」

期 日：2016年1月23～24日

場 所：九州大学西新プラザ

学会名等：シンポジウム「東アジア島嶼沿岸域における広領域学際研究」

依頼機関：九州大学

- ・名 称：学芸員講座「考古担当学芸員の海外探訪記」

期 日：2016年2月6日

場 所：博物館講座室

- ・名 称：「沖縄の海と水中文化遺産の魅力」

期 日：2016年3月15日

場 所：与那国産業支援センター

依頼機関：与那国町教育委員会

#### ○著作論文等

- ・「Discovery of Iron Grapnel Anchors in Early Modern Ryukyu and Management of Underwater Cultural Heritage in Okinawa, Japan」『The International Journal of Nautical Archaeology』2016年（小野林太郎・菅浩伸・長尾正之・中西裕見子・山本祐司・武村史明・坂上憲光との共著）
- ・「鳩間島・新城島（上地）の古墓調査」『鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書』2016年3月（岸本敬との共著）
- ・「ケンブリッジ大学所蔵の琉球古写真コレクション『シーゲルマールの見た琉球』」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月（石垣忍・中西裕見子と共著）

山崎 真治（主任 人類）

#### ○調査・研究等

- ・千葉県立中央博物館 春の展示「世界の遺跡から出土した貝」講演会「貝塚研究最前線」（千葉県立中央博物館）（2015年4月23日～26日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る資料調査（鹿児島県立埋蔵文化財センター、佐賀市文化財資料館、佐賀県立名古屋城博物館）（2015年5月11日～14日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報発信（日本考古学協会第81回総会：帝京大学八王子キャンパス）（2015年5月23日～24日）
- ・放送大学面接授業「見えてきた琉球列島旧石器時代」講話（大濱信泉記念館：石垣市）（2015年6月6日～7日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る調整等（富山大学理学部、日本旧石器学会第13回総会：東北大学片平キャンパス）（2015年6月19日～21日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る資料調査・調整等（大阪府立弥生文化博物館・国立民族学博物館）（2015年7月30日～31日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る発掘調査（南城市サキタリ洞遺跡）（2015年9月1日～2016年2月29日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る情報収集、調整等（佐賀県立名護屋城博物館、九州旧石器文化研究会：九州歴史資料館）（2015年10月31日～11月1日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る資料調査（奄美博物館、笠利町歴史民俗資料館）（2015年11月26日～27日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展示準備（九州歴史資料館）（2016年1月21日～22日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展示準備（九州歴史資料館）（2016年1月24日～28日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る調査研究（韓国・国立中央博物館：ソウル、丹陽スヤング先史遺物展示館、丹陽クム洞窟）（2016年2月3日～7日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展関連イベント（九歴講座・展示解説会・ワークショップ）（九州歴史資料館）（2016年2月12日～14日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る資料調査（屋久島町歴史民俗資料館）（2016年2月17日～18日）
- ・公開シンポジウム「東アジアと列島西南の旧石器文化」参加（九州歴史資料館）（2016年2月20日～21日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展示撤収（九州歴史資料館）（2016年2月28日～3月2日）

○講演・学会発表等

- ・名 称：博物館学芸員講座「東南アジアの人類史と遺跡」  
期 日：2015年4月11日
- ・名 称：「沖縄における旧石器・縄文移行期の遺跡と出土貝類」（千葉県立中央博物館 春の展示「世界の遺跡から出土した貝」講演会「貝塚研究最前線」）  
期 日：2015年4月26日  
場 所：千葉県立中央博物館（千葉市）  
依頼機関：千葉県立中央博物館（千葉市）
- ・名 称：「沖縄先史時代の貝製刃器とその加工・使用・変形について」（日本考古学協会第81回総会）  
期 日：2015年5月24日  
場 所：帝京大学八王子キャンパス
- ・名 称：放送大学面接授業「見えてきた琉球列島旧石器時代」（第5回旧石器時代から縄文時代へ／第6回琉球列島と周辺地域の考古学）  
期 日：2015年6月7日  
場 所：大濱信泉記念館（石垣市）  
依頼機関：放送大学
- ・名 称：博物館文化講座「シンポジウム・発掘！沖縄の先史集落」（沖縄の先史集落を考える）  
期 日：2015年7月11日
- ・名 称：「沖縄先史文化起源論をめぐる近年の動向と課題」（沖縄考古学会11月定例会）  
期 日：2015年11月20日  
場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・名 称：「港川人から見える沖縄の歴史」向陽高校野外学習会事前学習会  
期 日：2015年11月24日  
場 所：向陽高校（南城市）
- ・名 称：第11回九歴講座「沖縄の旧石器人と人類の起源」  
期 日：2016年2月13日  
場 所：九州歴史資料館
- ・名 称：ワークショップ「石器づくり・貝器づくり体験」  
期 日：2016年2月14日  
場 所：九州歴史資料館
- ・名 称：公開シンポジウム 東アジアと列島西端の旧石器文化－朝鮮半島・九州・南西諸島の対比から－（琉球列島の人類文化の系譜）  
期 日：2016年2月21日  
場 所：九州歴史資料館  
依頼機関：九州歴史資料館

○著作論文等

- ・「日本旧石器学会研究グループ2014年度活動報告」『日本旧石器学会ニューズレター』第29号 2015年4月
- ・「論文展望－「ヤブチ式土器と貝器文化」『考古学研究』61（1）『季刊考古学』131 2015年5月
- ・「旧石器時代の貝製ビーズ－沖縄県南城市サキタリ洞遺跡からの報告－（資料報告）」『旧石器研究』11 2015年6月
- ・「沖縄先史文化起源論をめぐる近年の動向と課題」『南島考古』34 2015年7月
- ・「サンゴ礁の贈り物」『舎人倶楽部』2015年7月号 2015年7月
- ・「文化の境界線」西日本新聞記事 2015年8月
- ・「沖縄県の動向」『九州旧石器』19 2015年10月
- ・「沖縄島南部における先史土器胎土の長期的変化に関する一考察」『日本考古学』40 2015年10月
- ・「旧石器時代の洞穴遺跡－台湾・東南アジア・沖縄の事例から－」『九州旧石器』19 2015年10月
- ・『島に生きた旧石器人－サキタリ洞遺跡・白保竿根田原洞穴遺跡』（シリーズ『遺跡に学ぶ』104）新泉社 2015年10月
- ・九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館企画展『沖縄の旧石器人と人類の起源』図録 2016年1月
- ・『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡の発掘』（パンフレット） 2016年1月
- ・『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書Ⅲ』 沖縄県立博物館・美術館 2016年3月
- ・「伝説の土器・パナリ焼を探る」『鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書』 沖縄県立博物館・美術館 2016年3月
- ・「シンポジウム『発掘！沖縄の先史集落』の記録」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016



年3月

崎原 恭子（主任 歴史：古琉球・近世）

○調査研究等

- ・地図と測量技術展展示資料返却作業（沖縄県立図書館）（2015年4月16日）
- ・地図展関連博物館所蔵近現代地図調査（2015年6月10日）
- ・地図展展示予定資料事前確認調査（恩納村博物館）（2015年7月17日）

○講演等

- ・名称：博物館学芸員講座「琉球王国時代の梵鐘ヒストリー～館収蔵の梵鐘を中心に～」  
期 日：2015年6月6日
- ・名称：博物館学芸員教室「ぼく・わたしの家系図をつくろう！」  
期 日：2015年7月31日

○著作論文等

- ・「近世琉球における烽火（火立）のネットワークについて－新城島・黒島・鳩間島を中心に－」『鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書』沖縄県立博物館・美術館 2016年3月

金城 久枝（主任学芸員 教育普及）

○調査研究等

- ・ふれあい体験室機能強化事業モニタリング調査（浦添市立浦城小学校）（2015年11月25日）
- ・ふれあい体験室機能強化事業モニタリング調査（那覇市立曙小学校）（2015年11月30日）

○講演等

- ・名称：ふれあい体験室専属ボランティア養成講座「博物館ボランティア活動」  
期 日：2015年5月16日、6月13日
- ・名称：那覇教育事務所主催 10年経験者研修「博物館教育普及活動－学校連携事業－」  
期 日：2015年7月29日
- ・名称：教職10年経験者研修「博物館教育普及活動－学校連携事業－」  
期 日：2015年7月30日
- ・名称：学芸員講座「博物館探検！！」  
期 日：2015年8月1日
- ・名称：島尻地区小中校長会研修 研修Ⅰ「県立博物館における教育普及事業について」  
研修Ⅱ「アクティブ・ラーニング授業に生かせる常設展」  
期 日：2015年12月11日
- ・名称：久米島校長会視察研修 研修Ⅰ「県立博物館における教育普及事業について」  
研修Ⅱ「アクティブ・ラーニング授業に生かせる常設展」  
期 日：2016年1月20日

○著作論文等

- ・「ふれあい体験室機能強化」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第9号 2016年3月

三枝 大悟（嘱託員）

○調査・研究等

- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展示準備（九州歴史資料館）（2016年1月25日～27日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る出張展示撤収（九州歴史資料館）（2016年2月28日～3月2日）

## 5. 職員研修

博物館法第4条の4において「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」と規定しており、学芸員に学問的専門性を要求している。また、博物館が独自の展示会や教育普及活動を行うためには、学芸員自身が調査研究を行い新たな知見を得ていく必要がある。そのため、学芸員は適宜研修を受講するとともに、平成23年度から毎週「学芸員ゼミ」を開催して互いの研究について情報共有や意見交換を行っている。

### 【沖縄県博物館協会研修会】

○総会・春の研修会

日 時：2015年5月14日（木）14:30～16:50、15日（金）10:40～12:00

場 所：沖縄県平和祈念資料館 講座室

参加者：安里進、村上剛、園原謙、石垣忍

○秋の研修会・現地研修

日時：2015年11月26日（木）14:00～17:00、27日（金）9:00～12:00

場所：奄美市博物館（秋の研修会）、原野農芸博物館（現地視察）

参加者：村山剛、石垣忍、片桐千亜紀、山崎真治

【博物館ゼミ（仮称）】 以下「回、期日、担当者、題」の順に記す（原則毎週月曜日に実施）

第1回	4月20日	山崎 真治	「パナリ焼—伝説の土器を探る— 新城島総合調査中間報告」
第2回	4月27日	仲里 健	「沖縄島北部の銅精錬後の残滓」
第3回	5月11日	崎原 恭子	「韓国・国立古宮博物館での作業等報告」 「歴史部門展示室 [2015年4月18日（土）～11月8日（日）] 「沖縄戦～戦後70年の節目に」展示資料より 牛島満軍司令官銘入・短刀白鞘について」
第4回	5月18日	石垣 忍	
第5回	5月25日	與那嶺一子	「アメリカの博物館報告」
第6回	6月1日	外間 一先	「日本の土 昭和33年より」
第7回	6月8日	金城 久枝	「ふれあい体験室機能強化事業Part 1」
第8回	6月15日	片桐千亜紀	「ケンブリッジ大学所蔵の琉球古写真調査～ヘンリー・ギルマールコレクション～」
第9回	6月22日	大湾ゆかり	「史料からみた葬墓制について～まずは整理してみた*暫定版～」
第10回	7月13日	園原 謙	「沖縄県のカンボジア博物館支援プロジェクト—事業概要と成果と課題—」
第11回	8月3日	安里 進	「王府の絵図調整事業からみた首里那覇港鳥瞰図」
第12回	8月10日	藤田 祐樹	「リュウキュウジカの子生復元」
第13回	8月24日	山崎 真治	「パナリ焼—伝説の土器を探る 2—」
第14回	9月7日	村山 剛	「沖縄21世紀ビジョンにおける当館の位置づけ」
第15回	9月14日	山崎 仁也	「大哺乳類展に見る哺乳類のかたちと進化」
第16回	9月28日	仲里 健	「移動展in伊是名ジオツアー」
第17回	10月5日	石垣 忍	「野々村孝男氏寄託資料について」
第18回	10月13日	與那嶺一子	「神女の衣装—大袖衣について」
第19回	10月19日	外間 一先	「琉球の富（日本民芸館80年展）について」
第20回	10月26日	金城 久枝	「博物館ボランティア活動について」
第21回	11月2日	片桐千亜紀	「インドネシアの葬墓制調査—風葬・再葬墓の探求—」
第22回	11月9日	安里 進	「首里那覇鳥瞰図の分類・編年と系譜」
第23回	11月16日	藤田 祐樹	「Photoshopを使ったパラパラアニメの作り方」
第24回	11月24日	園原 謙	「沖縄振興特別推進交付金「琉球王国文化遺産集積・再興事業」について」
第25回	11月30日	山崎 真治	「沖縄先史文化起源論をめぐる近年の動向と課題」
第26回	12月14日	大湾ゆかり	「博物館班の現在の文書分類状況（2015年12月13日現在）」
第27回	12月21日	山崎 仁也	「アクティブ・ラーニングの授業例—両国高校の山藤先生の授業見学—」
第28回	1月25日	石垣 忍	「戦後70年・生誕130年記念 特別企画 「巨匠真山がみつめた平和のいろとかたち」」
第29回	2月1日	仲里 健	「平成27年度 沖縄県立博物館・美術館 企画展 「大気と気象 ～見えない空気の“力と技”～」」
第30回	2月8日	外間 一先	「民藝協会同人たちと沖縄」
第31回	2月15日	與那嶺一子	「帕（ハチマチ） —分析から模型製作を試みる—」
第32回	2月22日	片桐千亜紀	「海底遺跡ミュージアム構想とイタリア・バイア水中公園」
第33回	2月29日	安里 進	「西尾市岩瀬文庫「琉球図」について」
第34回	3月14日	金城 久枝	「ふれあい体験室機能強化事業Part 2」
第35回	3月22日	比嘉 香織	「海を渡ったトミグスクンチュ」
第36回	3月28日	三枝 大悟	「貿易管理機関の組織運営から見た南宋期の対東シナ海域政策」

## II. 展示活動

### 1. 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展1本、企画展数本、大嶺薫コレクション展及び新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」と改称して2008年度からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きる―豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2015年度は特別展「琉球弧の葬墓制―風とサンゴのお弔い―」、企画展「うちくいー沖縄のふるしきー」、企画展「大気と気象―見えない空気の”力”と技“ー”を実施した。

また、当館が指定管理者と共催で開催した企画展「大哺乳類展」をはじめ、九州歴史資料館（福岡県）と共催で開催したサキタリ洞遺跡出土品を県外初公開した企画展「沖縄の旧石器人と人類の起源」、県立芸術大学とのコラボ展「県立芸大の御宝展」を開催した。また、島根県立古代出雲歴史博物館で開催された「琉球王国展」は、本館から50件の収蔵品の貸出を行い、沖縄の歴史・文化を紹介する機会を提供した。

### 2. 常設展

#### 【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つひとつが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きる―豊かさ、美しさ、平和を求めて―」とした。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化を情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

#### ○海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海にくらした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる1万8,000年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

#### ○貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが造られるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の3つに収斂し、激しい抗争を繰り返した。しかし、15世紀はじめころに、これらの3つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

#### ○王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制を造りあげていった。

#### ○薩摩の琉球支配と王国（近世琉球）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀・蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響をうけ、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『球陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

#### ○王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていった。

#### ○沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した。(琉球処分)琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

#### ○戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

#### ○沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピソードの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

### 【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

#### ○自然史部門展示 「生物が語る沖縄2億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル(沖縄島北部)、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

#### ○考古部門展示 「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

#### ○美術工芸部門展示 「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

#### ○歴史部門展示 「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとく、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

#### ○民俗部門展示 「沖縄の伝統と暮らし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と



漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

### 3. 常設展 展示替え

#### 【エントランスホール】

○平成27年度 愛鳥週間事業 博物館 鳥剥製展「鳥をみよう！」

主 旨：愛鳥週間を機に鳥について考える（教育普及）

実施内容：収蔵庫にある鳥剥製をほぼ全種類展示する。また、生き物展で使用したハンズオン用の仮剥製を置く。

数カ所、パネルを設置し、展示した鳥に関する「トリビア」（へー、と思うようなちょっとした知識情報）をちりばめる。

また、平成26年度沖縄県愛鳥週間ポスターコンクール入賞作品（小・中・高生）を展示する。

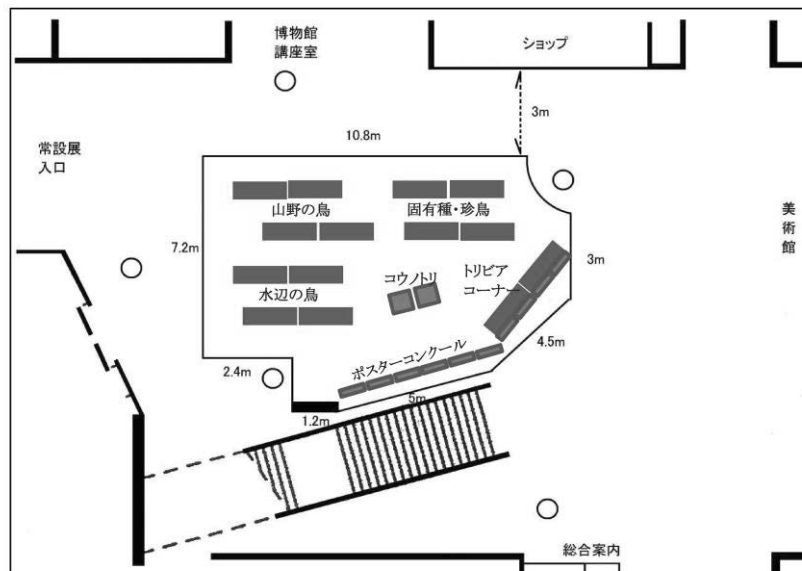
使用備品：イーゼル5基、会議机15個、パーティション10枚

展示期間：2015年5月8日（金）～17日（日）

※準備 5月7日（木）、撤収 5月18日（月）



展示平面図：



(山崎 仁也)

○終戦70周年記念国頭地区文化財行政連絡協議会25周年記念『やんばるの戦争遺跡』展

主 旨：国頭地区文化財行政連絡協議会では、国頭地区12市町村の文化財について周知するために、文化財パネル展を毎年開催している。平成27年度は、協議会結成から25年の節目となり、また終戦70年を迎える事から、特別展として沖縄県立博物館・美術館と共催で開催した。

構 成：北部12市町村に遺された戦跡や慰霊碑、戦跡の保存と活用等の取り組みについて、写真パネルを利用して紹介する。

- (1) はじめに・解説等
- (2) 戦時体制下のやんばる
- (3) やんばるの沖縄戦
- (4) 戦後復興とやんばるの収容所
- (5) 米軍基地建設とやんばる

(6) 各市町村の戦争遺跡等文化財パネル  
展示期間：2015年6月18日(火)～28日(日)

(石垣 忍)

○ミニ企画展「沖縄の昔話・伝え話 —沖縄伝承話資料展—」

主 旨：NPO法人沖縄伝承話資料センター（以下「伝承話センター」という。）は、県内各地で聴取された7万6千話の「民話（伝承話）資料」を保存・管理し、現在その資料の共有財産化をめざしてデジタル化作業に取り組んでいる団体である。平成28年3月16日付けでデジタル化を終えた約3万3千話収録のテープとそのデータが当館に寄贈されたので、ミニ企画展を開催し資料の概要等を紹介した。展示では寄贈資料、調査ノートやカード、話者の写真、民話資料集などを陳列したほか、調査風景を収録したDVDの上映やお話会等を開催して、観覧者に直に民話の世界に触れてもらった。

開催形式：沖縄県立博物館・美術館、NPO法人沖縄伝承話資料センター主催

展示内容：(1) パネル展示 ①沖縄伝承話センターの紹介②伝承話（民話）収集活動③話者の方々の紹介④民話テープのリスト

(2) 実物資料①伝承話音声資料（カセットテープ）②各市町村刊行の民話集等③調査ノート、カード④録音用カセットテープレコーダー等

(3) 寄贈資料の説明パネル

(4) DVD上映（ループ上映）『沖縄の昔話 —山本川恒の民話—』

(5) 草木のおもちゃ

関連催事：(1) 伝承話音声資料（民話テープ）の贈呈式  
日 時：2016年3月24日（木）10:00～11:00  
場 所：エントランスホール

(2) 民話の部屋

日 時：2016年3月26日（土）11:00、12:00、14:00（1回約30分）

場 所：屋外展示場（民家の1番座）

語り手：平田恵美子、田名洋子、渡慶次勲、新城真恵、大城貴子ほか

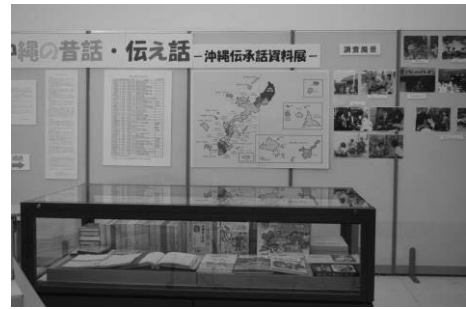
(3) 草木のおもちゃ作り（マーニのサカナ、カタツムリ、シシダマのブレスレットとネックレス等）

日 時：2016年3月26日（土）11:00～16:00  
場 所：実習室

講 師：照屋寛信ほか

展示期間：2015年3月23日（水）～3月27日（日）

(大湾 ゆかり)



展示風景



贈呈式



民話の部屋



草木のおもちゃ作り

【美術工芸部門】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮半島、日本、東南アジアの中継地点に位置し、独立した王国を営んできた。美術工芸部門展示室では、沖縄で生まれた琉球の美を紹介している。展示は下記のテーマで展示替えを行った。



○「学芸員の見る目 Part 2」

主 旨：美術や工芸品について、学芸員がどのような視点で展示を考えているのか、「学芸員の見る目」を追体験し、美術工芸品の見所や見方について一緒に考えてみる機会とした。博物館の資料には、歴史や物語や意味があり、学芸員の見る目というテーマは、これらの資料が語る内容について耳を傾け学び、その意味をわかりやすく説明をするという内容。琉球絵画の世界、漆器の技法の話、書の形のちがひ、染めや織りの技術や材料など、また、資料の裏にある蒐集家たちが追及する美意識など、美術と工芸の世界を堪能する展示を行った。

展示資料：41件41点

孫億作牡丹小禽図・山口宗季作神猫図（複製）・殷元良作花鳥図・呉著仁作山水図・查丕烈作牡丹の図・楽順範作山水図・義村朝義作山水図/朱塗山水絵堆錦東道盆・朱漆巴紋牡丹唐草七宝繫沈金椀・螺鈿唐人模様花台・朱塗松竹梅に鶴亀模様箔絵捌箱・黒塗牡丹絵螺鈿香合/三線江戸与那/色象嵌粟絵菊花皿・知花焼柑子口瓶子/古我知焼耳付花瓶・三島渡名喜瓶・飴釉なまこ釉香炉・菊花赤絵対瓶・線彫魚紋抱瓶/尚育書「五言絶句」・渡嘉敷兼副書「琉歌」・鄭嘉訓の書「扶桑第一」・林鴻年書聯「七言対句」・義村朝義の書「七言対句」・鄭元偉書扁額「徳高」/木綿紺地経緯緋に緯浮花織胴衣・苧麻白地鉄線唐草雪輪笹梅模様衣装・木綿白地花織ティサジ・木綿紺地花織ティサジ・木綿赤地花織ティサジ・芭蕉木綿緋ティサジ・木綿花染絞ティサジ・苧麻段染紅型ティサジ・木綿白地経緯緋衣装・芭蕉経緯に経緋衣装・垣根に牡丹模様染地型紙・雲に鶴亀松菊模様染地型紙・鳳凰に桐牡丹楓模様白地型紙・七宝繫に花の丸模様白地型紙・緋に雷文鳳凰唐草模様白地型紙



展示期間：2015年5月19日（火）～8月16日（日）

○「学芸員の見る目 Part 3 ～暮らしと美術工芸～」

主 旨：美術や工芸品は、人の暮らし抜きには語れない。近世末から近代にかけて描かれた風俗画には王国時代の人々の暮らしが垣間見えてくる。働く姿はもちろん、身に着けているものから、士族と百姓の間に厳格な違いがあったことが分かる。染織では、庶民と士族の衣服の違いを紹介した。士族の学芸として展開した琉球の書跡では、表現された漢詩、和歌、琉歌に視点を置いて展示した。焼物は日々の暮らしの器の形に注目し、漆芸は士族の調度品や祭具などを紹介。絵画では掛け幅として楽しんだ題材や琉球の風俗を紹介した。



展示資料：38件43点

孫億作松鶴図・作者不詳古琉球牡丹絵・作者不詳牡丹白鳩の図・作者不詳古琉球風俗美人折花図・比嘉華山作琉球男女之図・作者不詳魚売りの図・長嶺華国作芭蕉の図・義村朝義作でいご花図・兼城昌興作琉球風姿画全/朱塗牡丹小禽四方唐草硯屏・黒漆草花螺鈿硯箱・堆錦煙草入・朱塗松竹梅箔絵ターナー・朱漆松竹梅鶴亀箔絵捌箱・朱漆沈金牡丹巴紋食籠/三線志多伯開鐘/赤絵鶴亀文急須・赤絵花鳥文抱瓶・線彫唐草文大皿・灰釉碗・窯変小壺（知花焼）・素焼徳利（喜名焼）・白搔落唐草小壺・色象嵌粟絵菊花皿/鄭元偉の書「五言律詩」・伊江朝真の書「琉歌」・野崎真秀の書「琉歌」・宜湾朝保の書和歌「夕千鳥」・鄭嘉訓の書「五言対句」・魏學詩の書「五言絶句」・義村朝義の書「李白詩より」・鄭元偉書扁額「徳高」/木綿紺地経緯緋に緯浮花織胴衣・芭蕉つなぎあわせ衣装・芭蕉経緯に草花型付衣装・芭蕉茶地経緯衣装・木綿染分地遠山に松竹梅模様衣装・松梅桜鶴雁模様染地型紙・苧麻白地経緯緋衣装

展示期間：2015年8月25日（火）～11月15日（日）

○「歌えや 踊れ！」

主 旨：沖縄の伝統楽器の中で、三線ほど普及した楽器はないといえる。沖縄県民は、喜怒哀楽の情を三線と歌で表現してきた。かつては琉球王府の行事や士族の教養として、また冊封使の歓待芸能、また江戸上りの慶賀や謝恩の場で大きな役割を果たしてきた。庶民に普及して以降、祭り



や民俗芸能にも登場し隆盛をきわめていく。展示会では琉球芸能を支えてきた三線を主役にすえ、美術工芸品としての魅力を紹介し、三線が登場した行事や演奏、芸能の様子を描いた絵画、めでたい席で使われた陶器や漆器、芸能の場で身につけられた染織品など関連した美術工芸品を展示。また、書跡では江戸に向かう道中や冊封使節らとの書芸の交流をテーマに出展した。

展示資料：45件47点

三味線之説・三味線を弾く琉球美人・婚礼酒宴の図・琉球楽童子白馬乗之図・琉球人座楽之図・楽童子の図・進貢船図/屏風 首里那覇港図/朱漆山水人物箱絵湯庫・黒塗花鳥漆絵提重・黒漆色絵六角酒注・朱塗蒔絵の酒盃/三線志多伯開鐘・三線江戸与那・三線南風原型・三線久場の骨型・三線真壁型 銘安室・三線真壁型/三彩流大嘉瓶・瑠璃釉嘉瓶・白釉に家紋入嘉瓶・白釉紋入嘉瓶・線彫魚文抱瓶・釘彫板目文抱瓶・飴釉面取抱瓶・窓絵窯変抱瓶・三島手抱瓶・海鼠釉からから・白釉線彫三島手からから・コバルト釉酒注・線彫魚文ぐい呑・色象嵌粟絵菊花皿/尚慎の書「五言対句」・向元模の書「五言対句」・翁維垣の書「五言対句」・毛徳昌の書「五言対句」・馬文英の書「舞」・王文治の書/鄭嘉訓の書「七言絶句」・鄭元偉書 扁額「徳高」/木綿紺地茄子菊水模様スディナ・木綿紺地格子に緋緯浮花織踊衣裳・芭蕉波に月鶴模様踊衣裳・木綿紺地経浮花織裕衣裳・苧麻紺地獅子牡丹模様紅型幕

展示期間：2015年11月25日（水）～2016年2月21日（日）

### ○「暮らしと美」

主 旨：琉球の人々の暮らしに登場した漆芸や陶芸の器、そして衣装を紹介。士族と百姓の暮らしには厳格に違いがあり、その様子は残された衣装からもうかがえる。中国の絹織物は身分の高い者だけが身につけていた。芭蕉布は身分の別なく着用されていたが、色糸が使われ、難しい織り方がされている衣装は士族のものであった。陶器、漆芸品からは、昭和14年、来沖した柳宗悦はじめ民藝一行が賛美した用の美を鑑賞する機会とした。琉球の書跡は、中国、明代・清代の書の影響を色濃く



受け、士族の学芸として展開した。薩摩でも高く評価された鄭氏一族の書跡には、その様子がみられ、中国から来流した冊封使たちが残す書跡には、琉球との交流への想いが読み取れる。

展示資料：44件49点

古琉球風俗田舎娘・織婦理系図・芭蕉に椰子の図・芭蕉の図・琉球風俗図・琉球風俗画帖/黒塗菓子皿・朱塗盃台・朱塗花葉堆錦菓子器・朱塗菓子器・湯つぎ・朱塗茶盆・朱塗眼鏡入・朱塗菊花蝶堆錦提重・春慶塗タークー・竹弁当箱・黒漆松竹梅文様堆錦碗/緑釉嘉瓶・練り込み焼抱瓶・釘彫抱瓶・灰釉碗・赤絵枝梅竹文碗・アンビン・刷毛目土瓶・ヌチャーシワンプー・濱田庄司の作品（皿）・バーナド＝リーチの作品（皿）・新垣栄三郎の作品（皿）・金城次郎の作品（湯飲み）/冊封使徐葆光の書「七言絶句」・冊封使周煌の書「七言絶句」・冊封使林麟しょうの書・冊封使趙文楷の書「五言絶句」・尚育の書五言絶句「四時」・鄭嘉謨の書「七言対句」・鄭嘉訓の書 朱熹詩「七言絶句」・鄭元偉書 扁額「徳高」/木綿黄色地菊椿松竹梅模様胴衣・金茶地緞子裕衣裳・苧麻藍地鶴楓松葉梅蔓草模様衣裳・木綿紺地緯浮花織裕衣裳・芭蕉経縞模衣裳・芭蕉木綿経縞緞織子供着・芭蕉つぎはぎ子供着・芭蕉経緯緋衣裳

展示期間：2016年3月1日（火）～6月

（與那嶺 一子・外間 一先）

### 【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解いていく展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。ここでは、様々なテーマに沿った年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

平成27年度の歴史部門展示室では、「那覇港～往来する人とモノ～」というテーマの展示をほぼ通年で展示し、11月から2月までは沖縄平和記念堂と共催した「山田真山の描いた平和像」のテーマを歴史部門展示室全体で行い、そのほか「琉球王国時代の地図と測量技術」、「沖縄戦」、「首里城を救った男―阪谷良之進― 柳田菊造の軌跡―」のテーマを歴史部門展示室の一部分に展示した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

○「那覇港～往来する人とモノ～」

主 旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に取り上げ、3つのテーマに分けて紹介する。「1 王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「2 往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「3 那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。

展示資料：首里那覇港図屏風、間切図（真和志間切他）（複製）、「琉球国全図」（琉球列島並三十六島之図） 他

展示期間：通年展示（2015年11月17日～2016年2月21日以外）

○「琉球王国時代の地図と測量技術」

主 旨：琉球王国時代、琉球やその周辺を描いた地図が国内外の各地で様々な目的をもって製作された。琉球ではいつから作成されたのかははっきりしないが、18世紀に最先端の測量術を取り入れると、測量や製図の技術はめざましい発展を遂げ、現在の地図と比べても遜色のない地図が作り上げられた。

当展では、琉球王国時代につくられた地図や測量技術に関する最新の研究成果を盛り込み、王府による測量と地図製作事業を紹介した。

展示資料：『羽地間切針竿帳』、琉球国之図〔沖縄県立図書館所蔵〕、間切図、首里古地図（特大パネル）、久茂地村屋敷図（写）〔沖縄県立図書館所蔵〕 他

展示期間：2015年1月8日（木）～4月12日（日）

\*第1期 1月8日～3月8日、第2期 3月12日～4月12日



第1期



第2期-①



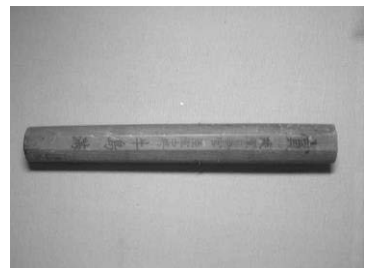
第2期-②

○「沖縄戦～戦後、70年目を迎えて・・・～」

主 旨：沖縄1945年3月、慶良間諸島 4月1日に沖縄本島へと上陸したアメリカ軍、太平洋戦争唯一、「鉄の暴風」いわれた住民を巻き込んだ地上戦から70年が経った。県民4人に一人が命を失ったといわれる沖縄戦を風化させずに伝え続けていくため、本館が所蔵する写真パネルや収蔵資料を展示した。

展示資料：写真パネル（那覇出版社作成）、千人針、日の丸寄せ書き、牛島満軍司令官銘入・短刀鞘、第五回戦時貯蓄債券、米軍降伏勧告チラシ、チラシ「鉄と銅をお国の為に」、出頭状はがき、軍事郵便・はがき

展示期間：2015年4月18日（土）～11月8日（日）



○戦後70年・生誕130年記念 特別企画「巨匠真山がみつめた平和のいろとかたち」

主 旨：本年は戦後70年の節目の年であり、また王国解体後の近代沖縄に生をうけた本名渡嘉敷兼慎こと、山田真山（1885-1977）が那覇泉崎に誕生して130年目にあたる。真山の名前の由来はその童名の「真山戸」に因んでいるといわれ、幼少のころから、絵画を好み、のちに東京美術学



校（現東京藝術大学）に進学し、高村光雲やその弟子の山田泰雲に師事し彫刻を学んだ。また日本画も学び、戦前は主に県外で活躍するが、戦後沖縄の伝統工芸の復興に尽力し、若い芸術家たちを育成した。数々の絵画作品をはじめ舞台幕や旗頭、彫刻も多くの作品を残している。高さ12m、幅8mの平和祈念像は、沖縄の伝統工芸堆錦で製作され、その代表作である。

この特別企画展示では、明治、大正、昭和の戦争の時代を生き抜いてきた真山の創作世界を通して、そのいろとかたちから平和を考える契機とした展示した。

展示資料：琉球藩設置図（聖徳記念絵画館所蔵）、ディリーオキナワ挿絵（琉球新報社所蔵）、名護市嘉陽の舞台幕（名護市博物館蔵）、大里旗頭、琉球切手原画山田實撮影の真山、堆錦の恵比寿面（平和祈念堂蔵）

展示期間：2015年11月17日（火）～2016年2月21日（日）

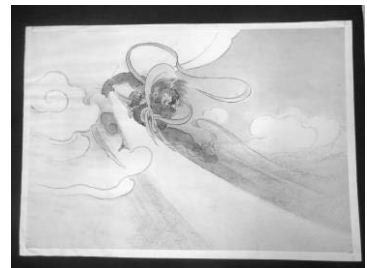
特別講演：戦後70年・生誕130年記念 特別講演

「巨匠真山がみつめた平和のいろとかたち」小林純子（沖縄県立芸術大学教授）

「真山先生と平和祈念像—その製作秘話—」糸数政次（沖縄県立芸術大学教授）

場所：沖縄県立博物館・美術館 3F 講堂

日時：2015年12月27日（日） 午後2時～5時



○「首里城を救った男」—阪谷良之進・柳田菊造の軌跡—

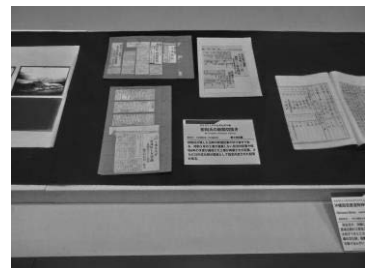
主旨：1879（明治12）年の琉球処分後、主を失った首里城（正殿）は、床は抜け落ち、屋根は崩れ荒れ果てる一方であった。1925（大正14）年には、伊藤忠太氏や鎌倉芳太郎氏等が協力し、国宝（特別保護建造物）に指定され、崩壊の危機は一時回避されることとなった。その後首里城正殿（沖縄神社拝殿）の修繕が計画され、ついに1928（昭和3）年に修理工事が始まった。しかし、工事は一行に進まず、やがて資金も底をつき、さらに、1930（昭和5）年には大型の台風にも見舞われ、作業は手詰まりの状態となった。

そのような状況下に文部省宗教局より、工事を監督指揮する阪谷良之進、そして同省建築技師で現場監督として柳田菊造が派遣された。阪谷は、1931（昭和6）年2月に来沖し、首里城を含む、その周辺の調査を行い、帰京すると枯渇した資金の獲得に乗り出し、あらゆることを奔走、努力した結果、短期間で工事費用を捻出した。そして12月には工事を再開すると、わずか1年9ヶ月後の1933（昭和8）年9月に首里城大修理は見事完了した。

その阪谷が来沖し、撮影した首里城正殿を含むその周辺写真及び柳田が撮影した工事風景写真さらに首里城周辺建築物メモ、昭和5年7月16日自17日至暴風記事（第1回～第3回）、沖縄神社拝殿平面図（百浦添御殿平面図）、ガラス乾板、柳田氏の道具箱など当時の貴重な資料を紹介した。

展示資料：国宝建造物沖縄神社拝殿修理案第1号、首里城周辺建築物メモ、昭和5年7月16日自17日至暴風記事（第1回～第3回）、沖縄神社拝殿平面図（百浦添御殿平面図）、ガラス乾板

展示期間：2016年3月1日（火）～5月15日（日）（写真3枚）



（石垣 忍・崎原 恭子）

【民俗部門展示室】

沖縄の気候風土の中で培われた伝統的な手仕事を紹介するため、民俗部門展示室の「諸職のワザ」コーナーでは、年に一度展示替えを行っている。また、「沖縄のすまい」コーナーの仏壇前には、季節や行事にあわせてお供え物を展示している。

○「諸職のワザ 大工（セーク）の世界」

主 旨：大工はセークといい、その棟梁をデークと呼ぶ。元々は手の器用な人（ティーン）が大工仕事をしてきたというが、これを本職とし始めたのは明治時代に入ってからである。明治時代以降、茅葺き屋根の簡素な家から、瓦を支えるための土台がしっかりとした家にだんだんと建て替えられるようになり、大工仕事もますます技術を要する職人の仕事になった。また、城の城壁や石塀、墓などを専門に作る石工は、石ゼークと呼ばれ、首里王府時代から活躍していた。今回の展示では、平成8年に寄贈された真喜志実氏寄贈の多様な種類の鉋をはじめ、定規、蚤、手斧（ティーン）や舟大工用の錐（クルマイリ）等を展示した。現在のように電動の大工道具が普及していない時代の道具の数々をご覧いただきたい。

展示資料：鉋25点、蚤7点、固定器2点、定規4点、鋸歯調整具、墨壺、ドリル2点、手斧（ティーン）2点、クルマイリ

展示期間：2016年2月9日（火）～10月10日（月・祝）



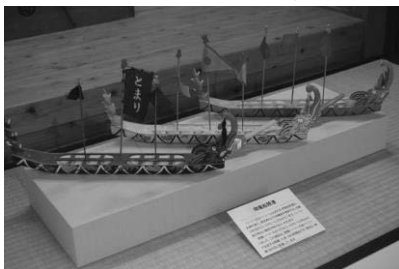
○仏壇のお供え物の展示

主 旨：沖縄では旧暦の1日・15日に仏壇にお供え物をするほか、季節の節目の行事ごとにいろいろなお供え物をする。民俗部門展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネルを展示した。5月5日（グングワチグニチ）の展示では、ハーリーの模型と一緒に展示した。

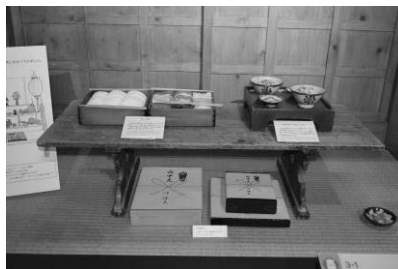
展示期間：清明祭、5月4日（ユッカヌヒー）と5月5日（グングワチグニチ）、旧盆、十五夜、冬至、正月（新・旧）ムーチャー等



ユッカヌヒー



ハーリー模型



旧盆①



旧盆②



冬至



旧正月



ムーチャー

（大湾 ゆかり）

【自然史 地学部門】

○岩石洗浄活動（野外展示）

2015年7月27日（月）

※屋外展示の岩石に付着している、コケなどの洗浄作業。

（仲里 健）

## 4. 特別展『琉球弧の葬墓制—風とサンゴの吊い—』

会 期：平成27年9月25日（金）～11月23日（月）

会 場：沖縄県立博物館・美術館 特別展示室1・2、企画展示室（約810m<sup>2</sup>）

観 覧 料：一般 800（640）円、高校・大学生 500（400）円、小・中学生 300（240）円

※（ ）内は、前売り及び20名以上の団体料金

観覧者数：4,991人

### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄県教育委員会、沖縄民俗学会、沖縄考古学会、沖縄県地域史協議会

協 力：東海大学海洋学部海洋文明学科、鹿児島大学埋蔵文化財調査センター、宇検村教育委員会、瀬戸内町立図書館・郷土館、伊仙町歴史民俗資料館、伊是名村教育委員会、今帰仁村歴史文化センター、名護博物館、名護市教育委員会、宜野座村立博物館、恩納村博物館、読谷村立歴史民俗資料館、北谷町教育委員会、宜野湾市立博物館、宜野湾市教育委員会、沖縄県立埋蔵文化財センター、浦添市教育委員会、那覇市歴史博物館、那覇市立壺屋焼物博物館、那覇市環境保全課、国場民俗伝統芸能保存会、いなんせ典礼、糸満市教育委員会、糸満市上米次腹門中、宮古島市総合博物館、石垣市立八重山博物館、ハワイ大学マノア図書館ほか

### 【開催趣旨】

地球上の生物は生と死を繰り返しながら命の継承を続けている。その中で唯一人間だけが死者を弔い、死後の世界を想像して準備し、死後も子孫の手によって葬られ祀られる。人間のもつ死への観念は、世界の地域で様々な形で儀礼や習俗として表出する。奄美諸島から八重山諸島までの琉球弧でも、周辺地域との交わりによって影響を受けながらも風土に根ざした独自の死生観がはぐくまれ、死者の葬り方や祀り方にも独特の文化を築いてきた。なかでも亜熱帯の気候と珊瑚礁に囲まれた島の自然を利用し、死者を時間をかけて骨化させた後に洗い清めて墓に納める葬法は特徴的である。しかしながら、戦後、火葬への転換でこうした葬法も姿を消し、また近年では葬儀も墓も商業化して画一的になりつつある。戦後しばらく続いていた葬制と墓制も急速に変わりつつある。

本展示会では、琉球弧における葬墓制について、時代や地域ごとに整理して紹介するとともに、琉球弧の人々の死生観や祖先観について考える場とする。

### 【展示内容】

#### （1）コンセプトと概要

※「ふだんめったに見られないもの（墓の中、厨子の中等々）を見る展示」

- ・考古資料や文献史料を用いて、先史時代から近世・近代の葬墓制を整理して紹介する。
- ・死者の弔い方を葬具や供物類を模型と組み合わせて再現展示し、野辺送りの儀礼を実際に使われていた龕や吊旗、戦前の写真や現代の映像・写真等を展示する。
- ・現存する古墓の写真や模型を通じて墓の変遷や役割を示し、風葬と洗骨儀礼を視覚的に説明する。
- ・戦後の火葬の普及と葬送儀礼の外部化、商業化による変化など、現代社会の葬制の現状と課題を取りあげる。
- ・墓の変化の社会的背景を探り、都市化とともに墓地と住宅とが隣接する現代社会における行政の取り組みや墓地整備の現状等を紹介し、最後にアンケート調査の結果を提示する。

#### （2）構成

本展示会は以下の7章で構成した。

### プロローグ 葬墓制の世界

本展示の概要及び用語解説を提示した上で、世界からみたいろいろな葬法のあり方をパネル等で概観し、琉球弧を含む東アジアの葬法の特徴等を説明した。

〔主な展示物〕東アジアの墓の写真パネル（中国・マレーシア・インドネシア・台湾・韓国等）、世界の葬法概略マップ

## 第1章 先史からグスク時代の葬墓制

琉球列島の埋蔵文化財の実物資料（発掘された人骨）や写真、副



面縄第1貝塚の人骨展示



葬品、模型等の展示を通して、先史からグスク時代の葬法を埋葬墓と崖葬墓に分けて展示した。

〔主な展示物〕トチマン遺跡、武芸洞遺跡、面縄第1貝塚、木綿原遺跡、具志川島遺跡群、大当原遺跡、安座間原遺跡、後兼久原遺跡等の人骨と模型、副葬品、写真パネル。

## 第2章 史料がかたる近世の葬墓制

近世の葬法や墓に関する史料を基に年表を作成し、土葬や風葬が併存していた時代から徐々に風葬に集約されていく時代背景等について史料を通して説明した。

〔主な展示物〕『海東諸国紀』『重刻 中山伝信録』『服制』『四本堂家礼』『琉球国葬式図』『八重山島規模帳』『口上覚』等、ようとれのひのもの・極楽山碑文、板良敷村墓碑、『琉球風俗絵図』のパネル等。

## 第3章 今に伝わる葬具と葬送儀礼

風葬を行っていた明治以降の葬送儀礼について、葬具や龕等の実物資料と映像や写真パネルを通して、通夜の再現展示や野辺送り等の儀礼を紹介した。

〔主な展示物〕葬式幕（久米島・読谷）、葬礼服（着物）、与那国・読谷・名護の龕や天蓋、石垣市大浜の龕幕と下絵図、供物類を模型と組み合わせて再現展示、与那国と西表の野辺送りの映像、副葬品等。

## 第4章 風葬と墓

死者を葬る場所に着目し、墓として形作られていく過程を写真や絵で説明した。現存する古墓の写真パネルを用いてさまざまな形態の墓があることや立地場所・材質・工法などについても解説した。また、原寸大の破風墓の模型で墓室内部を再現展示し、厨子甕の役割や形の変遷等についても説明し、洗骨儀礼については糸満市のジョーアキー（墓開き）儀礼事例として映像で紹介した。

〔主な展示物〕原寸大模型と厨子甕による墓の再現展示、厨子甕各種、漢那ウエーヌアタイ木榔墓（木製家型墓）の古材、百按司墓の木榔墓（板墓）屋根部材、墓の断面模型、各地域の古墓写真パネル、糸満上米次腹（門中）ジョーアキー（墓開き）儀礼の映像等、運天の板門墓の扉、輝緑岩の石厨子、各種厨子甕、尚寧王妃の墓誌、瓦証文等。

## 第5章 火葬の普及と葬墓制の変化

戦後、火葬が普及した背景を公文書や新聞資料等を用いて解説した。また、地域で行っていた葬送儀礼から業者委託へと変化する、いわゆる外部化、商業化によって画一化された葬送儀礼の現状を資料やパネル等で説明した。

〔主な展示物〕公文書（「墓地取締に関する文書」、「墓地反対の陳情書」等）、辻原の墓地移転、喜如嘉の火葬場建設に関する新聞記事、宜野座村志武田原共同墓地の墓石、現代の葬具（木棺や骨壺、かりゆしウェアの喪服等）、『八重山蔵元絵師画稿（仏壇の図）』、葬式の写真パネル等。

## エピローグ これからの葬墓制

墓の継承や管理の問題、都市計画等にもなる整備等の行政の取り組みや住民の意識について、市町村や当館が実施したアンケート調査の結果等から紹介した。また、各市町村の墓地基本計画等の刊行物をハンズオン展示にして、沖縄の葬墓制の将来を考える場を提供した。

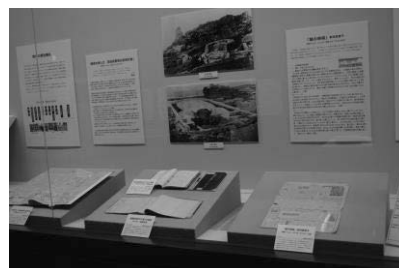
〔主な展示物〕アンケート調査集計パネル、各市町村の墓地基本計画等刊行物、各市町村の墓地調査パネル、奄美大島宇検村の共同墓地建設関係資料等



龕と四流旗の展示風景



輝緑岩の石厨子と破風墓の内部の展示（原寸大模型）



公文書や新聞資料の展示

## 【関連催事】

### (1) シンポジウム「琉球弧の葬墓制—その地域と時代—」

日 時：10月31日（土）14:00～17:30  
場 所：3階講堂、サブ会場：ホワイエ  
プログラム：

#### 第一部 事例報告（発表順）

片桐千亜紀（当館主任学芸員）

「琉球弧における先史時代の多様な葬墓制」

安里進（当館館長）

「王墓から見た沖縄の墓」

田名真之（沖縄国際大学教授）

「近世の葬墓制 —士族層を中心に—」

金城善（元糸満市立図書館長）

「南山王の墓と地人門中の墓」

仲原弘哲（今帰仁村歴史文化センター館長）

「ヤンバルの墓からみえる葬墓制」

津波高志（琉球大学名誉教授）

「琉球弧における土葬と風葬」

#### 第二部：シンポジウム

パネリスト：同上

コーディネーター：津波高志

参加者：340名



シンポジウムの様子と  
サブ会場

### (2) 文化講座①「葬送儀礼の移りかわり」

日 時：10月17日（土）14:00～16:00  
場 所：3階講堂  
講 師：崎原恒新（沖縄県文化財保護審議会委員）  
参加者：167名



文化講座①

### (3) 文化講座②

日 時：11月21日（土）14:00～17:00  
場 所：3階講堂、屋外展示場の民家前  
プログラム  
第一部：「死者とつながる琉球弧の哭きうた（葬送歌）の世界」  
講師：酒井正子（川村学園女子大学名誉教授）  
第二部：国場の念仏エイサー「花ぐらん」の上演  
講師：城間秀雄（国場民俗伝統芸能保存会初代会長）  
出演：国場民俗伝統芸能保存会  
参加者：190名



文化講座②

国場民俗伝統芸能保存会

### (4) 学芸員講座「洗骨儀礼について考える」

日 時：10月3日（土）14:00～16:00  
場 所：博物館講座室・特別展示室  
講 師：大湾ゆかり（当館主任学芸員）  
参加者：129名、展示解説会72名

### (5) 巡見ツアー①「今帰仁村と名護市の古墓巡り」

日 時：10月24日（土）9:00～17:00  
場 所：今帰仁村（平敷大主の墓、大井川沿いの古墓群、百按司墓、大北墓等）  
名護市（ナイクミ門中墓の展示会、プーチャー墓等）  
講 師：仲原弘哲（今帰仁村歴史文化センター館長）  
比嘉ひとみ（名護市立中央図書館館長）  
参加者：19名



学芸員講座の展示解説会

(6) 巡見ツアー②「那覇市内の古墓巡り」

日 時：11月14日（土）9:00～12:00

場 所：玉陵、毛氏豊見城殿内の墓、宜野湾御殿の墓、伊是名殿内の墓等

講 師：古塚達朗（那覇市教育委員会文化財課長）

参加者：19名



(7) 展示解説会

日 時：9月26日14:00～15:00

場 所：特別展示室

講 師：片桐千亜紀・大湾ゆかり（当館主任学芸員）

参加者：52名

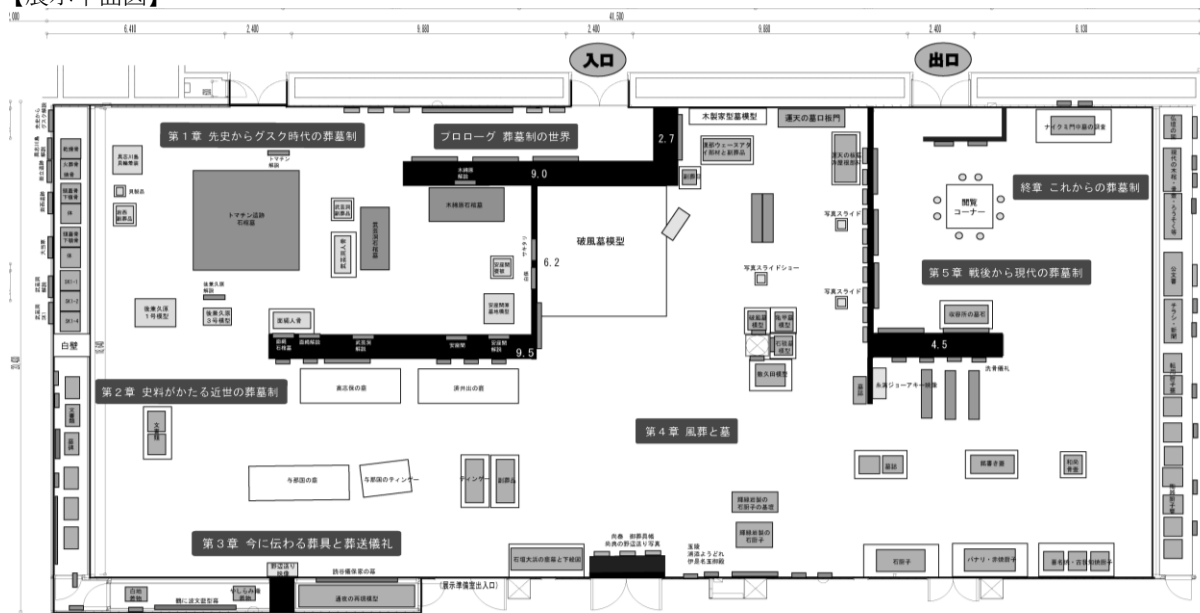


巡見ツアー（今帰仁・那覇）

【図録出版】

展示会内容と展示物リスト、及び琉球弧の葬墓制に関する地域ごとの論考を掲載（64ページ、オールカラー）を刊行。

【展示平面図】



展示室平面図（3階 博物館 企画・特別1・2展示室 約810㎡）

（大湾 ゆかり）

5. 企画展「うちくいー沖縄のふろしきー」

会 期：2015年4月28日（火）～6月21日（日）

会 場：沖縄県立博物館・美術館 特別展示室1・2 企画展示室

観 覧 料：一般600円（480円）、高校・大学生500円（400円）、小・中学生400円（320円）

※（ ）は、前売り及び20名以上の団体料金

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄伝統びん型保存会・琉球びんがた事業協働組合

協 力：平良次子・山田葉子・宮城守男・伊是名村教育委員会・久米島博物館・那覇市歴史博物館・南風原町立南風原文化センター・沖縄県立芸術大学附属図書館・芸術資料館・沖縄公文書館・石垣市立八重山博物館・喜宝院蒐集館・日本民藝館・ハワイ大学マノア校図書館

【開催趣旨】

「うちくい」とは沖縄のふろしきのことである。現在、多く残されているのが、苧麻（チョマ）地に染め

た紅型のうちくいで、単純化された円形の模様と鮮やかな色が特徴である。その美しさは多くの人を魅了し、沖縄のふろしきの代名詞となるほどである。

しかし、うちくいが「敷く」「掛ける（覆う）」「被る」を含めた布であったことは、あまり知られていない。王国時代の土族達が、掛けるために使っていた、緞子を接ぎ合わせた「御辻」、庶民たちが日々の暮らしで被った布の様子も分かってきた。

うちくいが庶民のものとなった王国末期から近代にかけて、運ぶ用具としての様々な包み方や運搬の方法が誕生し、広がりをみせていく。

うちくいの「敷く」・「掛ける（覆う）」・「被る」・「包む」などの用途を通して、言葉の意味、様々な包み方や運搬方法、糊引きの染め方、文様の美の観点から、うちくいを探る。

うちくいは、単なる包み物、掛け物ではなく、そこには大切な物を愛おしむ心が込められている。また、運ばれた物は、人と人、人と聖なる者を、さらに国と国を結んできた。不思議な物をたくさん包み、心と心を結ぶ「うちくい」の側面から、沖縄の文化の一端を紹介していく。

## 【展示内容】

### I 「うちくい」ってなんだ？

「うちくい」の語源と沖縄各地での呼称の違いなどを紹介。日本の「ふろしき」の本当の意味と照らし合わせながら、「敷く」「掛ける（覆う）」「被る」「包む」の四つの用途から、うちくいを考える。

- ・「筒引き」（1939年：坂本万七撮影）
- ・「うちくい」ってなんだ（解説パネル）
- ・「うちくい」の意味（沖縄のふろしきとその呼び方）（図パネル）
- ・「ふろしき」の意味（解説パネル）
- ・敷く：「中山伝信録」より「女集図」（写真パネル）
- ・掛ける（覆う）：小裂を接ぎ合わせた「御辻」・ウスヤーなど
- ・被る：花織の頭巾・ウツパイ
- ・包む：紅型の風呂敷

### II うちくいが包んだもの・運んだもの

王国時代や近代の絵画資料にみられる、いろいろな包み方と運搬方法とともに、運んだ物から心と心を結んだうちくいの役割をみる。

- ・国王印を運ぶ：冊封使行列図よりタペストリー／黄色の包み物／琉球国王印（図パネル）
- ・布を運ぶ：沖縄風俗図よりタペストリー／青い包み物／芭蕉布の反物など
- ・ケーやゴザを運ぶ：沖縄風俗図よりタペストリー／青い包み物／衣装櫃／ゴザ
- ・衣装櫃を覆う：衣装櫃／紅型の風呂敷
- ・ハチマチ入を運ぶ・傘を包む：王子様図よりタペストリー／黄色の包み物／ハチマチ入れとハチマチ／青い包み物／傘
- ・郊外にお参りに出る・盆を運ぶ：琉球風俗画帖・進貢船図よりタペストリー／紅型の掛け物／方形の盆・瓶子など
- ・肩に掛けて運搬する：旅姿女人図よりタペストリー／青い包み物を模型にする
- ・竹竿に吊るして運搬する：琉球風俗画帖よりタペストリー／青い包み物／竹竿
- ・頭に被る：魚売りの図・畑仕事をする人（鳥居龍蔵撮影）・洗濯する女（八重山蔵元絵師画稿）ヒジリウチクイを被る（喜宝院蒐集館）・祭りで被る（河村只雄撮影）・祭りで被る（八重山蔵元絵師画稿）よりタペストリー

### III 紅型のうちくい

うちくいには、円錐状の袋に入れた米糊を絞り出して模様を描き、地染めを施す技、筒描きの紅型によるものがある。王国の末期から近代にかけて染められた作例は、婚礼時に持たせる一品として、ステータスのシンボルであった。筒描きの工程や模様づくりの面白さを紹介する。

- ・筒描きの工程：映像「びん型」より筒描き工程（城間榮順）を抜粋
- ・筒描きの道具：糊袋・筒口など
- ・紅型のうちくいの模様：スライドショー（澤岬家図案帳三冊）
- ・筒描き紅型（紋の入った筒描き）
- ・型染のみのうちくい：当館所蔵・上江洲家のいずれか
- ・紋を染める型紙：紋（文字紋染地型紙／「請」の字紋白地型紙／今帰仁御殿御紋染地型紙／鶴亀模様染地型紙）
- ・うちくいを染める型紙：鳳凰模様白地型紙／変わり蜀江模様染地型紙／獅子手毬牡丹唐草染地型紙／菖



#### IV いろいろな ふろしき

「うちくい」は近代になると「ふろしき」と名を変えて、私達の身近なものとなる。また、ふろしきによる包み方を楽しむ文化も誕生する。どこの家にもある記念ふろしきなど、私達の暮らしに密接な作例を紹介。

世界のどこにでもみられる「敷く」「掛ける」「被る」「包む」といった世界の掛け物・包み物の文化から、ふろしきを俯瞰して考える。

さらに、うちくいを染める技法「筒描き」は、ワークショップとして楽しむようになる。子ども達が挑戦する筒描きを紹介する。

記念ふろしき：復帰記念風呂敷・オリンピック記念風呂敷他

世界のふろしき：ガテマラの掛け物・インドネシアの布・メキシコの万能布（スーテ）他・世界のふろしき（パネル）

映像：筒描き紅型に挑戦！・作品：筒描き紅型（9点）

#### V うちくいの美

紅型のうちくいは、「うちくい」の代名詞となるほど広く知られる。しかし、布で物を覆ったり、包んだりして運搬する文化が失われつつある現在、私達がこれらを目にする機会は、少ない。紅型うちくいに表現される模様を分類し、その表現の面白さや美しさを紹介する。また、戦後、復興期に染められたうちくいなども紹介し、新たな「うちくい」創造のきっかけとしたい。

筒描きの風呂敷（円形回転タイプ）・筒描きの風呂敷（対称タイプ）・筒描きの風呂敷（牡丹・桜・菊・菖蒲など）・筒描きの風呂敷（紋・鶴亀紋・紋斜めづけ）・筒描きの風呂敷（絹素材・苧麻素材・木綿の素材）・筒描きの風呂敷（戦後、0からのスタート）・「筒描き」工程モデル

#### 【関連催事】

- (1) 博物館文化講座「布を織る人の手 ―中国貴州省・苗族の布づくり―

日 時：2015年5月16日（土）14:00～16:00

講 師：鳥丸知子（九州栄養福祉大学 非常勤講師）

- (2) 学芸員講座「うちくいの話 partⅡ ―うちくいは何を運んできたのだろうか―

日 時：2015年5月9日（土）14:00～15:30 ※展示解説を含む

講 師：與那嶺一子（当館学芸員）

- (3) 体験学習教室「筒描き紅型にチャレンジⅢ！」※子供向け

日 時：2015年5月23日（土）・24日（日）各14:00～16:00

※6月31日（日）は糊落としと作品の引き渡し

講 師：城間栄市（染色家）

- (4) ワークショップ「筒描きを楽しむ！」※大人向け

開催日：2015年6月6日（土）・7日（日）各14:00～16:00

※6月13日（土）は糊落としと作品の引き渡し

講 師：琉球びん型事業協同組合

- (5) 担当学芸員による展示解説会

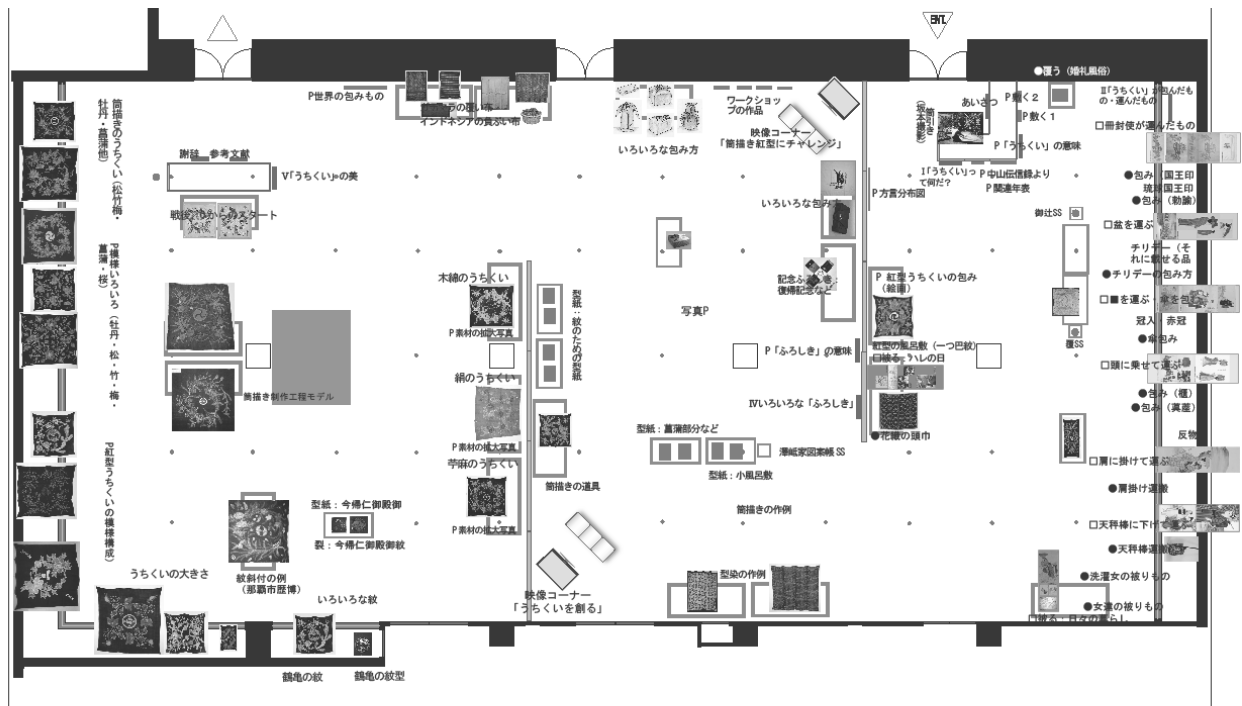
日 時：2015年5月2日（土）11:00～12:00

2015年5月9日（土）15:30～14:30

2015年6月13日（土）14:00～15:00



【展示室平面図】



(與那嶺 一子)

6. 企画展「新収蔵品展—平成26年度収蔵資料—」

会 期：2015年12月8日（火）～2016年1月11日（月・祝）

観 覧 料：一般200円(160円)、高校・大学生150円(120円)、小・中学生100円(80円)

※（ ）は、前売り及び20名以上の団体料金

博物館企画展「新収蔵品展」は、前年度に寄贈・収集・購入・移管・修理された諸資料を一堂に集め、広く一般に公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展をめざして開催するものである。

【事業内容】

平成26年度に寄贈・収集・購入・修理された諸資料を地学、生物、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野に分類し、博物館3階の企画展示室で展示・公開した。

本展の初日には、寄贈者への感謝状贈呈式および開会式等を実施した。

【展示内容】

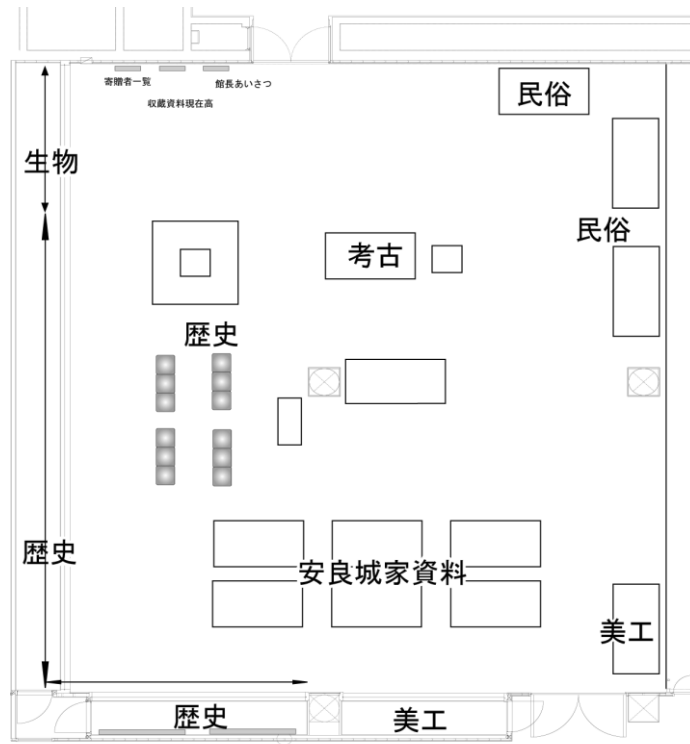
平成26年度は、寄贈・収集・購入等により274件の新資料を収蔵した。安良城みち代氏からは、安良城家に受け継がれていた歴史、美術工芸分野にまたがる様々な資料51件をご寄贈いただいた。その中には、歴史的に貴重な毛姓家譜（安良城家）や、家紋が施された食籠や重箱などの漆器類が含まれる。

その他にも、自然史分野では、永山千代様からご寄贈いただいたシマイシガニ剥製や、NPO法人どうぶつたちの病院より献体いただいた希少なクロツラヘラサギから本剥製と骨格標本を製作した。考古学分野では濱富太郎氏より保存のよいカムイヤキをご寄贈いただき、歴史分野では、上間長恒様から沖縄バヤリースの看板や多数の関連商品を、山本正孝様から復帰前の沖縄の風景写真一式を、富永進一様から「惜別」 丕髻社撰詩・陳栄光等漢詩集を、それぞれご寄贈いただいた。美術工芸分野では、米田文孝様よりご寄贈いただいた1796年に江戸上りをした三貴人が描かれた紙本着色琉球三貴人図や、安谷屋良子様よりご寄贈いただいた絹緑地経緯緋着物他二領、人間国宝結ぶ御縁実行委員会よりご寄贈いただいた玉那覇有公氏作の紅型衣裳などがある。民俗分野では、向井裕子様より和尚の銘入り飴釉骨壺11基を、真栄田和子様より久米系毛氏吉川家の位牌をそれぞれご寄贈いただいた。





【展示平面図】



博物館企画展「新収蔵品展—平成26年度収蔵資料—」展示配置図

(藤田 祐樹)

## 7. 企画展「大嶺薫コレクション—探求する心とその世界—」

会 期：2015年12月17日（木）～2016年1月31日（日）

会 場：博物館特別展示室2

観 覧 料：※博物館常設展料金に同じ

### 【開催主旨】

大嶺薫コレクションは、故大嶺薫（1905～1970）が戦前・戦後をとおして収集したものである。氏の没後、その意志をひきついだ遺族によって、1971（昭和46）年、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献してきた。1985（昭和60）年3月、同美術館の閉館にともない、収蔵資料3,550点の美術工芸のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈された。

戦後、沖縄の多くの文化遺産が消失あるいは海外へ散逸したが、大嶺薫はこれら文化財の流出を憂慮し、収集の努めたことは高く評価されるものである。

本展は、大嶺の業績を顕彰するとともに、毎年1回開催するもので、本年度のテーマは、大嶺の多様な興味関心に基づき、サブテーマを「探求する心とその世界」と設け、美術工芸（絵画、書跡、陶磁器、漆器、彫刻）、歴史（古文書、古銭、装身具など）、考古、民俗（民族）（仏具、仮面、装身具）の各分野の資料を紹介する。

### 【展示資料】 123件 339点

- 絵 画：七難七福図、三国志高傑図、猿之図、猿親子之図、山水図、四季花之図、蓮池之図、文人図
- 書 跡：尚育の書、陳観西の書、鄭嘉訓の書（七言絶句）、鄭其昌の書（聯句）、徳富蘇峰の書、硯、矢立
- 陶磁器：渡名喜瓶4点、パナリ焼香炉、男女像、マヤ人形像、からから3点、嘉瓶2点、リス盛付多口壺、急須、酒入、茶家
- 漆 器：黒漆山水楼閣人物螺鈿机（県指定有形文化財）、朱漆唐草巴紋入台付椀、堆黒唐人童子鶴文硯屏、堆朱龍山水食籠、朱漆沈金山水文湯庫
- 彫 刻：猿座像、明王形神像2点、天尊子像
- 勾 玉：伝聞得大君勾玉、緑玉勾玉、緑玉勾玉、青磁色勾玉（大）、青色勾玉、緑玉勾玉、薄緑玉勾玉、紫玉子持勾玉、薄青玉勾玉、薄緑玉勾玉、緑玉勾玉（小）、水晶勾玉、今帰仁阿応理屋恵の玉草履欠片
- 貨 幣：古銭125点 元豊通宝、鳩目銭47点、琉球無文銭17点、琉球通宝5点

- 装身具：「高砂」字蓬莱山柄鏡、蓬莱山柄鏡、「寿」字松文柄鏡、「丹頂」字瑞雲双鶴文柄鏡、丸に桐文柄鏡、櫛25点、筭4点、簪4点
- 民俗：一提げ煙草入れ4点、腰差し煙草入れ11点、懷中、布フゾー、煙管6点、吸口21点、雁首44点
- 考古：西表島採集石器3点、宮崎県収集古墳出土品（大刀1点、大刀鏝1点、鈴輪1点、石釧1点）アメリカインディアンの石鏃13点



(與那嶺 一子)

## 8. 企画展「大気と気象～見えない空気の“力と技”～」

- 会 期：2016年1月26日（火）～3月6日（日）
- 場 所：沖縄県立博物館・美術館 企画展示室
- 観 覧 料：一般：300（240）円 高校・大学生150（120）円  
小・中学生100（80）円
- ※（ ）内は、20名以上の団体料金
- 観覧者数：3,692 名



開会式の様子

### 【開催形式】

- 主 催：沖縄県立博物館・美術館
- 後 援：沖縄県高等学校地学教育研究会、NHK沖縄放送局、琉球放送（株）、沖縄テレビ放送（株）、琉球朝日放送（株）、沖縄ケーブルネットワーク（株）、（株）沖縄タイムス社、（株）琉球新報社、（株）ラジオ沖縄、（株）エフエム沖縄、FMレキオ、タイフーンfm
- 協 力：沖縄气象台、国立開発研究法人情報通信研究機構、公益財団法人沖縄こどもの国

### 【開催主旨】

海に囲まれ、亜熱帯に位置する沖縄では、本州とは異なる気候にあり、台風や竜巻など様々な気象現象が見られる。見るできない空気は、私たちの生活に欠かせないものであると同時に、災害なども引き起こす。そこで、本展示会では、大気を中心に「気象との関わり」「海洋との関わり」など、関連するものを展示する。そして、沖縄県民に大気・海洋について、より深い知見を紹介することを目的とする。さらに、自然災害なども紹介し、防災・減災の意識を高め、環境との関わりを理解する機会とする。

### はじめに

沖縄県は、暖流である黒潮の中に位置し、温暖な気候です。夏には、台風の通り道となり、多くの被害を受けています。しかしその反面、「水の供給」という面で恩恵も受けています。

このような気候の中で、生活している沖縄県民に、その仕組みを知ってもらうことで、環境との関わりを理解する機会としました。

### はじめ

約46億年前に地球が誕生しました。そのとき、地球の大気の成分は二酸化炭素と水蒸気がほとんどで、酸素は存在していませんでした。約20億年間に光合成を行う生物が大繁栄し、海水中では徐々に酸素が増加し始めました。大気中の酸素が増え始めたのは約4億年前で、そのおかげで陸上にも生物が姿を現しました。現在の大気の始まりを展示、解説しました。

## 第I章 海で暮らす人々

沖縄は、近海を流れる黒潮（暖流）の影響で、暖かく湿潤な気候になっています。温帯の地域に属しながら、熱帯の特徴も併せ持つ、世界的にも珍しい亜熱帯性の気候になっています。このような気候の中で、人々はどのように自然と関わっていたのでしょうか。沖縄に台風がよく接近するのはよく知られていることです。

しかし、竜巻の発生件数も日本一なのです。暖かく、竜巻の発生のもととなる積乱雲が発生しやすいため、竜巻も多いのです。ただ、島嶼である沖縄では、陸地の面積が小さいため、海上で発生する竜巻がほとんどです。また、陸域が小さいと言うことは、川が少ないため、水の確保も重要です。台風などは、災害も大きいですが、命の恵みである「水」をもたらしてくれるのです。気候や環境との関わりを深く理解してできる展示にしました。

## 第二章 気体の不思議

私たちを取り巻く大気は、私たちが生きていく上で決して欠かすことのできないものです。しかし、あまりにも普通にあるために、あまり意識して気にかけることがありません。そこで、いろいろな実験を通して、大気のおもしろい性質が私たちに、どのように関わっているかを紹介します。空気の重さや、気体の性質など、不思議な現象がたくさんあります。このような現象を体験していただくとともに、身近にも気体の性質を利用した道具がたくさんあることを感じてほしいと思い、展示を行いました。

## 第三章 災害と対策

沖縄県では、毎年のように台風の被害に遭っています。しかしその反面、水を供給して、私たちの生活を支える役割も果たしています。また竜巻の発生が多い沖縄で、いろいろな自然現象との関わりを知ることで、防災や減災を意識できるように紹介していきます

沖縄県民は、台風による対策は結構進んでいると思いますが、まだまだ十分とはいえません。そのため、特段に勢力の強い台風の接近や、連続した台風の接近では、多くの被害を受けます。常に減災を意識した対策を取る必要があります。防災の意識は、台風のみならず、竜巻、土砂災害、干ばつ、そのほかには地震や津波、高潮などたくさんあります。いつ何時災害に襲われるか分かりません。そのために、災害の種類によって対策を取ることを心がけてほしいと思い展示を行いました。

### 【関連催事】

- (1) 展示会体験講座「見えない空気のフシギ」  
日 時：2016年2月7日（日）10:00～12:00  
講 師：金城靖信（沖縄県立総合教育センター研究主事）
- (2) 博物館文化講座「台風と自然災害…台風を知ることと身を守ること…」  
日 時：2016年2月13日（土）14:00～16:00  
講 師：伊藤耕介（琉球大学理学部助教）



展示解説の様子

### 【展示平面図】



(仲里 健)

## 9. 平成27年度 九州歴史資料館×沖縄県立博物館・美術館 企画展 「沖縄の旧石器人と人類の起源」

会 期：2016年1月27日（水）～2月28日（日）  
会 場：九州歴史資料館 第1・第2・第4展示室  
観 覧 料：一般200円、高校・大学生150円、小・中学生無料（※常設展共通）  
観覧者数：2,700人

### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館  
共 催：九州歴史資料館  
後 援：福岡県教育委員会、沖縄県教育委員会、南城市教育委員会、八重瀬町教育委員会、九州旧石器文化研究会、朝日新聞社、西日本新聞社  
協 力：沖縄県立埋蔵文化財センター、北谷町教育委員会、南城市教育委員会、甘木歴史資料館、国立科学博物館、鹿児島県立埋蔵文化財センター、喜界町埋蔵文化財センター

### 【開催趣旨】

九州の南方海上に浮かぶ沖縄の島々。湿潤な亜熱帯に位置し、隆起サンゴ礁からなる石灰岩が広く分布する沖縄では、旧石器時代の人骨化石が数多く発見されている。特に、約2万年前の港川人は、日本列島の旧石器人を代表する人骨として、広く知られている。

しかし、これまで沖縄では、旧石器時代の人類が使用した石器などの確実な道具は発見されておらず、また、旧石器時代と縄文時代（相当期）の間には約1万年間にもおよぶ人類史上の「空白の時代」が存在していた。このため、沖縄の旧石器人がどのような暮らしをしていたのか、その後の人々と関連があるのかどうか、さまざまな謎が残されていた。

一方近年、沖縄県南城市サキタリ洞遺跡（ガンガラーの谷内）で進められている発掘調査では、旧石器時代とそれに続く「空白の時代」に相当する人骨や石器、具器などの遺物が発見されており、従来の沖縄の人類史を書き換える成果が得られている。

この展覧会では、人類の起源と進化のあらましを紐解き、近年の沖縄における旧石器人とその文化に関する、調査研究成果とその意義をわかりやすく展示する。また、旧石器時代以降、九州以北の日本とは異なる展開を遂げた沖縄の人類史についても、出土品を通してその特徴を紹介する。

### 【展示内容】

#### 第1展示室

- 第一部「沖縄の旧石器人とその文化」
- 1 琉球列島の地史と環境
  - 2 沖縄の旧石器人
  - 3 沖縄旧石器時代研究の最前線

#### 第2展示室

- 第二部「人類の進化と拡散－猿人から新人まで」
- 1 人類の誕生
  - 2 アフリカから旅立った原人とそのゆくえ
  - 3 新人たちのグレートジャーニー

#### 第三部「発掘された沖縄の人類史」

- 1 先史時代1 沖縄最古の土器を探る
- 2 先史時代2 爪形文土器と曾畑式土器
- 3 先史時代3 ウミアッチャー世
- 4 グスク時代
- 5 琉球王国時代
- 6 近現代



第1展示室の様子



展示解説会の様子  
(第2展示室)

### 【関連イベント】

#### (1) 展示解説会

日 時：2016年1月27日（水）11:00～12:00

2016年2月14日（日）16:00～17:00

講師：山崎真治

参加者：1日目…豪雪のため館内関係者を対象に実施  
2日目…27名



九歴講座の様子

(2) 講演会（九歴講座）「沖縄の旧石器人と人類の起源」

日時：2016年2月13日（土）13:30～15:30

場所：九州歴史資料館研修室

講師：山崎真治（当館学芸員）

参加者：182名

(3) ワークショップ「石器づくり・貝器づくり」

日時：2016年2月14日（日）

場所：九州歴史資料館

講師：山下実（九州旧石器文化研究会）・岩永雅彦（多久市教育委員会）・山崎真治（当館学芸員）

参加者：25名

(4) 夜のギャラリートーク

日時：2016年2月17日（水）19:30～20:30

講師：杉原敏之（九州歴史資料館）

参加者：11名

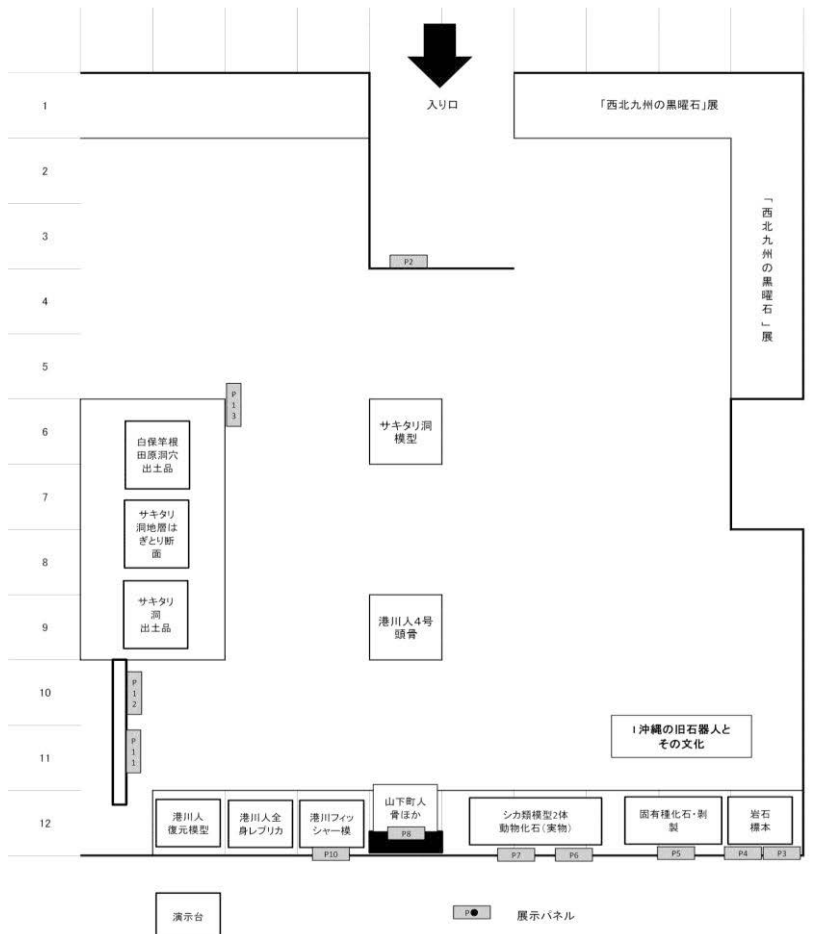
(5) 公開シンポジウム「東アジアと列島西端の旧石器文化」

日時：2016年2月20日（土）・21日（日）

場所：九州歴史資料館研修室

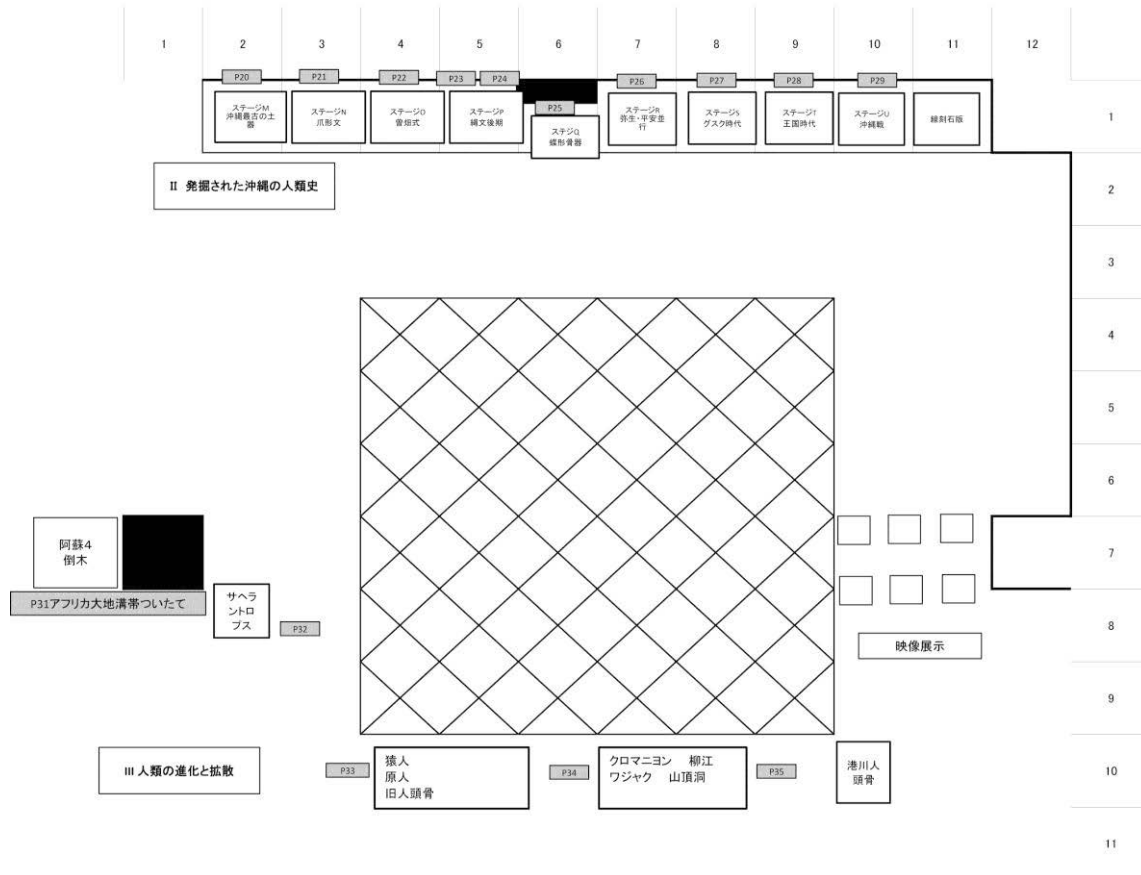
参加者：188名

【展示平面図】



第1展示室





第2展示室

(山崎 真治)

## 10. 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展 「芸大の御宝展～ものとひとをつくる～」

会 期：2016年2月26日（金）～3月13日（日）  
 会 場：博物館特別展示室1・2  
 観 覧 料：一般410（330）円、高校・大学生260（210）円、  
 小・中学生150（120）円  
 ※（ ）内は20名以上の団体料金



### 【開催形式】

主 催：沖縄県立芸術大学、沖縄県立博物館・美術館  
 後 援：沖縄県、（一財）沖縄美ら島財団、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄タイムス、  
 琉球新報、NHK沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、FM沖縄  
 協 力：NPO法人 沖縄県立美術館支援会happ  
 特別協力：琉球物流株式会社 創立65周年特別協力

### 【開催趣旨】

「沖縄文化が作りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求すること」を建学の理念のもと、沖縄県立芸術大学開学30周年を迎えるにあたっての当館とのコラボ企画展。30年間の教育・研究活動の中で培われた芸大の「もの」と「ひと」に、当館の所蔵品を加えた「御宝」の数々や関連イベントを通して芸大の御宝について発信した。

### 【展示内容】

琉球・沖縄の歴史と芸大の歩み、沖縄の伝統芸能と文化、過去と融合する現代の美術と音楽、学生・卒業生の活動とこれからの芸大の4つの展示構成で、芸大が所蔵する御宝と当館の資料を合わせて、100点余を展示した。



## 【関連イベント】

- (1) 記念講演「沖縄における芸術の再発見と未来への発信」  
日 時：2月28日（日）13:00～14:30  
場 所：3階講堂  
講 師：園原謙（当館博物館班長）、小林純子、名護朝和、山田聡（沖縄県立芸術大学美工学部）
- (2) 講座「鎌倉芳太郎と琉球芸術」  
日 時：3月4日（金）18:00～20:00  
場 所：3階講堂  
講 師：久万田晋、柳悦州、波照間永吉（沖縄県立芸術大学附属研究所）
- (3) 美術工芸学部織物体験ワークショップ  
日 時：3月5日（土）13:00～16:00  
場 所：博物館1階実習室  
講 師：花城美弥子、安仁屋百子、島袋佑梨子、嶺井美樹、與那嶺利菜（沖縄県立芸術大学造形芸術研究科）
- (4) バリ・ガムラン・デモンストレーション  
日 時：3月5日（土）11:00～13:00  
場 所：博物館3階ホワイエ  
出 演：與那城常和子（沖縄県立芸術大学音楽学部）ほか
- (5) 音楽学部による講演とコンサート  
日 時：3月6日（日）10:00～12:00  
場 所：3階講堂  
出 演：「田辺尚雄と沖縄音楽」久万田晋（沖縄県立芸術大学附属研究所）、  
「沖縄の洋楽史」三島わかな（沖縄県立芸術大学音楽学部）  
声楽・室内楽コンサート／出演：音楽学部学生ほか
- (6) 座談会「人間国宝からのメッセージ」  
日 時：3月6日（日）13:00～14:30  
場 所：3階講堂  
出 演：宮城能鳳（人間国宝）、西江喜春（人間国宝）、照喜名朝一（人間国宝）  
聞き手：金城厚（沖縄県立芸術大学音楽学部）
- (7) 琉球芸能公演「伝わる美・伝える美」  
日 時：3月6日（日）15:00～16:30  
場 所：3階講堂  
出 演：沖縄県立芸術大学音楽学部学生、同大学院生、同卒業生
- (8) 対談「沖縄における美術のこれまでとこれから」  
日 時：3月11日（金）18:00～19:30  
場 所：博物館1階講座室  
出 演：鈴木勝雄（東京国立近代美術館）、土屋誠一（沖縄県立芸術大学美工学部）

（園原 謙）

## Ⅲ. 教育普及活動

### 1. 博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。近年博物館を訪れる来館者のニーズは多様化し、利用者はそれぞれが様々な目的をもって来館する。このような来館者の要求により多くこたえていくため、当館では今年度も多くの教育普及活動を実施してきた。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく2つの事業に分け推進してきた。学校連携事業では、学校団体受入の充実した態勢を図るため、ボランティア員を活用した学校団体に対する支援体制の強化を推進し、サービスの向上を図ってきた。また、「出前授業等」実施要項を作成し、学芸員と教師が連携した授業を実施することができた。文化講座及び展示会関連講座は「ゲノムから探る琉球人の多様性とその成り立ち」を皮切りに総数12回実施し、県民の皆様にも多くの参加をいただき好評を得ることができた。その他にも、体験学習教室では「筒描き紅型に挑戦Ⅲ！」をはじめとする4種の体験学習教室の開催や学芸員講座と常設展示解説会12回、バックヤードツアー12回、夏休み企画として「夏休み！博物館学芸員教室」全10教室を開催した。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が企画立案し事業の実施（運営）を指定管理者が行うことになっている。博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例（週1回）の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

参加者：2015年度における教育普及事業への参加総数：10,075名（自由見学の学校団体は含まない）

（金城 久枝）

県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など） ※重複あり

項目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大学	合計
下見(学習プログラム作成打合せ)	30	0	0	0	0	30
民具体験(小学校3年社会科)	30	0	0	0	0	30
教科(社会科、理科など)	33	2	10	2	3	50
領域(道徳、特活、総学の時間)	16	4	5	1	0	26
民俗ガイド(小規模校対応)	3	1	0	0	0	4
総合展示部門解説ガイド	2	0	0	0	0	2
修学旅行など	47	1	0	0	0	48
博物館活用学習(自由見学)	107	12	20	8	5	152
その他	12	3	0	4	0	19
合計	280	23	35	15	8	361

## 2. 学校連携事業

学校連携事業は、大きく二つの事業を実施した。一つは、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援で、館から提供できる支援内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携していく学習プログラムを実施した。二つめは、『出前授業等』実施要項の作成及び、『教育普及報告書』『博物館学校団体利用マニュアル』を作成し、沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援校に配布した。

### 【学校団体受入れ】

毎年9月頃から2月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために3年生が数多く来館する。この民具体験学習では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。学校側との打合せとして、約2時間の下見を実施している。学校と博物館が互いに協力した学習支援体制がスムーズに行えるよう取り組んだ。教師が主体性を持ち、博物館を活用した授業展開の在り方が構築されたと考える。今年度は、30校が学習プログラムを活用した。

### 【出前授業等】

博物館のもつ資源（もの、情報）を学校教育の場で有効に活用することを趣旨とし、昨年度から出前授業等を実施している。今年度は、小学校2校・中学校3校7件・高等学校3校4件の出前授業等を実施した。



小学校での授業



中学校での授業



高等学校での授業

(金城 久枝)

### 3. 博物館体験学習教室

沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する体験を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。今年度の総参加者数は、73名であった。



色差しの様子



糊落としの様子



各自のオリジナル作品



筒描きの様子



色差しの様子



素敵な作品完成



展翅の様子



昆虫標本づくり



昆虫標本を手作り標本箱へ



実験の様子



空気の力を体感



空気砲作成

(金城 久枝)



## 4. 博物館文化講座

博物館文化講座は、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。今年度の総受講者数は、1,515名であった。

(金城 久枝)

### 【文化講座一覧】

回	期日	演題 講師名	場所	参加者
455	2015. 4. 18(土) 14:00～16:00	「ゲノムから探る琉球人の多様性とその成り立ち」 【講師】佐藤文寛(琉球大学大学院医学研究科・日本学術振興会特別研究員)	講堂	144
はじめに、ゲノムについて解説がされた。ゲノムとは、生物の設計図で一人ひとりもっている遺伝情報全体のことである。ゲノムには、人類の進化・移動・混血の歴史が刻まれている。ゲノムから近縁関係を推定することもできる。近年DNA解析技術の飛躍的な進歩に伴い、人類学の分野でもゲノム情報が盛んに活用されるようになってきた。講座では、ゲノム情報を用いた人類学研究的の事例紹介とゲノム解析の結果から見えてきた琉球人の多様性とその成り立ちについて解説がされた。講師の研究から琉球列島出土の更新世人は、現在の琉球人の主要な祖先ではないと推定されるとのことであった。				
456	2015. 5. 16(土) 14:00～16:00	「布に踊る人の手ー中国貴州省・苗族の布づくりー」 【講師】鳥丸知子(染織研究家)	講堂	140
中国少数民族ミャオ族の緻密で魅力あふれる手仕事について、講師が30年に渡る現地調査で収集した染織品を交えて解説がされた。苗族の女性達は、13歳ぐらいから3年ほどかけ布を織りはじめる。伝統の民族衣装には民族の誕生や継承にまつわる伝説や先祖からのメッセージが込められている。模様の三角はクロスステッチなどで、チョウを表現している。染めに使う藍草は、2種類あり、ミャオ族の藍染めは赤に近い泥藍をつくる。染色作業は、たたくー天日干しの繰り返して行われる。布づくりには、染織から刺繍などの一連の作業があり根気と集中力、そして創造力を要することが解説された。				
457	2015. 6. 20(土) 14:00～17:00	「やんばるの沖繩戦」シンポジウム 【講師】林博史(関東学院大学教授) 安座間充(金武町教育委員会) 川満彰(名護市教育委員会) 田里一寿(宜野座村教育委員会)	講堂	160
戦後70周年記念事業として、「やんばるの沖繩戦」について講座が開催された。はじめに、林氏による基調講演が行われ、日米双方の史料をつき合わせる中で見えてきた「やんばるの沖繩戦」について解説がされた。宇土部隊、護郷隊に関すること、戦争中からやんばるに米軍基地建設計画があったことなど史料を基に説明がされた。調査報告では、田里氏より、沖繩戦時の宜野座村の状況や過去の遺骨収集、下袋原共同墓地の調査をおとした戦跡の取り扱いと、遺骨収集との連携について報告が行われた。川満氏からは、沖繩戦で鉄血勤皇隊より半年も早く召集された少年たちで組織された「護郷隊」について、解説がされた。				
458	2015. 7. 11(土) 14:00～17:00	「発掘！沖繩の先史集落」シンポジウム 【講師】與那嶺 俊(今帰仁村教育委員会) 長濱健起(宜野湾市教育委員会) 山崎真治(当館：人類担当学芸員) 玉榮飛道(伊江村教育委員会) ※台風のため不参加	講堂	160
講座前半は、近年調査されたナガラ原第三貝塚(伊江村)、古宇利原B遺跡(今帰仁)、喜友名東原ヌバタキ遺跡(宜野湾)から発見された先史時代の集落遺跡の発掘事例について與那嶺氏、長濱氏より報告がされた。山崎学芸員からは、インドネシア、台湾との比較研究などが報告された。後半は、シンポジウムが行われ、考古学的手法にもついで復元された集落遺跡の具体像や先史人のくらし、先史時代集落研究の課題等について議論がされた。県内では35カ所を超える先史時代の集落遺跡の発掘調査が行われ、200基を超える竪穴住居が検出されている。しかし、当時の集落の具体像についてはまだ未解明の点が多く残されている。				
459	2015. 8. 15(土) 14:00～16:00	「ゾウさんキリンさんのよもやま話」 【講師】吉岡 由恵 島袋 洋次(公益財団法人沖繩こどもの国)	講堂	103
沖繩こどもの国には、オオコウモリのような沖繩の野生動物、与那国馬やシマウマ(島豚)などの在来家畜、タヌキやシカなどの日本の動物、そしてゾウやキリンなど、世界の動物と、多くの動物が飼育されている。日本には約130種の陸棲哺乳類が生息しているが、こどもの国では、20種類の哺乳類を飼育しており、その内固有種が15種類とのこと。現在こどもの国では、3頭のゾウが飼育されていて、1頭はこどもの国で誕生した。講座では、なかなか知ることができない動物園で働く飼育員の仕事や動物の生態について、詳しい解説がされた。				
460	2015. 9. 19(土) 14:00～16:00	「琉球王国時代の地方役人」 【講師】里井洋一(琉球大学教授)	講堂	114
琉球王国時代の地方官吏のことを地方役人(じかたやくにん)という。地方役人(じかたやくにん)とは、地頭代、夫地頭、さばくり(首里大屋子、大掟、南風掟、西掟)、掟、文子をいう。地方役人の身分は百姓(系図をもてない)であったが、上級役人になると、役職に応じて土地が与えられ、王府への上納分以外は自分の取り分となった。また、夫地頭になると村の百姓を年2回使役できるなど種々の特権があたえられた。地方役人は、百姓身分であったが、筆算稽古にほげみ、間切行政に従事した。講座では、羽地御殿での筆算稽古の最中急死した父に代わって、摂政羽地朝美に見いだされた羽地間切古我知村の少年(プスメー)が、羽地御殿に奉公し、役地を給付される掟に任官し、黄冠を与えられ夫地頭・地頭代になるまでを、御殿奉公や間切の様々な出来事を交えて解説がされた。				

回	期日	演題 講師名	場所	参加者
461	2015. 10. 17(土) 14:00～16:00	「葬送儀礼の移りかわり」 【講師】 崎原恒新	講堂	167
<p>沖縄は地理的にみると広域に分布しており、沖縄島、宮古・八重山島など地域によって慣習にも大きな違いがある。講座では、講師が長期にわたって実施している聞き取り調査をもとに、葬送儀礼の移りかわりについて解説がされた。沖縄では、1960年代頃を境に、葬式の在り方が大きく変わってきた。死には必ず前触れがあったと考えたことや、葬式の準備、副葬品、墓への出入りなど、葬送が地域によって異なっていたことなどが紹介された。墓の種類については、破風墓、亀甲墓など外見上の種類につて、また、国頭地域には村墓が多いことや門中墓など利用形態の違いについてを写真を用いながら解説がされた。葬送のありかたは戦後から大きく変化してきているが、地域に残された慣習を次世代に継承していくためにも、清明祭（シーミー）などに、子どもを参加させる事の意義が伝わった。</p>				
462	2015. 11. 21(土) 14:00～17:00	「死者とつながる琉球弧の哭きうた（葬送歌）の世界」 【講師】 酒井正子（元川村学園女子大学教授） 国場民俗伝統芸能保存会	講堂	190
<p>講座前半は、酒井氏の調査による映像資料から、実例をとおして、「哭きうた」について解説がされた。琉球弧（奄美諸島から八重山諸島）では、地域の風土に根ざした、死者の葬り方や祀り方に独特の文化が築かれてきた。かつて、奄美・徳之島、沖永良部島、与那国島では、死者に対して声をあげて泣き、別れを告げる「哭きうた」が不可欠のこととしてあった。死者に対してクヤ（悔やみ）、ウモイ（思い）を声かけすることが、供養になった。また、哀惜の気持ちを哭うことで、残された家族も寂しさを紛らわせることができた。講座後半は、国場民俗伝統芸能保存会による「国場の念仏エイサー 花ぐらん」が上演された。曲の歌詞に死者が葬られていく内容が詠まれている。エイサーは、袋中上人が伝えた念仏踊りの形を伝えており、貴重な伝統芸能として継承されている。</p>				
463	2015. 12. 19(土) 14:00～16:00	「琉球の鐘と北部九州の鋳物師集団」 【講師】 新郷英弘（芦屋釜の里学芸員）	講堂	92
<p>講座では、琉球の鐘が製作された経緯、鐘の原材料、どこで誰によって琉球鐘が製作されたかなどが解説された。琉球では、尚泰久王時代に仏教興隆政策が推し進められ、短期間に多くの寺が創建され、それともななって大量の梵鐘が造られた。わずか4年間で23点の鐘が製作された。近年の調査研究から、鋳造琉球鐘製作に志岐金蔵寺鐘を製作した鋳物師が関わったことが判明した。金蔵寺鐘（1412年、大工丹国吉）と琉球鐘は、竜頭、撞座が類似しており、金蔵寺鐘の出自を紐解くことが必要とのこと。また、鋳物師集団の移動背景には、南海物産の獲得を目指した周防（現山口県）守護大名大内氏の対琉球政策があったと考えられている。北部九州小倉鋳物師が1456年から1458年まで滞在し鐘を製作、以後は、琉球の鋳物師が技術を引き継ぎ、残された竜頭等の原型を活用しながら琉球鐘を製作することも可能であったとの説も表明された。</p>				
464	2016. 1. 16(土) 12:00～17:00	「やんばるの沖縄戦」 【講師】 安座間充（金武町教育委員会） 田里一寿（宜野座村教育委員会）	講堂	25
<p>終戦70年の節目にあたり、やんばるの沖縄戦について金武町、宜野座村を巡るバスツアーを開催した。金武町の戦跡については、安座間氏より解説がされた。屋嘉捕虜収容所跡地は、沖縄最大の捕虜収容所で、1万人余りの捕虜が収容されていた。500年近い歴史をもつ木造建築の金武観音寺は、奇跡的に戦禍を免れた。全長1kmの金武鍾乳洞は、ティラスガマと呼ばれ、沖縄戦中は中南部からの避難民が隠れていた場所であった。旧億首橋は、米軍上陸前に護郷隊に破壊された橋の残骸が残る戦争遺跡である。宜野座村の戦跡については、田里氏より解説がされた。漢那宮見学では、戦前の漢那宮が地域において、どのような存在であったかが解説された。宜野座村博物館では、やんばるの沖縄戦の紙芝居による読み聞かせが行われ、次世代への継承の取組みが紹介された。共同墓地跡では、聞き取り調査から得られた内容等の説明がされた。やんばるの沖縄戦について、多面から考え知ることができた講座であった。</p>				
465	2016. 2. 13(土) 14:00～16:00	「台風と自然災害～台風を知ることと身を守ること～」 【講師】 伊藤耕介（琉球大学理学部准教授）	講堂	77
<p>前半は、台風を知ることとして、台風の定義、なぜ凶暴な渦が出来るのか、台風のできる地域、台風の動きについて図を提示しながら解説がされた。台風が強くなっていくプロセス説明に来館者は聞き入り、関心の高さがうかがえた。台風の進路予報については、気象庁の予報は、世界最高精度とのこと。一方、強度予報は難しく、現在研究が進められている。後半は、台風から身を守ることとして、強風災害、大雨災害、高波・高潮災害、竜巻災害について近年の災害事例が紹介された。地球温暖化にともない地球全体における台風の数は減少するが、未曾有の強さの台風が生じる可能性は高い。何時起こるか分からない自然災害への備えを十分に考える有意義な講座であった。</p>				
466	2016. 3. 5(土) 14:00～17:00	「消えた琉球競馬一幻の名馬「ヒコーキ」を追って」 【講師】 梅崎晴光（スポーツ日本） 安里進（沖縄県立博物館・美術館 館長）	講堂	143
<p>はじめに、安里館長より琉球競馬に関連する内容として「琉球の美意識」について講話が行われた。琉球では、石垣を造る際にも意図的に曲線や歪みを取り入れていた。これは、人の視覚感覚を論理的に考え計算したうえでの表現とされる。美術工芸作品にもそれが見られ、琉球競馬にも琉球の美意識に通底するところがあると指摘があった。梅崎氏による講演では、これまで、殆ど知られていない琉球競馬についての詳細が、絵図史料等を交え丁寧に解説された。琉球王国時代に始まった競馬は、明治に入り帰農した屋取士族たちによって各地に伝えられた。確認されている沖縄各地の馬場跡は、約200カ所近くある。琉球競馬は、2頭による併走で足並みの美しさと正確なリズムを競う側対歩と呼ばれる走法で、右前脚と右後脚、左前脚と左後脚をほぼ同時に繰り出す。しかし、大正時代の軍馬生産から、小型の在来馬は激減し優美さを競った伝統文化としての琉球競馬は、昭和初期には消滅してしまった。琉球競馬の歴史と王国文化における人々の美意識に対する眼差しを体系的に知ることができた。</p>				



現代琉球人と更新世人の関係について解説する講師  
『ゲノムから探る琉球人の多様性とその成り立ち』



現地調査で収集した染織品の解説  
『布に踊る人の手ー中国貴州省・苗族の布づくりー』



絵図史料の解説  
『消えた琉球競馬ー幻の名馬「ヒコーキ」を追ってー』

## 5. 学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。総受講者数は、703名だった。

(金城 久枝)

### 【学芸員講座一覧】

	日程	分野	講師名	演題内容	定員	参加者
1	2015. 4. 11(土) 14:00~16:00	人類	山崎真治	<p>「東南アジアの人類史と遺跡ーベトナム・蘭嶼・インドネシアをめぐるー」</p> <p>沖縄の旧石器時代研究と関わり深いベトナムのホアビン文化や、インドネシアのフローレス原人の遺跡をはじめ、約5000年前に南下を開始し、オセアニア各地に広がったオーストロネシア語族の拡散経路と目される台湾・蘭嶼、フローレス島の人類史と遺跡について、解説が行われた。講座後半の民俗展示部門解説では、道具や集落形成を示しながら南方と沖縄の関わりなどが解説された。</p>	80	85
2	2015. 5. 9(土) 14:00~16:00	美術 工芸	與那嶺一子	<p>「「うちくい」の話しPart2 ー「うちくい」は何を包んできたのだろうかー」</p> <p>「うちくい」とは沖縄の風呂敷のことをいう。うちくいの役割として、敷く・掛ける・包む・被るがあり、特別なものや日常のもの2通りがある。世界各地の利用法として、ヨーロッパ、中南米、アジアでの活用法が紹介された。また、琉球王国時代から近代にかけて描かれた27件の絵画資料の調査から、いろいろな運搬方法について紹介がされ、参観者は興味深く聞き入っていた。</p>	80	84
3	2015. 6. 6(土) 14:00~16:00	歴史	崎原恭子	<p>「琉球王国時代の梵鐘ヒストリー」 ～館収蔵の梵鐘を中心に～</p> <p>梵鐘は仏教寺院で時を報せるために打つ大きな鐘のことをいう。琉球王国時代の特に尚泰久王の時期に多くの梵鐘が製作された。なかには首里城正殿の前に掛けられた「旧首里城正殿鐘(万国津梁の鐘)」も含まれる。製作された琉球王国時代から沖縄戦など琉球・沖縄史を語る資料として、エピソードを交えて解説された。</p>	80	70
4	2015. 7. 18(土) 14:00~16:00	人類	藤田裕樹	<p>「ハトは、なぜ首を振って歩くのか？」</p> <p>「ハトは、なぜ首を振って歩くのか？」その疑問に科学的な根拠をまじえ、わかりやすく解説が行われた。講座では、ハトをはじめとするさまざまな鳥を観察した研究成果について、図解を提示しながら解説がされた。講座を聞きながら、普段何気なく見ているハトやスズメの歩行について、なるほどと思った参観者は多かったのではないかと。ユーモアがあふれる講座に著書を読みたいと思った。</p>	80	43
5	2015. 8. 1(土) 10:00~12:00	教育 普及	金城久枝	<p>「博物館探検！！」</p> <p>博物館にはいろんなモノがたくさんあるけど、どれぐらいモノがあるの。働いている人は、どんな仕事をしているの。など、子どもたちの疑問、博物館のはて？どうなっているの？を解説しながら博物館を探検する形式で講座が行われた。まとめとして、ママ新聞作成をおこない、工夫を凝らし博物館の紹介をまとめることができた。</p>	15	14



	日程	分野	講師名	演題内容	定員	参加者
6	2015. 9. 5 (土) 14:00~16:00	生物	山崎仁也	<p>「大哺乳類展に見る哺乳類のかたちと進化」</p> <p>チーターやレッサーパンダなどを例に脚や爪のかたちには、生活にあった独特の進化形態が見られることや、消化器の進化が繁栄を左右する例としてキリンの反芻胃の説明などがされた。また、琉球列島に生息する約20種の哺乳類の中には、世界的にみて珍しい進化を遂げているものもあるとのこと。進化の過程で哺乳類がどのように変化したのか、哺乳類のもつ不思議と魅力について知る事ができた講座であった。</p>	80	43
7	2015. 10. 3 (土) 14:00~16:00	民俗	大湾ゆかり	<p>「洗骨儀礼について考える」</p> <p>かつて沖縄では風葬、奄美では風葬からのちに土葬によって死者を送ったあと、さらに洗骨をしてもう一度死者を送るといふ、琉球弧特有の葬法について講話がされた。現在では聞くことがほとんどない洗骨について、地域による呼称や洗骨の時期、場所、携わる人々について解説がされた。祖先から受け継がれた葬法や墓の形が変わっていく現代において、再度地域や家々で守られてきたことを見直すきっかけになればという解説に、参観者は深く頷いていた。</p>	80	129
8	2015. 11. 7 (土) 14:00~16:00	歴史	石垣 忍	<p>「中学校・高校の先生のための展示解説会」</p> <p>先生のための展示解説会として、学校の授業で博物館を利用するには、どのような方法があるのかを中心に講座が進められた。博物館には、多くの資料があるが、授業で博物館の資料を利用したい場合にどのようにすればよいかなども説明がされた。講座後半は、総合展示部門で古我知原遺跡から戦後の沖縄までを、授業で来館した先生が解説をする事を想定し、丁寧にわかりやすくポイント解説が行われた。参加した方々は、メモを取るなど熱心に聞き入っていた。</p>	80	28
9	2015. 12. 5 (土) 10:00~13:00	地学	仲里 健	<p>「今年は海へ行きます！仲里学芸員といくジオツアー」</p> <p>今回ジオツアーで訪れた宜野座村海岸では、嘉陽層と琉球石灰岩が見られ、それぞれの形成過程について解説がされた。嘉陽層の褶曲・断層から、激しい地殻変動が起こった証拠であるとの解説に、参加者はかなり釘付けに聞き入っていた。嘉陽層の対岸で、琉球石灰岩が見られ、キノコ岩のノッチ（くびれ部分）から現在と過去の海水面の位置がわかるなど解説がされた。同一の海岸でありながら地層の形成が異なり、地球の成り立ちを垣間見た気がした。</p>	20	17
10	2016. 1. 9 (土) 14:00~16:00	美術 工芸	園原 謙	<p>「沖縄から発信する「平和文化」創造のチカラ ー沖縄・カンボジアの博物館づくり協力事業を通してー</p> <p>はじめに、JICA草の根技術協力プロジェクト事業の経緯が説明され、次にカンボジアの歴史的な背景など基礎情報の解説がされた。事業では、沖縄のもっている平和発信の力をツール・スレン虐殺博物館で活用できるようにした、取組内容が紹介された。6年間の活動成果としてカンボジアから派遣された27名の人材育成に繋がったこと、沖縄側の学芸員がカンボジアの歴史、自然、文化の知見を得ることができたことが紹介された。</p>	80	56
11	2016. 2. 6 (土) 14:00~16:00	考古	片桐千亜紀	<p>「海外探訪記」～インドネシア・イギリス・イタリア～</p> <p>第1部は、インドネシアでは、様々な葬墓制があるが、再葬や合葬など琉球の葬墓制との類似点も見られ、琉球弧と東南アジアの葬墓制に関連性があるのかなど、今後の調査研究で明らかにしていきたいと解説がされた。第2部は、イギリス人ギルマールが1882年～1884年に撮影した首里城近辺、女性、ジーファー、ハジチなど記録した内容が解説された。第3部は、海底文化遺産の保存と公開について、イタリアパイア海底遺跡について説明がされた。調査中である研究内容について、続きが気になった人は多かったのではないかと。研究成果が待たれる。</p>	80	56
12	2016. 3. 12 (土) 14:00~16:00	美術 工芸	外間一先	<p>「柳宗悦と『琉球の富』そして昭和10年代の沖縄 ～日本民藝館80周年記念展に向けて～</p> <p>日本民藝館は、1936年に柳宗悦により開設され、今年80周年を迎える。民芸運動の創始者である柳は、芸術家がつくる作品ではなく、それまで顧みられることのなかった職人・民衆の作る「民芸」に着目し、日常使う道具の中に美を追求した。著書『琉球の富』では、沖縄の工芸に着目し、その美しさを紹介し、保護を声高に主張している。講座では、「琉球の風物」「琉球の工芸」の2本のDVDも上映され、参観者は改めて琉球文化の素晴らしさを感じたようだ。9月の展示会が待ち遠しい。</p>	80	78



常設展示室での解説  
『琉球王国時代の  
梵鐘ヒストリー  
～館収蔵の梵鐘を中心に～』



科学的な根拠をまじえて解説  
『ハトは、なぜ首を振って歩く  
のか?』



日本民藝館について解説  
『柳宗悦と『琉球の富』  
そして昭和10年代の沖縄』  
～日本民藝館80周年記念展に向けて～』

## 6. 展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に、学芸員がパネル文だけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介している。参加者の内訳は、博物館ボランティアが全体の約30%を占め、その他年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。常設展の展示解説会は、各学芸員が1回ずつ担当し、全12回143名（定員なし、平均参加人数12名）の参加を集めた。企画展における展示解説会では、全7回245名（定員なし、平均参加人数35名）の参加者があった。博物館企画展「うちくい 沖縄のふろしき」では全4回97名（定員なし、平均参加人数24名）が参加し、紅型に興味関心の高いお客様のほか、他府県からの参加者も集った。また、特別展「琉球弧の葬墓制ー風とサンゴの弔いー」では、全2回124名（定員なし、平均参加人数62名）が参加し展示パネルだけでは補えない情報や展覧会開催にまつわるエピソードなどについて詳しく解説した。そして、博物館企画展「大気と気象～見えない空気の“力と技”～」では1回24名が参加し、様々な実験装置を体験しながら、見えない空気の不思議に迫った。

(大瀧 萌子)

	日程	分野	講師名	参加者
1	4月9日	人類	山崎真治	10
2	5月14日	考古	片桐千亜紀	15
3	6月11日	人類	藤田祐樹	17
4	7月9日	美術工芸	園原 謙	*台風の為、中止
5	8月13日	地学	仲里 健	13
6	9月10日	美術工芸	與那嶺一子	6
7	10月8日	歴史	石垣 忍	9
8	11月12日	歴史	安里進 館長	21
9	12月10日	民俗	大湾ゆかり	15
10	1月14日	生物	山崎仁也	11
11	2月11日	美術工芸	園原 謙	6
12	3月10日	美術工芸	外間一先	20
		合計人数		143

## 7. バックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務めた。安全性を考慮し、常に学芸員と文化の杜スタッフの2名体制で臨んだ。学芸員研究室～研究資料室（書庫）～自然史実験室～トラックヤード～写真撮影室～冷凍室～工作室を基本コースとしたが、収蔵庫は専門分野を中心に案内することにより、資料に関する質問にも的確に対応することができた。また、建物の構造やIPM (Integrated Pest Management : 総合的病害虫管理) の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解してもらうための工夫が担当毎に見られた。参加者層は、県外からの旅行者を含む一般来館者が大多数を占め、夏休み期間中は、親子連れが目立った。全12回112名（定員12名、平均参加人数9名）の参加があった。

(大瀧 萌子)

	日程	分野	講師名	定員	参加者
1	4月25日	人類	藤田祐樹	12	14
2	5月16日	考古	片桐千亜紀	12	12
3	6月27日	生物	山崎仁也	12	6
4	7月25日	人類	山崎真治	12	6
5	8月22日	歴史	崎原恭子	12	11
6	9月26日	美術工芸	與那嶺一子	12	11
7	10月24日	教育普及	金城久枝	12	12
8	11月14日	地学	仲里 健	12	10
9	12月12日	歴史	石垣 忍	12	4
10	1月23日	美術工芸	外間一先	12	7
11	2月27日	民俗	大湾ゆかり	12	10
12	3月19日	美術工芸	園原 謙	12	9
合計人数				144	112

## 8. 夏休み！博物館学芸員教室

夏休み！博物館学芸員教室は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。10名の学芸員がそれぞれ90分の教室を開講。1日2～3教室、全10回で198名の参加があった。

(金城 久枝)



	日程	タイトル	担当学芸員	定員	参加者数
1	7/29(火)	貝器づくりに挑戦	山崎 真治	10	10人
2		板絵を描いてみよう	園原 謙	20	20人
3	7/30(水)	動物の歯と食べ物の関係を研究せよ	藤田 祐樹	20	19人
4		砂の中から宝を探せ	仲里 健	20	21人
5		顕微鏡でのぞく、不思議ワールド	山崎 仁也	20	20人
6	8/1(木)	神が宿る石「勾玉」を削りだそう！	片桐 千亜紀	20	22人
7		印じゃなーい？	石垣 忍	10	10人
8	8/2(金)	オリジナルの家系図をつくろう	崎原 恭子	親子10組	9組
9		民具手帳をつくろう	大湾 ゆかり	20	17人
10		糸を作ってみよう！	與那嶺 一子	10	12人

## 9. 博物館ボランティア活動

当館では、県民の自己啓発や学習を発表する場の提供、また、博物館支援活動を目的として「博物館ボランティア」を導入している。この活動は、多様化する来館者のニーズに対し、よりきめ細かなサービスへの寄与と自己学習の場となることを目指している。

平成27年度は、ふれあい体験室専属ボランティアを募集し、養成講座を5月から6月にかけておこなった。ふれあい体験室専属ボランティアは15名の登録ができた。また、博物館ボランティアスキルアップ講座を開催し、ボランティアの意識向上を図ることができた。本年度の博物館ボランティアの総活動人数は約2106人だった。

(金城 久枝)

## 10. ふれあい体験室機能強化事業

当館では、近年増加傾向にある外国人観光客への対応やユニバーサルデザインへの取り組み、多様化するニーズへの対応等の改善を目指し、平成26年度から平成27年度の2年間、ふれあい体験室の機能強化事業に取り組んだ。ふれあい体験室は、ガラス張りの部屋で一見すると何のための部屋であるかがわかりにくい、外国語表記がないため国外からの来館者が認知しにくい、無料の施設であることがわかりにくいなどの課題があった。これらの改善に向け、平成26年度から取り組んだ機能強化事業により、ファサード、施設サイン、案内サイン、室内サイン、点字解説シート、体験キットの利用方法など工夫改善を行い、認知度向上につなげることができた。

施設案内サインは、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、スペイン語を表記した。演示具分類サインをICT対応にし、AR（Augmented Reality）拡張現実と呼ばれる方法を導入した。ターゲットアイコンに、ARタブレットをかざすと反応し、体験キットの使い方が表示される。ARタブレットは、日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語、スペイン語の5カ国語に対応できる。ふれあい体験室ARアプリは、Google Playでダウンロードできる。また、新体験キットとして、12件の体験キットを製作した。

（金城 久枝）



ファサード



外国語表記



AR対応タブレット

## 11. ふれあい体験室

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている「おきなわ」との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示、部門展示と補完しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せもっている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

### 利用者状況

今年度のふれあい体験室の来場者は、60,500人（1日平均212人／3月19日 現在）。幼少からのリピーターも多く、27種類の体験キットは、人々の交流の中で子ども達の成長に合わせて利用されている。毎週土曜日に開催している「ふれあい体験室ワークショップ」（指定管理者主催）は、体験キットの学びを深める機会として、子どもから大人まで幅広い世代が参加し、新たなプログラムを楽しみにする参加者も定着している。ワークショップの充実、飽きさせない環境づくりや、来館を促すきっかけへと繋がっている。ふれあい体験室は小さな子どもから楽しめる博物館の「学びの場」となっている。

（渡部 貴子）

## 12. 企画展関連事業

### ① 企画展「うちくい 沖縄のふろしき」

教育普及では、展覧会関連催事として、文化講座1回（参照：4. 博物館文化講座）、学芸員講座1回（参照：5. 学芸員講座）、展示解説会3回（参照：6. 展示解説会）、体験学習教室2回（参照：3. 博物館体験学習教室）を実施した。また、展示の理解を深めるために、子ども向けワークシートを作成した。

### ② 特別展「琉球弧の埋葬制—風とサンゴの弔い—」

関連催事として、文化講座2回（参照：4. 博物館文化講座）、学芸員講座1回（参照：5. 学芸員講座）、展示解説会（参照：6. 展示解説会）2回を実施した。また、一般向けに「見どころシート」を作成した。



③ 企画展「大気と気象 ～見えない空気の“力と技”～」

関連催事として、文化講座1回（参照：4. 学芸員講座）、展示解説会（参照：6. 展示解説会）2回を実施した。また、子ども向けにワークシートを作成した。

（大濱 萌子）

### 13. 常設展に関する取り組み

(1) 博物館常設展見どころマップ「ここだけは見逃すな！」の活用

博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を増刷し、引き続き配布した。

配布枚数：日本語版13,000枚、英語版4,000枚

配布場所：常設展示室入口

(2) おきなわサンゴ礁ウィーク2016「サンゴで謎解き！博物館へサンサンGOGO！！」

日時：3月5日(土)・6日(日) 10:00～16:00(最終受付15:30)

場所：1階エントランスホール、博物館常設展示室

受付：当日先着(随時受付、定員に達し次第受付終了)

参加費：無料 ※博物館常設展の入場券が必要

参加者数：211人(定員各日100人 ※予備の材料を準備していたため定員を増員)

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会が呼びかける「おきなわサンゴ礁ウィーク2016」の一環として、サンゴにまつわる謎解きゲームを開催した。博物館内の展示物を題材に、4つの設問を掲載したワークシートを作成し、配布した。問題を解くごとに、謎解きのキーワードを1文字ずつ埋めて、サンゴの幼生が「プラスラ」と呼ばれていることを解き明かし、サンゴの一生を学ぶ仕組みとした。参加者が帰宅した後も、博物館での体験を思い出すアイテムとして、1問正解するごとに材料を集めて作る「サンゴストラップ」の作製と、参加賞として、サンゴの一生・サンゴ礁の生き物達を描いたペーパークラフトの「ペン立て」をプレゼントした。

（渡部 貴子）

### 14. 沖縄県立博物館・美術館のフリーパス

沖縄県立博物館・美術館では、県内の小中学生が博物館・美術館を知る機会とし、また、同館を身近に感じてもらい、何度も足を運んで欲しいとする目的で「沖縄県立博物館・美術館フリーパス」を作成し、HPに掲載して、小・中学校へダウンロードと印刷・作成を呼びかけている。「沖縄県立博物館・美術館フリーパス」は、学校で印刷・作成し、裏面に校長印を押印する（サンプル：博物館・美術館作成）。表紙は、沖縄の自然、歴史、文化に関する図案を基本とするが、自らデザインした図柄でもよく、裏面にはマス目があり、来館の際にスタンプが押印出来る形になっている。利用の対象は、県内の小・中学生で、学校の授業の一環、または個人での来館の際に持参して利用する。スタンプの押印数については、遠隔地や離島などの学校の生徒にはスタンプの数を調整するなどとして、配慮を行っている。ゴールした児童生徒には、情報センターにおいて名前入りの「フリーパス終了証」と記念品（オリジナルクリアファイルと消しゴムなど）をプレゼントする。今年度対象者は、0名。

（大濱 萌子）

### 15. 普及資料の貸出

博物館の教育普及関係資料等を貸出している。貸出可能な資料は、黒糖づくり、豆腐づくり、民具等である。事前（一ヶ月前）に申請等の手続きが必要となり、貸出期間は一週間である。平成27年度の貸出団体数は9件であった。

（金城 久枝）



## 平成27年度 貸出一覧

	利用者名	利用目的	貸出期間	資料名
1	横浜市立東山田小学校	全体集会において、「しせい」について発表する際に活用するため。	2015年5月15日～6月10日	骨スーツ
2	鏡が丘特別支援学校 浦添分校	授業の中で使用（体験）するため。	2015年9月14日～9月29日	ちむドンドン
3	那覇市立天久小学校	授業で使用するため。	2015年12月2日～12月8日	むかしむん
4	沖縄県立玉城青少年の家	新春ファミリーキャンプで使用するため。	2016年1月8日～2月2日	豆腐をつくろう
5	浦添市立前田小学校	社会科学習（3年昔の道具とくらし）に役立てる。	2016年1月22日～1月29日	むかしむん
6	那覇市立若狭小学校	変わるわたしたちのくらしを体験して、昔の人々の知恵や工夫を知る。	2016年2月9日～2月12日	むかしむん 洗濯ゴシゴシ
7	那覇市立松川小学校	むかしの道具を体験する。	2016年2月12日～2月16日	むかしむん
8	那覇市立小緑小学校	社会科の学習のため。	2016年2月18日～2月26日	むかしむん
9	那覇市立仲井真小学校	社会科授業にて昔の洗濯を体験するため。	2016年2月17日～2月23日	ちむドンドン 洗濯ゴシゴシ

## 16. 職場体験受入

本年度も文化の杜が窓口となり、職場体験およびインターンシップを受け入れた。平成27年度は、4校8人を受け入れた。もぎりやミュージアムショップでの接客業務をはじめ、情報センターでの資料整理、総務ではチケット・ポスター等の整理、ふれあい体験室ではワークショップの下準備をした。また、各校の実施日初日には、博物館職員によるバックヤード見学や学芸業務の見学等も行われ、充実した体験内容となった。

### 【実施団体】

	学校名	日程	人数
1	那覇市立安岡中学校	9月2日（水）～9月4日（金）	2人
2	沖縄県立那覇工業高等学校	9月30日（水）～10月2日（金）	2人
3	沖縄県立中部商業高等学校	10月27日（火）～10月29日（木）	2人
4	那覇市立古蔵中学校	1月13日（水）～1月15日（金）	2人

## 17. ボランティアによる展示ガイド

来館者サービス向上の一環として、博物館常設展示室の「民俗部門」と「総合展示部門」で、展示解説ガイドボランティアがわかりやすく解説することを目指している。まず、民俗部門展示室においては、民俗勉強会のボランティア有志メンバーが中心となり、沖縄県内の離島をはじめとする小規模校（20名以下）の児童生徒を対象に解説ガイドを実施している。来館当日は、指定管理者スタッフが引率教員と担当ボランティアとのつなぎを行い、＜教員との打ち合わせ～オリエンテーション～展示ガイド～まとめ＞までをボランティアが先導し行っている。今年度は、合計5校77人を受け入れた。総合展示部門解説ガイドは平成26年度から本格実施し、今年度は19団体772人を受け入れた。県外の修学旅行3件の他、県内ではかりゆし長寿大学校やサークルなど、一般・70歳以上の団体7件の申し込みもあり、幅広い年齢層の来館者へガイドを実施した。また、週3回（7～8月は週4日）午後待機型ガイドも実施し、3,610人（1日平均25人/141日中）に対応した。

（大瀨萌子）

## IV. 資料収集・保存管理

### 1. 収蔵資料現在高

2016年3月31日現在

分類		購入	寄贈	収集	移管	小計	総計
自然史	地学	615	26,675	3,048	1	30,339	56,169
	動物	1,533	18,696	539	141	20,909	
	植物	202	4,716	0	0	4,918	
	菌類	3	0	0	0	3	
人類資料		93	19	6	0	118	118
美術工芸	絵画	97	575	2	4	678	10,377
	書跡	180	494	49	6	729	
	彫刻	6	115	136	7	264	
	陶磁器	431	3,400	465	538	4,834	
	漆器	231	270	195	19	715	
	染織	1,289	1,742	51	27	3,109	
	その他	13	35	0	0	48	
歴史資料		2,879	8,742	546	455	12,622	12,622
考古資料		301	3,650	2,821	0	6,772	6,772
民俗資料		633	5,930	1,107	137	7,807	7,807
総計		8,506	75,059	8,965	1,335	93,865	93,865

### 2. 2015（平成27）年度新収蔵資料高

2016年3月31日現在

分類		購入	寄贈	収集	移管	小計	総計
自然史	地学	3	178	0	0	181	199
	動物	15	3	0	0	18	
	植物	0	0	0	0	0	
	菌類	0	0	0	0	0	
人類資料		0	0	0	0	0	0
美術工芸	絵画	0	0	0	0	0	13
	書跡	0	0	0	0	0	
	彫刻	0	0	0	0	0	
	陶磁器	0	2	0	0	2	
	漆器	0	1	0	0	1	
	染織	0	10	0	0	10	
	その他	0	0	0	0	0	
歴史資料		2	361	0	0	363	363
考古資料			100	0	0	100	100
民俗資料		4	1,534	0	0	1,538	1,538
総計		24	2,189	0	0	2,213	2,213

### 3. 2015（平成27）年度新収蔵資料目録

#### 【購入】

分類	資料名	数量	提供（採集）者	所在地
自然史	キハダ（キハダマグロ）本剥製	1	九州ハクセイ標本社	宮崎県
	ハマフエフキ（タマン）本剥製	1	〃	〃
	イロブダイ（アーガチャー）本剥製	1	〃	〃
	イソヒヨドリ仮剥製	12	東京内田科学社	埼玉県
	空気砲	1	沖縄県立博物館・美術館	那覇市
	竜巻再現装置	1	〃	〃

分類		資料名	数量	提供（採集）者	所在地
自然史	地学	プラズマボール	1	沖縄県立博物館・美術館	那覇市
歴史		薩摩風土記 乾之巻	1	(有)榕樹書林	宜野湾市
		ラ・ペルーズ航海記所収 琉球及びその周辺地図	1	〃	〃
民俗		破風墓原寸大模型	1	株式会社パスコ	浦添市
		映像「上米次腹（門中）のジョーアキー（墓開き）儀礼」	1	首里企画	那覇市
		映像「西表島祖納の葬儀と野辺送り」	1	〃	〃
		映像「与那国島祖納の野辺送り」	1	〃	〃

【寄贈】

分類		資料名	数量	提供（採集）者	所在地
自然史	動物	アオウミガメ本剥製	1	吉嶺 秋子	那覇市
		貝類標本及び海産動物標本 一式	1	清水 節代	東京都
		チョウ類標本 一式	1	Debiddo Antoni	南風原町
	地学	島尻層群新里層の化石群（炭化木） 一式	1	吉村 武	宜野湾市
		メノウ・ハワイの溶岩等（紫水晶）	173	大久 律子	宜野湾市
			大久 哲治	浦添市	
		大東島ドロマイト（レインボーストーン）	2	株式会社与儀組 取締役社長 與儀 寛哲	那覇市
		中生代化石・恐竜など（アルバートサウルスの上顎骨）	1	川原 康弘 川原 雅之	長崎県
		ラジオゾンデ	1	明星電気株式会社 九州支店 支店長 隈本一秋	福岡県
	美術 工芸	染織	絹草花模様両面紅型衣裳	1	玉那覇 有公
絹紺地経縞模様着物			1	嶋崎 スミ子	沖縄市
縮緬茶地花模様羽織			1	〃	沖縄市
麻経縞模様着物			1	上原 好子	那覇市
芭蕉柳に燕模様型付着物			1	〃	〃
木綿紺地経縞に経緯縞着物			1	〃	〃
木綿紺地総縞着物			1	〃	〃
木綿紺地総縞胴服			1	〃	〃
木綿紺地経縞に緯縞模様上着			1	嶺井 聖太	那覇市
木綿紺地経縞に緯縞模様もんぺ			1	〃	〃
陶磁器		大天水甕（ウフティンシーガミ）	1	宮城 篤正	浦添市
		喜名焼播鉢	1	松島 朝義	那覇市
		漆器	朱漆玉取龍堆錦中央卓	1	饒平名 長令
歴史		梵鐘（旧大聖禅寺鐘）及び銅板	2	琉米歴史研究会 理事 喜舎場静夫	中城村
		勾玉	1	金城 キヨ	与那原町
		新参聴姓家譜（複製本）	1	文化の杜共同企業体 代表 上原徹	那覇市
		琉球政府 統計庁記念ふろしき	1	奥間 大助	那覇市
		①身分証明書 ②入域許可証 ③復帰前(1971年(昭和46年))の沖縄本島及び八重山の風景の35mmポジフィルム	211	関本 恒雄	神奈川県
		東京五輪時聖火リレー写真	2	仲道 正永	西原町
		戦前（昭和14、15年頃）の円覚寺関連写真	8	洪濟寺 住職 能山 宗忠	与那原町
		昭和20年（1945年）6月22日朝日新聞	1	田辺 真人	兵庫県
		身分証明書、パスポート、B円（軍票）紙幣（10銭、20円）	6	砂川 孝児	沖縄市

分類	資料名	数量	提供(採集)者	所在地
歴史	①琉球結核予防シール ②封緘はがき	22	奥間 政一	沖縄市
	支那事変等写真及びボーイスカウト関連資料	105	横目 幸子	那覇市
	山田眞山勤作 慰霊観音御分身像	1	野原 茂	埼玉県
考古	縄文土器	7	川原 康弘 川原 雅之	長崎県
	土版	1	〃	〃
	鹿角加工品	2	〃	〃
	鉄鋏	1	〃	〃
	外国の土器	3	〃	〃
	メソポタミア方形粘土板	3	〃	〃
	メソポタミア円錐形粘土板	3	〃	〃
	オリエント印章	16	〃	〃
	オリエント護符	2	〃	〃
	辺戸宇座浜B砂丘遺跡(国頭村)	1	新田 重清	糸満市
	渡喜仁大浜原遺跡(今帰仁村)	1	〃	〃
	長根原遺跡(今帰仁村)	1	〃	〃
	東汲川貝塚(今帰仁村)	1	〃	〃
	ウチグシク(本部町)	1	〃	〃
	アンティ浜貝塚(本部町)	1	〃	〃
	仲泊第1貝塚(恩納村)	1	〃	〃
	宇堅貝塚(うるま市)	1	〃	〃
	伊波貝塚(うるま市)	1	〃	〃
	勝連城跡(うるま市)	1	〃	〃
	勝連グスク南貝塚(うるま市)	1	〃	〃
	勝連カンジャーガマ跡(うるま市)	1	〃	〃
	宮城島シヌグ洞(うるま市)	1	〃	〃
	第3次勝連遺跡(うるま市)	1	〃	〃
	宮城島(うるま市)	1	〃	〃
	仲宗根貝塚(沖縄市)	1	〃	〃
	嘉手納貝塚(嘉手納町)	1	〃	〃
	野国第2遺跡(嘉手納町)	1	〃	〃
	大山貝塚(宜野湾市)	1	〃	〃
	浦添貝塚(浦添市)	1	〃	〃
	牧港貝塚(浦添市)	1	〃	〃
	城間遺跡群(浦添市)	1	〃	〃
	浦添城跡(浦添市)	1	〃	〃
	浦添オリオンビール裏(浦添市)	1	〃	〃
	城岳貝塚(那覇市)	1	〃	〃
	崎樋川貝塚(那覇市)	1	〃	〃
	御物城跡(那覇市)	1	〃	〃
	クマヤー洞穴(伊平屋村)	1	〃	〃
	田名西原貝塚(伊平屋村)	1	〃	〃
	ウチグシク(伊是名村)	1	〃	〃
	伊是名内花貝塚(伊是名村)	1	〃	〃
	伊是名城跡(伊是名村)	1	〃	〃
ヤグムラ遺跡(竹富町・波照間島)	1	〃	〃	
タカチグスク(竹富町波照間島)	1	〃	〃	
サキシマ遺跡(先島)	1	〃	〃	
水納島遺跡(多良間村水納島)	1	〃	〃	
大田原遺跡(石垣市)	1	〃	〃	

分類	資料名	数量	提供（採集）者	所在地
考 古	宮良浜川原貝塚・宮良小浜本遺跡（石垣市）	1	新田 重清	糸満市
	名蔵貝塚群（石垣市）	1	〃	〃
	平原地原遺跡（外山田）（石垣市）	1	〃	〃
	フーネ遺跡（石垣市）	1	〃	〃
	名蔵神田原遺跡（石垣市）	1	〃	〃
	神田遺跡（石垣市）	1	〃	〃
	吉野グスク（石垣市）	1	〃	〃
	名蔵窯跡（石垣市）	1	〃	〃
	焼石出土（石垣市）	1	〃	〃
	水浜遺跡（石垣市）	1	〃	〃
	石垣島出土地不明（石垣市）	1	〃	〃
	巣飼原貝塚（栗国村）	1	〃	〃
	宮古キサマ原遺跡（宮古島市）	1	〃	〃
	具志川村西銘部落屋敷内（久米島町）	1	〃	〃
	久米島出土（久米島町）	1	〃	〃
	ウチダ（高福グスク）（八重山）	1	〃	〃
	八重山出土（八重山）	1	〃	〃
	ウラピタ浜（八重山）	1	〃	〃
	ミシユク（八重山）	1	〃	〃
	ナータ浜（不明）	1	〃	〃
民俗	平西貝塚（竹富町西表島）	1	〃	〃
	西表仲間貝塚（西表）・多和田真淳氏採集	1	〃	〃
	下田原貝塚（八重山）・多和田真淳氏採集	1	〃	〃
	名蔵貝塚（八重山）・多和田真淳氏採集	1	〃	〃
	出土地不明	1	〃	〃
	ふいごの神の額（鍛冶屋神画像）	1	山下 房子	糸満市
	磁器製定錘	1	宮城 榮	八重瀬町
	衣裳櫃（ケー）	1	譜久山 信子	那覇市
沖縄伝承話音声資料（アナログテープ）	1,508	NPO法人沖縄伝承話資料センター 理事長 照屋 寛信	宜野湾市	
竿ばかり ※附属おもり	1	上原 好子	那覇市	
パプアニューギニア高地部族の弓矢他民俗資料	22	上里 健次	西原町	

#### 4. 所蔵指定文化財

##### 【国指定文化財（重要文化財）】

2016年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	1口	昭53.6.15	沖縄県
	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘・旧円覚寺殿中鐘・旧円覚寺楼鐘）	3口	〃	〃
典 籍	おもろさうし	22冊	昭48.6.6	〃
	混効験集	2冊	〃	〃
歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛	1巻	平11.6.7	〃

※歴史資料 間切図 7枚、平成28年3月11日付けで国指定文化財（重要文化財）に答申。

##### 【県指定文化財（有形文化財）】

2016年3月31日 現在

種 別	名 称	員 数	指定年月日	所有者
絵 画	絹本着色花鳥図殷元良筆	1幅	昭54.4.9	沖縄県
	紙本着色雪中雉子の図殷元良筆	〃	〃	〃
	紙本墨画竹の図殷元良筆	〃	昭57.3.4	〃



種別	名称	員数	指定年月日	所有者
絵画	紙本着色奉使琉球図	1巻	昭57.3.4	沖縄県
	紙本着色冊封使行列図	1巻	平15.7.11	〃
彫刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	1軀1枚	昭31.12.14	〃
	世持橋勾欄羽目	1括	〃	〃
	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15.7.11	〃
工芸品	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	1合	昭31.12.14	〃
	黒塗堆錦山水絵大文庫	〃	〃	〃
	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	〃	〃	〃
	間得大君御殿雲龍黄金簪	1本	〃	〃
	三線江戸与那	1丁	〃	〃
	枝梅竹文赤絵碗	1口	昭54.9.3	〃
	線彫染付魚文皿	〃	〃	〃
	色象嵌栗絵菊花皿	〃	〃	〃
	象嵌色差面取抱瓶	〃	〃	〃
	梵鐘（旧霊応寺鐘）	〃	昭60.6.18	〃
	梵鐘（旧普門禅寺鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘（旧天竜精舎鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天尊殿鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧天妃宮鐘）	〃	〃	〃
	銅鐘（旧一品権現鐘）	〃	〃	〃
	梵鐘 旧大安禅寺鐘（一名 護国寺の鐘）	〃	昭63.1.12	〃
	梵鐘（旧永福寺鐘）	1口	平2.2.6	〃
	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	1基	〃	〃
	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	1枚	〃	〃
	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	1合	〃	〃
黒漆薔薇堆錦軸盆	1枚	〃	〃	
朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	1合	〃	〃	
三線盛嶋開鐘附胴	1丁	平6.3.15	〃	
書跡	程順則の書	1巻	昭42.4.11	〃
	扁額徳高 鄭元偉書	1面	平元.9.29	〃
	扁額凌雲 林麟焜書	1面	〃	〃
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	1幅	昭31.12.14	〃
	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	1通	昭53.4.1	〃
	羽地間切の屋我のろへの辞令書	1幅	昭56.3.30	〃
典籍	評定所格護定本 中山世鑑	6冊	昭31.12.14	〃
	評定所格護定本 中山世譜	19冊	〃	〃
歴史資料	銅鐘残欠（旧波上宮朝鮮鐘）	1点	昭60.6.18	〃
	安国山樹花木記碑	1基	平元.9.29	〃

## 5. 修理事業

### ○美術工芸・民俗

戦後、沖縄戦を経て収集された博物館資料は、戦禍をくぐってきた希少な資料である。とりわけ、琉球王国時代の美術工芸資料は少なく、唯一無二の資料が多くある。また、寄贈、収集、購入した資料は、適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、永年の経年による変化や収蔵時点においてすでに劣化している資料も少なくない。

当館では、展示公開の頻度や効果の高い資料をはじめ、沖縄の歴史・文化史上不可欠な資料などの優先順位をつけて、限られた予算の範囲で展示公開等の必要な資料の修理事業を実施した。博物館活動のひとつである資料の保存活用を推進するための修理事業についての一層の理解を促すために、平成27年度新収蔵品展で修理コーナーを設けて、これら



黒漆螺鈿人物四方梅文箱

修理した資料の展示公開を行った。

【事業内容】

修理件数：11件11点（漆器資料2件2点、絵画資料2件2点、三線資料7件7点）

○美術工芸（漆器）	黒漆螺鈿人物四方梅文箱	（1口）
	朱塗孔雀牡丹七宝繫丸櫃	（1基）
○美術工芸（絵画）	真栄城徳実筆 紙本着色 美女の図	（1幅）
	長嶺華国筆 紙本墨絵 芭蕉菊の図	（1幅）
○民俗（三線）	三線 南風原型	（1挺）
	三線 知念大工型	（1挺）
	三線 久場春殿型	（1挺）
	三線 久葉の骨型	（1挺）
	三線 真壁型	（1挺）
	三線 平仲知念型	（1挺）
	三線 与那城型	（1挺）

【修理内容】

漆器資料に関しては、経年の汚れ、乾燥による木地の収縮、内部や外部の漆塗膜の亀裂、剥離、劣化や損傷が多く見られる状況にあった。修理の記録を残すよう心がけ、修理期間を平成27年5月11日から28年3月30日までの間で行った。具体的な作業工程は、修復前写真撮影、調査、クリーニング、漆固め、塗膜調整、塗膜接着、刻苧、防錆、摺漆、修理後写真撮影・報告書を作成した。特に黒漆螺鈿人物四方梅文箱は、表面の汚れ、塗膜の剥離、螺鈿部分の浮きが多数みられたため、塗膜接着で剥離を押さえながらクリーニングも同時に行うという修理工程の同時進行が行われた。また、朱塗孔雀牡丹七宝繫丸櫃は、密度の濃い素晴らしい沈金が現れるようクリーニングし、展示に耐えうる修理を施した。

絵画資料は平成27年8月14日～平成28年3月22日まで実施。絵画資料の場合、本紙の素材に楮紙が用いられるが、経年による汚れ、横折れ、亀裂、欠損などがあり、その改善を修理方針とした。具体的な修理は、修復前の写真撮影、彩色・朱印の剥落止め、表具解体（本紙はがし）、旧肌裏紙の除去、汚れの除去、欠損・亀裂箇所の補絹（紙）、本紙の肌裏打ち、表装裂新調及び補修、折れ伏せの補紙、中裏打ち作業、宇陀紙総裏打ち、鏝、軸首、上軸、中軸、掛け紐、桐太巻、桐印籠箱の新調を行った。今回の修理で、長嶺華国の芭蕉菊の図には、青檀繊維にわらを混ぜた中国産の宣紙が使用されていることが判明した。琉球絵画は技法及び材料についても中国絵画の影響を受けていることが確認される貴重な資料である。

民俗資料では、三線の修理を平成27年5月11日～平成27年7月31日の間に実施した。三線の棹七つの型を示した資料であり、なかでも胴（チーガ）部分が破損していた。修理工程は、修復前写真撮影・調査、破損した胴（チーガ）除去、接着部分のクリーニング、胴（チーガ）の上本皮強化張り、修理後写真撮影・報告書作成のとりである。破損あるいは逆張りの胴（チーガ）は本皮張りを使用し、さらに裏面から補強のため人工強化張りを行っている。現在は、三線の7つの型を常設展示の民俗部門で展示活用している。

【修理業者】 美術工芸資料（漆器）：琉球漆工藝舎、美術工芸資料（絵画）：石川堂  
民俗資料（三線）：沖縄県三線製作事業協同組合



美女の図



修理後の三線

（外間 一先）

## 6. レプリカ・剥製製作事業

資料収集・保存は、博物館の大きな役割のひとつである。本事業は、県立の博物館施設として、沖縄県に現存する貴重な動植物を剥製やレプリカにして保存することで、その役割の一部を、継続的かつ半永久的に果たしてゆくことを目的とし、平成23年度より新たに立ち上げられた事業である。本館所蔵のレプリカ・剥製の数、種類は未だ十分とは言えず、今後も展示を視野に入れながら、少しずつ増やしてゆくことが望まれる。

剥製製作予定の標本は、多くが交通事故死等により滅失したものを、拾得者が本館へ寄贈してくれたものである。遺体は剥製にするまで冷凍室で保存している。現在、冷凍室には数百の標本が保管されているため、状

態の良い物や保存価値のあるもの（希少性の高いもの）から順に、剥製（またはレプリカ）として再生してゆく。

H27年度に委託製作したレプリカ・剥製は、以下の通りである。

魚類 3	キハダ（本剥製）、ハマフエフキ（本剥製）、イロブダイ（本剥製）、
鳥類 12	イソヒヨドリ（仮剥製）12

（山崎 仁也）

## 7. 資料収集事業

### （1）資料収集

資料収集事業は、文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。本事業では、沖縄における文化及び歴史的価値の高い資料を計画的に収集し、展示や研究を深め、教育文化の振興や向上に資する事業を行っている。

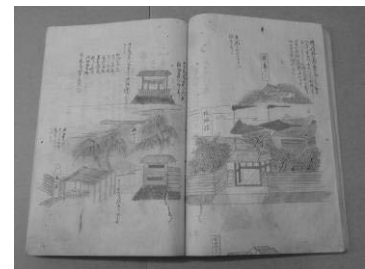
平成27年度は、歴史資料の「ラ・ペルーズ航海記所収 琉球及びその周辺地図」及び「薩摩風土記 乾之巻」の2件を購入した。

「ラ・ペルーズ航海記所収 琉球及びその周辺地図」は、18世紀末に太平洋探検を行ったフランス人のラ・ペルーズによるものである。彼らは、1787年、カムチャッカ半島から朝鮮半島の沿岸をとおり台湾へいたる途中に与那国島に寄っている。

「薩摩風土記 乾之巻」は、薩摩の風俗を春夏秋冬に分けて記し、彩色した挿画とともにまとめられた乾坤2冊の書物である。薩摩の様々な風景や建物とともに、琉球人衣裳、琉球館図、琉球人下官など琉球に関わる事柄も含まれた内容となっている。近世の薩摩人像やヤマト側からみた琉球人のすがたを知ることができる貴重な資料である。平成27年度は乾之巻のみ購入した。



ラ・ペルーズ航海記所収  
琉球及びその周辺地図



薩摩風土記 乾之巻

資料名：

- ・ラ・ペルーズ航海記所収 琉球及びその周辺地図 1 冊
- ・薩摩風土記 乾之巻 1 冊

（大谷 千恵美）

### （2）基金

#### 【事業概要】

沖縄県立博物館・美術館の収蔵資料は、沖縄の歴史・文化史を語るため後世に伝えるべき資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王国時代の資料は、文化的には勿論のこと歴史的な意味においても価値の高いものであり、当館ではこのような資料を収集し常設展や企画展を活性化させることにより、県民の資質の向上と先人の知恵を学ぶ場を提供し、豊かな沖縄の創造を目指している。

資料購入活動の一つである、沖縄県美術品等取得基金（以下「基金」という）は、貴重な琉球資料を購入し、流失させないことを目的の一つとしており、当館では、琉球史研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史文化の高さと豊かさをあらわす琉球資料を、基金により継続的に収集している。今年度は、当館の新規購入はなく、平成25年度購入分の買い戻しの充実にあてた。収集にあたっては外部の有識者による収集委員会を招集し、意見を求め、購入の可否を判断している。

## 8. 資料貸出

○事業名：常設展示「日本の文化（沖縄のくらし）」

主催：国立民族学博物館

会場：国立民族学博物館 本館展示場

貸出期間：2013年12月10日～2023年3月31日

貸出資料：黒釉嘉瓶、張り子、農具・漁具等計33件35点及び映像「ウミのワザ」

- 事業名：文化交流展示「海の道、アジアの路」  
 主催：九州国立博物館  
 会場：九州国立博物館 文化交流展示室  
 貸出期間：2006年4月1日～2016年3月31日  
 貸出資料：厨子甕6点
- 事業名：特別初公開「尚育王書」展  
 主催：一般財団法人 沖縄美ら島財団 首里城公園管理部  
 会場：首里城公園有料区域黄金御殿  
 貸出期間：2015年4月21日～7月15日  
 貸出資料：林鴻年書軸「七言律詩」・冠裂 計2点
- 事業名：NHK沖縄放送局 「遺品が語る 沖縄戦70年展」戦争の記憶 語り継ぐ品々  
 主催：NHK沖縄放送局  
 会場：NHK沖縄放送局  
 貸出期間：2015年6月2日～6月28日  
 貸出資料：黒釉カラカラほか2点
- 事業名：平成27年度島根県立古代出雲歴史博物館特別展「東アジア交流の盛華 琉球王国」  
 主催：島根県立古代出雲歴史博物館  
 会場：島根県立古代出雲歴史博物館 特別展示室  
 貸出期間：2015年6月28日～9月10日  
 貸出資料：おもろさうし、中山世譜（蔡温本）、混効験集、紙本着色雪中雉子の図 他 計68件
- 事業名：第29回企画展「宮古のピルマス展」  
 主催：宮古島総合博物館  
 会場：宮古島総合博物館  
 貸出期間：2015年7月8日～9月8日  
 貸出資料：ピンザアブ出土人骨、ミヤコノロジカ・ミヤコムカシネズミ・ヤマネコ化石、サキシマハブ（剥製）
- 事業名：沖縄戦・戦後70年企画展「宜野湾、戦後の復興とくらし」  
 主催：宜野湾市立博物館  
 会場：宜野湾市立博物館 企画展示室  
 貸出期間：2015年7月9日～9月9日  
 貸出資料：ジュラルミン製茶碗、すり鉢、火鉢、お玉、軍服で仕立てたワンピース、芭蕉衣で仕立てた洋服 3点
- 事業名：沖縄の貴重な昆虫展  
 主催：一般財団法人 沖縄美ら島財団  
 会場：海洋博公園 熱帯ドリームセンター  
 貸出期間：2015年7月22日～10月10日  
 貸出資料：クモの巣の作り方拡大模型一式 ほか2点
- 事業名：東京都町田市 町田市立博物館 「沖縄の工芸」  
 主催：町田市立博物館  
 会場：町田市立博物館  
 貸出期間：2015年9月8日～10月18日  
 貸出資料：白釉三巴紋入嘉瓶ほか4点
- 事業名：九州国立博物館開館10周年記念特別展「美の国 日本」  
 主催：九州国立博物館  
 会場：九州国立博物館 3階 特別展示室  
 貸出期間：2015年9月30日～12月7日  
 貸出資料：聞得大君御殿雲龍黄金簪、三線盛嶋開鐘附胴 計2件

- 事業名：九州国立博物館開館10周年展示「琉球と海ーアジアにおける交流」  
 主催：九州国立博物館  
 会場：九州国立博物館文化交流展示関連11室  
 貸出期間：2015年9月30日～12月7日  
 貸出資料：奉使琉球図、朱漆巴紋沈金大御供飯、中山世譜（蔡温本）、琉球国図 他 計6件
- 事業名：尚円王生誕600年記念事業 企画展「尚円王と内間御殿」  
 主催：西原町教育委員会  
 会場：西原町立図書館2階集会室  
 貸出期間：2015年10月13日～10月26日  
 貸出資料：扁額「致和」1面
- 事業名：企画展「京都と首里：二つの王都ー大学は宝箱！京都・大学ミュージアム連携出開帳in沖縄ー」  
 主催：京都・大学ミュージアム連携、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館  
 会場：沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館  
 貸出期間：2015年10月20日～11月25日  
 貸出資料：旗頭模型3点（泉崎一番旗、東町一番旗、東町二番旗）
- 事業名：横浜能楽堂特別展「琉球の織と染 人間国宝二人展 ～宮平初子・玉那覇有公～」  
 主催：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂  
 会場：横浜能楽堂  
 貸出期間：2015年10月22日～12月22日  
 貸出資料：縮緬黄色地雲鳳凰と松藤に雀竹と牡丹衣裳他 計2領
- 事業名：那覇市歴史博物館企画展「琉球処分」と明治期沖縄県政  
 主催：那覇市歴史博物館  
 会場：那覇市歴史博物館 展示室  
 貸出期間：2015年10月28日（水）～2015年12月28日（月）  
 貸出資料：齋藤用之助資料19点
- 事業名：平成27年度1・2月企画展「沖縄の文様 ～いろ・かたち・うごき～」  
 主催：那覇市歴史博物館  
 会場：那覇市歴史博物館 特別展示室  
 1 貸出期間：2015年12月2日～2016年3月11日  
 貸出資料：田中俊雄資料「沖縄の絣模様の分類カード」ほか 計6件  
 2 貸出期間：2016年2月29日～3月30日  
 貸出資料：三線展示の演示具（3台）

## 9. 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、写真画像等の貸出も行っている。毎年多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2015年度は博物館班に205件の依頼があった。利用目的では、書籍・冊子等の出版物への掲載が多く、これに次ぐテレビ放映と併せて、総数の大半を占めている。平成27年度の特徴としては、教育関連のWEBサイトや、教科書・資料集のDVD版への掲載申請も目立った。教材の電子化の影響が見て取れる。

画像の貸出依頼があった資料では、「首里那覇港図屏風」「銅鐘（旧首里城正殿鐘）」「紙本着色冊封使行列図」「進貢船図」などの歴史・美術工芸資料に関する依頼が多かった。一方、港川人やサキタリ洞遺跡に関する人類資料についての申請も目立っており、当館が推進する発掘調査事業の成果が反映されているといえる。

（三枝 大悟）





# 美術館

- I 調査研究等の活動
- II 展示活動
- III 教育普及活動
- IV 資料収集・保存管理

# I. 調査研究等の活動

## 1. 調査研究の概要

調査研究事業（以下、本事業とする）を美術館活動の根幹と捉え、開館準備の頃より収集作品調査及び、企画展開催に伴う調査研究に重点を置いて積極的に取り組んできた。

2015年度については、前年度に引き続いて美術館紀要の充実を年度目標に掲げ、テーマを絞って考察し、調査研究の発表をおこなうなど学芸員相互のスキルアップをはかった。また、本年度紀要のテーマを「研究の場としてのニシムイ展」とし、コレクション特別企画展「ニシムイ — 太陽のキャンバス」を通じた新たな知見を中心にまとめた。さらに、前年度海外調査先であったシンガポールのSTPI（シンガポールタイラープリントインスティテュート）から講師招聘し美術館講座を企画できたことも、調査の成果としてあげられる。

なお、調査研究部会を月一回以上開催し、その成果を調査研究嘱託員の手によりアーカイヴしていったことも、学芸員各員の個人研究の充実が、美術館活動を支えることができるよう継続できればと願う。

### (1) 調査研究の事業内容

- ① 美術品の収集に関すること
- ② 美術品の保存科学に関すること
- ③ 美術品の修復に関すること
- ④ 展示技術に関すること
- ⑤ 教育普及に関すること
- ⑥ 美術情報提供システムの活用に関すること
- ⑦ ボランティア育成支援に関すること
- ⑧ 美術館の振興に関すること

### (2) 学芸員研究

研究テーマを設定し、一年ないしは数年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

No.	氏名	研究テーマ
1	安里進	現代沖縄美術とアジアへの眼差し・本土側の目線
2	前田比呂也	ノーラ・チッポムラという身体 — 沖縄滞在制作の記録 —
3	仲里安広	屋部憲の変遷 屋部憲の活動と、屋部がとらえた琉球書の独自性、美術村構想について
4	仲村保	美術館と地域との連携 — 博・美地域連携劇ニシムイ 太陽のキャンバス取組報告 —
5	豊見山愛	①シュルレアリスムと山元恵一 — 「夢」の彼方に— ②名渡山愛擴氏インタビュー
6	島筒格	大城皓也タブロー・エスキース調査 — 変遷するモチーフ
7	玉那覇英人	金城安太郎の描いた《今帰仁盛衰記》について
8	梶原正史	修復作業の一般公開から考察するこれらの保存修復活動 ～修復コロシウムより～
9	大城さゆり	『島の女』から『紅型の女』へ — ゴーギャンのイメージを基にした大城皓也の女性像に関する一考 —

### (3) 調査研究体制

調査研究活動は学芸員及び嘱託員で実施。画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存しており、展覧会事業、収集事業といった内部資料はもとより、個人情報保護の範疇にないものに限り、外部の参考文献にも対応するよう心掛けている。その場合は熟覧申請等、正式な申請をふまえている。

(豊見山 愛)

## 2. 調査・研究・講演・著作論文等

前田比呂也（美術館副館長）

### ○調査・研究

#### ①展覧会等に関する調査・研究

- ・美術館特別企画「ニシムイ」関連調査ー池袋モンパルナス（東京都）（2015年5月16～17日）
- ・美術館特別企画「ニシムイ」関連調査ー米軍政資料（沖縄県公文書館）（2015年5月12日）
- ・美術館特別企画「ニシムイ」関連調査ー新聞資料（沖縄県立図書館）（2015年6月10日、7月15日）
- ・美術館企画展「夢の美術館」関連調査（福岡市美術館、北九州市立美術館）（2015年6月17～18日）
- ・美術館企画展「志村ふくみ」関連調査（京都国立近代美術館）（2015年10月27～28日）
- ・美術館企画展「志村ふくみ」関連調査（京都国立近代美術館）（2016年2月17～18日）
- ・美術館企画展「山元恵一」関連調査ーグループ貌（郡山市立美術館）（2015年11月17～19日）
- ・美術館企画展「山元恵一」関連調査ーグループ貌（姫路市美術館）（2016年2月4～5日）
- ・美術館開館10周年記念展関連調査（台北）（2016年1月17～19日）
- ・美術館開館10周年記念展関連調査（ソウル）（2016年2月11～14日）
- ・美術館開館10周年記念展関連調査（ソウル）（2016年2月23～26日）
- ・美術館開館10周年記念展関連調査（台北）（2016年3月1～2日）
- ・美術館企画展「ゲルニカ・タピスリ」関連調査（群馬県立近代美術館）（2016年3月7～10日）
- ・平成27年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業「ノーラ・チッポムラ」関連調査（宮古島市）（2015年7月3～5日）
- ・平成27年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業「ノーラ・チッポムラ」関連調査（沖縄県立博物館・美術館、宜野湾市）（2015年7月10～12日）
- ・平成27年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業「ノーラ・チッポムラ」関連調査（伊江村）（2015年7月13～14日、7月31日～8月1日）

#### ②美術品収集に伴う作品調査

- ・安次富長昭作品調査（作家アトリエ／那覇市）（2015年4月7日）
- ・岸本一夫作品調査（作家アトリエ／北中城村）（2015年4月18日）
- ・翁長自修作品調査（作家アトリエ／宜野湾市）（2015年4月20日）
- ・治谷文夫作品調査（作家アトリエ／本部町）（2015年4月23日、4月26日）
- ・新城征考作品調査（作家アトリエ／本部町）（2015年10月30日、11月9日）
- ・真喜志勉作品調査（作家アトリエ／浦添市）（2015年10月30日、12月4日、24日、2016年1月7日）
- ・浦崎彦志所蔵作品調査（浦崎邸／那覇市）（2016年2月20日、3月23日）

### ○講演等

- ・名 称：総務省主催 平成27年度情報通信月間講演会パネリスト「4K8Kコンテンツに期待すること」  
日 時：2015年6月10日  
場 所：ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー  
依頼機関：総務省
- ・名 称：沖縄県主催 沖縄工芸品販路拡大支援事業クロストーク講師「中川政七商店十三代中川淳、パイパー山田遊と工芸を考える」  
日 時：2015年6月10日  
場 所：沖縄県総合福祉センター  
依頼機関：沖縄県
- ・名 称：浦城小学校校内研修会講師「対話による鑑賞指導を中心とした図工科教育」  
日 時：2015年7月29日  
場 所：浦添市立浦城小学校  
依頼機関：浦添市立浦城小学校
- ・名 称：平成27年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業「ノーラ・チッポムラ」トークイベント パネリスト「ドキュメンタリー映像＋トーク」  
日 時：2015年8月2日  
場 所：那覇市民活動支援センター
- ・名 称：沖縄県高教組主催 第22次障害児学校部教育研究集会「美術教育」講師  
日 時：2015年11月1日  
場 所：沖縄県立沖縄盲学校  
依頼機関：沖縄県高教組
- ・名 称：ニシムイ劇上演  
日 時：2015年11月8日

- 場 所：沖縄県立博物館美術館講堂
- ・名 称：琉球大学非常勤講師「美術科教育法C」
- 日 時：2015年11月25日
- 場 所：琉球大学教育学部
- 依頼機関：琉球大学
- ・名 称：STPI
- 日 時：2016年2月28日
- 場 所：沖縄県立博物館・美術館講座室
- ・名 称：ニシムイ劇「上映会&トークイベント」
- 日 時：2016年3月13日
- 場 所：沖縄県立博物館・美術館講堂

○著作・論文等

- ・「ノーラ・チッポムラという身体ー沖縄滞在制作の記録」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』 2016年3月
- ・「それぞれの「ニシムイ」ー戦後70年特別企画展「ニシムイ」の意義」『戦後70年特別企画展「ニシムイー太陽のキャンパス」』記録集 沖縄県立博物館・美術館 2016年1月
- ・「真喜志勉 観」『Ambivalent TOM MAX』沖縄県立博物館・美術館 2016年3月
- ・「戦後70年特別企画展「ニシムイー太陽のキャンパス」『芸術批評誌 [リア] 芸術・批評・ドキュメント』No.36 特集 2015戦争を視る 2016年3月

○その他

- ・沖縄県文化功労者表彰選考委員
- ・南城市文化センター運営審議会委員
- ・沖縄県主催 平成27年度沖縄県芸術文化祭美術部審査員
- ・那覇市主催 平成27年度なは市民芸術展審査員
- ・沖縄県立芸術大学 資料評価委員
- ・沖縄県立芸術大学 卒展選定委員
- ・ダイキンオーキッドゴルフトーナメントポスター審査員
- ・一般社団法人沖縄しまたて協会主催 第5回沖縄ふるさとづくり図画コンクール審査員
- ・(公社) 沖縄県青少年育成県民会議主催 平成27年度「家庭の日」絵画・ポスターコンクール審査員

豊見山 愛 (主任学芸員)

○調査・研究 (主として研究課題が展覧会企画業務に関わるものを選定し記述)

- ・久場とよ氏へニシムイ展に関する調査 (2015年4月16日、6月4日)
- ・池袋モンパルナス現地踏査 (本田晴彦氏)、板橋区美術館所蔵品調査 (東京都豊島区) (2015年5月16~17日)
- ・豊島区郷土博物館での自費調査 (主に文献) (東京都豊島区) (2015年5月30~31日)
- ・県出身画家・宮平清一氏作品調査及び闇市展調査 (東京都豊島区郷土博物館) (2015年9月24~25日)
- ・次年度企画展「山元恵一」作品及び聞き取り調査 (福島県、東京都) (2015年11月17~19日)
- ・十周年展企画立案・交渉等調査出張 (台北・台北MOCA、高雄・高雄市美術館、等) (2016年1月17~19日)
- ・山元恵一展に関する調査と出品交渉 (姫路・姫路市美術館、大阪、等) (2016年2月4~5日)
- ・十周年展担当企画のための調査 (韓国・ソウル市立美術館、リウム美術館、等) (2016年2月11~14日)
- ・十周年展担当企画のための調査 (韓国・ナムジュン・パイク調査、等) (2016年2月23~25日)
- ・十周年展担当企画のための調査 (台北・台湾市政府、等) (2016年3月1~2日)
- ・十周年展担当企画のための調査 (シンガポール・南洋美術学院、ナショナルギャラリー・シンガポール、等) (2016年3月26~29日)

○講演等

- ・名 称：シンポジウム I 『ニシムイ建設とその背景VOL.1 語り継ぐもの』  
第1部：「二つのアーティスト・ビレッジ」[弘中 智子 (板橋区美術館学芸員) と連名]  
第2部：パネルディスカッション [川島 淳 (那覇市歴史博物館古文書解読員)、仲嶺 絵里奈 (写真史研究所調査研究員) と連名]
- 日 時：2015年6月14日
- 場 所：講堂
- ・名 称：キュレータートーク『池袋モンパルナスとニシムイ建設、名渡山愛順と山元恵一』
- 日 時：2015年8月22日
- 場 所：美術館講座室・コレクションギャラリー
- ・名 称：講話「彷徨と痕跡ー沖縄現代史のなかの芸術」<思想としてのリアリズム - 芸術と現代史を巡る討議>



期 日：2015年11月13日、14日

依頼機関：MAT那覇（沖縄大学）

○著作・論文等（エッセイ・新聞記事等を除く）

- ・「青（アヒ）の見える場所 — 石田尚志と沖縄」『石田尚志 渦まく光』 株式会社青幻舎 2015年4月
- ・「ニシムイ美術村への道-沖縄洋画壇の萌芽と北川民次の仕事」『戦後70年特別企画展ニシムイ-太陽のキャンパス記録集』 沖縄県立博物館・美術館 2016年1月
- ・「名渡山愛嬢氏インタビュー」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』2016年3月
- ・「シュルレアリスムと山元恵一 — 「夢」の彼方に—」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』2016年3月

島筒 格（主任学芸員）

○調査研究

- ・ニシムイ関連資料の調査  
与儀達治作品調査（浦添市牧港）（2015年5月2日）
- ・平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業に伴う東海地方調査情報収集（愛知県美術館、三重県総合博物館、知多市歴史民俗博物館）（2015年10月26～28日）
- ・魅力アップ事業関連施設視察（キッズプラザ大阪、金沢21世紀美術館）（2016年3月4日～5日）

○出前講座・授業

- ・渡嘉敷村立渡嘉敷小学校5・6年（2015年7月1日）
- ・渡嘉敷村立渡嘉敷中学校1・2年（2015年7月1日）
- ・沖縄県立ろう学校高等部（2015年9月17日）
- ・沖縄県立島尻特別支援学校中学部（2015年10月7日）
- ・伊是名村立伊是名中学校（2015年10月8日）
- ・南城市立船越小学校4年（2015年10月30日）
- ・豊見城市立伊良波中学校特別支援学級（2015年12月1日）
- ・北谷町立北谷小学校3年（2016年1月27日）

○講演等

- ・名 称：キュレータートーク『大城皓也、安谷屋正義』  
日 時：2016年2月27日  
場 所：美術館講座室・コレクションギャラリー

○著作・論文等

- ・「大城皓也のタブロー・エスキース調査—変遷するモチーフ—」『沖縄県立博物館美術館 美術館紀要』第6号  
2016年3月

仲村 保（主任学芸員）

○調査・研究

①特別企画展「ニシムイ 太陽のキャンパス」に関する調査

- ・具志堅以徳資料調査（浦添市前田 親族）（2015年4月8日）
- ・具志堅以徳作品・資料調査（南城市玉城 親族）（2015年5月1日）
- ・具志堅以徳作品・資料調査（南城市玉城 親族）（2015年5月14日）
- ・具志堅以徳資料調査（那覇市若狭 親族）（2015年5月15日）
- ・具志堅以徳資料調査（南城市玉城 親族）（2015年5月22日）
- ・具志堅以徳資料調査（浦添市前田 親族）（2015年7月18日）

②移動展（伊是名村）

- ・移動展会場・借用資材調整等（伊是名村）（2015年6月18～19日）

○出前講座・授業

- ・西原町掛保久自治会（2015年5月23日、6月4日）
- ・豊見城市立伊良波小学校6年（2015年9月29日、10月27日）
- ・伊是名村立伊是名小学校1～6年（2015年10月7～8日）
- ・沖縄県立浦添工業高校（2016年1月27日）

○講演等

- ・名 称：キュレータートーク『具志堅以徳』  
日 時：2015年10月24日  
場 所：美術館講座室・コレクションギャラリー

○著作・論文等

- ・「展覧会関連事業地域連携劇「にしむい」について」『戦後70年特別企画展ニシムイー太陽のキャンバス記録集』  
沖縄県立博物館・美術館 2016年1月
- ・「美術館と地域との連携―博・美地域連携劇 ニシムイ太陽のキャンバス取組報告」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』 2016年3月

仲里 安広 (主任学芸員)

○調査・研究

①「戦後70年特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス」に関する調査

- ・安次富長昭作品調査 (那覇市首里石嶺町) (2015年4月7日)
- ・岸本一夫作品調査 (中城村安谷屋) (2015年4月18日)
- ・翁長自修作品調査 (宜野湾市大謝名) (2015年4月20日)
- ・山田實作品調査 (那覇市久米) (2015年4月23日)
- ・志喜屋孝信遺族所蔵者 屋部憲作品調査 (うるま市赤道) (2015年4月30日)
- ・与儀達治作品調査 (浦添市牧港) (2015年5月2日)
- ・末吉安久作品調査 (那覇市首里儀保町) (2015年5月15日)
- ・ニシムイ画家が手がけた琉球切手の調査 (那覇市壺川中央郵便局2階) (2015年5月29日)
- ・安次嶺金正、玉那覇正吉、安谷屋正義作品調査及び借用 (サンフランシスコStanley Steinberg宅) (2015年5月20日)
- ・安谷屋正義、玉那覇正吉作品調査及び借用 (パークレーJane L.Dulay宅) (2015年5月21日)

②「大嶺政寛展 情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて」に関する調査

- ・大嶺政寛作品調査 (名護市博物館) (2015年7月24日)
- ・大嶺政寛作品調査 (那覇市識名 個人所蔵者) (2015年7月27日)
- ・大嶺政寛作品調査 (宮古島 しもじ長生園) (2015年7月28日)
- ・大嶺政寛作品調査 (那覇市首里当蔵美術工芸しろ、宜野湾市上原佐喜眞美術館、那覇市首里吉町個人所蔵者) (2015年7月29日)
- ・大嶺政寛作品調査 (那覇市久茂地那覇市民ギャラリー、宜野湾市伊祖いとむクリニック) (2015年7月30日)
- ・大嶺政寛作品調査 (南城市佐敷個人宅、那覇市赤田町首里そば、那覇市泉崎県庁内ファンファーレ) (2015年7月31日)
- ・大嶺政寛作品調査 (那覇市安里 うりずん) (2015年8月4日)
- ・大嶺政寛作品調査 (那覇市天久 個人所蔵者宅) (2015年8月11日)
- ・大嶺政寛作品調査 (恩納村沖縄科学技術大学院大学、うるま市いざみ病院) (2015年9月2日)
- ・大嶺政寛作品調査 (浦添市 沖縄電力本社) (2015年9月3日)
- ・大嶺政寛作品調査 (南風原町神里 画廊沖縄) (2015年9月11日)
- ・大嶺政寛作品調査 (南風原町津嘉山 りうとう) (2015年9月16日)
- ・大嶺政寛作品調査及び借用 (広島市 (2015年10月14日)、東京都 (2015年10月15日))

③資料収集に関する調査

- ・当山進作品調査 (南風原町照屋) (2015年12月24日)

④研究紀要に関する調査

- ・屋部憲作家調査 (那覇市首里山川町) (2015年12月11日、22日)

○講演等

- ・名 称：戦後70年沖縄美術プロジェクトすでの「美術家が語る平和と表現」パネリスト  
日 時：2015年6月28日  
場 所：沖縄平和祈念資料館ホール
- ・名 称：キュレータートーク「玉那覇正吉、安次嶺金正、屋部憲、末吉安久」  
日 時：2015年6月27日  
場 所：美術館講座室・コレクションギャラリー
- ・名 称：シンポジウムⅡ『ニシムイ画家の絵画と芸術活動』  
[稲嶺 成祐 (画家・琉球大学名誉教授)、岸本 一夫 (デザイナー)、治谷 文夫 (画家) と連名]  
日 時：2015年11月3日  
場 所：講堂
- ・名 称：キュレータートーク「大嶺政寛展」  
日 時：2015年12月5日  
場 所：美術館講座室・美術館企画ギャラリー

○著作・論文等

- ・展評「沖縄を描いた画家たち展」『琉球新報』 2015年9月

- ・「情熱の赤瓦④ 大嶺政寛展 原風景に描いた沖縄の心」『沖縄タイムス』 2015年12月
- ・「大嶺政寛の軌跡と絵画」『大嶺政寛展 情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて』 沖縄県立博物館・美術館 2015年11月
- ・「屋部憲の変遷」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』 2016年3月

○その他

- ・南風原文化センター活性化支援実行委員

玉那覇英人（主任）

○調査・研究

①特別企画展「ニシムイ 太陽のキャンパス」に関する調査

- ・金城安太郎調査（那覇市 親族）（2015年4月8日）
- ・金城安太郎作品調査（那覇市古島 作品所有者）（2015年4月23日）

②企画展「石田尚志 渦まく光」に関する調査

- ・石田尚志作品および作家調査（沖縄）（2015年7月16～18日）
- ・石田尚志作品調査および作品集荷（東京）（2015年8月26～29日）
- ・石田尚志作品返却（東京）（2015年11月3～5日）

③収集に関する調査

- ・真喜志勉作品調査（那覇市）（2016年1月7日）

④研究紀要に関する調査

- ・金城安太郎作品調査（福岡県 個人作品所有者）（2016年1月16～18日）
- ・今帰仁城跡調査（本部町）（2016年2月12日）

⑤作家調査

- ・富元明雄調査（作家アトリエ／那覇市 2015年12月2日）

⑥その他

- ・平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業に伴う関西地方B調査情報収集（人と未来防災センター、神戸大学震災文庫、尼崎市立地域研究史料館、国立民族学博物館、宮内庁正倉院事務所、奈良国立博物館）（2015年12月9～12日）

○講演等

- ・名 称：キュレータートーク「石田尚志 渦まく光」展  
日 時：2015年10月3日  
場 所：美術館企画展示室
- ・名 称：トークセッション「石田尚志の創作―越境するイメージ、身体、音楽、時間、そして場所―」  
[石田尚志（画家/映像作家）、松永真太郎（横浜美術館主任学芸員）と連名]  
日 時：2015年10月3日  
場 所：講堂
- ・名 称：キュレータートーク「金城安太郎」  
日 時：2015年10月24日  
場 所：美術館講座室、コレクションギャラリー1・2・3

○著作・論文等

- ・「CAMP TALGANIE art farm Art selection vol. 8 「タイ・ベトナム・沖縄国際彫刻展 Part II」」『琉球新報』 2015年12月

梶原 正史（美術品保存修復専門員）

○調査・研究

- ・平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」第1回全体会議、第1回ワーキング会議（九州国立博物館）（2015年6月14～15日）  
関東地方調査情報収集（宮内庁書陵部、国文学研究資料館、東京文化財研究所）（2015年7月7～8日）  
関西地方A調査情報収集（和歌山県立近代美術館、印南町公民館、美浜町浜ノ瀬公民館）（2015年2015年8月18日～19日）  
東北地方調査情報収集（東北歴史博物館、奥松島縄文村歴史資料館、石巻市文化財仮設収蔵庫、東北大学災害科学国際研究所）（2016年1月7日～8日）
- ・修復コロシウム～保存修復の現場から～ 公開修復作業・パネル展示（2015年4月28日～5月31日）
- ・ニシムイ展における出品候補作品状態チェック（2015年4月1～6月5日）
- ・与儀達治作品調査（宜野湾市牧港）（2015年5月2日）
- ・移動展における出品作品（立体作品6点）状態チェック（2015年10月1～3日）
- ・企画展「大嶺政寛展」における出品作品（水彩作品12点）ヒンジ付、出品作品マウント作業、額装点検、額装

における吊金具交換（2015年6月～11月）

- ・次年度コレクション展に向けた額縁仕様の提案、貸出における梱包仕様についての提案（2015年12月～2016年3月）
- ・次年度コレクション展にむけての出品候補作品状態チェック（2015年12月～2016年3月）

○講演等

- ・名 称：一般社団法人沖縄県美術家連盟理事会 講演「沖縄の絵画作品の保存修復について」  
日 時：2015年5月17日  
場 所：美術館講座室  
依頼機関：一般社団法人沖縄県美術家連盟
- ・名 称：平成27年度文化財保護行政担当者研修会 講演「文化財保存修復技術 ～県立博物館・美術館の保存修復の現場から～」  
日 時：2015年9月11日  
場 所：沖縄県立埋蔵文化センター  
依頼機関：沖縄県教育庁文化財課
- ・名 称：修復報告会「修復コロシウム2 ～保存修復の現場から～ 大城皓也作《島の女》」  
日 時：2016年2月19日  
場 所：美術館講座室

○著作・論文等

- ・「修復コロシウム★当館保存修復の現場から」『戦後70年特別企画展ニシムイー太陽のキャンバス記録集』 沖縄県立博物館・美術館 2016年1月
- ・「修復作業の一般公開から考察するこれからの保存修復活動～修復コロシウムより～」『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』 2016年3月

大城さゆり（美術品調査嘱託員）

○調査・研究

- ・金城安太郎作品調査（那覇市）（2015年4月16日）
- ・金城安太郎作品調査（那覇市）（2015年4月23日）
- ・大城皓也、大嶺政寛などの文献調査、および南風原朝光の展覧会調査（東京都）（2015年9月24日～25日）
- ・新城征孝作品調査（那覇市）（2015年10月30日）
- ・新城征孝作品調査（那覇市）（2015年11月9日）
- ・大城皓也関連、戦前の出品目録調査（那覇市）（2015年12月23日、2016年2月16日）
- ・真喜志勉作品調査（浦添市）（2016年1月7日）

○著作・論文等

- ・『島の女』から『紅型の女』へーゴーギャンのイメージを基にした大城皓也の女性像に関する一考ー『沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要 第6号』 2015年3月

## II. 展示活動

### 1. 展示活動概要

例年、コレクション展では、年間三期に分けて展示替えを行い、収蔵作品及び寄託作品をテーマ展示の形式で公開してきた。しかし、戦後70年を迎える2015年度は、戦後復興に奔走したニシムイの画家たちに焦点を当て、6月から3月までの10ヶ月の期間、「戦後70年特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス」を公開した。

戦争によって自然や文化までもが焼き尽くされた中、その状況を憂いながらも美術家達は沖縄の芸術文化復興に尽力した。戦前の動向からニシムイ建設、その後の展開とニシムイ画家や関連作家の作品も併せて公開した。

### 2. 特別企画展「戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンバス」

会 期：2015年6月13日（土）～10月4日（日）  
2015年10月10日（土）～2016年3月13日（日）

会 場：コレクションギャラリー1・2・3

観 覧 料：一般310（250）円、高校・大学生210（170）円、県内小・中学生無料、県外小・中学生100（80）円

※（ ）内は前売り、団体料金

観覧者数：30,795人

## 【開催趣旨】

戦後間もない頃（1948年）那覇市首里儀保に主に東京美術学校（現東京芸術大学）出身等の画家たちが集い、美術村が作られた。いわゆるニシムイ美術村の誕生である。戦争により、自然や文化までが焼き尽くされ、変わり果てた沖縄の状況を憂いながらも、画家たちは戦後沖縄の文化や美術の復興に奔走した。混沌とした時代に、依頼に応じ肖像画を描き、生活の糧を得ながらも独自の芸術活動を展開した。沖展（沖縄美術展）の立ち上げに携わり、戦後沖縄の文化活動、美術界の指導者として牽引した。戦後70年が経った今日、改めてニシムイをとおして戦後沖縄の芸術、文化を検証する展覧会を開催した。

## 【開催形式】

主催：沖縄県立博物館・美術館

共催：那覇市

特別協力：琉球物流株式会社 創立65周年記念特別協力

協力：那覇市歴史博物館、琉球大学、琉球大学附属図書館、沖縄県立芸術大学、うるま市、うるま市立石川歴史民俗資料館、NHK沖縄放送局、沖縄タイムス社、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、那覇新都心通り会、NPO法人首里まちづくり研究会、首里儀保町自治会、劇艶おとな団

後援：那覇市教育委員会、沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、（一財）沖縄観光コンベンションビューロー、琉球新報社、沖縄テレビ放送、琉球放送、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、タイフーンfm

※芸術文化振興基金助成事業

## 【展示概要】

展示は第3章に分けて構成する。戦前の絵画の変遷から沖縄戦、そして戦後の美術や文化復興の様子をニシムイ美術村の画家たちの作品や活動をとおして紹介した。

### 【出品画家（ニシムイ画家及び関連画家）】

#### （1）ニシムイ画家

名渡山愛順、山元恵一、大城皓也、安次嶺金正、玉那覇正吉、安谷屋正義、金城安太郎、具志堅以徳、屋部憲、末吉安久

#### （2）その他関連画家

##### ①戦前

佐田勝、北川民次、藤田嗣治、南風原朝光、宮平清一、安仁屋政栄、川平朝申、我部政達

##### ②戦後

安次富長昭、岸本一夫、宮城健盛、翁長自修、稲嶺成祚、与儀達治、治谷文夫、渡慶次真由、大城志津子、大見謝文、ぐし宮城セツ、久場とよ、山元文子、石嶺傳郎、神山泰治、平野長伴

## 【展示構成】

### （1）第1章 「戦後の混乱からニシムイ建設へ」（コレクションギャラリー1）

1945年沖縄諮詢会の発足により 文化部芸術課には画家が技官として雇われた。東恩納での活動は、後のニシムイ建設へのはずみとなった。東恩納の活動からニシムイ建設への流れ等、当時の社会背景と歴史を知る手がかりとなる写真資料等を公開する。また、池袋モンパルナスがニシムイのモデルとなったことから、池袋モンパルナスを見た名渡山愛順や南風原朝光など、戦前の絵画を紹介しながらニシムイ建設までの様子を公開した。

〈展示資料〉 戦前に描かれた県内外の作品、記録資料、映像を展示

### （2）第2章 「ニシムイのアトリエ」（コレクションギャラリー3）

ニシムイ美術村を建設し、画家たちは依頼に応じて肖像画を描いた。一方で独自の芸術活動を展開し、発表していた。沖展創設やグループ展も行われるようになり、美術活動も拡がりを見せた。この章では、ニシムイ画家のアトリエ風景の写真を紹介し、当時の様子と絵画等を展示した。

〈展示資料〉 絵画、デッサン、イーゼル、画家が使用した道具類、拡大写真、映像

### （3）第3章 「ニシムイからの拡がり」（コレクションギャラリー2）

ニシムイからの活動は、新たな美術の流れを生む契機となった。グループ展の開催や、個展、研究会の発足など、ニシムイ画家から影響をうけた次世代の画家が活躍することに繋がった。また、油絵以外に琉球切手のデザインや新聞小説の挿絵、商品パッケージのデザインなど様々である。この章では、ニシムイ画家が手がけた琉球切手、鎮魂碑、旗頭、新聞小説の挿絵などの資料類をはじめ、その後のグループ展などに出品した関係者の美術作品を紹介した。

〈展示資料〉 絵画、資料類、琉球切手のデザイン原画、獅子舞、挿絵、旗、模型、雑誌、映像



## 【主な展示資料の点数】

前期展示作品数 182点

後期展示作品数 179点

## 【関連催事】

### (1) 講演会・公演：「ニシムイと音楽のタベ」

開催日時：2015年8月8日（土）17:30～19:00

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

演 奏 者：山元ほるん（音楽家、山元恵一の親族）



### (2) シンポジウム

#### ①第1回シンポジウム

テ ー マ：「ニシムイ建設とその背景—語り継ぐもの」

開催日時：2015年6月14日（日）13:50～16:30

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

#### ・第一部 講演

演 題：「二つのアーティスト・ビレッジ」

講 師：弘中智子（板橋区美術館学芸員）

豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

#### ・第二部 パネルディスカッション

パネリスト：川島淳（那覇市歴史博物館古文書解説員）

仲嶺絵里奈（写真史研究所調査研究員）

コーディネーター：豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）



#### ②第2回シンポジウム 「ニシムイ画家の絵画と芸術活動」

開催日時：2015年11月3日（火）14:00～16:30

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

#### 第一部 基調講演

講 演：「ニシムイ画家の絵画」

講 師：稲嶺成祚（画家・琉球大学名誉教授）

#### 第二部 パネルディスカッション

講 師：稲嶺成祚、岸本一夫（デザイナー）、治谷文夫（画家）

コーディネーター：仲里 安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）



#### ③第3回シンポジウム 「ニシムイ劇を振り返る」

開催日時：2016年3月13日（日）13:00～15:30

場 所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

パネリスト：安和朝彦（那覇新都心通り会理事）、当山彰一（演出家）、  
平得永太郎（博・美地域連携実行委員会会長）、他演者数  
名

コーディネーター：仲村保（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）



### (3) ギャラリートーク

#### ①第1回 「沖縄美術の黎明—ニシムイ美術村

開催日時：2015年7月18日（土）14:00～15:30

場 所：美術館講座室、美術館コレクションギャラリー

講 師：安次富長昭（琉球大学名誉教授）

#### ②第2回 「わたしの中のニシムイ」

開催日時：2015年7月19日（日）14:00～15:30

場 所：美術館講座室

講 師：崎山律子（フリーアナウンサー）

#### ③第3回 「ニシムイは今も生きている」

開催日時：2016年2月27日（土）14:00～15:30

場 所：美術館講座室、美術館コレクションギャラリー

講 師：岸本一夫（デザイナー）

(4) キュレータートーク

①第1回「玉那覇正吉、安次嶺金正、屋部憲、末吉安久」

開催日時：2015年6月27日（土）14:00～15:30

講師：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

②第2回「池袋モンパルナスとニシムイ建設まで、名渡山愛順、山元恵一」

開催日時：2015年6月22日（土）（14:00～15:30）

講師：豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

③第3回「具志堅以徳、金城安太郎」

開催日時：2015年10月24日（土）14:00～15:30

講師：仲村保（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）、玉那覇英人（沖縄県立博物館・美術館 主任）

④第4回「安谷屋正義、大城皓也」

開催日時：2016年2月27日（土）16:00～17:30

講師：島筒格（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

(5) 地域連携劇「にしむい」（地域連携事業）

開催日時：2015年11月8日（日） 第1回目14:00～、第2回目18:00～

会場：沖縄県立博物館・美術館 講堂

出演者：那覇新都心通り会他希望者20名 首里少年少女合唱団

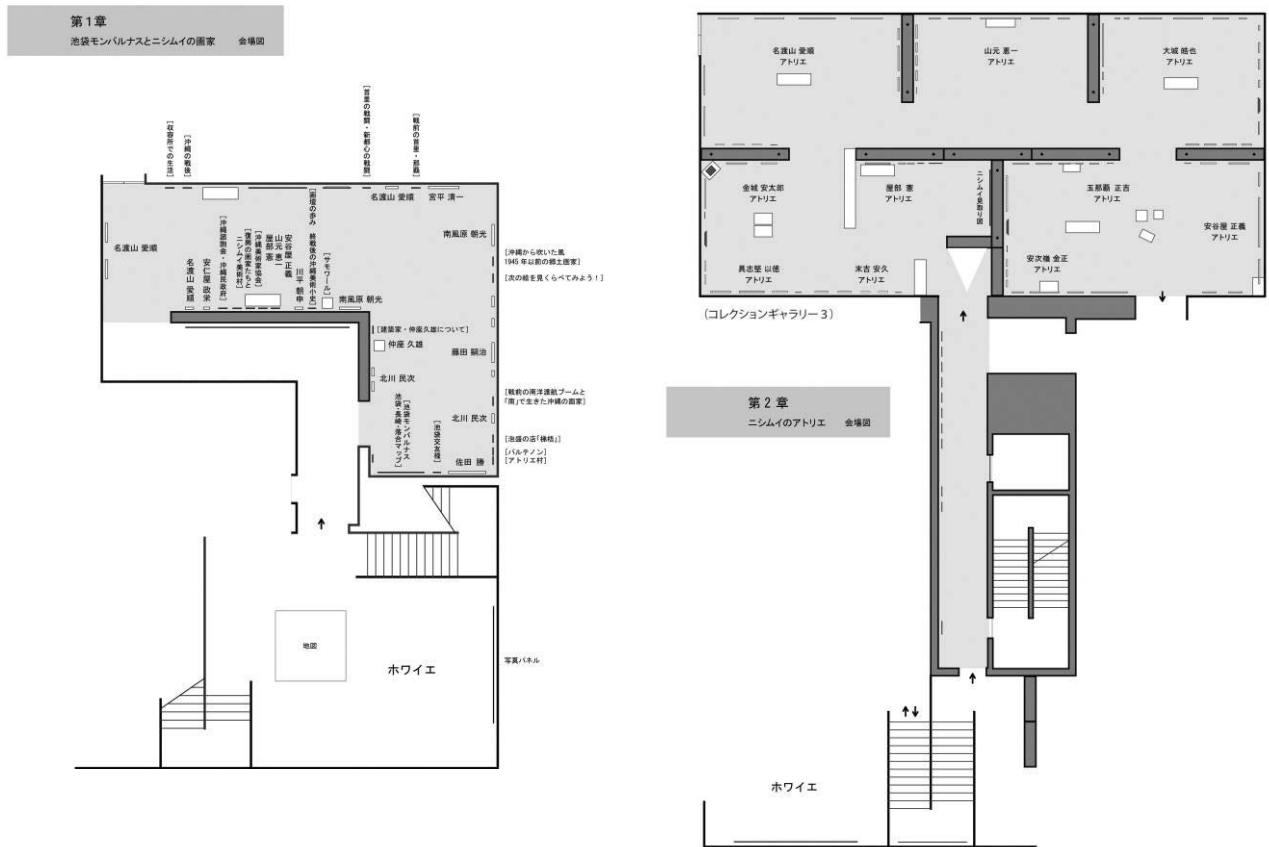
観覧者数：400名

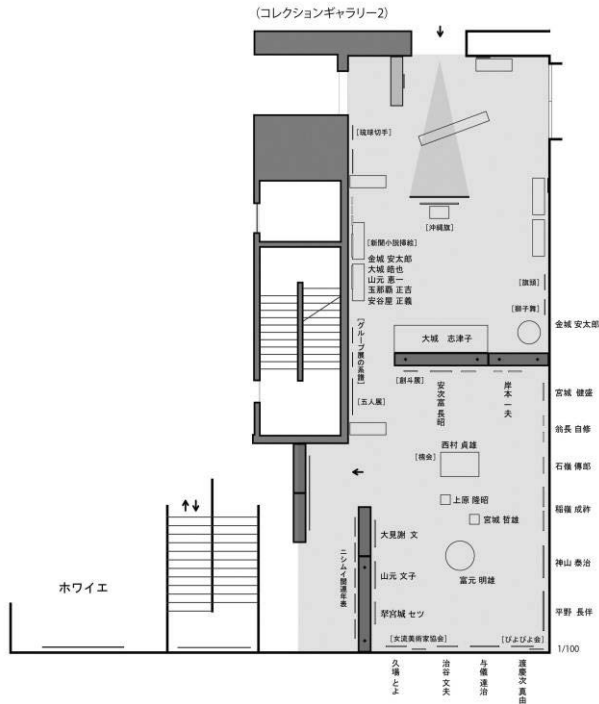
(6) こども向けワークショップ「キャプションをつくろう」

開催日時：2015年6月20日（土）

場所：沖縄県立博物館・美術館 県民アトリエ

【展示平面図】





(仲里 安広)

### 3. 企画展1 「石田尚志 渦まく光 BILLowing LIGHT : ISHIDA TAKASHI」

会 期：2015年9月18日（金）～10月25日（日）  
 会 場：美術館企画展示室1・2  
 観 覧 料：一般 900円（720円） 高校・大学生600円（480円）  
 小・中学生400円（320円）  
 ※表示料金は消費税込  
 ※（ ）内は20名以上団体料金  
 観覧者数：2,557人

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館  
 特別協力：横浜美術館、タカ・イシイギャラリー  
 後 援：（一社）沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、沖縄タイムス社、  
 琉球新報社、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送、沖  
 縄朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク株式会社、エフエム沖  
 縄、ラジオ沖縄、タイフーンfm、株式会社いとまんコミュニテ  
 イエフエム放送、FMコザ（順不同）  
 協 力：琉球大学、沖縄県立芸術大学、NPO法人沖縄県立美術館支援会  
 happ、那覇市文化協会、那覇新都心通り会、学校法人琉美学園  
 沖縄写真デザイン学校、那覇情報システム専門学校、専門学校  
 ITカレッジ沖縄、学校法人フジ学園（順不同）



#### 【開催趣旨】

昨今、現代美術および映像の領域で大きな注目を集める石田尚志（1972年生まれ）の作品は、「描くこと」を常に基本に据えながら、「コマ撮り」の手法を介した映像作品を主とし、ライブ・ドローイングも行う。それは、自らの身体や、音楽、光との癒合からなるものである。今回は石田の初の大規模な個展を横浜美術館と共同開催した。

本展覧会では、キャリア半ばにさしかかった石田のこれまでの活動の総括であり、かつ今後の展開に向けたファーストステップとしての節目の個展となった。また、沖縄展では、10代の多感な時期を過ごした石田が、この地で作品を展示・発表することで新たな展開へと繋がる展覧会とし、県内ではなかなかない優れた現代美術作品にふれる機会を、県民に広く提供する場とした。

## 【展示構成】

### (1) 第1章 絵巻 EMAKI (Scroll Picture)

奔放にたわむれ、生成し続ける、めくるめく線のうねり。紙の上に線を少し描いては定点カメラでひとコマ撮影する、というドローイング・アニメーションの手法によって、「絵巻」の連作は生まれている。

描く一撮る、という反復の軌跡を凝縮した画像(イメージ)は、動きと時間を獲得する。絵を描き続けて、絵画の物理的・時間的な枠(フレーム)を越境していこうとする石田の欲求を具現するために用いたのが、「絵巻」という長尺の支持体であり、「映像」というメディアであった。

「絵巻」作品のいくつかは、プロジェクションされた映像と、その制作行為の「痕跡」である絵巻とを並置したインスタレーションとして提示される。また近年の作品では、石田が描画する視点と同じ位置、同じ角度に固定されたカメラによって、線と色が道や海原を疾走していくようなヴィジョンが現出する。その奥行きのある空間と線描との融合は「部屋」の連作(第4章)に通じ、ほとぼる絵具の生々しさは、「身体」の作品群(第3章)への連続性を示している。また、複数の映像を合成する手法によって生みだされる線と色の重層は、第2章の主題である「音楽」へと限りなく近づいていく。



### (2) 第2章 音楽 Music

音楽の構造、あるいは音楽的な感覚を視覚メディアで表現しようとする試みは、20世紀を通じて様々な芸術家によって実践されてきた。石田の創作活動のもっとも根源にあるのは、ほかでもなく「音楽の可視化」への希求である。

石田の音楽への接近を端的に示すのが、特定の楽曲をモチーフとした作品群である。石田の造形表現の二本柱といえる「矩形」と「有機的曲線」の交錯と反復が、旋律の重なりと曲の展開に同期(シンクロ)して、「絵の音楽」を織り上げていく。主題(旋律)の転調と重層による掛けあいが延々と繰り返されるバッハの楽曲を視覚に置き換えた、ドローイング・アニメーションの大作《フーガの技法》(2001)は、その代表作である。

線・色・光といった視覚的要素が重なり合い、反復・変奏していく石田の動く絵(ムーヴィング・ピクチャー)は、そこに音楽が付随する／しないに関わらず、映像(イメージ)そのものが自律的に「音の絵」を体現している。映像に脈打つリズムと抑揚の源は、制作過程の反復運動、すなわち描く石田の身体の律動そのものである。そして完成した作品を前に、イメージが奏でる旋律によって石田はふたたび「踊る」のだという。

### (3) 第3章 身体 Body

映像制作に着手してから長いあいだ、石田はドローイング・アニメーションの手法を用いて、線・色・光による純粹運動を探求してきた。しかし2010年から石田は、描かれゆく線とともに、描く自分自身の姿をカメラに収め、そのまま映像作品として提示するという新境地に踏み入る。10代の頃からライブ・ペインティングの活動を行ってきた石田にとって、この「描く身体」を主題とした連作はいわば原点回帰でもあった。

線を少しずつ描き足していくドローイング・アニメーションに対し、石田自身の大きな身振りとともに生々しい線描が繰り返されるこの「身体」系の連作には、石田の即興的志向がひととき露わに映し出される。水を入れた噴霧器で路面や砂浜に描き出された生気に満ちた線の軌跡は、描かれるやいなや自然の摂理によって消滅し、「刹那の絵画」のドキュメントとして作品だけが残される。

「描く身体」の主題はさらに、これまでの仕事とは異なる映像技術を駆使した《影の部屋》(2012)や《音楽と空間のドローイング》(2012)へと展開していく。石田の手が紡ぎ出すリズムミカルな線の運動はふたたびここで、「絵の音楽」へと回帰していく。



### (4) 第4章 部屋と窓 Rooms and Windows

描線が壁や床を侵食し、空間が変容を重ねていく。「絵巻」のドローイング・アニメーションを平面から三次元空間へと展開した、「部屋」の連作である。各々の映像は10分に満たないが、そこには数か月におよぶ制作の過程が、膨大な画像の編集によって圧縮されている。「矩形」と「有機的曲線」の描画・コマ撮りを主調としつつ、様々な映像手法や物体(オブジェ)を介入させて、作品は実像と虚像、虚像と虚像とが入り子になった重層的コンポジションへと拡張していく。

「部屋」の環境や構成要素は作品ごとに異なるが、そのほとんどには「窓」が存在する。それは石田のメインモチーフである「矩形」が実体化したもののだが、近年の制作では、窓から射し込む「光」がとりわけ重要な位置を占めている。自然光、あるいは人工照明が光と闇の





ゆらぎを創出し、その軌跡が線描と絡みあって、空間に光の渦を描き出す。

部屋の隅に浮いたキャンバス上に、光と対話するようにドローイングが展開する最新作《光の落ちる場所》(2015)で石田は、これまでの作品の諸要素を反復しながら、その上に新たなヴィジョンを紡ぎ出そうとしている。ここが、石田の現在地点である。

### 【作家略歴】

石田尚志 (いしだ たかし) 画家/映像作家

1972年東京都生まれ。1990年より本格的な絵画制作、同年9月より沖縄県那覇市に住む(1992年11月まで)。92年頃より映像制作を始めて以降、数多くの国内外の展覧会や国際映画祭で発表を重ねる。横浜美術館滞在制作作品《海の壁-生成する庭》(2007)は代表作のひとつ。パフォーマンスや他分野の表現者とのコラボレーションなど、ジャンルを横断した活動も展開している。

### 【関連催事】※参加者数など詳細は、Ⅲ教育普及活動を参照

#### (1) ギャラリートーク

日 時：2015年9月18日(金) 10:00-11:00

講 師：石田尚志(画家/映像作家)

#### (2) 美術館講座

日 時：2015年9月26日(金) 14:00-15:30

講 師：土屋誠一(沖縄県立芸術大学 准教授)

#### (3) キュレータートーク

日 時：2015年10月3日(土) 14:00-15:30

講 師：玉那覇英人(沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員)

#### (4) トークセッション

演 題：「石田尚志の創作-越境するイメージ、身体、音楽、時間、そして場所-」

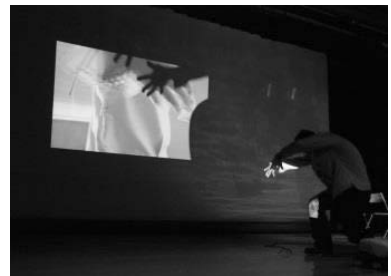
日 時：2015年10月3日(土) 18:30-20:30

講 師：石田尚志(画家/映像作家)、松永 真太郎(横浜美術館学芸員)

#### (5) ワークショップ

日 時：2015年10月4日(日) 10:00-13:00

講 師：石田尚志(画家/映像作家)

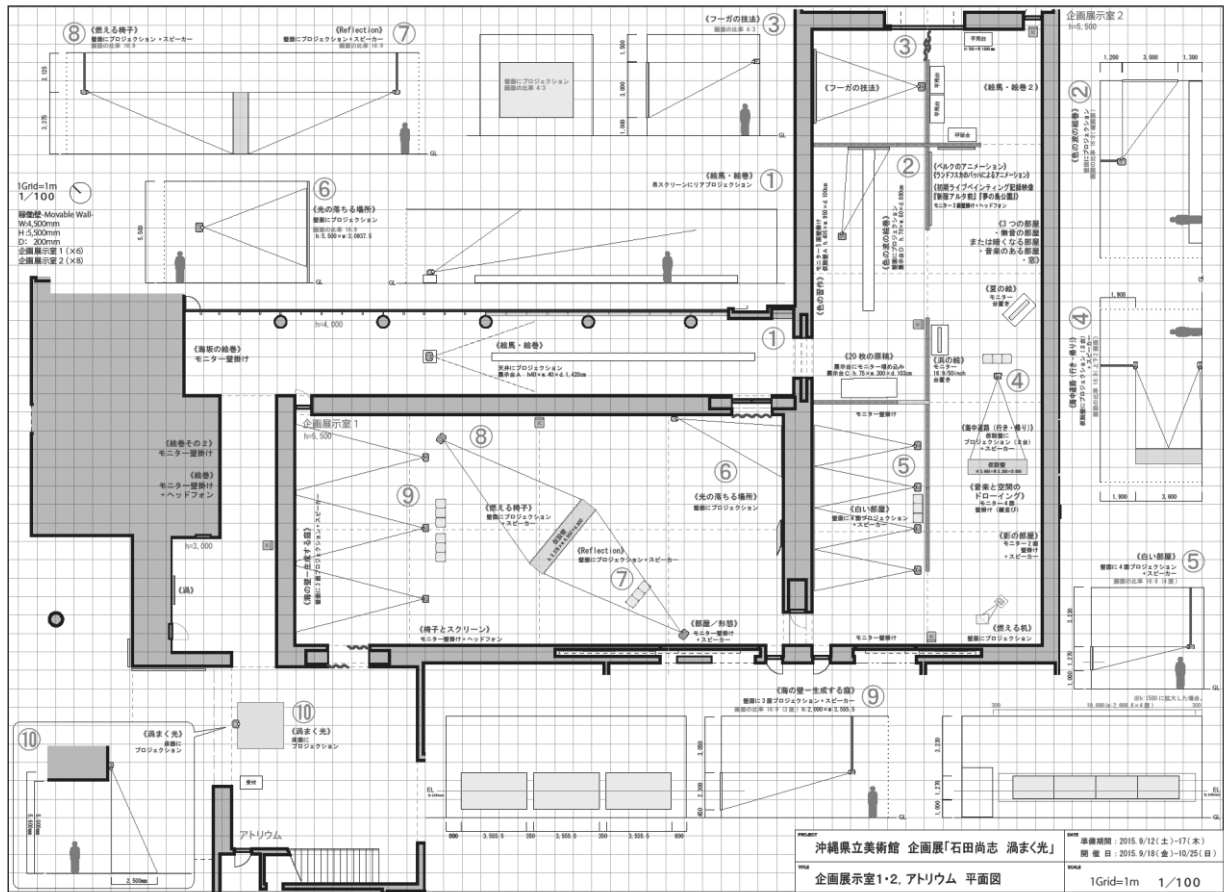


### 【会場風景】





【展示平面図】



(玉那覇 英人)

4. 企画展2 沖縄の美術シリーズ5  
 「大嶺政寛展 情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて」

会 期：2015年11月25日（水）～12月27日（日）  
 会 場：美術館企画ギャラリー1・2  
 観 覧 料：一般800（640）円、高校・大学生500（400）円、小・中学生300（240）円  
 ※（ ）内は前売り、団体料金  
 観覧者数：4,169名

【開催趣旨】

赤瓦屋根を描く画家として知られる大嶺政寛は戦前戦後を通して、沖縄の原風景を追究した画家である。赤瓦がたたずむ風景は時代を超えて沖縄の生活空間が息づく場所であり、写実と創作の狭間の中で大嶺自身が作りあげた心象世界であった。時代の変遷によって風景がめまぐるしく変わり続ける現在、大嶺の風景画は沖縄の原風景として輝きをはなつ。

生誕105年目を迎える2015年、「大嶺政寛展—情熱の赤瓦、沖縄の原風景を求めて—」と題して大嶺政寛の人物像と絵画の変遷等、その精華を検証した。

大嶺は第二中学校（現那覇高校）に入学後、美術クラブ「樹緑会」で比嘉景常の薫陶を受け美術に打ち込んだ。卒業後は沖縄県師範学校を出て教師となり、絵を描きながら指導者として奮闘した。太平洋戦争の真っ直中、大嶺が沖縄県立第一高女兼沖縄師範女子部で教師を務めていた頃、従軍看護学徒隊ひめゆり部隊の引率を予定していたが、校長命令で分校担当として待機させられた。代わりに同僚が戦死。戦争によって教え子や、同僚を亡くし悲しんだ大嶺は、戦後は画家として生きた。そして、戦火によって焼き尽くされた状況から、沖縄文化の復興に奔走し、美術界を牽引した重鎮の一人として情熱を傾けて生きた画家であった。そのような大嶺の生涯と絵の変遷を捉え直すことによって、沖縄の美術工芸や歴史、文化について考える機会となった。

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館  
 協 力：那覇市、佐喜眞美術館、琉球銀行、沖縄タイムス社、画廊沖縄

後 援：一財社団法人沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、沖縄県造形教育連盟、沖縄民芸協会、(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄球新報社、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送株、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、タイフーンfm、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、那覇新都心通り会

### 【展示構成】

展示は、第1章～第4章に分けて構成し、関連する資料を始め、大嶺政寛の生涯や絵画の変遷を公開することによって大嶺の人物像と芸術を紹介。

#### (1) 第1章 ー戦前の画業と人物像ー

1910年(明治43年)、那覇市松下町(現久茂地)の6男4女の4男として誕生した。那覇尋常小学校を卒業後、県立第二中学校へ進学、美術教師であった比嘉景常の影響で美術にめざめる。師範学校を卒業してから、戦前の大嶺は教師をしながら画業をつづけ、文展や春陽展に出展した。教え子である「ひめゆり学徒隊」を戦争で亡くし、戦後は画家として生きる決意をする。第1章は生い立ちから教師までの流れと、戦前に描いた大嶺の作品を紹介した。



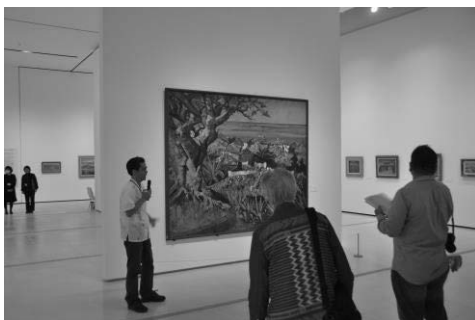
#### (2) 第2章 ー戦後復興と混乱期の風景画ー 1945年～1961年

沖縄戦の米軍上陸から壕を転々とした大嶺は、5月20日に捕虜となり越来の収容所で終戦を迎えた。戦後の沖縄は文化や風景までもが焼き尽くされ、風景画を描きつづけてきた大嶺にとっては、希望や心の支えまでも焼き尽くされたような思いであった。そのような絶望の中、かつての豊かな文化を誇った沖縄の復興を目指し奔走した。壺屋の復興や沖展の開催、鎌倉芳太郎がいる東京へ出向き紅型の写しを入手、沖縄の紅型復興にも尽力した一人である。1951年に国民指導員として研修でアメリカへ渡り美術館をまわり刺激を受けた。第2章では戦後の大嶺の奮闘の様子とその頃描いた風景画を紹介した。



#### (3) 第3章 ー八重山風景との出会いー 1962年～1987年

日本本土において抽象絵画が隆盛を極め、その潮流をうけた若手画家がローカルを追求するに加え、抽象的な表現へと展開していた頃、戦前からつくりあげてきた大嶺の作風に大きな変化はなかった。評価が抽象絵画へ傾倒する中、大嶺にとっては生きづらい時代であった。しかし、1962年八重山への旅が大嶺の創作活動に大きな影響を与えた。それは大嶺が求めた沖縄の原風景以上に衝撃を与えたに留まらず、美しく朱色に耀く八重山の赤瓦は、大嶺のこれまでの迷いを振り払うほどの感動でもあった。それから赤瓦が立ち並ぶ大嶺絵画を確固たるものとして沖縄風景画家の代名詞となった。第3章では、八重山風景をはじめ、晩年の変遷と作品を公開した。



#### (4) 第4章 ー赤瓦を描いた画家たちー

大嶺の風景画は、実在する風景を基にしながらも、描いていく中で大嶺自身により構成され創作が加わった。晩年にそのような作品が多い。同じ場所から同じアングルで描いたにもかかわらず、全く同じ絵が存在しない。大嶺にとって見たままをそっくり写実的に描くことは重要ではなかった。大切なのはその絵の中に大嶺が表現したい生活と空間、造形美が存在するかどうかであった。制作しながら形を創り変え、大嶺が目指した絵画空間「作品」に仕上げたのであった。4章では、沖縄県内や県外の多くの画家が戦前戦後の沖縄の風景画を描いた。その画家たちがとらえた沖縄とはどのようなものであったのか。他の美術家がとらえた沖縄風景を紹介した。

#### (5) 主な展示資料

- ① 絵画作品……………140点
- ② 資料類…………… 10点程度

### 【関連催事】

#### (1) 講演会

演 題：『回想 大嶺画伯と私』

場 所：県立博物館・美術館 講堂  
 日 時：2015年11月28日（土） 14:00～15:00  
 講 師：宮城篤正（元沖縄県立芸術大学学長）

(2) シンポジウム 「風景画と沖縄」

場 所：県立博物館・美術館 講堂  
 日 時：2015年11月28日（土） 15:00～17:00  
 講 師：宮城篤正、稲嶺成祚（画家・琉球大学名誉教授）、上原誠勇（画廊沖縄）  
 コーディネーター：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

(3) ギャラリートーク

演 題：『大嶺政寛の絵画』  
 場 所：県立博物館・美術館 博物館講座室、企画ギャラリー  
 日 時：2015年12月12日（土） 14:00～15:30  
 講 師：稲嶺成祚（画家・琉球大学名誉教授）

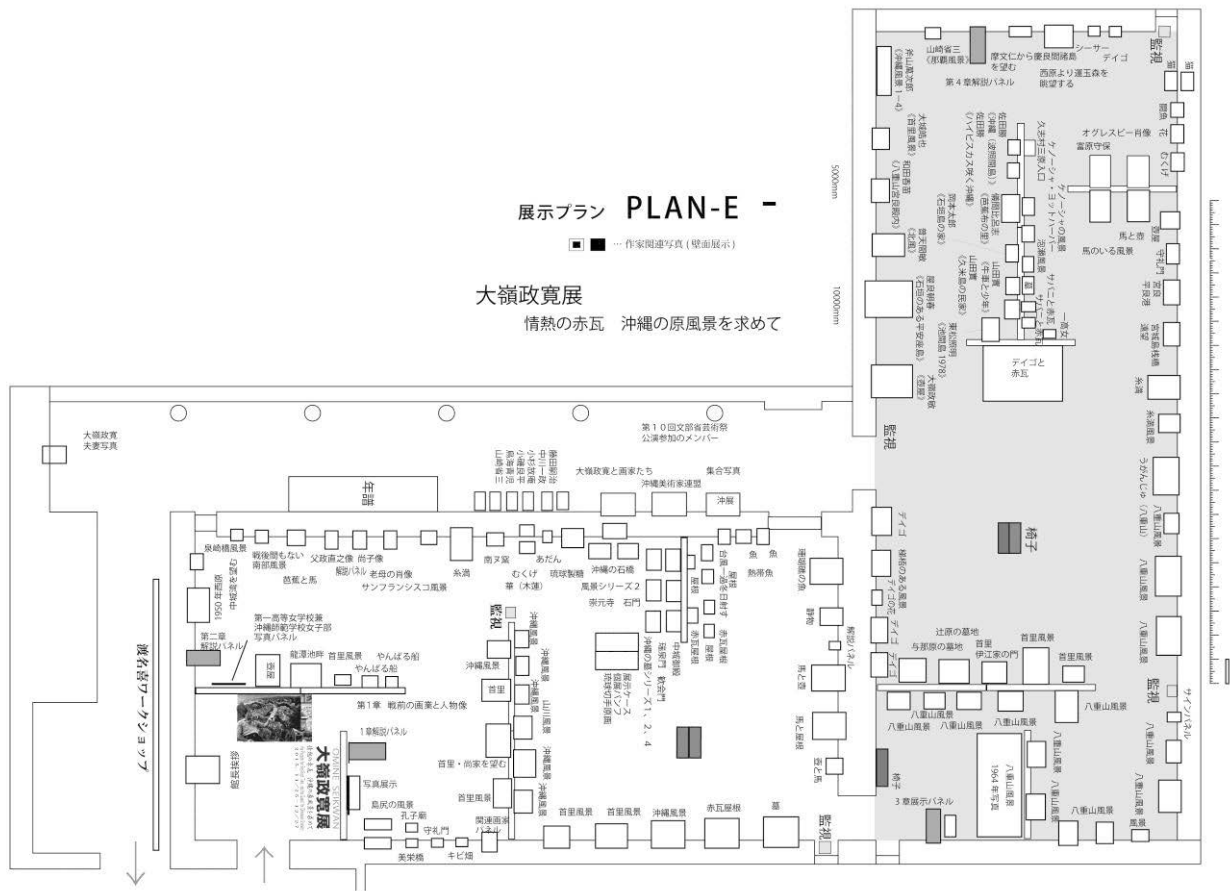
(4) キュレータートーク

場 所：沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室、企画ギャラリー  
 日 時：2015年12月5日（土） 14:00～15:30

(5) ワークショップ 「沖縄の原風景を描こう」

日 時：2015年10月17・18日（土・日）  
 場 所：渡名喜島  
 講 師：屋良朝春（画家）  
 対 象：小学生から大人まで（小中校生は保護者同伴）  
 参 加 者：15名

【展示平面図】



(仲里 安広)

## 5. 企画展3 「木梨憲武展×20years INSPIRATION ー瞬間の好奇心ー」

会 期：2016年2月9日（火）～3月20日（日）

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般1,200（960）円、高校・大学800（640）円、小・中学生600（480）円

※（ ）内は前売り、団体料金

観覧者数：60,659名

### 【開催趣旨】

とんねるずの木梨憲武が1994年頃から約20年間に渡って制作した絵画やオブジェ、映像などおよそ300点の作品を独創的に制作した作品を展示。木梨のアートに対する好奇心の深さをうかがい知ることができ、その自由な感性と鮮やかな色彩は見る者に元気を与えてくれる。全国で多くの来館者を招いた木梨憲武展。沖縄で開催することで、従来からの美術ファンのみならず、新規来館者の開拓と若年層の美術への関心を高めることを目的に開催する。

### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、沖縄テレビ放送

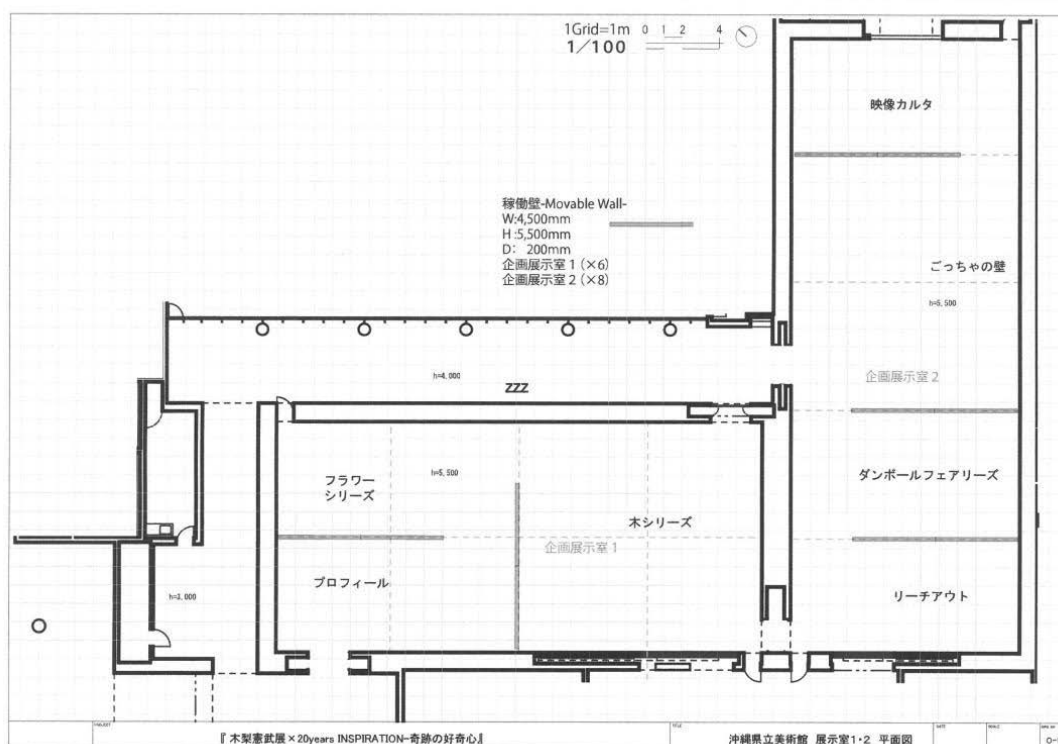
特別協力：コッカ

協 力：沖縄県教職員共済会

企画制作：産経新聞社、imura art planning

後 援：沖縄県教育委員会、沖縄県青少年育成県民会議、一財社団法人沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、琉球新報社、沖縄タイムス社、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、FM沖縄、タイフーンfm、FMたまん、FMコザ

### 【展示平面図・会場風景】



(仲村 保)



## 6. 企画展4 「パブロ・ピカソ ゲルニカ (タピスリ) 沖縄特別展 一戦後70年、今ゲルニカで考えるー」

### Pablo Picasso Guernica (tapestry) Okinawa special exhibition

会 期：2016年3月19日（土）～4月17日（日）

会 場：美術館コレクションギャラリー2

観 覧 料：一般 900円 (720円)、高校生・大学生600円 (480円)、小学生・中学生400円 (320円)

※（ ）内は20名以上団体料金

観覧者数：16,146人

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、琉球朝日放送(株)、(協) 沖縄産業計画<パブロ・ピカソ ゲルニカ (タピスリ) 沖縄特別展 実行委員会>

特別協力：群馬県立近代美術館

後 援：沖縄県教育委員会、那覇市、那覇市教育委員会、沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、NPO法人沖縄県立美術館支援会happ、沖縄タイムス社、琉球新報社、琉球放送、NHK沖縄放送局、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、タイフーンfm、FMコザ、FMたまん (順不同)

特別協賛：金秀グループ、沖縄海邦銀行、かりゆしホテルズ (順不同)

協 賛：(株) メガネ一番、株式会社OCS、(株) 琉信ハウジング、(株) 沖縄ファミリーマート、那覇空港ビルディング (株)、(株) 旭堂 (順不同)

#### 【開催趣旨】

20世紀を象徴する作品とされる、パブロ・ピカソの作品ゲルニカ。その世界に3つしかない貴重なタピスリのうち、群馬県立近代美術館所蔵の1点を当館で展示し、ゲルニカ (タピスリ) という大作の迫力を、肌で感じると共に、作品の背景から歴史を学び、平和を考え、ピカソが作品に込めた思い、またその芸術性にふれる機会を提供する展覧会とすることを目的とする。

#### 【展示構成】

##### (1) フランコの夢と嘘 I、II<シュガーアクアチント・紙>

ピカソ制作の<フランコの夢と嘘>は、1936年に起こった、スペイン人民戦線政府に対してフランコ将軍率いる軍部が行った反乱のために困窮した人民戦線政府を支援するために制作された版画。それぞれ葉書大に区切られた9つの区画に、まるで漫画のように、虐殺された人民や、弾圧するフランコの姿が、滑稽な化け物や、ゆがみ苦しむ異形の姿で描かれている。このように人物を歪形 (デフォルメ) させる描き方は、愛する女性たちにも及ぶ。

##### (2) ゲルニカ デッサン<ファクシミリ版>

ゲルニカのデッサン (ファクシミリ版) 42点を展示。

##### (3) ゲルニカ (タピスリ)

世界に3つある中の3番目のヴァージョンで1983年制作。ピカソは1番目のヴァージョン (1955年制作) を制作後、その下絵に修正を加えた。2番目のヴァージョン (1976年制作) 及び、3番目のヴァージョンは、使用される毛糸の染色に対する指示と、タピスリに縁をつける指示がなされている。2番目のヴァージョンにはブラウンレッドの縁取りがあり、今回展示した群馬県立近代美術館所蔵である3番目のヴァージョンにはブラウングレーの縁取りがなされている。



#### 【作家略歴】 パブロ・ピカソ (1881 - 1973)

スペイン南部のアンダルシア地方の町マラガに美術教師を父として生まれ、11歳頃には美術学校でデッサンを学び始めます。19歳の時パリに出て、多くの芸術家と交流しながら作品を制作します。貧しい人々を青い色合いで描いた「青の時代」、サーカス芸人を楽しげでどこか悲しげな表情で描いた「バラ色の時代」、複数の視点から捉えた形体を再構築して一つの絵に描く「キュビズム」など様々な方法で絵を描き、20世紀の美術に大きな影響を与えた。





【関連催事】※参加者数など詳細は、Ⅲ教育普及活動を参照

(1) ギャラリートーク

開催日時：2016年3月19日（土）10:00～11:00

講師：松下由里（群馬県立近代美術館）

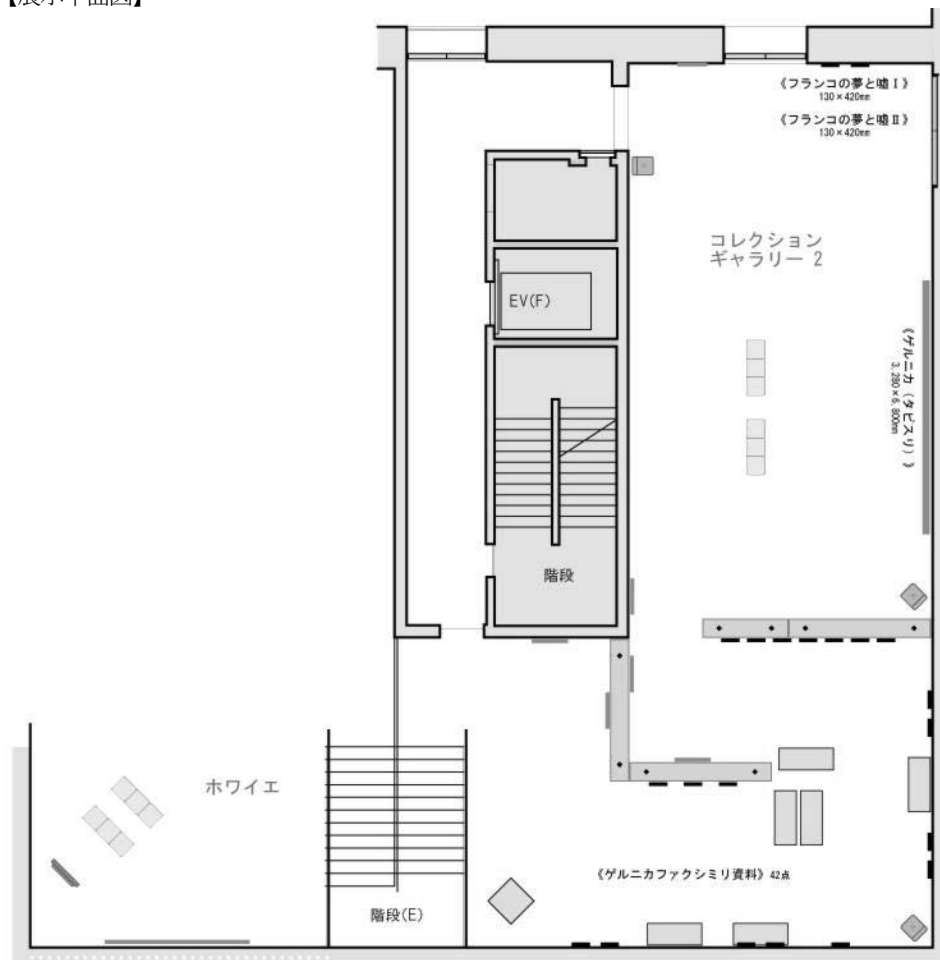
(2) 記念講演会

演題：「ゲルニカと沖縄」

開催日時：2016年4月9日（土）14:00～15:00

講師：前田比呂也（沖縄県立博物館・美術館 美術館副館長）

【展示平面図】



【会場風景】



(玉那覇 英人)

### Ⅲ. 教育普及活動

#### 1. 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」「発表活動の支援プログラム」という3つの柱に沿って展開している。

鑑賞活動のプログラムでは、ガイドボランティアによる「対話による鑑賞」を展開し、今年度は学校団体への対応に加え、自治会や学校のPTAと連携した新たな鑑賞プログラムを実施した。

実技体験では、夏休み子どもフェスタにおいて多彩なプログラムで多くの児童生徒が参加し、大嶺政寛展関連催事として行った渡名喜島での風景画を描くワークショップは、本島からの参加者に加え島民の参加もあり賑わった。また、展示作品をより理解を深める機会として、学芸員によるキュレータートーク、作品制作者やその関係者によるアーティストトークなどを美術館講座室と展示室で実施した。

2015年度の大きな取り組みとして、戦後70年特別企画展「ニシムイー太陽のキャンバス」関連催事として行ったニシムイ美術村の画家達に焦点を当てた演劇は、地域の方々の協力を得ながら地域連携劇として開催し好評を呼んだ。

## 2. 鑑賞活動支援

開館記念展より継続で、作品の鑑賞をより深めるために各展示担当によるキュレータートークや、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティストトーク、ギャラリートークを行った。また来館者に対して鑑賞ボランティアによる「鑑賞ツアー」を、展示室内で作品を観ながら行った。

### 【キュレータートーク】

ボランティアの方々や一般の方に対し、各展示会担当学芸員がその展示作品や作家、また、展示内容について解説を行うことで、展示に対し関心や理解を深めるために行う。

回	月日	曜	展示会名	担当	参加者
1	2015年4月18日	土	「報道カメラマン大城弘明・山城博明写真展」	仲里 なぎさ	31人
2	2015年6月27日	土	ニシムイ展関連①「ニシムイの画家たちー玉那覇正吉、安次嶺金正、末吉安久、屋部憲の活動」	仲里 安 広	25人
3	2015年8月22日	土	ニシムイ展関連②「ニシムイ前夜アーティストビレッジと沖縄の画家」	豊見山 愛	28人
4	2015年10月3日	土	「石田尚志 渦まく光」展	玉那覇 英 人	18人
5	2015年10月24日	土	ニシムイ展関連③「ニシムイの画家たちー金城安太郎」 ニシムイ展関連④「ニシムイの画家たちー具志堅以徳」	玉那覇 英 人 仲 村 保	13人
6	2015年12月5日	土	「大嶺政寛展」	仲里 安 広	33人
7	2016年2月27日	土	ニシムイ展関連⑤「大城皓也、安谷屋正義モチーフの変遷」	島 筒 格	12人

### 【アーティスト（ギャラリー）トーク】

ボランティアの方々及び一般の方に向け、常設展示室（コレクションギャラリー）や企画展示室の展示作家及び作品の理解を深めるための講座。展覧会の展示作家やその関係者等を招き実施。

回	月日	曜	展示会名	講師	参加者
1	2015年7月18日	土	ニシムイ展関連① 「沖縄美術の黎明・ニシムイ美術村」	安次富 長 昭	36人
2	2015年7月19日	土	ニシムイ展関連② 「私の中のニシムイ」	崎 山 律 子	32人
3	2015年9月18日	土	「石田尚志 渦まく光」展関連	石 田 尚 志	80人
4	2015年7月21日	土	大嶺政寛展関連 「芸術のうそ・ほんと」	稲 嶺 成 祚	66人
5	2016年2月27日	土	ニシムイ展関連③ 「ニシムイは今も生きている」	岸 本 一 夫	22人

### 【学校団体対応】

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。鑑賞ボランティア員が案内役となり、コレクション展の中から3作品程度をグループ別に「対話による鑑賞」を通してお互いに共感し合いながら作品理解を深めていった。

回	月日	曜	学校名・学年	参加者
1	2015年6月16日	火	伊是名村立伊是名小学校（6年）	11人
2	2015年9月30日	火	沖縄県立沖縄ろう学校高等部（2年）	13人
3	2015年10月21日	水	オキナワアミックス中学校（1年）	25人
4	2015年11月19日	木	豊見城市立伊良波小学校（5年）	100人



学校団体鑑賞の様子

回	月日	曜	学校名・学年	参加者
5	2015年11月19日	木	尚学院SIBA	12人
6	2015年12月4日	金	沖縄大学	8人
7	2016年1月22日	金	名護市立名護小学校(6年)	110人
8	2016年1月27日	水	北谷町立北谷小学校(3年)	75人
9	2016年1月29日	金	沖縄県立浦添工業高校(1年)	78人
10	2016年1月30日	土	埼玉県立川越工業高校	39人

### 3. バックヤードツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。2015年度は、コレクションギャラリーの展示(ニシムイ展)と合わせて行った。また、8/22(土)は、夏休み親子向けバックヤードツアーを行った。



バックヤード・ツアーの様子

回	月日	担当	参加者
1	2015年5月16日	仲村・島筒	7人
2	2015年6月27日	仲村・島筒	5人
3	2015年8月22日	仲村・島筒	11組
4	2015年10月24日	仲村・島筒	5人

### 4. 美術講座

今年度は開催中の展覧会に合わせた美術講座とこれからのアジアとの連携を図った展覧会等の取り組みに向けてのアジア美術講座を行った。展覧会に関連した講座は、石田尚志展関連で、石田尚志と交流のある沖縄県立芸術大学の土屋誠一氏に、アジア美術講座では、STPI(シンガポール・タイラー・プリント・インスティテュート)の小川栄太郎氏と岩崎玉江氏に講義してもらった。



美術講座の様子

回	月日	曜	名称	講師	参加者
1	2015年9月26日	土	「石田尚志の作品の源流を読む」	土屋誠一	25人
2	2015年2月28日	土	「STPI/どのようにして作品が生まれるのか」	小川栄太郎・岩崎玉江	30人

### 5. コレクション・企画展関連催事

(1) 石田尚志 渦巻く光 Billowing Light : ISHIDA Takashi  
【会期：2015年9月18日(金)～10月25日(日)】

#### □アーティストトーク

講師：石田尚志(画家/映像作家)  
日時：2015年9月18日(金) 10:00～11:00  
会場：企画ギャラリー  
参加者：80人

#### □美術講座

講師：土屋誠一(沖縄県立芸術大学准教授)  
日時：2015年9月26日(土) 14:00～15:30  
会場：美術館講座室  
参加者：32人



石田展トークセッションの様子

#### □キュレータートーク

講師：玉那覇英人(沖縄県立博物館・美術館 主任)  
日時：2015年10月3日(土) 14:00～15:30  
会場：美術館講座室

参加者：18人

□ トークセッション

講師：石田尚志（画家/映像作家）、松永真太郎氏（横浜美術館 主任学芸員）

司会進行：玉那覇英人（沖縄県立博物館・美術館 主任）

日時：2015年10月3日（土）18:00～20:30

会場：美術館講座室

参加者：58人

□ ワークショップ

講師：石田尚志（画家/映像作家）

日時：2015年10月4日（日）10:00～13:00

会場：県民アトリエ、子どもアトリエ

参加者：10人

(2) 「大嶺政寛展 情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて」

会期：2015年11月25日（水）～12月27日（日）

□大嶺政寛展関連 講演会・シンポジウム

・第1部《講演会》『回想 大嶺画伯と私』

日時：2015年11月28日（土）14:00～15:00

講師：宮城篤正（元沖縄県立芸術大学学長）

会場：沖縄県博物館・美術館講堂

・第2部《シンポジウム》『風景画と沖縄』

日時：2015年11月28日（土）15:10～17:00

講師：宮城篤正、稲嶺成祚（画家/琉球大学名誉教授）、上原誠勇（画廊沖縄主宰）

コーディネーター：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

会場：沖縄県博物館・美術館講堂

参加者：124人

□キュレータートーク

日時：2015年12月5日（土）14:00～15:30

講師：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

会場：美術館講座室・美術館企画ギャラリー

参加者：33人

□ギャラリートーク

日時：2015年12月12日（土）14:00～15:30

講師：稲嶺成祚（画家・琉球大学名誉教授）

会場：博物館講座室・美術館、美術館企画ギャラリー1・2

参加者：66人

□ワークショップ《赤瓦風景を描こう》

日時：2015年10月17日（土）、18日（日）

講師：屋良朝春（画家）

会場：渡嘉敷村多目的活動施設

参加者：15人

(3) 戦後70年特別企画展 「ニシムイ 太陽のキャンバス」

会期：2015年6月13日（土）～2016年3月13日（日）

□ニシムイ展関連 シンポジウム I 『ニシムイ建設とその背景VOL.1 語り継ぐもの』

日時：2015年6月14日（日）13:50～16:30

・第1部：「二つのアーティスト・ビレッジ」

講師：弘中智子（板橋区美術館学芸員）、豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

・第2部：パネルディスカッション

講師：川島淳（那覇市歴史博物館古文書解読員）、仲嶺絵里奈（写真史研究所調査研究員）

コーディネーター：豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）



大嶺展シンポジウムの様子

会 場：沖縄県博物館・美術館講堂

参加者：87人

□ピアノ演奏会「ニシムイと音楽のタベ」

日 時：2015年8月8日（土）17:30～19:00

講 師：山元ほるん（イタリア国立音楽院作曲専攻在学中）

会 場：沖縄県博物館・美術館講堂

参加者：136人

□ギャラリートーク①

日 時：2015年7月18日（土）14:00～15:30

講 師：安次富長昭（琉球大学名誉教授）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：36人



ギャラリートークの様子

□ギャラリートーク②

日 時：2015年7月19日（日）14:00～15:30

講 師：崎山律子（フリーアナウンサー）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：36人

□ギャラリートーク③

日 時：2016年2月27日（土）14:00～15:30

講 師：岸本一夫（デザイナー）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：7人

□シンポジウムⅡ『ニシムイ画家の絵画と芸術活動』

日 時：2015年11月3日（火）14:00～16:30

講 師：稲嶺成祚（画家・琉球大学名誉教授）、岸本一夫（デザイナー）、治谷文夫（画家）

コーディネーター：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

会 場：博物館・美術館講堂

参加者：68人



キュレータートークの様子

□キュレータートーク①『玉那覇正吉、安次嶺金正、屋部憲、末吉安久』

日 時：2015年6月27日（土）14:00～15:30

講 師：仲里安広（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：25人

□キュレータートーク②『池袋モンパルナスとニシムイ建設、名渡山愛順、山元恵一』

日 時：2015年8月22日（土）14:00～15:30

講 師：豊見山愛（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：28人

□キュレータートーク③『具志堅以徳、金城安太郎』

日 時：2015年10月24日（土）14:00～15:30

講 師：仲村保（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）、玉那覇英人（沖縄県立博物館・美術館 主任）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：13人

□キュレータートーク④『大城皓也、安谷屋正義』

日 時：2016年2月27日（土）14:00～15:30

講 師：島筒格（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）

会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー

参加者：12人



□博・美地域連携劇「にしまい 太陽のキャンバス」

日 時：2015年11月8日（日）1回目公演14：00 ～、2回目公演18：00 ～  
会 場：博物館・美術館 講堂  
参 加 者：1回目公演 165人、2回目公演 181人

□にしまい劇上映会&トーク会『博・美地域連携劇 にしまい 太陽のキャンバスを振り返る』

日 時：2015年3月13日（土）13：00 ～16：00  
講 師：安和朝彦（新都心通り会理事）当山彰一（演出家）他  
会 場：美術館講座室、コレクションギャラリー  
参 加 者：34人

## 6. ワークショップ

(1) 子どもワークショップ①「キャプションをつくろう」

日 時：2015年6月20日（土）10：00 ～12：00  
内 容：ニシムイ展を鑑賞し感じたこと・思ったことをキャプションにする  
講 師：仲村保（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）  
場 所：コレクションギャラリー、ホワイエ  
参 加 者：4人

(2) 大人ワークショップ①「絵が動く」

日 時：2015年10月4日（日）10：00 ～12：30  
内 容：「キネカリグラフィ」という手法を使い、「動く絵」を創作する  
講 師：石田尚志（画家/映像作家）  
場 所：県民アトリエ、こどもアトリエ  
参 加 者：10人

(3) 大人ワークショップ②「赤瓦風景を描こう」

日 時：2015年10月17日（土）、18日（日）  
内 容：赤瓦風景を描く絵画の実技指導  
講 師：屋良朝春（画家）  
場 所：渡名喜村立多目的活動施設  
参 加 者：15人

(4) 子どもワークショップ②「ひっかけスクラッチ」

日 時：2016年2月28日（日）10：00 ～12：00  
内 容：スクラッチ技法による絵画技法の基礎に触れる  
講 師：山川さやか（画家）  
場 所：博物館実習室  
参 加 者：12人

(5) 美術館夏休み子供ワークショップ①「中庭が水族館」

日 時：2015年8月1日（土） 第1回 9：30 ～10：10、第2回 10：20 ～11：00  
内 容：ガラスに魚などを彩色して水族館にする 美術館周辺の公園で写生をする  
講 師：仲村保（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）、島筒格（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）  
対 象：小学生以下（親子同伴）  
会 場：美術館中庭  
参 加 者：90人

(6) 美術館夏休み子供ワークショップ②「似顔絵教室」

日 時：2015年8月1日（土） 第1回13：00 ～14：30、第2回15：00 ～16：30  
内 容：家族や友人の似顔絵を互いに描き作品にする  
講 師：仲本賢（沖縄県立芸術大学 教授）、県立芸術大学の学生  
対 象：小学生

会 場：県民ギャラリースタジオ  
参加者：31人

(7) 美術館夏休み子供ワークショップ③「紙芝居『ニシムイ物語』をつくろう！」

日 時：2015年8月1日（土） 14:00～15:30  
内 容：ニシムイ展に関連し、ニシムイ画家が歩んだ物語の挿絵を描く  
講 師：仲村保（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）、島筒格（沖縄県立博物館・美術館 主任学芸員）  
対 象：小学生  
会 場：博物館実習室  
参加者：10人

(8) 美術館夏休み子供ワークショップ④「写生大会」（協力：一般社団法人沖縄県美術家連盟）

日 時：2015年8月2日（日） 9:00～13:00  
内 容：屋外展示場や周辺の公園の風景を講師の指導のもと水彩画を描く  
講 師：屋良朝彦（画家）、大城譲（画家）、鶴見伸（画家）、山川さやか（画家）  
対 象：小学生  
会 場：博物館・美術館周辺  
参加者：20人

(9) 美術館夏休み子供ワークショップ⑤「キャラクター描き方教室」

日 時：2015年8月2日（日） 14:00～16:00  
内 容：ゆるキャラ等を見本にキャラクターの描き方を学ぶ  
講 師：沖縄県立芸術大学大学生のみなさん  
対 象：幼稚園児～高校生  
会 場：博物館実習室  
参加者：27人

(10) 美術館夏休み子供ワークショップ⑥「キッズカメラマン」

日 時：2015年8月2日（日） 14:00～16:00  
内 容：子どもがカメラマンとなり、指導を受けながら家族写真を撮影する  
講 師：沖縄県立芸術大学大学生のみなさん  
対 象：小学生  
会 場：エントランスホール  
参加者：17組

## 7. 美術館招待事業（美術館へ行こう）

(1) 児童生徒をバスで送迎し、コレクション展示作品を使って鑑賞学習指導を行う

対 象：県内小中学校 学年単位で5～7校程度  
方 法：公募により学校を決定  
場 所：コレクション展示室  
内 容：鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援  
参加者：617人

回	月 日	曜	学校名	見学者
1	2015年10月14日	水	島尻特別支援学校中等部	32人
2	2015年10月20日	火	豊見城市立豊崎小学校（4年）	130人
3	2015年11月4日	水	南城市立船越小学校（4年）	47人
4	2015年11月26日	木	豊見城市立伊良波小学校（6年）	97人
5	2015年12月2日	水	島尻地区中学校特別支援学級（14校）	75人
6	2015年12月11日	金	南風原町立津嘉山小学校（6年）	125人
7	2015年12月16日	水	南風原町立津嘉山小学校（5年）	111人

## 8. 図工・美術担当教職員等講座

日 時：2015年8月5日（水）9:30～16:30

内 容：FabLab（ファボラボ/デジタル工作機材）を用いた図工・美術への活用について

講 師：松本 安立（沖縄新ITビジネス創出促協議会 会長）

会 場：美術館講座室

参加者：22人

## 9. 鑑賞用ワークシート作成

実 施：年1回 5月中構成 6月配布

内 容：戦後70年特別企画展「ニシムイ 太陽のキャンバス」の作家10人の作品の補助質問及び解説。

児童生徒に向けたワークシートを作成し作品鑑賞の補助資料とする。

部 数：6,000部印刷（A4両面カラー印刷）

## 10. 「移動展in伊是名」

会 期：2015年10月9日（金）～11日（日）（3日間）

開 催 地：伊是名村

内 容：立体作品・映像作品の展示、キュレータートーク、出前授業

入 場 者：508人

## 11. 研修対応

### (1) 学芸員実習

期 間：2015年8月25日（火）～9月7日（月）10日間（土、日を除く）

内 容：保存保管環境、展示方法、絵画、彫刻、写真等作品の取り扱いに関する美術館学芸員業務全般

参 加 者：3名（沖縄県立芸術大学、武蔵野美術大学）

### (2) 校内研修

期 間：2015年7月29日（水）

参 加 者：南風原町立津嘉山小学校

内 容：ニシムイ展での対話による鑑賞体験

### (3) 那覇教育事務所教職10年経験者研修

期 間：2015年7月29日（水）

参 加 者：那覇地区小・中学校教員

内 容：美術館の学校団体受け入れ解説とニシムイ展鑑賞

### (4) 島尻地区教頭研修会

期 間：2015年9月4日（金）

参 加 者：島尻地区小・中学校教頭

内 容：美術館の学校団体受け入れ解説とニシムイ展鑑賞

### (5) 島尻地区校長研修会

期 間：2015年12月11日（金）

参 加 者：島尻地区小・中学校校長

内 容：美術館の学校団体受け入れ解説とニシムイ展鑑賞

### (6) 久米島地区校長研修会

期 間：2016年1月20日（水）

参 加 者：久米島地区小・中学校校長

内 容：美術館の学校団体受け入れ解説とニシムイ展鑑賞



島尻地区校長研修会

## 12. その他の取組

### (1) 若年者向けプロジェクト

#### 【高校生企画第3弾】 What's up

日 時：2016年3月13日（日） 16:30～20:00

内 容：ダンスや個人の主張などのパフォーマンスとテーマを設けた写真投稿などにより、美術館への高校生を中心とした若年層の関心を高めるイベント。

場 所：県立博物館・美術館 講堂

参加人数：121名

### (2) 修復コロシウム

#### ・修復コロシウムⅠ

日 時：2015年5月9日・10日／16日・17日

内 容：作品の修復についての説明や洗浄作業についての公開修復

講 師：梶原正史（沖縄県立博物館・美術館 美術品保存修復専門員）

場 所：美術館ホワイエ

#### ・修復コロシウムⅡ

日 時：2016年2月19日

内 容：大城皓也《島の女》についての修復作業の工程説明と終了報告

講 師：竹之下 磨須子（油絵保存修復 たけのした工房代表）、

梶原 正史（沖縄県立博物館・美術館 美術品保存修復専門員）

場 所：美術館講座室

### (3) 出前授業

回	学 校 名 (担当)	期 日	回	学 校 名 (担当)	期 日
1	渡嘉敷小学校 5・6年（島筒）	2015年7月7日	9	伊良波小学校 6年②（仲村）	2015年10月27日
2	渡嘉敷中学校 1・2年（島筒）	2015年7月7日	10	船越小学校 4年（島筒）	2015年10月30日
3	沖縄県立ろう学校高等部（島筒）	2015年9月17日	11	津嘉山小学校 6年（島筒）	2015年11月20日
4	伊良波小学校6年①（仲村）	2015年9月29日	12	南風原中学校特支学級（島筒）	2015年11月27日
5	島尻特別支援学校中等部（島筒）	2015年10月7日	13	伊良波中学校特支学級（島筒）	2015年12月1日
6	伊是名小学校 5・6年（仲村）	2015年10月7日	14	北谷小学校 3年（島筒）	2016年1月8日
7	伊是名小学校 1～4年（仲村）	2015年10月8日	15	沖縄県立浦添工業高校（仲村）	2016年1月27日
8	伊是名中学校 1・2年（島筒）	2015年10月8日			

### (4) 社会教育団体対応

回	団 体 名	内 容	期 日
1	西原町掛保久自治会（さわふじ友の会）	ニシムイ展出前講座①	2015年5月23日
2	西原町掛保久自治会（さわふじ友の会）	ニシムイ展出前講座②	2015年6月4日
3	西原町掛保久自治会（さわふじ友の会）	ニシムイ展鑑賞対応	2015年7月20日
4	北谷町下勢頭郷友会	ニシムイ展鑑賞対応	2015年8月19日
5	銘苺小PTCA①（happとの共催）	ニシムイ展鑑賞+バックヤードツアー	2015年9月23日
6	銘苺小PTCA②（happとの共催）	ニシムイ展鑑賞+バックヤードツアー	2015年10月15日



銘苺小PTCA



修復コロシウム



西原町掛保久自治会



高校生イベント

(5) 魅力アップ事業

①著名人コラボ

講演会：小栗康平監督講演会

日時：2015年12月18日（金）18:30～20:00

内容：ニシムイ展（コレクションギャラリー1）で展示している藤田嗣治を主人公に映画を撮った小栗監督による藤田嗣治をめぐる講話

場所：県立博物館・美術館 講堂

参加人数：192名

②デジタルコンテンツ「沖縄近現代美術史年表」の多言語化及びコンテンツの追加

内容：2014(平成26)年度製作の「楽しく学べる沖縄近現代美術史年表」の多言語化及びコンテンツと、Windows用アプリケーションソフトの追加を行い、内容の充実を図った。

追加作品一覧

カテゴリー	作者	作品名	分類
1950年以前に沖縄に来たアーティスト	古城 宏一	母の像	平面
	當原 昌松	上多賀風景 [伊豆]	平面
	島田 寛平	南島の秋	平面
アメリカとの対峙	高良 憲義	ナンバープレート	平面
新たな展示空間 近代彫刻	渡名喜 元俊	呼吸 (赤)	平面
	槐会	解説	資料
	上原 隆昭	T子の像	立体
幻想美術	宮城 哲雄	春望	立体
	比嘉 武史	兆2	平面
女性アーティスト	屋富祖 盛美	ムーチーのころ	平面
	山元 文子	遙かなるさと	平面
	翠宮城 セツ	ツツジの園	平面
占領下の沖縄	中島 イソ子	凝視	平面
	大見謝 文	踊る港	平面
	水島 源光	ルイ・アームストロング (米軍将校クラブ)	写真
抽象化の模索	比嘉 康雄	情民 (1) - 1 うみんちゅTさん	写真
	宮城 健盛	鶏	平面
		第1回創斗展	写真
		1960年代の創斗展メンバー	写真
		キャラウェイと夫人 第5回創斗展	写真
		第9回創斗展パンフレットの人相描き①	資料
	第8回創斗展パンフレットの人相描き②	資料	
彫刻に親しめる社会	富元 明雄	まぶいの彼方	立体
ニシムイ美術村	具志堅 以徳	ひめゆり通り	平面
	末吉 安久	墓《赤》	平面
	屋部 憲	クリスマスカード	平面
		沖縄諮詢会	写真
		沖縄美術科教会	写真



カテゴリー	作者	作品名	分類
		第1回五人展パンフレット	資料
		五人展 会場の様子	資料
		五人展 陶芸の展示用作品制作の様子	資料
		五人展 看板・案内状	資料
ぴよぴよ会	渡慶次 真由	太陽の子たち	平面
	治谷 文夫	作品68	平面
	与儀 達治	垂	平面
		ニシムイのぴよぴよ会アトリエにて	写真
		ニシムイのぴよぴよ会アトリエ外観	写真
		スケッチ旅行の様子	写真
新しい工芸	大城 志津子	萌芽	その他
琉球切手	玉那覇 正吉	年賀切手シリーズ2 猿模様をあしらった紅型	平面
	安谷屋 正義	オリンピック東京大会沖縄聖火リレー (原画)	平面
琉球切手	玉那覇 正吉	沖縄返還協定批准記念切手 (原画)	平面
	安谷屋 正義	琉球切手・空手シリーズ3 (組手) (原画)	平面
	安谷屋 正義	政府立博物館新館落成記念切手 (原画)	平面
	伊差川 新	組踊シリーズ 執心鐘入 (原画)	平面
	大城 皓也	偉人シリーズ 謝花昇・蔡温。宜湾朝保	平面
	玉那覇 正吉	民俗行事シリーズ チナヒチ・ハーリー (原画)	平面
	安谷屋 正義	年賀切手シリーズ1 うさぎ (原画)	平面
	安谷屋 正義	切手趣味週間シリーズ 三味線・翁長開鐘	平面
	大城 皓也	民俗行事シリーズ イザイホー・ウンジャミ (原画)	平面
新聞挿絵	山元 恵一	新聞挿絵『琉球の三国志』(原画)	平面
	安次嶺 金正	新聞挿絵『はなをんな一代記』(原画)	平面
	安次嶺 金正	新聞挿絵『ニライの歌』(原画)	平面
	安谷屋 正義	新聞挿絵『東京の沖縄』(原画)	平面
	玉那覇 正吉	新聞挿絵『慶長春秋記』(原画)	平面
グループ展		戦後グループ展の系譜	平面
		沖展 第1回・第3回英語表記版パンフレット	資料
		1955年協会小作品展パンフレット	資料
		第1回琉球美術展パンフレット	資料
		グループ耕 第1回展パンフレット	資料
		第12回ぴよぴよ展パンフレット	資料
		第7回槐会(えんじゅかみり)彫刻展パンフレット	資料
		現代美術研究会から、グループNON、グループ現へ	資料
		第1回沖美連展画集	資料
		新生美術 創刊号	資料
		沖縄女流美術家協会展25周年記念画集(部分)	資料
		第1回土陽展パンフレット	資料
		琉球国際美術連盟ハワイ選抜展パンフレット	資料
		沖展風景	写真

## IV. 資料収集・保存管理

### 1. 収蔵作品現在高

2016年3月31日現在

分類	購入	寄贈	移管	その他	小計	寄託	総計
平面	361	1,224	64	2	1,651	111	1,762
立体	29	221	0	8	258	10	268
写真・映像	365 (映像:19)	1,363 (映像:4)	0	0	1,728 (映像:23)	767 (映像:0)	2,495 (映像:23)
その他	13	12	1	3	29	41	70
総計	768	2,820	65	13	3,666	929	4,595

※「写真・映像」の収蔵数に含まれる、映像作品数をカッコ内に記した。

### 2. 2015（平成27）年度新収蔵作品高

2016年3月31日現在

分類	購入	寄贈	移管	小計	寄託	総計
平面	6	69	0	75	0	75
立体	0	1	0	1	0	1
写真・映像	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
総計	6	70	0	76	0	76

### 3. 2015（平成27）年度新収蔵作品目録

#### 【購入】

2015年4月1日～2016年3月31日

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平面 絵画	山元 恵一	まゆ	1967年	キャンバス、ミクストメディア	1
	山元 恵一	私たちは誰にも親切にしましょう	1964年	キャンバス、ミクストメディア	1
	山元 恵一	女	1954年	キャンバス、油彩	1
	山元 恵一	少女像	1945年	メソナイト、油彩	1
	山元 恵一	ゲンボー大佐	1949年	メソナイト、油彩	1
	安次嶺 金正	外人の肖像	1947, 48年頃	板、油彩	1

#### 【寄贈】

2015年4月1日～2016年3月31日

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面 絵画	山元 恵一	魚2匹	1963年	ベニヤ板、石膏、着彩	1	浦崎 彦志
	大城 皓也	島の女	1943年	キャンバス、油彩	1	浦崎 彦志
	金城 安太郎	今帰仁城盛衰記	1974年頃	紙、墨、顔彩	11	平嶋 謙一
	当山 進	島のキビ刈り	1979年	キャンバス、油彩	1	当山 進
	当山 進	机の上の青春	1982年	キャンバス、アクリル	1	当山 進
	当山 進	黒煙の中の老女	2003年	キャンバス、アクリル	1	当山 進
	新城 征孝	テトラポット	不明	キャンバス、油彩	1	新城 征孝
	新城 征孝	鳥のたわむれ	1992年	麻キャンバス、油彩	1	新城 征孝
	新城 征孝	海の記憶（流木）	1979年	キャンバス、油彩	1	新城 征孝
	新城 征孝	冬	1971年	キャンバス、油彩	1	新城 征孝
	新城 征孝	竜舌蘭	1970年代	キャンバス、油彩	1	新城 征孝
	新城 征孝	海の記憶(コンクリート)	1979年	キャンバス、油彩	1	新城 征孝

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者
平面 絵画	宮城 篤正	水字貝の詩	1979年	キャンバス、油彩	1	宮城 篤正
	宮城 篤正	心象—風景B—	1982年	キャンバス、油彩	1	宮城 篤正
	宮城 篤正	海の調べI	1974年	キャンバス、油彩	1	宮城 篤正
	宮良 瑛子	黙示録・沖縄2006	2006年	紙、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	水	1971年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	海病むI	1973年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	光州1980年5月18日	1980年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	シリーズ焦土より—地底—	1981年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	シリーズ焦土より—彷徨—	1982年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	路傍I	1982年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜の民I	1988年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜の民II	1991年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜の民IV	1992年	キャンバス、油彩、 パピエコレ	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	絶唱—日本政府は謝罪せよ—	1995年	キャンバス、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	レクイエム長崎 ヒマワリ	2008年	板、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	沖縄忌	1986年	板、和紙、墨、顔料	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	美ら島・辺野古	2004年	キャンバス、紙、 混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	オモニ・幾星霜	1996年	キャンバス、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜—いのり—	2001年	紙、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜—啓示—	2001年	紙、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜の民—母子—	1990年	板、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	無辜の民—地の地—	1990年	板、土、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	漂泊の島より—辺野古断章—	2009年	板、混彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	哭	1981年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	海鳴—白保—	1994年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	宮良 瑛子	自画像（二男をおんぶして）	1966年	キャンバス、油彩	1	宮良 瑛子
	真喜志 勉	My works is a self-portrait of who I am	2013年	ミクストメディア、 シルバーテント	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	My works is a self-portrait of who I am	2013年	ミクストメディア、 シルバーテント	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	My works is a self-portrait of who I am	2013年	ミクストメディア、 シルバーテント	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	My works is a self-portrait of who I am	2013年	ミクストメディア、 シルバーテント	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	My works is a self-portrait of who I am	2013年	ミクストメディア、 シルバーテント	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	What a WILD OKINAWA	2014年	和紙、コピー用紙、 墨	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	What a WILD OKINAWA	2014年	和紙、コピー用紙、 墨	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	What a WILD OKINAWA	2014年	和紙、コピー用紙、 墨	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	What a WILD OKINAWA	2014年	和紙、コピー用紙、 墨	1	真喜志 民子
	真喜志 勉	What a WILD OKINAWA	2014年	和紙、コピー用紙、 墨	1	真喜志 民子
真喜志 勉	ORIGINAL（飛行機シリーズ）	1977年	キャンバス、油彩	1	真喜志 民子	
真喜志 勉	ORIGINAL（飛行機シリーズ）	1980年頃	キャンバス、油彩	1	真喜志 民子	
真喜志 勉	BOX（飛行機シリーズ）	1981年頃	キャンバス、油彩、 レタリングシール	1	真喜志 民子	

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	寄贈者	
平面 画	真喜志 勉	EMPTY (飛行機シリーズ)	1981年	キャンバス、油彩、レタリングシール	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	飛行機	1980年頃	キャンバス、油彩	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	スクランブル	1970年代	キャンバス、油彩	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	飛行機	1980年頃	キャンバス、油彩、シルクスクリーン	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	SUPER GRAY	1981年頃	キャンバス、油彩、レタリングシール	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	壁シリーズ	1995年頃	ボード、漆喰、セメント、鉄板、墨	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	Untitled 1997 (壁シリーズ)	1997年	ボード、漆喰、セメント、鉄板、墨	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	壁シリーズ	1998年	ボード、漆喰、セメント、鉄板、墨	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	JOHN LEWISの世界	1970年代	ボード、刷毛、アクリル、鏡	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	Upon my soul 01	1998年	ボード、漆喰、ペンガラ、墨、鉄、赤土	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	Upon my soul 02	1998年	ボード、漆喰、ペンガラ、墨、鉄、赤土	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	Upon my soul 03	1998年	ボード、漆喰、ペンガラ、墨、鉄、赤土	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	OKINAWA MUSEUM OF CONTEMPORARY ART AS TOM'S DREAM	不明	板片、縄、ダンボール	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	PAC. 3	2006年	ミクストメディア	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	GOLD STANDARD (辺野古シリーズ)	2007年頃	ミクストメディア、ゴム手袋	1	真喜志 民子	
	真喜志 勉	壁シリーズ	1993年頃	漆喰、墨、ボード	4	真喜志 民子	
	真喜志 勉	金箔シリーズ (イマジ)	2003年	金箔、土、ウレタン、樹脂塗料、油彩、段ボール、ボード	5	真喜志 民子	
	真喜志 勉	アンブレラ	2004年	油彩、キャンバス	5	真喜志 民子	
立体	彫刻	宮良 瑛子	水底のうた — 沖縄県戦時船舶遭難の碑—	1994年	ブロンズ	1	宮良 瑛子

#### 4. 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の芸術文化の拠点となると同時に、芸術文化活動を通じて、沖縄およびアジア地域の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

平成27年度は、展示活動の充実を図るため2回の美術作品等収集委員会を開催し、購入6点、寄贈70点、について諮った。作品の収集にあたっては、事前調査を基に、美術館学芸会議で一次審査、二次審査を行った後、収集対象作品に造詣の深い有識者で構成された収集委員会が審議を行った。その後、所定の手続きを経て収集した。購入は、山元恵一、安次嶺金正の作品であった。寄贈は、金城安太郎、山元恵一、大城皓也、当山進、宮城篤正、新城征孝、宮良瑛子、真喜志勉であった。

(島筒 格・大城 さゆり)

#### 5. 保存管理事業

##### (1) 保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫菌害予防(ペストコントロールを含む)が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強

化を重点的に行っている。さらに収蔵作品においては効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう配慮している。

## (2) 収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼を、下記収蔵作品1点について行った。本年度より、当館の保存修復室に修復家を招聘し、当館の保存修復担当と相互に修復処置について意見交換を行いながら修復作業を実施した。

企画及び常設展へ出品するための状態チェック、修復作業、額装及び金具等整備作業、版画作品のマウント作業、借用作品の状態チェックなどを行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

### 修復委託

件	種別	点数	処置内容	備考
1	油彩画	1	状態調査(普通光、斜光、透過光、紫外線、赤外線)、絵具層の浮き上がりと剥落周縁の固着。画面洗浄。木枠とキャンバスを分離しキャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。支持体の変形修正。麻布と合成樹脂による全面裏打ち。新しい木枠へ画布の張り込み。	大城皓也「島の女」 依頼先:油絵保存修復 たけのした工房

## (3) 収蔵品修復(館内処置)

作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
大城 皓也	戦場へ行く	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁部の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。はく落部分の充填、整形、補彩。ニス吹付による画面保護。	ニシムイ展
大城 皓也	婦人像	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁部の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。キャンバス破れの繕い。はく落部分の充填、整形、補彩。ニス吹付による画面保護。	ニシムイ展
大城 皓也	沖縄の子供たち	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりとはく落周縁部の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。	ニシムイ展
大城 皓也	沖縄風景	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりとはく落周縁部の固着。画面洗浄。木枠とキャンバスを分離しキャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。ストリップライニング。支持体の変形修正。画布の張り込み。	ニシムイ展
大城 皓也	榕樹と石垣	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
具志堅 以徳	陽光	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりと剥落周縁部の固着。はく落部分の充填、整形、補彩。ニス吹付による画面保護。	ニシムイ展
具志堅 以徳	自画像	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
具志堅 以徳	琉大の見える風景	油彩・テント地	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
具志堅 以徳	ひめゆり通り	油彩・ベニヤ板	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
末吉 安久	紅型	布・紅型	作品固定方法の改善、ブックマット、吊金具変更	ニシムイ展
末吉 安久	紅型2	布・紅型	作品固定方法の改善、ブックマット作成、吊金具変更	ニシムイ展
末吉 安久	紅型3	布・紅型	作品固定方法の改善、ブックマット作成、吊金具変更	ニシムイ展
末吉 安久	紅型4	布・紅型	作品固定方法の改善、ブックマット作成、吊金具変更	ニシムイ展
末吉 安久	紅型5	布・紅型	作品固定方法の改善、ブックマット作成、吊金具変更	ニシムイ展



作家名	作品名	技法・素材	処置の内容	備考
与儀 達治	わだつみ笛	油彩・キャンバス	画面洗浄、絵具層浮き上がりと剥落周縁部の固着。額装の改善、吊金具変更	ニシムイ展
山元 恵一	ゲンボー大佐	油彩・メソナイト	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
山元 恵一	少女像	油彩・メソナイト	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
山元 恵一	私たちは誰にも親切にしましょう	ミクストメディア・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
翁長 自修	琉球芸能紹介のためのイラストレーションⅠ	洋紙・パネル	作品展示方法の改善	ニシムイ展
翁長 自修	琉球芸能紹介のためのイラストレーションⅡ	洋紙・パネル	作品展示方法の改善	ニシムイ展
平野 長伴	廃船	油彩・キャンバス	額装の改善、吊金具変更、裏板の設置	ニシムイ展
川平 朝申	志喜屋先生の思い出	油彩・板	画面洗浄。額装の改善	ニシムイ展
大嶺 政寛	梯梧と赤瓦	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりや剥落周縁の固着。はく落部分の充填、整形、補彩。ニス吹付による画面保護。額装の改善	H27企画展
大嶺 政寛	風景シリーズ3	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりや剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み。	H27企画展
大嶺 政寛	赤瓦シリーズ1	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりや剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み	H27企画展
大嶺 政寛	赤瓦シリーズ2	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりや剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み	H27企画展
大嶺 政寛	無題	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりや剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み	H27企画展
大嶺 政寛	赤瓦シリーズ3	油彩・キャンバス	絵具層の浮き上がりや剥落周縁の固着。画面洗浄。キャンバス裏面の汚損の除去。ストリップライニング。新しい木枠への張り込み	H27企画展

#### 注記

##### ・館内処置について

作品における処置は全て当館保存修復嘱託員 梶原正史が行った。

額装の改善とは主に入れ子へのフェルト貼りや、スペーサー装着、額縁裏面・泥足の補強、ぐらつき防止のネジ止め、割れの接着、汚損の除去など。

##### ・修復に使用した材料について

作品に悪影響を及ぼすことがないこと、材質的に安定していて、将来的に除去が可能なことを前提に、様々な作品状態にあったものを使用している。

## 6. 作品貸出

2015年度は、館外貸出はなかった。なお美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、輸送会社へ貸出作品の状態に合わせた梱包仕様の提案を行い、作品貸出及び返却作業には、美術館職員と借用先職員の両者が立ち合い、作品状態の点検を

行っている。

(玉那覇 英人・梶原 正史)

# 文化の杜共同企業体 (指定管理者)

- I 文化の杜共同企業体概要
- II 運営方針
- III 組織
- IV 文化の杜共同企業体・美術館  
企画アドバイザー会議
- V 展示活動
- VI 教育・イベント活動
- VII 広報・交流事業
- VIII 調査・研究等の活動
- IX その他

## I. 文化の杜共同企業体概要

沖縄県立博物館・美術館の管理・運営には、開館した2007（平成19）年11月1日から指定管理者の文化の杜共同企業体（代表 上原徹）があたっている。

文化の杜共同企業体は、（株）沖縄文化の杜（代表取締役社長・上原徹）、（株）沖縄タイムス社（代表取締役社長・豊平良孝）、（株）国際ビル産業（代表取締役社長・上地宏和）の3社で構成。出資比率は代表者の（株）沖縄文化の杜が8割、（株）沖縄タイムス社と（株）国際ビル産業がそれぞれ1割となっている。（株）沖縄文化の杜は文化事業等を企画・展開し、シンクタンク的な役割も兼ねる会社として2007年1月に（株）沖縄タイムス社の100%出資で設立。（株）沖縄タイムス社は新聞社として1948年7月の創立。常に県民の立場に立って沖縄の言論界をリードしつつ、戦後沖縄の文化振興の一翼を担っている。（株）国際ビル産業は1966年に設立され、県内の文化施設やホテル、病院等の管理を行い、衛生・設備管理や警備などで実績がある。

この3社が連携して立ち上げた文化の杜共同企業体は、それぞれの得意分野を生かし、沖縄県立博物館・美術館の管理・運営にあたっている。指定管理の期間は、第一期が2007年11月1日から2011年3月31日までの3年5か月。第二期が2011年4月1日から2016年3月31日までの5年間。

（赤嶺 昌樹）

## II. 運営方針

館の管理・運営にあたっては沖縄県立博物館・美術館の設置目的及び基本方針、管理規則等に基づき、博物館・美術館という複合施設としての利点を生かし、県民はもとより国内外からの来館者に満足していただくよう、公正・公平で開かれた館運営に努めている。

日本博物館協会は21世紀にふさわしい博物館の新しい理念として「対話と連携」を提唱し、これを管理・運営の中心に据えることが博物館の機能を向上させ、生涯学習時代の要請に応えていく道であるとしている。文化の杜においてもこのような精神に基づき、「県民主体」をモットーに、いつでも、誰でも気軽に利用できる施設を目指している。さらに県民が愛着の持てる、県民による県民のための博物館・美術館を目指している。

具体的には①沖縄の文化振興の拠点とする②創造力あふれる次世代人材育成の場とする③アジアとの交流・連携、国際交流の拠点とする④「沖縄ワールド」を世界に広げる場とする⑤県民ぐるみの取り組み推進の一管理運営方針を掲げている。

2015年度は沖縄県立博物館・美術館の第二期目の指定管理者として最終年である。過去の実績と蓄積したノウハウを存分に発揮し、県の博物館班や美術館班と緊密に連携し、文化の杜共同企業体が美術館企画ギャラリーで主催する年3つの企画展と、博物館班や美術館班が主催する企画展や特別展、沖縄県主催の沖縄県芸術文化祭等をスムーズに展開・運営している。この結果、2015年度の総入館者は535,994人に達している。

### 沖縄の文化振興の拠点とする

沖縄県の芸術文化に関する最先端の情報が集積する場であり、その機能を最大限に生かして県内外に発信するとともに、県民が自らの歴史・文化に自信と誇りを持ち、学べる文化振興の拠点とする。

### 創造力あふれる次世代人材育成の場とする

新しい時代に向けた芸術・文化を担う人材育成に努める。IT関連によるCGデザインや音楽、建築、アーバンデザイン等の空間芸術も含め、全国的、世界的にも注目されるアーティストなどを輩出する場とする。2012年度から沖縄県立芸術大学が当館のキャンパス・メンバーズ第1号となり。2013年度からは沖縄国際大学、2015年度からは尚学院国際ビジネスアカデミーも加わる。今後とも若い世代を博物館・美術館に呼び込んでいく。

### アジアとの交流・連携、国際交流の拠点とする

沖縄は歴史的・文化的にアジア諸国との接点が多く、観光振興の面からもその利点を生かした交流・連携が求められる。2015年度はクルーズ船の乗客の誘致などに力を入れ、さらに那覇空港国際線新ターミナルビルの手荷物受け取り所に当館の電照掲示板を設置するなど外国人客の誘致に力を入れている。

### 「沖縄ワールド」を世界に広げる場とする

沖縄の独自性、固有性を大事にしながら、同時に世界の歴史・文化に高い関心を寄せる県民と歩調を合わせ、その期待に応えられる企画やイベントを展開する。「特異性から普遍性へ」「地域性から世界性へ」へと昇華していく目と技を磨く場とする。

### 県民ぐるみの取り組み推進

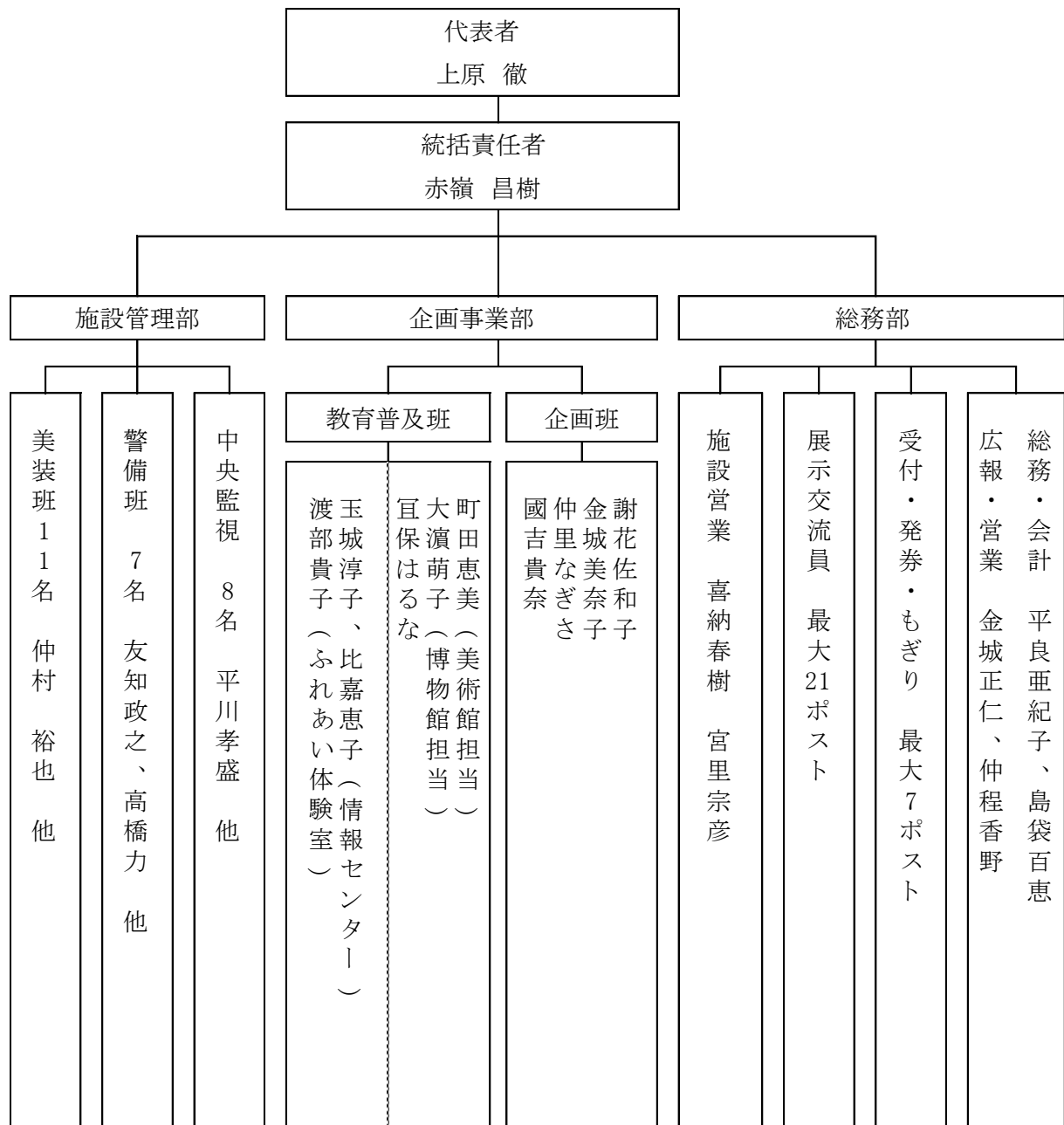
博物館・美術館の「教育普及事業」などを通して、県の学芸員とも協力して各種の講座、講演会、ワークショップなどを数多く開催し、県民のための博物館・美術館とする。また、展示会や出前講座などで積極的に館外にも飛出し、野外学習、フィールドワークなどを通して県民と館との結びつきを強め、次代を担う人材育成にも貢献する。

(赤嶺 昌樹)

## Ⅲ. 組織

文化の杜共同企業体は、代表を上原徹、現場責任者を赤嶺昌樹とし、総務部、企画事業部（企画班、教育普及班）、施設管理部（設備班、警備班、美装班）で構成された体制で、当館を管理・運営している。2007年の開館より外部有識者による助言・意見交換の場としてアドバイザー会議を設置し、主に当企業体による美術企画展などの助言を受ける毎月の定例会議を開催している。

【文化の杜共同企業体組織図（平成27年度）】



※ミュージアムショップ「ゆいむい」（株）沖縄文化の杜運営：池宮城啓子、玉城照美、パート3人  
 ※ミュージアムカフェ「茶花」（カフェワンオアエイトへ業務委託）



【職員構成】

2015年4月1日現在

班	氏名	担当業務
代表	上原 徹	共同企業体の統括に関すること
統括	赤嶺 昌樹	指定管理業務の統括、総務全般、県や博物館・美術館との現場調整に関すること
総務	平良 亜紀子	共同企業体予算管理、人事管理（発券、総合案内、展示交流員等）に関すること
	島袋 百恵	総務補助、クーポン券やその他総務全般に関すること
	金城 正仁	営業、広報に関すること
	喜納 春樹	企画、施設貸出に関すること
	宮里 宗彦	施設管理、県民ギャラリーに関すること
教育普及	大濱 萌子	教育普及（博物館業務）に関すること
	町田 恵美	教育普及（美術館業務）に関すること
	亘保 はるな	教育普及業務の補助
	玉城 淳子	情報センターの管理・運営に関すること
	比嘉 恵子	情報センター業務
	渡部 貴子	ふれあい体験室、教育普及に関すること
企画事業	謝花 佐和子	企画展、受託業務、自主事業に関すること
	金城 美奈子	企画展、受託業務、自主事業に関すること
	仲里 なぎさ	企画展、受託業務、自主事業に関すること
	國吉 貴奈	企画展、受託業務、自主事業に関すること
施設管理	平川 孝盛	施設管理全般の統括に関すること
	友知 政行	警備の統括に関すること
	平川 孝盛	設備の統括に関すること
	仲村 裕也	清掃の統括に関すること
総合案内・発券・もぎり		来館者に対する諸対応、発券業務、観覧券のもぎりに関すること
展示交流員		展示室における監視業務、誘導、解説等に関すること
ふれあい体験室		ふれあい体験室での来館者諸対応に関すること

【人事異動】

2016年3月31日現在

部署	氏名	適用
転入	該当者なし	
転出	該当者なし	
退職	該当者なし	

#### IV. 文化の杜共同企業体・美術館企画アドバイザー会議

指定管理者主催の美術館企画展および自主企画事業などの展覧会運営についての助言や意見交換の場として、県内の有識者で構成された会議を月1回開催した。昨年度に引き続き、4名の研究者にアドバイザーをつとめてもらった。文化の杜共同企業体からは、代表、統括、顧問、企画班員、教育普及班員（美術館担当）が出席した。2015年度のアドバイザー及び開催状況は、次の通りである。

	氏名	所属	職名
学識経験者	栗国恭子	沖縄文化工芸研究所 主宰	大学非常勤講師
学識経験者	大城亘武	沖縄キリスト教学院大学 他	大学非常勤講師
学識経験者	西村貞雄	琉球大学	名誉教授
学識経験者	波照間永吉	沖縄県立芸術大学附属研究所	教授

開催状況

回	月日	時間	出席者
第90回	4月20日	18:00～20:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉
第91回	5月25日	18:00～20:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄
第92回	6月26日	18:00～20:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉
第93回	8月18日	18:00～19:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄
第94回	9月25日	18:00～20:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉
第95回	12月7日	18:00～19:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉
第96回	2月29日	18:00～19:00	栗国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉

(以上、五十音順、敬称略)

## V. 展示活動

### 1. 展示活動概要（美術館企画展）

指定管理2期目5年目にあたる本年度は、戦後70年企画として県内写真家による作品展、老若男女に楽しんでもらえるディズニー作品の展示会、また「深海と生命」をメインテーマにした夏休み企画展の3企画展を開催した。また、自主企画として「大哺乳類展」を開催した。

#### (1) 「報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展—二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後」

会 期：2015年3月28日（土）～4月19日（日）（開催日数：20日間）

場 所：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：一般600円、高校・大学生400円、小・中学生200円

観覧者数：4,616名（一日平均230.8名）

担当学芸員：仲里なぎさ

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館指定管理者文化の杜共同企業体

特別協力：沖縄タイムス社、琉球新報社

協 賛：沖縄サニタリー株式会社、株式会社国建、昭和化学工業株式会社、沖縄高速印刷株式会社、沖縄食糧株式会社、オリオンビール株式会社

後 援：沖縄県教育委員会、沖縄県写真協会、沖縄写真連盟、NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、タイフーンfm、FMレキオ

#### 【企画概要】

2015年、沖縄が戦後70年を迎えるこの節目の年に、40年以上にわたり沖縄の現状を撮り続けてきた二人の報道カメラマンの写真展を開催した。大城弘明は沖縄タイムス社で、山城博明は琉球新報社で発信する以前から、それぞれ復帰闘争、戦争の爪痕、祭祀、習俗を撮影してきた。

本展示会では、沖縄戦の終戦から70年を経てもなお消えない痕跡と今なお続く不条理への憤りを、二人の写真でたどった。一方、人々のくらしのなかで受け継がれてきた習俗や祭祀から、根源となっているものを探った。沖縄の「今」をとらえる報道人としての目は、県民に寄り添いながら、厳しくそのありさまを伝えてきた。同時に、その眼差しは温かく、彼らが切り取ったくらしのなかの表情には、引き受けられない現実

を生きぬいてきた複雑な心情まで写しだしているように見える。そんなふたつの視線をもつ二人の写真を紹介した。

#### 【展示内容】

大城弘明と山城博明が、40年以上にわたって撮り続けてきた戦後沖縄の社会情勢や、暮らし、戦争の爪痕、祭祀、習俗を三つのコーナーに分けて全533点展示した。

「ズーム1 その瞬間を撮るー報道カメラマンが撮らえた沖縄」では、名護市辺野古の新基地建設への抗議や沖縄国際大学への米軍ヘリ墜落事故などの新しいニュースから、二人が本格的にカメラを持つようになった1970年頃へと記憶をさかのぼり、沖縄の「うねり」を紹介した。「ズーム2 ガマの記憶ー終わらない戦後」では、紙面報道以外で撮り続けるテーマを個別に紹介した。山城氏は遺骨収集を追った「ガマの記憶」と身体や場所に刻まれた傷痕を記録した「集団自決」、大城氏は沖縄戦で時が止まってしまった「一家全滅の家」と生まれ育った沖縄戦終焉の地で生きる戦後の人々の暮らしを写した「地図にない村」などを、それぞれ展示した。「ズーム3 つながれた記憶」では、人々の暮らしのなかで受け継がれてきた習俗や祭祀を紹介し、ウチナーンチュの根源となっているものを探る機会とした。

#### 【関連催事】

##### ①事前催事「なりきり報道カメラマン！ー身のまわりのスクーパー」募集

募集期間：3月1日（日）～4月5日（日）

内 容：県内の小学生から大学生を対象に、身近で起こった決定的瞬間をとらえたスクープ写真を募集し、大城氏と山城氏の選考で合計9名を表彰した。景品として、両氏からは写真集を、沖縄タイムス社と琉球新報社からはキャラクターグッズの提供があった。

応募点数：34点

##### ②事前催事ワークショップ「みる+つくる：しんぶんのあそびかた」

日 時：3月21日（土）10:00～12:00

場 所：博物館講座室

講 師：安里努（沖縄タイムス社NIE担当）、  
座波幸代（琉球新報社NIE担当）

参加費：無料

内 容：両社NIE担当によるワークショップで、新聞掲載の写真を用いた「双六づくり」を開催した。新聞掲載の写真から受ける印象で分類し、双六づくりを行った。完成後は、双六遊びや他のグループが制作した作品の工夫を見て楽しんだ。報道写真を鑑賞する足がかりとした。

参加者：5組14名（定員12組）



##### ③開会式

日 時：3月28日（土）9:15～9:30

場 所：企画ギャラリー入口

内 容：あいさつ／上原徹（文化の杜共同企業体 代表）  
出品者紹介／大城弘明（報道カメラマン、3/28まで沖縄タイムス社）、  
山城博明（報道カメラマン、3月末まで琉球新報社）

##### ④ギャラリートーク

日 時：3月28日（土）9:30～11:00（予定は10:30まで）

場 所：企画ギャラリー内

案 内：大城弘明、山城博明、仲里なぎさ（担当学芸員）

内 容：開会式終了後、仲里の進行で大城氏と山城氏に展示写真の解説を聞きながら順路を進め、鑑賞した。

参加者：関係者68名のほか一般観覧者



##### ⑤ギャラリートーク（対談） ＊教育普及事業

日 時：3月29日（日）14:00～15:00

場 所：企画ギャラリー内

講 師：タイラジュン（写真家）、山城博明

内 容：復帰の年生まれの写真家タイラジュン氏を招き、両氏より若い世代の視線で見た写真の印象と両世代の対談を通して、

次世代へつなぐきっかけとした。

参加者：約70名

⑥「なりきり報道カメラマン！身のまわりのスクープ写真コンテスト」

受賞者表彰式

日時：4月11日（土） 11:00～11:30

場所：企画ギャラリー入口

内容：本展開催前から募集していたスクープ写真の選考結果の発表と表彰式を行い、話題づくりを図った。

参加者：約20名（受賞者と家族など）



⑦ギャラリートーク（対談） \*教育普及事業

日時：4月11日（土） 14:00～15:00

場所：企画ギャラリー内

講師：大城藤六（沖縄平和学習ガイド）、大城弘明

内容：大城弘明氏と同じ糸満市出身の大城藤六氏を招き、戦前、戦中、戦後の体験談の講演を対談形式で行った。

参加者：108名



⑧大城弘明×山城博明サイン会

日時：4月11日（日） 15:30～16:00

場所：企画ギャラリー入口

参加者：8名

⑨ギャラリートーク \*教育普及事業

日時：4月18日（土） 11:00～12:00

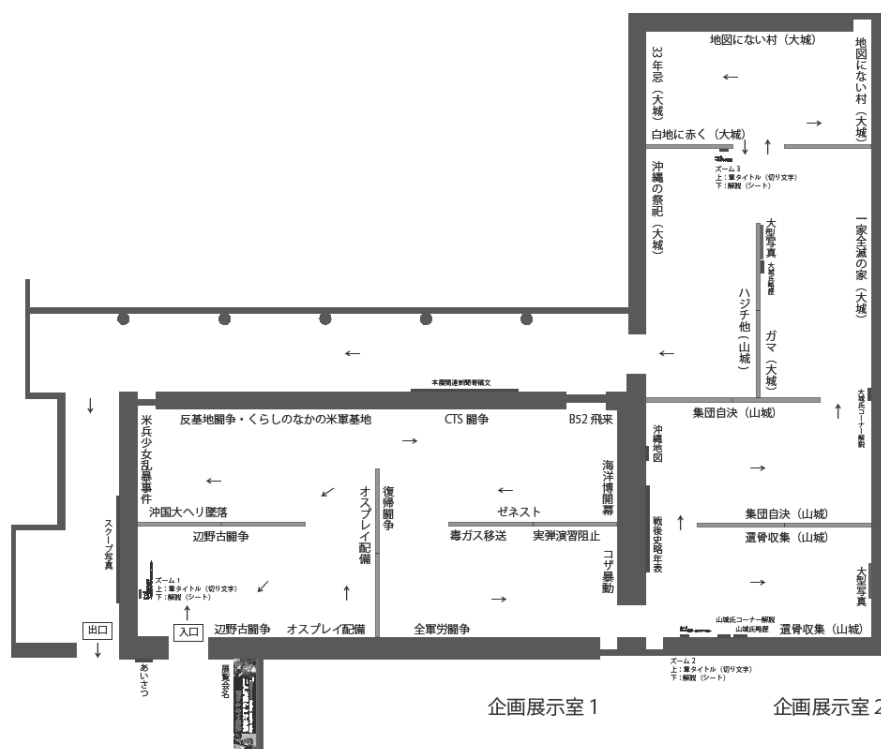
場所：企画ギャラリー内

案内：仲里なぎさ、大城弘明、山城博明

内容：担当学芸員によるギャラリートークに、両氏を交えて展示室を案内した。

参加者：31名

【展示平面図】



(仲里 なぎさ)

## (2)「ディズニー 夢と魔法の90年展ーミッキーマウスからピクサーまで」

会 期：4月28日（火）～6月28日（日）（開催日数54日）

場 所：美術館企画ギャラリー1・2

入 場 料：一般1,000円（800円）、高大生800円（480円）、小中生500円（400円）

観覧者数：35,626人（1日平均659.7人）

担当学芸員：國吉貴奈

### 【開催形式】

主 催：ディズニー 夢と魔法の90年展実行委員会、文化の杜共同企業体、沖縄タイムス社

後 援：沖縄県PTA連合会、沖縄県私立幼稚園連合会、沖縄観光コンベンションビューロー、琉球放送、琉球朝日放送、NHK沖縄放送局、沖縄テレビ、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、沖縄ケーブルネットワーク

### 【開催趣旨】

1923年に創業したウォルト・ディズニー・カンパニーがミッキーマウスを誕生させてからおよそ50年後、夢を追い求める人々にインスピレーションを与え続けられるように、ウォルトとその会社に関する史料を収集・保存する「ウォルト・ディズニー・アーカイブス」が設立された。本展では、アーカイブス監修のもと、ミッキーマウスから実写作品の「パイレーツ・オブ・カリビアン」、また「モンスターズ・インク」などのピクサー作品まで、90年間に作り出されたアートや小道具類、コスチューム、模型のほか、セル画やフィギュアなど約800点を一堂に展覧し、ディズニー作品の創作の秘密に迫る内容とした。

### 【展示内容】

第1章 ディズニーアニメーション

第2章 ディズニーサウンド

第3章 ウォルト・ディズニー・スタジオ

第4章 ディズニープリンセス

第5章 ディズニーと自然界

第6章 パイレーツ・オブ・カリビアン

第7章 ピクサー・アニメーション・スタジオ

### 【関連催事】

#### ①開会式

日 時：4月28日（火） 9:15～9:30

場 所：企画ギャラリー入口前

あいさつ：風谷英隆（実行委員会代表、NHKプロモーション上席執行役員文化・企画事業本部長）  
上原徹（文化の杜共同企業体代表、沖縄タイムス常務取締役）

招 待：那覇小学校の6年生約70人

参 加 者：約50人

#### ②内覧会

日 時：4月28日（火） 9:30～10:00

場 所：企画ギャラリー

解 説：ニコラス・ヴェガ

（ウォルト・ディズニー・アーカイブス学芸員）

招 待：那覇小学校の6年生約70人

#### ③「ファンタジーの世界へ☆絵本の読みきかせ会」

日 時：5月5日（火）1回目11:00～11:30／2回目14:00～14:30

5月31日（日）1回目14:00～14:30／2回目15:30～16:00

場 所：企画ギャラリーロビー出口付近

読 み 手：一般社団法人沖縄県子どもの本研究会

参 加 費：無料

参加方法：当日参加

参加人数：5月5日 1回目約20人／2回目約20人

5月31日 1回目約40人／2回目約40人

（いずれも定員なし）



内覧会における展示解説会



絵本の読みきかせ会の様子



内 容：手遊びや歌を交えながら『イツ・ア・スモール・ワールド』ほか2冊の絵本を読みきかせた。

④「シネマミュージック♪ミニコンサート」

日 時：5月10日（日） 1回目14:00～14:30／2回目15:30～16:00

場 所：美術館野外展示場

演 奏：沖縄国際大学吹奏楽部

参加費：無料

参加人数：1回目約90人／2回目約70人（いずれも定員なし）

内 容：音楽でディズニー作品を楽しむための企画。16人の演奏者によって、「ディズニーメドレー」、「美女と野獣」、「アンダーザシー」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」が演奏された。



ミニコンサートの様子

⑤アニメーションを知るための特別企画・講演会

タイトル：「ファンタジー、魔法、ドリーマー」

日 時：6月6日（土） 14:00～15:30

場 所：講堂

講 師：大城亘武（沖縄キリスト教学院大学名誉教授）

来場者数：20人（定員200人）

参加方法：当日参加

内 容：ディズニーアニメの特徴についての分析と日本のアニメーション黎明期についての紹介、最後に終戦直後の沖縄におけるディズニー映画の上映について大城亘武氏が講じた。



講演会「ファンタジー、魔法、ドリーマー」の様子

⑥アニメーションを知るための特別企画・ワークショップ

タイトル：「手がきアニメーション体験」

日 時：6月7日（日） 14:00～16:00

場 所：県民ギャラリースタジオ

講 師：眞喜屋力（映画監督）

参加人数：19人（定員20人）

参加方法：事前申込制

内 容：メモ帳、ペン、デジタルカメラを使って、1秒で6コマ進むアニメーションを制作体験。アニメーションは絵の連なりであるという、アニメーションの原理を学ぶためのワークショップとした。



ワークショップの様子

⑦「入場者一万人達成セレモニー」

実施日：5月19日（火）

場 所：企画ギャラリー前

内 容：文化の杜共同企業体代表あいさつとプレゼント贈呈。プレゼントは図録とミッキーマウスのぬいぐるみ。

⑧「入場者二万人達成セレモニー」

実施日：6月13日（土）

場 所：企画ギャラリー前

内 容：文化の杜共同企業体代表あいさつとプレゼント贈呈。プレゼントは絵本とオラフのぬいぐるみ。

⑨「入場者三万人達成セレモニー」

実施日：6月25日（木）

場 所：企画ギャラリー前

内 容：文化の杜共同企業体代表あいさつとプレゼント贈呈。プレゼントは絵本とミッキーマウスのぬいぐるみ。



廊下に展示した書き込み板

⑩追加展示「書き込み板 わたしとディズニー」

実施期間：6月13日（土）～6月28日（日）

場 所：企画ギャラリーロビー出口付近

内容：ディズニー作品にまつわる来場者の思い出をメモ用紙に書いてもらい、それをボードに貼り付けてもらった。

【展示平面図】



(國吉 貴奈)

### (3) - 1 「日本絵画はおもしろい～古くて新しい“和の美”～東京富士美術館所蔵名品展」

#### 事業計画の変更について

平成27年度指定管理者事業として、7月11日から9月13日の日程で予定していた企画展「日本絵画はおもしろい～古くて新しい“和の美”～東京富士美術館所蔵名品展」は、以下の理由により中止とした。

- ①使用する予定であった「博物館特別・企画展示室」の壁ケース及び一部の可動式ケースにおいて、博物館側が公開承認施設申請に際し実施した環境調査の数値が悪かったことから同ケースの使用に疑義が生じたため。
- ②博物館では展示環境の調査と改善を進めているが、企画展開催までに展示に適した環境に改善できるかどうかの判断ができなかったため。
- ③本展に出展予定の日本絵画作品群は、空気汚染の影響を受けやすい金箔や顔料が使われていることから、仮に開催までに展示ケース内の環境改善が図られる見込みであっても、企画展開催の事前広報等については環境改善が証明できる明確なデータを得た後になり、周知に向けた十分な準備期間が確保できないため。
- ④外部から展示ケースを借用することも検討したが、予算面で折り合いがつかなかったため。

なお、中止にともない沖縄県文化観光スポーツ部へ「事業計画変更の申請」及び「事業計画変更案」を提出し、承認を経て代替企画展として「深海探検 海底二万里の世界」を実施した。

### (3) - 2 「深海探検 海底二万里の世界」

会 期：2015年7月17日（金）～8月30日（日）（開催日数39日）

会 場：博物館企画・特別展示室

観 覧 料：一般1,000円、高校・大学生800円、小・中学生600円

観覧者数：34,457人（一日平均883.5人）

担当学芸員：金城美奈子

#### 【開催形式】

主 催：文化の杜共同企業体／沖縄テレビ放送

企 画 制 作：公益財団法人科学技術広報財団

協 力：一般財団法人沖縄美ら島財団、JAMSTEC／GODAC、船の科学館、深田サルベージ建設株式会社

助 成：日本財団

特 別 協 賛：沖縄銀行

協 賛：第一交通産業グループ、東洋設備、国建、旭堂

#### 【開催主旨】

全長10メートルを超えるダイオウイカやまだ学名の無い新種など、神秘的な生き物が独特の生態系を築く“深海”。本展では「深海と生命」をメインテーマに、最新の研究成果をもとにしたアトラクション「ノーチラス号」や「3D海底ウォーク」を設置し、来場者を深海の世界へ誘う。また、海洋調査のエキスパートである“JAMSTEC”、地元の海と日々向き合う“沖縄美ら海水族館”協力のもと、深海の環境や調査の最新技術について、わかりやすく展示紹介する。

#### 【展示構成】

4つのミッションを掲げ、各コーナーの理解を深めるような展示構成とした。最後コーナーには体験ブースを設け、子どもから大人まで楽しく学べる要素を取り入れた。展示数は潜水艇模型、潜水用具、生物標本、写真パネルなど77点。

Mission I 「深海の世界に出発せよ！」…アトラクション「ノーチラス号」乗車体験／Mission II 「海底調査の最新技術を学べ！」…潜水服、世界の深海潜水艇模型、しんかい6500模型、うらしま模型、しんかい6500実物大シート、メタンハイドレード展示／Mission III 「3Dで海底を探索せよ！」…3D海底ウォーク体験、チムニー模型展示／Mission IV 「深海の生き物を観察せよ！」…深海生物標本、ダイオウイカ模型展示、深海生物ギャラリー（映像）／体験コーナー…「深海回転寿司」、「ペーパークラフト工作」

#### 【関連催事】

①沖縄美ら海水族館 深海の生き物出張講演（2回講演）

内 容：研究者が沖縄の海に住む深海生物の謎に満ちた生態を解説する。

日 時：8月8日（土）14:00～14:45／15:00～15:45

場 所：博物館講座室

参加方法：当日先着順

- a) 講演1 「宝石サンゴについて知ろう！」 14:00～14:45  
講 師：野中正法（魚類チーム チームリーダー）  
参加人数：94人（定員100人）
- b) 講演2 「深海ザメについて知ろう！」 15:00～15:45  
講 師：佐藤圭一（研究第一課 課長）  
参加人数：89人（定員100人）

②移動ミニ水族館

内 容：沖縄美ら海水族館の活魚車による移動水族館。  
日 時：8月8日（土）13:00～17:00  
場 所：多目的広場  
観覧者数：906人（定員なし）

③海と地球のデータセンター “GODAC”のおでかけ講座（3日間実施）

講 師：GODAC（国際海洋環境情報センター）職員

a) 「深海のお話と水圧実験」

内 容：深海の特徴の一つである「水圧」について学び、実験を通してその威力を実感する。

参加方法：当日先着順、開始45分前に整理券配布。

日 時：7月30日（木）10:00～10:45／11:00～11:45／  
14:00～14:45

場 所：正面玄関横

参加人数：1回目68人（事前予約・きらら保育園48人＋当日一般参加20人）／2回目73人／3回目108人（2、3回目は各定員30人）

日 時：8月7日（金）14:00～14:45／15:00～15:45

場 所：博物館実習室

参加人数：1回目86人（定員30人）／2回目46人（事前予約・なかいま児童クラブ42人＋当日一般参加4人）

日 時：8月23日（日）14:00～14:45

場 所：博物館実習室

参加人数：60人（定員30人）

b) 「深海生物を描こう」（2日間実施）

内 容：深海生物の特徴を学び、ヒントをもとに参加者がイメージした深海生物を描く。完成作品は複写を展示会場出口付近に会期中展示した。

日 時：8月7日（金）10:00～10:45

場 所：博物館実習室

参加人数：24人（定員30人）

日 時：8月23日（日）10:00～10:45

場 所：博物館実習室

参加人数：19人（定員30人）

④入場者達成セレモニー

8月4日（火）11:00頃 1万人達成 ※大城さん家族6人（糸満市）  
8月18日（火）14:00頃 2万人達成 ※下地さん家族5人（石垣市）  
8月27日（木）14:00頃 3万人達成 ※佐渡山さん家族3人（沖縄市）



深海ザメについて知ろう！



移動ミニ水族館



深海のお話と水圧実験

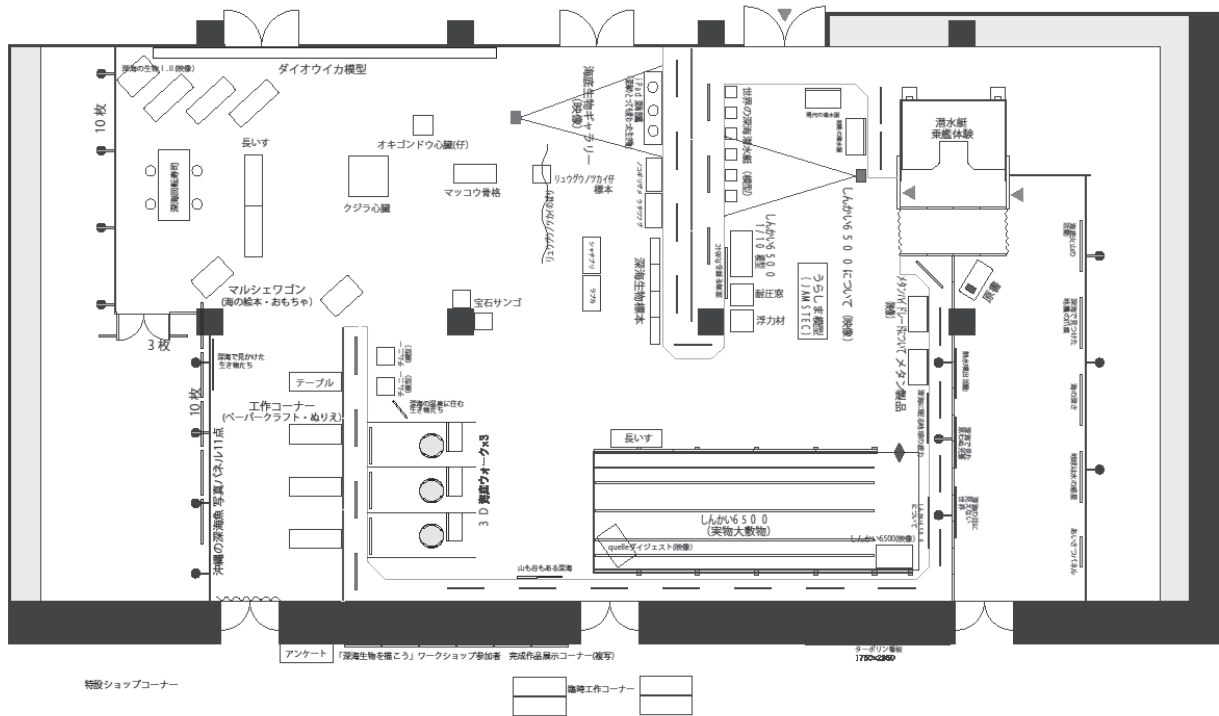


深海のお話と水圧実験



深海生物を描こう

【展示平面図】



1/100 沖縄県立博物館・美術館  
(金城 美奈子)

(4) 自主企画「大哺乳類展 ぼくらのなかまたち」

会 期：2015年7月18日(金)～9月6日(月)(開催日数44日)

場 所：美術館 企画ギャラリー1・2

時 間：9:00～18:00(入場は17:30まで)

※開場時間延長日：9月4日(金)、5日(土)9:00～20:00(入場は19:30まで)

観 覧 料：一般・大学生1,200(1,020)円、小・中・高校生600(510)円、  
幼児(3歳以上小学生未満)400(340)円

※( )内は20名様以上の団体料金。

観覧者数：64,869名(1日平均1,474名)

担当学芸員：謝花佐和子、國吉貴奈

【開催趣旨】

国立科学博物館所蔵の「ヨシモトコレクション」を中心に、様々な地域にすむ哺乳類の標本を展示することにより、その進化、体のしくみや暮らしを知ることができる展覧会とする。私たちと同じなま、哺乳類を知ること、地球で多様な生き物と一緒に生きていくことの大切さを考える契機とする。

【開催形式】

主 催：沖縄タイムス社、文化の杜共同企業体 共催：沖縄県立博物館・美術館

特別協力：国立科学博物館、朝日新聞社

協 力：沖縄美ら島財団、名護博物館、沖縄こどもの国

後 援：日本哺乳類学会、沖縄県教育委員会、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県PTA連合会、沖縄県老人クラブ連合会、沖縄県婦人連合会、沖縄県私立幼稚園連合会、日本保育協会沖縄県支部、沖縄県保育士会、沖縄県私立保育園連盟、沖縄県獣医師会、沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄県レンタカー協会、那覇新都心通り会、NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ放送、沖縄ケーブルネットワーク、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、沖縄タイムス販売店会 県連合会

【展示内容】

はく製、骨格など約150点を展示。



## 【関連催事】

### ①内覧会

日 時：7月17日（金）11:00～13:00  
場 所：美術館 企画ギャラリー内  
招 待 者：天久小学校児童 展覧会関係者、県内マスコミ各社ほか

### ②「どうぶつ博士にきいてみよう！」

各機関の専門家が、観覧のポイントなどをわかり易く解説した。以下、開催場所（美術館企画ギャラリー）と参加方法（本展の入場券が必要）は全て同じ。

#### a) 国立科学博物館

日 時：7月18日（土）10:00～11:00、11:00～12:00  
参 加 者：44名（10:00 22名、11:00 20名）  
講 師：川田伸一郎（国立科学博物館 研究主幹）、田島木綿子（国立科学博物館 研究員）

#### b) 沖縄こどもの国

日 時：7月29日（水）、8月19日（水）11:00～12:00  
講 師：比嘉源和（沖縄こどもの国 副施設長、動物園園長）  
参 加 者：34名（7月29日）、20名（8月19日）

#### c) 名護博物館

日 時：8月7日（金）、14日（金）11:00～12:00  
講 師：村田尚史（名護博物館 学芸員）  
参 加 者：25名（7日）、20名（14日）

#### d) 県立博物館・美術館

日 時：8月21日（金）、28日（金）11:00～12:00  
講 師：山崎仁也（沖縄県立博物館・美術館 学芸員）  
参 加 者：30名（21日）、20名（28日）



### ③「移動ふれあい動物園」

小動物（モルモット、シマヤギ、ウサギ、ヘビ、陸ガメ、ヒヨコなど）にふれる機会を提供した。協力は、沖縄こどもの国。当館の文化財保護に対する取組の一環であるIPMについて理解を得るよう努めながら、本展観覧後の参加を誘導した。以下、開催場所（当館正面入口 門扉横の雨端）と参加方法（本展の入場券が必要）は全て同じ。

日 時：7月26日（日）10:00～12:00、14:00～16:00  
参 加 者：約300名（午前150名、午後150名）

日 時：8月23日（日）10:00～11:30、12:30～14:00、15:00～17:00  
参 加 者：約600名

日 時：9月6日（日）10:00～11:30、12:30～14:00、15:00～17:00  
参 加 者：約900名

### ④「マンダースの解剖と骨格標本づくり」

日 時：8月4日（火）9:30～17:00、5日（水）・6日（木）9:30～12:00、  
11日（火）9:30～17:00

場 所：博物館実習室

講 師：佐藤寛之（沖縄国際大学非常勤講師）、山崎仁也（県立博物館・美術館 学芸員）

内 容：1910年頃の沖縄島南部にハブ駆除のために持ち込まれたマンダース。1990年頃には北部まで活動範囲を広げ、ヤンバルクイナなど希少種の多いやんばるの自然保護のため、現在は防除の対象（「外来生物法」による）となっている。その形態や生態一体のつくり、骨格と筋肉の関係、何を食べているのかーなど、講話や観覧を交えながら「哺乳類」を理解し、骨格標本づくりを行った。

対 象：小学校5年生～高校生 参加方法：要申込

参加者：20名（定員20名）※応募者多数（39名）の抽選  
参加費：1,000円（本展入場券、材料費、保険代込）

⑤「夜のやんばるの森観察会」（県立博物館・美術館 博物館班共催）

日時：8月8日（土）17:00～23:50頃  
場所：与那覇岳登山道入口周辺（国頭村）  
講師：村山望（新星出版）、山崎仁也（県立博物館・美術館 学芸員）  
内容：参加者（小学5年生から高校3年生）は当館に17時に集合。オリエンテーションと本展観覧後18時過ぎに貸切バスで与那覇岳へ向けて出発した。約2時間後、現地に到着。登山道周辺を約1時間30分かけて懐中電灯の明かりを頼りに散策した。ゲジ、フクロウ（鳴き声）、カニ、トカゲなどを講師や参加者が見つけ、解説を聞きながら観察した。夜のやんばるの森の静けさと様々な生物の息吹を感じる貴重な機会となった。

対象：小学校5年生～高校生 参加方法：要申込  
参加者：18名（定員20名、当日キャンセル2名）  
※応募者多数（35名）の抽選  
参加費：1,000円（本展入場券、バス代、保険代込）



⑥「アニマルバルーンアートづくり」

日時：8月9日（日）10:30～、14:00～  
場所：エントランスホール  
講師：玉代勢用聖  
内容：バルーンアートの作り方をタイムズ販売店の方々に教えている玉代勢用聖を講師に招き、イヌやキリンなどを作った。

対象：小さなお子さんから大人（但し未就学児は保護者同伴）  
参加者：112名（午前56名、午後56名）参加費：100円

⑦「Chili（チリ）でどうぶつちぎり絵」

日時：8月23（日）、30（日）10:00～11:00、11:00～12:00  
場所：エントランスホール  
講師：渡部貴子（文化の杜共同企業体）  
内容：大哺乳類展に関連するイラストが描かれた台紙に、当館から排出される期限切れのチラシやポスターを再利用し、ちぎり絵のワークショップを行った。

対象：小さなお子さん～大人 ※ただし、未就学児は保護者同伴  
参加者：59名（23日10時/30名 11時/29名）、60名（30日 10時/29名、11時/31名）  
（定員30名、当日申込）  
参加費：100円

⑧【県立博物館・美術館 博物館班 教育普及事業】

博物館文化講座（生物）「動物園のよもやま話」

日時：8月15日（土）14:00～16:00  
場所：講堂  
講師：島袋洋次（沖縄こどもの国 ゾウ担当飼育員）、吉岡由恵（沖縄こどもの国 教育普及員）  
参加者：103名（定員200名、当日先着）  
参加費：無料

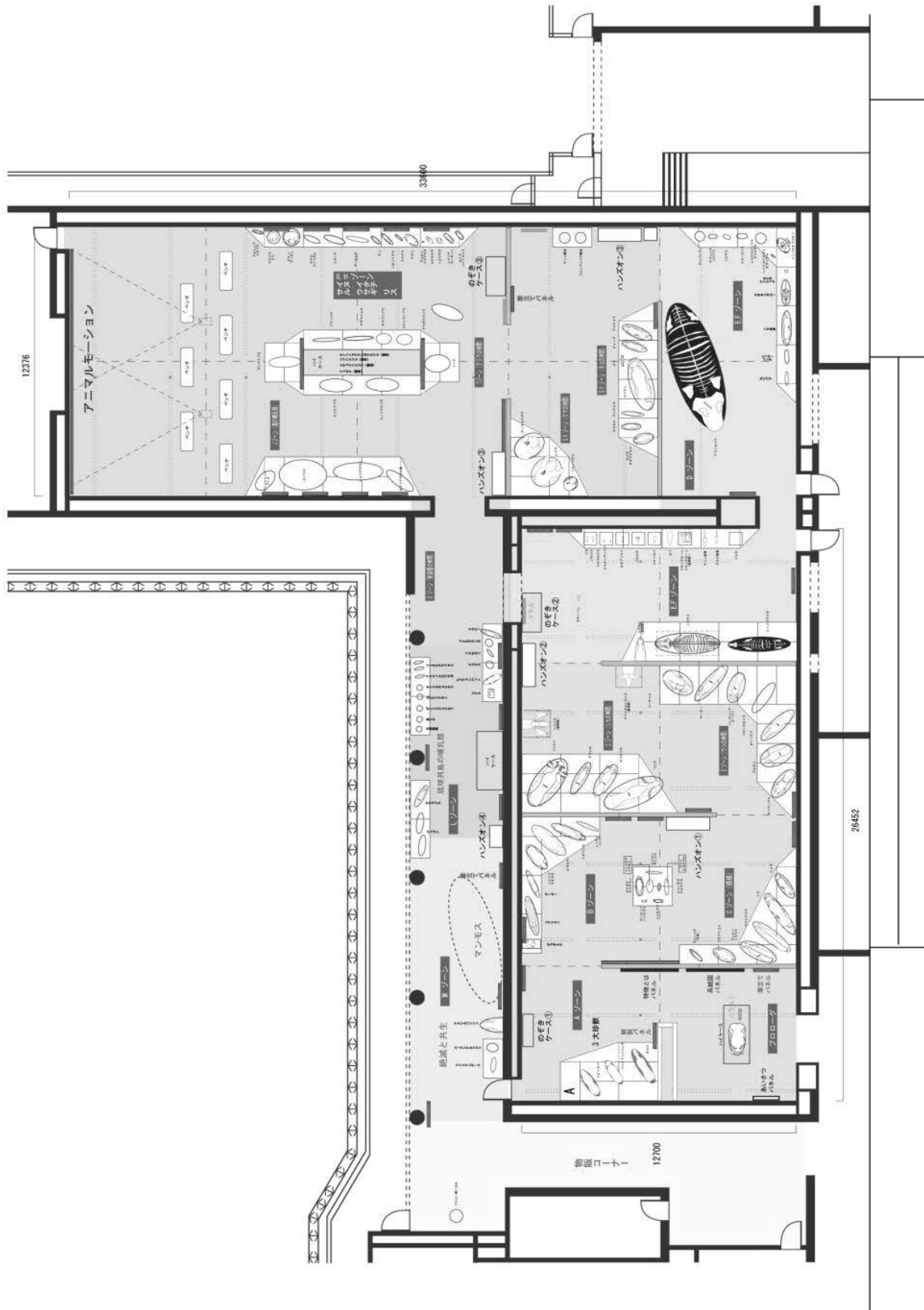
⑨【県立博物館・美術館 博物館班 教育普及事業】

博物館学芸員講座（生物）「大哺乳類展に見る哺乳類のかたちと進化」

日時：9月5日（土）14:00～16:00  
場所：博物館 講座室  
講師：山崎仁也（県立博物館・美術館 学芸員）  
参加者：43名（定員80名、当日先着）  
参加費：無料



【展示平面図】



(謝花 佐和子)

## VI. 教育・イベント活動

博物館、美術館のファン育成を目的とし、大人から子どもまで気軽に参加できる楽しいプログラムを企画立案、実施した。

## 1. ワークショップ等

### (1) ふれあい体験室ワークショップ

ふれあい体験室における、体験キットの充実・発展を目的に、毎週土曜日に実施している親子対象のワークショップ。参加特典として、講座内容に関するこども向けひとくちコラムを掲載した「博士カード」も配布。

講師：渡部貴子・ふれあい体験室スタッフ（文化の杜共同企業体）

場所：ふれあい体験室前エントランスホール

### 【4、5、6月】「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キットNo.19「いろいろな玩具」から、アダン葉細工の「ウماغグー・カタツムリ・星コロ・ハブググー」をカラフルな色画用紙で作製した。

参加費：100円

内容：10:00「ウماغグー」、10:30「カタツムリ」、  
11:00「星コロ」、11:30「ハブググー」

実施日・参加人数：

4月4日（土）17人、11日（土）21人、18日（土）16人、25日（土）10人

5月2日（土）23人、9日（土）28人、16日（土）27人、23日（土）32人、30日（土）38人

6月6日（土）30人、13日（土）33人、20日（土）41人、27日（土）41人



### 【7、8、9月】「ふれたい博士の光合成ペンダント」

体験キットNo.7「いろいろな木と草」から、植物が二酸化炭素と水と光で栄養をつくる光合成の働きを観察するために、約4センチの密閉容器に水草のオオカナダモと液体の水素イオン濃度を測る水溶液を入れ、紐をつけてペンダントを作製した。瓶に光を当てることで、オオカナダモは光合成をし、液体の二酸化炭素が減少したところで色が変わるしくみとなっている。参加者には、持ち帰った後も、観察を続け、植物が呼吸したり光合成している様子をカードに記録してもらった。

参加費：150円

内容：1日4回実施 1・3回目ピンク色、2・4回目アオ色  
1回目10:00~/2回目10:30~/3回目11:00~/4回目11:30~

実施日・参加人数：

7月11日（土）28人、18日（土）39人、25日（土）48人

8月1日（土）60人、8日（土）60人、15日（土）60人、22日（土）57人、29日（土）60人

9月5日（土）60人、12日（土）34人、19日（土）13人、26日（土）32人



### 【10、11、12月】「ふれたい博士の土器文様しらべ」

体験キットNo.12「土層と遺物からわかること」から、ペンダントや壁掛けになる「土器のカケラ風チャーム」を作製した。沖縄で発掘された縄文時代の土器片を観察し、土色の紙粘土を使って様々な形状に加工した竹、貝殻や指などで文様を施す方法を実験的に探った。その後、文様から読み取れる土器の年代を調べ、こども向け配布資料の「博士カード」に記録した。大きさは約5センチ×約7センチ、粘土は焼かずに1週間程、乾燥させると完全に硬化する。

参加費：150円

内容：1日4回実施

1回目10:00~/2回目10:30~/3回目11:00~/4回目11:30~

実施日・参加人数：

10月3日（土）5人、10日（土）10人、17日（土）15人、  
24日（土）11人、31日（土）11人

11月7日（土）6人、14日（土）10人、21日（土）11人、  
28日（土）1人

12月5日（土）20人、12日（土）4人、19日（土）6人、26日（土）9人



### 【1、2、3月】「ふれたい博士の凧づくり～カーブヤーに挑戦！」



体験キットNo.19「いろいろな玩具」から、沖縄の伝統凧の中で、子どもも揚げやすい「カーブヤー」を作製した。和紙の代わりに大きさ28センチ角のカラフルなビニールを十字の骨組に張り、尻尾と糸を付け、絵を描いてオリジナルの「カーブヤー」を完成させた。終了後は、新都心公園を元気に走り回り、凧が揚げて喜ぶ参加者の姿が見られた。

参加費：150円

内容：1日4回実施 1・3回目ピンク色、2・4回目アオ色  
1回目10:00~/2回目10:30~/3回目11:00~/4回目11:30~

実施日・参加人数：

1月2日(土)39人、9日(土)22人、16日(土)12人、23日(土)15人、30日(土)18人

2月6日(土)19人、13日(土)12人、20日(土)12人、27日(土)32人

3月5日(土)12人、12日(土)20人、19日(土)5人、26日(土)19人

(渡部 貴子)

## (2) ゴールデンウィークイベント「Chiri(チリ)でちぎり絵」

ゴールデンウィーク期間に、博物館の展示や美術に興味をもつきっかけづくりを目的として開催。博物館常設展と関連したイラストのアウトラインが描かれた台紙を用意。台紙の種類は「ヤンバルクイナ・イシカワガエル・アカウミガメ・イリオモテヤマネコ」の4種類とし、ちぎり絵の材料は、館から出る期限切れのポスター・チラシを使用した。

実施日：5月3日(日)、4日(月祝)

場所：正面玄関横

参加者：3日64人、4日69人(各日定員60人)

参加費：100円



(渡部 貴子)

## (3) 臨時開催ふれあい体験室ワークショップ「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

琉球大学より、毎週土曜日に定期開催しているふれあい体験室ワークショップの開催依頼があったため、臨時開催した。琉球大学留学生クラス「沖縄事情」の留学生に博物館でのハンズオン体験を通して沖縄の文化へ理解を深めてもらうことを目的とし、アダン葉細工の「ハブグラー」をカラフルなソフトテープで作製。博物館ボランティアにも協力いただいた。

実施日：6月10日(水)13:30~14:30

場所：博物館講座室

講師：渡部貴子(文化の杜共同企業体)、博物館ボランティア13人

対象：琉球大学留学生クラス40人 参加費：100円



(渡部 貴子)

## (4) 2015年お正月工作教室「トコトコ歩くサルのおもちやづくり」

子年から開催してきたお正月毎年恒例の、干支をモチーフとしたおもちやづくり。電気やバネを使わずちょっとしたしかけで坂道を歩く不思議な木製のおもちやを作製した。

実施日：1月11日(月・祝)

1回目10:00/2回目11:00/3回目14:00/4回目15:00

場所：正面玄関横(雨天のため、エントランスホールへ移動)

講師：上運天研成先生とピノキオの会の皆様

対象：小さなお子さんから大人まで(小3以下、保護者同伴)

参加者：126人(定員120人)

参加費：300円 \*フェルト付き50円追加



(渡部 貴子)

## (5) お正月催事「元日寄席」

お正月も博物館、美術館で過ごせるように1月1日から3日まで臨時開館をした。新春の雰囲気を楽しんでいただくため、毎年恒例の無料催事「お正月は博物館・美術館に行こう！」を実施。1月1日は元日寄席を開催した。同催事で落語イベントは初の試みだったが、県内の方が多く来場された。講堂で開催した寄席では初笑をたっぷり堪能してもらうことができた。





実施日時：2016年1月1日（金）13:00～15:00

観覧無料

催事内容

- ・「寄席をもっと楽しむためのミニ講座」  
時 間：13:00～13:25  
会 場：1階エントランスホール
- ・「寄席」〈動物ものまね〉江戸家まねき猫  
〈落語〉春雨や雷太  
時 間：14:00～15:00  
会 場：3階講堂



観覧者数

- ・「寄席をもっと楽しむためのミニ講座」 50人
- ・「寄席」 160人

(赤嶺 昌樹・金城 正仁)

## 2. 展示会等

### (1) 写真展「定点 慰霊の日」

2009年から開催している慰霊の日関連企画の写真展。

「慰霊の日」が巡ってくるたび、戦没者への慰霊、平和を願う気持ちや沖縄各地で共鳴する。この地で戦争の恐ろしさを心に刻み生きてきた方、また伝え聞いた者にとって、「慰霊の日」は「沖縄の真の平和とは何か」を考える定点を示している。紙面に掲載された「慰霊の日」当日の記録を展示することにより、時間の経過と人々の想いを記憶として刻み、自分自身が次代に何をつなぐことができるのかを考える契機とする。



主 催：文化の杜共同企業体

写真協力：沖縄タイムス社

会 期：6月16日（火）～25日（木）（開催日数：9日間）

場 所：県民ギャラリー3 ※空室の利活用

観 覧 料：無料

展示内容：1961～2014年の「慰霊の日」の様子が撮影された紙面掲載写真53点

(謝花 佐和子)

### (2) 展覧会図録コーナー

①国際博物館の日に関連し、情報センターにて過去の展覧会図録コーナーを設置した。

琉球政府立博物館、沖縄県立博物館、現在の沖縄県立博物館・美術館の展覧会図録、約160冊を年代順に並べ、過去の資料を閲覧できるよう設置した。

期 間：5月8日（金）～24日（日）

場 所：館内情報センター

資 料 数：約160冊



②展覧会関連図書コーナーとして、開催中の展覧会与連動して関連図書や展覧会図録を情報センターに設置した。



(玉城 淳子・比嘉 恵子)

## 3. しまくとぅばプロジェクト

しまくとぅばの価値や重要性を認識し、活性化と可能性を広げる目的で、開館年の2007年に立ち上げた「し

まくとうばプロジェクト」。今年度は、新規に「うちなーぐちリーディング」と「シマクトゥバの辞書をつくろう」の連続講座を開講し、しまくとぅばをさまざまな形で継承する方法を提示した。

(1) 連続講座「しまくとぅばを知る」第1回～8回

実施日：2015年4月12日、5月17日、6月20日、7月12日、10月11日、11月8日、12月13日、  
2016年1月10日

時間：14:00～15:50（7/12、11/8のみ15:00～16:50）

場所：美術館講座室

講師：仲原稯（大学非常勤講師）、西岡敏（沖縄国際大学）

参加費：300円

総参加人数：207名

内容：月に1回開催の連続講座。2人の研究者がそれぞれのテーマで言語としてのしまくとぅばの概説を講じた。

(2) 講座「シマクトゥバの辞書をつくろう」第1回～6回

実施日：4月5日、6月6日、7月12日、8月8日、9月26日、  
11月21日

時間：14:00～15:30（7/12のみ13:00～14:30）

場所：美術館講座室、博物館講座室、県民・こどもアトリエ

講師：狩俣繁久（琉球大学）

参加費：300円

総参加人数：86名

内容：各地で方言の調査をしている狩俣氏による講座。辞書をつくることは、しまくとぅばと地域文化を継承することになると述べ、その重要性和具体的な方法について6回にわけて講じた。



(3) 連続講座「うちなーぐちリーディング」

実施日：2015年5月10日、6月21日、7月19日、8月16日、  
9月13日、10月18日、11月15日、2016年1月24日  
※いずれも日曜日

時間：14:00～15:30 場所：博物館実習室

講師：伊狩典子（方言キャスター）、国吉朝政（首里ことばの集い）

参加費：400円

総参加人数：185名

内容：しまくとぅばを発声することで身体で覚えることを目的とした講座。首里方言話者の講師が例文を音読し、受講者がそれをお手本に発話した。例文は場面に応じて使えるものを講師としまくとぅばメンバーが作成して、講座のテキストとして使った。



(4) 『方言札』世代ぬハナシむぬ語い

実施日：2015年4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月8日、9月9日、10月14日、  
11月11日、12月9日、2016年1月13日、2月10日、3月9日 ※いずれも水曜日

時間：14:00～16:00 場所：博物館実習室

進行：上原美智子（しまくとぅばプロジェクト）

参加費：100円

総参加人数：146名（当日先着、定員20名）

内容：抑圧されてきたしまくとぅばを解き放ち、しまくとぅばを継承する力を育てるための企画。くつろいだ雰囲気の中、参加者がテーマに沿ってそれぞれのペースで、しまくとぅばを使っておしゃべりした。

(5) 「しまくとぅばで語る戦世」定期上映会 第7回「読谷編」

実施日：4月5日（日） 15:30～17:30

場所：美術館講座室

進行：比嘉豊光（琉球孤を記録する会）

ゲスト：玉城栄祐（読谷村史編集委員）

参加費：300円

参加人数：40名（当日先着、定員50名）

内 容：昨年より開催している、琉球弧を記録する会協力による「しまくとぅばで語る戦世」の第7回目。戦後70年に当たる本年の初回は「読谷編」で、読谷村史の編集に長らく携わってきた玉城氏を招き、比嘉氏と上映後対談した。玉城氏は、まず読谷の各字や地域でのしまくとぅばの違いを説明。十・十空襲前夜の体験、読谷の疎開先変更、読谷渡具知への上陸など、当時の戦時状況などをしまくとぅばとやまとぅぐちを交えて話した。

(6) 「しまくとぅばで語る戦世」定期上映会 第8回「糸満編」

実施日：5月24日（日） 14:00～16:00

場 所：博物館講座室

進 行：比嘉豊光（琉球弧を記録する会）

ゲ ス ト：大谷高子（しまくとぅば連絡協議会事務局長）

参加費：300円

参加人数：84名（当日先着、定員100名）

内 容：戦後60年にあたる2005年に撮影され、沖縄戦末期の戦況を体験した20人の記録を上映。その後、大谷高子と比嘉豊光が対談した。大谷は、戦争体験者ではない自身がこれまで話を聞いた戦争体験者の想いをしまくとぅばで語った。参加者から戦争体験者と自らの経験を交えた様々な意見が挙げられた。



(7) 6.23慰霊の日関連上映+シンポジウム「戦後70年に考えるしまくとぅば」

実施日：6月23日（土） 13:15～17:00

場 所：講堂

進 行：上原美智子（しまくとぅばプロジェクト）

パネリスト：比嘉豊光（琉球弧を記録する会）、知念ウシ（むぬかちや一）、安良城米子（沖縄国際大学非常勤講師）

参加費：500円

参加人数：118名（当日先着、定員200名）

内 容：「しまくとぅばで語る戦世」上映会の総括として開催。第1部は「しまくとぅばで語る戦世—八重山・宮古編」を上映、第2部は「戦後70年に考える戦世」というテーマで、上映会の感想や意義、また何のために継承が大切かについてしまくとぅばで討論した。



(8) 「しまくとぅばの日」企画シンポジウム「学校教育におけるしまくとぅば」

実施日：9月20日（土） 13:30～16:30

場 所：講堂

コーディネーター：仲原穰（大学非常勤講師）

パネリスト：伊波鉄也（嘉手納町教育委員会・元勝連小学校）、謝敷勝美（下地中学校）、山口栄臣（具志川高校）、西岡敏（沖縄国際大学）、中本謙（琉球大学）、狩俣繁久（琉球大学）

開催の挨拶：宮里朝光（沖縄語普及協議会会長）

資料代：500円

参加人数：61名（当日先着、定員200名）

内 容：昨年のシンポジウムでは、地域と学校におけるしまくとぅば継承の取り組みについて考えたが、今回は学校に焦点を当て、具体的にどのような取り組みが可能かを考えた。小中高校の教員としまくとぅばの読本、副読本の作成にたずさわった研究者で意見交換をし、いくつかの具体案が示された。

(9) しまくとぅばプロジェクト活動総括展示

実施日：3月8日（火）～3月21日（月祝） 場所：情報センター

内 容：2009年度から2015年度までに行われたしまくとぅばプロジェクトの活動を総括し、A2サイズの6枚にまとめ展示した。

## 4. その他

(1) 博物館常設展、美術館コレクション展の無料開放

① 「国際博物館の日」5月16日（土）

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（ICOM）によって「国際博物館の日」と定められている。毎年恒例の関連催事として、館に親しんでもらうために、直近の土曜日である5月16日に無料開放を実施した。

②「慰霊の日」 6月23日(火)

今年は戦後70年の節目として、6月23日「慰霊の日」に、当館で沖縄県民が沖縄の歴史・文化を改めて認識してもらうことを目的とし、無料開放を実施した。

③「文化の日」11月3日(火)

毎年、11月3日「文化の日」は、県民サービスの一環として博物館常設展と美術館コレクション展を無料開放し、沖縄の文化、歴史に触れてもらう機会としている。

(2)「はくび通信」の発行

2012年度から発行を開始した沖縄県立博物館・美術館の情報誌、『はくび通信』を情報センターから発行。展覧会情報をはじめ、学芸員コラム・イベントカレンダーなど、3ヶ月に一度、年4回発行。

館内モノクロ印刷 約1,500部



2016年 新春号 vol.16

(玉城 淳子・比嘉 恵子)

## VII. 広報・交流事業活動

### 1. 広報事業

広報に関する業務として、当館の展覧会や事業・活動を県民や観光客に広くアピールしながら、博物館・美術館活動への理解を深めてもらうとともに一層の集客を図った。

当館で開催される展示会と関連イベント、教育普及事業、講演会、県民ギャラリー等の催しについては前年度同様、「県立博物館・美術館 週間展示会・イベント情報」を作成し、県内の主な新聞社（沖縄タイムス社、琉球新報社）やテレビ局（NHK沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、沖縄ケーブルネットワーク）、ラジオ局（RBCiラジオ、NHK沖縄放送局、ラジオ沖縄、FM沖縄、FMレキオ、タイフーンfm）にFAXやメールでデータを送信し、県民への情報の告知や取材をお願いした。

さらに、当館主催の講座や講演会、展覧会に連動するシンポジウムやアーティストトーク、催しの告知・募集についても、募集期間前あるいは開催前にその都度、新聞社、テレビ局、ラジオ局、雑誌社、イベント情報誌等に原稿や資料を送信し、掲載や取材・報道を要請した。県民ギャラリーの利用者や当館で展示会を予定している関係者には、県内マスコミを訪問して展示会をアピールするようアドバイスした。

沖縄タイムス紙面には朝刊情報面に「県立博物館・美術館催し」のコーナーを設けて、当日の情報を発信している（休館日を除く）。また、文化面、社会面等に、随時展覧会や講演会、県民ギャラリーの催事情報を掲載。琉球新報も情報面や文化面、社会面で展覧会や催事情報を載せてもらった。沖縄タイムスの副読誌「週刊は一むぶらざ」や琉球新報の副読誌「週刊レキオ」、「かふう」のほか県内外で発行される観光・ガイド・情報関連誌・Facebookも幅広く活用し、館情報の発信に努めた。



- 年間行事案内・・・年度初めに展覧会の会期や内容、講座や解説会の日時など、年間の行事案内を掲載した「平成27年度 沖縄県立博物館・美術館 行事案内」（リーフレット、2万5千部）を作成し、県内外の文化・観光施設、ホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社等へ配布、設置の依頼し、年間の行事案内の配布に努めた。今年度もパンフレット配布委託業者へ依頼し、全島の観光施設、ホテル等も設置した。
- チラシ、ポスター・・・県内の小・中・高校、図書館、文化施設、教育機関には展覧会ごとにチラシ、ポスターを配布し、展覧会の告知を行った。沖縄県立図書館には当館専用チラシラックを設置した。また、県内のコンビニ、文化・観光施設、レンタカー会社、那覇市内外の主要ホテル、県内書店、観光案内所、モノレール駅、那覇空港などにもチラシやポスターの設置協力を求めた。さらに有料ではあるが個人に行き渡るようにコープ配達会員へのチラシ折込みを活用し、誘客に努めた。
- 公共掲示板・・・那覇・浦添・中部地区・南部地区の公共掲示板約130～140カ所に、展覧会の度にポスターを張り出して展覧会の告知を行った。その内の30～40箇所にはラミネート加工をし、短期間で剥がれないようにした。
- モノレール駅内広告・・・県民の足・沖縄都市モノレール（ゆいレール）では前年度に引き続き那覇空港駅・県庁前駅ドアステッカー広告で全館、展覧会情報を告知した。臨時媒体ではゆいレール最多の乗降客数の県庁前駅では「ディズニー展」ではB1サイズポスタースタンドを設置、「木梨憲武展」では横1.8メートル×0.45メートルの天吊りサイン表裏印刷を設置し多くの乗降客にアピールした。



- 懸垂幕・・・館壁正面入り口側に横2メートル×縦6メートルの大型懸垂幕を設置し、展覧会の告知を行った。主に博物館特別展や大型企画展、美術館企画展の際に実施。
- 新聞紙面での記事や連載・・・取材や寄稿掲載の協力を積極的に依頼し、年間を通じて多数の記事で館情報を県民に広く伝えることができた。主な特集記事や連載は沖縄タイムスが「大城弘明・山城博明写真展」寄稿3回掲載、「ディズニー展」作品紹介を7回連載、「大哺乳類展」作品紹介を7回連載。琉球新報では「大城弘明・山城博明写真展」作品紹介を3回掲載。
- 新聞広告（有料）・・・沖縄タイムス、琉球新報の紙面に有料広告を掲載した。主な方法としては、全5段もしくは半5段・半3段サイズの広告掲載や、テレビ面突出・表札などの目立つ枠への掲載など目的・予算に応じて利用した。「ディズニー展」、「大哺乳類展」、「エヴァンゲリオン展」では沖縄タイムスに全面特集記事（5段は展覧会広告）を掲載した。沖縄タイムス副読誌「週刊ほーむぶらざ」では3段サイズの広告で「ペットボトルアート」、「ディズニー展」、「大哺乳類展」、「海底二万里の世界」を掲載し、琉球新報副読誌「週刊レキオ」では「木梨憲武展」を全面特集記事（3段は展覧会広告）で掲載した。
- テレビ（無料：ニュース、特集番組など）・・・積極的に取材依頼を行い、イベントや展覧会の開幕の様子などもニュースとして報道してもらえるように努めた。今年度の実績は、琉球放送「ザ・ニュース」、「金曜日のゆうわく」、「沖縄BON!!」、琉球朝日放送「ステーションQ」、「スパイス」、「ニュースQプラス」、沖縄テレビ「お昼のニュース」、「FNNみんなのニュースおきコア」、「ひーぷー☆ホップ」、「パブピポ!」、「コレパチ」。また、パブリシティでの無料告知枠を積極的に活用。琉球放送「ウチナー紀聞」では「県立博物館・美術館～お宝を探そう!」と題し20分以上にわたり博物館常設展や「ニシムイ」、バックヤード等を紹介し、当館の魅力をアピールした。「海底二万里の世界」、「木梨憲武展」は沖縄テレビ、「ゲルニカ展」は琉球朝日放送、テレビ局が共催ということもありキャスターデスク上の告知板の設置によるPR、テレビCM、生中継での会場内の紹介等、共催者媒体での広報ができた。
- ラジオ（無料：ニュース、特集番組など）・・・積極的に取材依頼を行い、イベントや展覧会の開幕の様子などもニュースとして報道してもらえるように努めた。今年度の実績では、RBCiラジオ「シャキットi」、



「シャキータデー」、「MUSIC SHOWER Plus+」、「団塊花盛り」、「あまくま訪問」、「柳卓のいんでないかい!」、「菊地志乃のVilla de Weekend」、FM沖縄「For PM」、ラジオ沖縄「いつかのラジオDAYS」など。パブリシティ、ラジオカーを手配での無料告知枠を積極的に活用。RBCiラジオラジオカー取材「シャキッとi」、「あまくま訪問」、「片野達朗のSWISH!」、FM沖縄ラジオカー取材「For PM」、ラジオ沖縄ラジオカー取材「ピンと! Style」に担当学芸員が出演し、展覧会告知のため担当学芸員が出演しPRした。その他コミュニティFMも積極的に活用し展覧会関係者が出演するなどの取り組みも実施した。

- テレビ・ラジオ広告(有料)・・・テレビ・ラジオといったマスメディアでのCM展開については、制作費・放映料共に経費がかかるが、効果も大きいので広告出稿を行った。「ペットボトルアート」、「大城弘明・山城博明写真展」、「うちくい」、「ディズニー展」、「海底二万里の世界」、「大哺乳類展」、「石田尚志展」、「琉球弧の葬墓制」、「ニシムイ」、「大嶺政寛展」、「木梨憲武展」、「ゲルニカ展」、「エヴァンゲリオン展」をテレビではフリースポット、または時間取りで放映し、ラジオでは朝、夕の出退勤時間に合わせ放送した。その他、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、RBCiラジオ、ラジオ沖縄のお正月年賀CMスポット(1月1日～5日)で、年始の営業日開館時間の案内、企画展の告知を行った。文化の杜共同企業体主催の展覧会告知の際には、沖縄タイムスが琉球放送や琉球朝日放送のテレビ、RBCiラジオ、FM沖縄に持っているCM放送枠を活用し「ペットボトルアート」、「大城弘明・山城博明写真展」、「大哺乳類展」、「エヴァンゲリオン展」のCMをテレビとラジオで放送し展覧会をPRした。通常ではテレビやラジオでの広告放映については多額の経費が必要だが、この放送枠の活用により、テレビやラジオで広報を展開しながら他媒体等へ集中活用が可能になっている。
- 雑誌、機関紙・・・雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努力した。県民へのPRを目的として県内イベント情報誌「おきなわ倶楽部」、「オキナワグラフ」、「be-o」、「篋柄暦」、「話くわっちー」、県内在住外国人向けの「ジャパンアップデート」などで展覧会や催事を告知。「オキナワグラフ」では中高年のターゲット層を狙い「ニシムイ」を2ページ、「大嶺政寛展」を1ページの有料広告を出稿した。また県内の医療機関や病院に配布する沖縄県社会保険診療報酬支払基金の月刊誌「基金沖縄支部だより」には平成27年度も一年を通して毎月開催中の展覧会を表紙で紹介してもらった。観光客向けには、有料広告「レンタカードライブマップ」、無料広告「ちゅらナビ」等でも年間を通じて全館を告知。また、県外からの観光客などをターゲットにした全国版観光雑誌「みちしるべ南の楽園沖縄」、「沖縄リゾートマップ2015」、「るるぶ沖縄ベスト16」、「JAFPLUS」、「るるぶ子どもと行く沖縄16」、「季刊誌「素敵生活」夏号(Vol.62)」、「こどもとおでかけBOOK 沖縄'16年版」、「リゾートダイアリー2015」、「旬香周島おきなわ」などでは主に博物館常設展や美術館コレクション展を無料で紹介した。修学旅行の団体をターゲットにした「沖縄修学旅行ナビ」では無料で全館の紹介をした。県外向けの展覧会の告知について今年度は「新美術新聞」、「美術手帖」、「KADOKAWAプレミアムアートブック」、「完全ガイド 2015-2016 アートスケジュール」等へ紹介記事を掲載した。「新美術新聞」では「戦後70年特集企画美術家が考える美術家の70年」掲載号に「ニシムイ」をモノクロ半2段で有料出稿した。
- 地域誌・・・那覇新都心通り会が発行する「新都心かわら板」に様々な展覧会や催しを告知。
- インターネット・・・無料で全国的に広く展覧会の告知を行えるイベント情報サイトを活用し、様々なサイトで告知活動を展開した。今年度の実績では、館全体のPRを目的としてYahoo!JAPAN「地域情報」、「じゃらんnet」観光ガイド、「JTBるるぶインターネットサイト」、「自治体観光ガイド」など。個別の展覧会の告知を目的として「art scape」、「アートフラッシュニュース」、「ミュージアムカフェ」、「mixi」、「livedoor」、「@nifty」、「So-net」、「googleニュース」、「モバゲー」、「ケータイlivedoor」、「gooモバイル」、「日刊ウオーカー」、「エンタ魂」、「長尾さんの観光案内所」など。海外、県内在住外国人向けのPRとして沖縄観光webサイト「おきなわ物語」、「Okinawa NightLile」、「『夏族たびスクール』夏の沖縄学び旅」、「Dokka!おでかけ探検隊 沖縄版」、「トラベルWatch 大城和歌子の沖縄グルメ&スポット」など。動画共有サイト「YouTube」に企画展テレビCMをアップロードし、企画展専用ページに埋め込みをした。通常であればテレビで見ることが出来ないが、YouTubeにアップロードすることでいつでも見ることができるようになった。
- 携帯専用サイト改善、スマートフォン専用サイトの開設・・・館の情報がどこでも確認できるように携帯サイト、スマートフォン専用サイト改善をした。携帯専用サイトは通信料を安くするためできるだけ容量を減らしながらも見やすくするようにし、スマートフォン専用サイトはアイコンを大きくし、各企画展が目にと留まるようにした。
- 沖展・・・毎年3万人を超える来場者を数える県内最大規模の総合美術展である沖展(主催:沖縄タイムス)会場で、開催者の協力を得て、当館の行事案内等のチラシ配布をした。また即売会場では当館で開催

した過去の展覧会図録の委託販売なども行い、美術ファン層に向けて館外でのPR活動を行った。

○プレイガイド・・・前売り券の販売およびチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイドの拡大・拡充を図った。ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぶれ、ファミリーマート各店（イープラス）、ローソン各店、ジュンク堂書店那覇店、Booksきょうはんとよみ店、安謝店、TSUTAYA那覇新都心店・首里店、球陽堂書房那覇メインプレイス店・西原シティ店・八重瀬店・マチナト店。コープあぶれ発行の「Aple」に前売り券販売をしている企画展の情報を無料で掲載し、前売り券の販売促進を行った。また観光客向けには沖縄ツーリストラウンジ・レンタカー営業所、ニッポンレンタカー営業所で博物館常設展、美術館コレクション展の前売りチケットの販売を行った。

○SNS・・・実名登録制ソーシャル・ネットワーキング・サービスFacebookの運用を平成25年度より開始しており、平成26年度末のいいね！（ファン数）は約2,300名程度だったが今年度は約3,800名を超えた。有料広告を出稿しない限りは無料ツールなので、無料でファンへの告知が可能になった。また当館ホームページトップへFacebookガジェット機能を貼付けし、まだファンではないユーザー、まだ登録していない未ユーザーに向けて告知した。

○那覇空港新国際線旅客ターミナルビル・・・那覇空港新国際線旅客ターミナルビルの手荷物受取り所の電照掲示板に広告を出稿した。手荷物を預けた際は必ず目にする位置にあり、手荷物を預けていない方でも道順として通る位置にあり露出度が高い。その他ロビー付近のラックへ当館パンフレット（外国語版）を設置した。



○那覇クルーズターミナル・・・海外からからのクルーズ船が多く入港し、海外観光客の玄関口となっている那覇クルーズターミナル内にパンフレットラックを設置した。展覧会チラシ、パンフレット、ポスターを設置し海外の観光客のアピールした。

（金城 正仁）

## 2. 地域イベントへの参加

那覇新都心通り会へ積極的に参加し、地域の活動に協力した。新都心通り会では、那覇市と協力し「2020年 東アジア文化都市」の立候補を目指して活動しており、文化の杜共同企業体としても積極的に支援していく。ふれあい体験室では、地域の保育園、学童クラブなどの要請に応じて、積極的に出前体験室を実施した。また月に1回発行される「新都心かわら版」には、展覧会をはじめ各種の詳細な情報を発信、誘客に努めた。

（赤嶺 昌樹）

## VIII. 調査研究等の活動

### 1. 調査・研究・講演・著作論文等

金城美奈子

○調査・研究等

- ・「深海探検 海底二万里の世界」展示調査（沖縄美ら海水族館・本部町）（2015年6月3日、6月18日）
- ・「深海探検 海底二万里の世界」展示調査（国立研究開発法人海洋研究開発機構・国際海洋環境情報センター（GODAC）・名護市）（2015年6月8日）
- ・「深海探検 海底二万里の世界」展示資料借用及び返却（沖縄美ら海水族館・本部町、国立研究開発法人海洋研究開発機構・国際海洋環境情報センター（GODAC）・名護市）（2015年7月7日、9月7日）

仲里なぎさ

○調査・研究等

- ・「報道カメラマン大城弘明×山城博明写真展—二人が撮らえた沖縄・終わらない戦後」展示調査（山城博明氏宅・南風原町）（2015年2月5日）
- ・「深海探検 海底二万里の世界」展示調査（沖縄美ら海水族館・本部町、2015年6月3日、6月18日）
- ・「深海探検 海底二万里の世界」展示調査（国立研究開発法人海洋研究開発機構・国際海洋環境情報センター（GODAC）・名護市）（2015年6月8日）

大濱 萌子

○講演

- ・名称：「第5回ミュージアムエデュケーター研修 事例紹介  
博物館の現場から美術館ボランティアとスタッフが考える“ゆらぎ”を活用した美術館体験」
- 期日：2015年9月10日
- 依頼機関：文化庁文化財部美術学芸課

## IX. 研修

### 1. 職員研修

#### （1）全体研修

来館者サービスの向上を目指し、文化の杜・友の会・happ・コングレに所属するアルバイトスタッフの全体研修を実施した。「IPMの取り組み」・「非常時の避難誘導とAEDの使用法」・「マニュアル研修」・「グループディスカッション」を行い、来館者サービス業務に携わるスタッフの意識向上、情報共有を図った。

実施日：4月19日（日）15：00～19：00、27日（月）13：00～17：00

※同内容を2回実施、いずれかの回に必ず出席。

場所：博物館講座室

講師：仲里健（博物館班）、平川孝盛（中央監視）、渡部貴子（文化の杜）

参加者：165人【総合案内、もぎり、展示交流員（企画展・特別展＝文化の杜、博物館常設展示室＝博物館友の会、美術館コレクションギャラリー＝happ）、ふれあい体験室、情報センター、発券窓口】

#### （2）企画展研修

来館者サービス向上を目指し、特別展や企画展の開催を前に、展示会の担当学芸員を講師に現場スタッフを対象とした研修を実施した。展示の概要や目玉展示、監視業務を行う上で注意すべき事柄などを説明した。対象は、文化の杜・コングレ所属のアルバイトスタッフ（総合案内・発券・情報センター・もぎり・展示交流員）。

##### ①博物館企画展「うちくい展」、美術館企画展「ディズニー展」

実施日：4月28日（火）18：15～20：30

場所：博物館企画展示室、博物館特別展示室1・2、美術館企画ギャラリー

講師：與那嶺一子（博物館班）、國吉貴奈（文化の杜）

参加者：51人

##### ②美術館企画展「石田尚志—渦巻く光展」

実施日：9月17日（木）18：15～19：30

場所：博物館講座室、美術館企画ギャラリー

講師：玉那覇英人（美術館班）

参加者：59人

##### ③博物館特別展「琉球弧の葬墓制—風とサンゴの吊い—」

実施日：9月24日（木）14：00～16：00

場所：博物館講座室、美術館企画ギャラリー

講師：大湾ゆかり（博物館班）

参加者：56人



④美術館企画展「大嶺政寛展」

実施日：10月24日（月）14:00～15:30

場所：博物館講座室、美術館企画ギャラリー1・2

講師：仲里安弘(美術館班)

参加者：47人

⑤博物館企画展「大気と気象～見えない空気の“力と技”～」

実施日：1月25日（月）14:00～15:30

場所：博物館講座室、博物館企画展示室

講師：仲里健(博物館班)

参加者：54人

⑥「エヴァンゲリオン展」

実施日：3月24日（木）18:15～19:30

場所：博物館講座室、博物館企画・特別展示室1・2

講師：石底辰野(沖縄タイムス)、神村靖宏(グランドワークス)

参加者：32人



(平良 亜紀子・渡部 貴子)





# 全館共同事業

- I 学芸員実習及び職場体験学習
- II 国際博物館の日
- III 移動展
- IV 燻蒸・消毒処理
- V 刊行物
- VI 展覧会一覧

# I. 学芸員実習及び職場体験学習

## 1. 博物館実習

当館では、1969（昭和44）年に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回（6月、8月）に実施している。

2015年度の学芸員実習は前期（6月17日～30日）、後期（8月12日～25日）とも内容は下記のとおりである。

### 1. 実習内容と指導職員

講義・実習	指導者
博物館施設・事業概要	園原
美術館施設・事業概要	仲村
IPMへの取り組み	仲里
博物館展示の実際	與那嶺
課題研究 実習生は前期では「自然史・美工・歴史・民俗・考古」の1班、後期は「自然史」、「美工・歴史・民俗・考古」の2班に分かれ、エントランスホールの一角でミニ企画展を実施した。その過程には以下の作業が含まれる。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             展示企画立案              資料調査・選定・借受交渉              パネル・キャプション作成              資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品              資料配置・撤収              展示解説、観覧者調査、総括発表           </div>	自然史分野 仲里、山崎 藤田、山崎  美工・歴史分野 與那嶺、外間 石垣、崎原  民俗・考古分野 大湾、片桐 三枝
教育普及実習	金城、比嘉

### 2. 実習生

前 期			後 期		
1	新垣 俊	琉 球 大 学	1	久田沙矢香	琉 球 大 学
2	宮里 有紀		2	大城 絹子	
3	長本 皓平		3	島袋 翔太	
4	松岡 幸歩		4	上原 綾乃	
5	仲村 誠史		5	源河 秀尚	
6	富里 李帆		6	前原由依子	
			7	安里 愛梨	沖 縄 国 際 大 学
			8	石原 昌併	
			9	伊藝寿弥子	
			10	糸数夫美恵	京 都 精 華 大 学

（園原 謙）

## 2. 美術館実習

美術館では、県内大学や県出身者で県外の大学で学芸員資格所得を目指す実習生を対象に、2015年度は8月25日（火）～9月7日（月）の10日間、学芸員実習を下記の通り実施した。

## 1. 実習内容と指導職員

講義・実習	担当	講義・実習	担当
I PMへの取り組み	仲里（博）	美術館業務の考え方と実際	前田
美術館活動概要及び施設・設備	仲村	監視ボランティア体験	仲村
展示公開事業の実際 I	仲里	共通課題研究（ミニ企画展）	仲村
資料の分類・情報処理	大城	平面資料の取り扱い（版画）	梶原
教育普及事業プログラム実習	仲村・島筒	展示公開事業の実際 II	玉那覇
織物作品の取扱	大城	資料の保存・修復の実際	梶原
立体資料の取り扱い（彫刻）	玉那覇	資料の修復実習 I・II	梶原
調査研究概要	豊見山	収集事業概要	玉那覇
平面資料の取り扱い I（油彩画）	豊見山	教育普及プログラム演習 I	仲村・島筒
教育普及プログラム演習 II	仲村・島筒		

## 2. 実習生

1	福井沙羅	沖縄県立芸術大学
2	高濱晴佳	
3	土江真樹子	武蔵野美術大学

（仲村 保）

## 3. 職場体験受け入れ

基本的な体験内容は、ふれあい体験室、ショップ、もぎり、文化の杜総務、情報センターでの接客業務や事務作業等。初日の午前中は博物館班で受入（園原班長対応）、バックヤードや展示室の案内、学芸員の仕事を紹介した。

- ①学校名：那覇市立安岡中学校（2人）  
期間：9月2日～4日
- ②学校名：沖縄県立那覇工業高等学校（2人）  
期間：9月30日～10月2日
- ③学校名：沖縄県立中部商業高等学校（2人）  
期間：10月27日～29日



（島袋 百恵）

## II. 国際博物館の日

名称：2015年5月18日「国際博物館の日」  
会期：2015年5月8日（木）～5月25日（日）（18日間）  
会場：パネル展：エントランスホール ワークショップ：ふれあい体験室前

### 【開催趣旨】

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：イコム）によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館活動を広く報せ、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。

### 【実施内容】

博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるためにエントランスホールにてパネル展示を実施した。無料入館日の設定や、バックヤードツアー、ワークショップ等を実施した。

○パネル展 2015年5月8日（金）～5月24日（日）  
パネル展の目的、ICOM・「国際博物館の日」の説明、今年度の行事や講座などの紹介、沖博協加盟館の紹介、「沖縄の博物館ガイド」の紹介、展示会の様子、学芸員の仕事、ボランティア・友の会・happ等の活動の様子、指定管理者の仕事、過去に実施した展覧会のチラシ展示、

○無料入館日 2015年5月16日（土）（企画展はのぞく）

○バックヤードツアー 2015年5月16日（土）

時 間：博物館 9:30～10:30

美術館 11:00～12:00

受 付：9:00～ 総合案内にて

定 員：当日先着24名（各回とも12名まで）

参加料：無料

○修復作業一般公開（美術館） 2015年5月16日（土）14:00～15:00

○ワークショップ ふれたい博士の「てづくりおもちゃ」（「うまぐわあー」「カタツムリ」など）  
2015年5月16日（土）

時 間：1回目10:00 2回目10:30 3回目11:00 4回目12:00

各回30分（同一内容）

受 付：9:00～ ふれあい体験室にて

定 員：当日先着40名（各回とも10名まで）

参加料：100円

（石垣 忍）

### Ⅲ. 移動展

名 称：平成27年度 沖縄県立博物館・美術館「第8回移動展in伊是名島」

会 期：2015年10月9日（金）～11日（日） 9:00～17:00

開 催 地：伊是名村産業支援センター

観 覧 料：無料

入場者数：508名

#### 【開催趣旨】

ふだん沖縄県立博物館・美術館に足を運ぶことができない離島や遠隔地の方々に、厳選された収蔵品を移動展として見てもらうことによって、沖縄の自然・歴史・文化の広域な普及を図ると共に、美術作品について鑑賞・学習する機会を提供する。

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、文化の杜共同企業体、伊是名村、  
伊是名村教育委員会

後援・協力：沖縄博物館友の会、沖縄県立美術館支援会happ

#### 【展示内容】

博物館資料：

①「世界の化石と輝く石」……………恐竜の骨格標本、化石、岩石・鉱物の展示

②「沖縄の自然、歴史、文化」……沖縄の自然・歴史・文化に関する総合展示

美術館資料：

①「沖縄の美術」……………沖縄を代表する美術家達の作品を展示

②「沖縄の映画」……………県出身映画監督作品を上映

#### 【関連催事】

○博物館・美術館 安里進館長による講演会

演 題：「伊是名玉御殿の魅力と謎」

会 場：伊是名村産業支援センター



日 時：2015年10月9日（金）18:30～19:30  
対 象：一般  
参 加 料：無料

○博物館学芸員による学芸講座

演 題：「伊是名島の成り立ち～古生代からの物語」 仲里健（地学担当）  
会 場：伊是名村産業支援センター  
日 時：2015年10月10日（土）15:00～16:00  
対 象：一般  
参 加 料：無料

○伊是名島ジオツアー

テ ー マ：「太古と今をつなぐジオツアー」 仲里健（地学担当）  
集 合：伊是名村産業支援センター  
日 時：2015年10月10日（土）10:00～12:00  
対 象：一般  
参 加 料：無料



○伊是名村ふれあい民俗館展示解説会

集 合：伊是名村ふれあい民俗館  
日 時：2015年10月11日（日）15:00～16:00  
対 象：一般  
参 加 料：無料  
担 当：園原謙（美術工芸）、石垣忍（歴史）、片桐千亜紀（考古）



○美術館：ギャラリートーク（教育普及担当）

会 場：伊是名村産業支援センター  
日 時：10月10日（土）11日（日）13:00～14:00（※適宜開催）  
対 象：一般  
参 加 料：無料  
定 員：なし

○「骨スーツで遊ぼう！」

会 場：伊是名村産業支援センター  
日 時：2015年10月9日（金）～11日（日）※適宜開催  
対 象：一般  
参 加 料：無料  
定 員：なし

○「ちむドンドン（紙芝居と琉球楽器）体験」※適宜開催

会 場：伊是名村産業支援センター  
日 時：2015年10月9日（金）～11日（日）  
対 象：一般  
参 加 料：無料  
定 員：なし

【出前授業】

美術館出前授業①

日 時：2015年10月7日（水）  
対 象：伊是名村立伊是名小学校5・6年  
内 容：アートカードを活用した鑑賞  
授 業 者：仲村 保（教育普及担当）

美術館出前授業②

日 時：2015年10月8日（木）  
対 象：伊是名村立伊是名小学校1・2年、3・4年生



内 容：アートカードを活用した鑑賞  
授 業 者：仲村 保（教育普及担当）

美術館出前授業③

日 時：2015年10月8日（木）  
対 象：伊是名村立伊是名中学校1・2年生  
内 容：ティーチャーズキッドとアートカードを活用した鑑賞  
授 業 者：島筒 格（教育普及担当）

博物館出前授業①

日 時：2015年10月7日（水）  
対 象：伊是名村立伊是名中学校1～3年生  
内 容：「生き物のすすめ」  
授 業 者：山崎 仁也（生物担当）

博物館出前授業②

日 時：2015年10月9日（金）  
対 象：伊是名村立伊是名中学校1～3年生  
内 容：「尚円王生誕600年 伊是名から沖縄の歴史を考える」  
授 業 者：石垣 忍（歴史担当）

【展示品リストー博物館ー】

〔地学系〕

No.	名 称	数量	種別	No.	名 称	数量	種別
1	サウロロフス	1	資料	18	カルサイト	1	資料
2	サウロロフスの皮膚化石	1	資料	19	重晶石（砂漠のバラ）	1	資料
3	プロバクトサウルス	1	資料	20	レインボーストーン	1	資料
4	プロトケラトプス	1	資料	21	黒曜石	1	資料
5	アンモナイト	2	資料	22	メノウ	2	資料
6	マンモスの歯	1	資料	23	赤鉄鉱	1	資料
7	カルカロドン・メガロドン	1	資料	24	黄鉄鉱	1	資料
8	アンモナイト	1	資料	25	黄銅鉱	1	資料
9	ハロビア	1	資料	26	ガーネット	1	資料
10	リュウキュウジカ（オス）	1	資料	27	ザクロ石片麻岩（南極）	1	資料
11	リュウキュウカシキオン（オス）	1	資料	28	蛍光鉱物一式	6	資料
12	珪化木	1	資料	29	アメジスト	1	資料
13	三葉虫	1	資料	30	隕石	1	資料
14	貝化石	1	資料	31	地質図	1	パネル
15	植物化石	1	資料	32	蛍光鉱物説明用パネル	1	パネル
16	魚化石	1	資料	33	地質年表	1	パネル
17	水晶	1	資料				

〔生物系〕

No.	名 称	数量	種別	No.	名 称	数量	種別
1	ナミエガエル	1	レプリカ	10	ハブ（久米島）	1	本剥製
2	ホルストガエル	1	レプリカ	11	ヨナグニシュウダ	1	本剥製
3	イシカワガエル	1	レプリカ	12	コアホウドリ	1	本剥製
4	ハナサキガエル	1	レプリカ	13	カツオドリ	1	本剥製
5	イボイモリ	1	レプリカ	14	コウノトリ	1	本剥製
6	リュウキュウヤマガメ	1	本剥製	15	シロフクロウ	1	本剥製
7	アカマタ	1	本剥製	16	ニホンキジ	1	本剥製
8	ハブ	1	本剥製	17	ホントウアカヒゲ	1	本剥製
9	ハブ（幼体）	1	本剥製	18	ミサゴ	1	本剥製

No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
19	ヤマセミ	1	本剥製	26	ケナガネズミ	1	本剥製
20	ノグチゲラ	1	本剥製	27	オキナワトゲネズミ	1	本剥製
21	ヤンバルクイナ	1	21	28	オキナワトゲネズミ	1	骨格標
22	ヤンバルクイナ (ヒナ)	1	22	29	ウミホタル	1	拡大模
23	アマミノクロウサギ	1	23	30	アクリル大ケース	3	標本箱
24	オリイオオコウモリ	1	24	31	アクリル小ケース	6	標本箱
25	カグラコウモリ	1	25	32	ハチの巣ふわふわ	1	

### 〔人類〕

No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
1	ネアンデルタール復元模型	1	模型・ 背景パネル	6	ホモサピエンスの拡散	1	グラフィック パネル
2	港川人1号頭骨複製	1	複製	7	沖縄県内の出土人骨	1	グラフィック パネル
3	白保竿根田原洞穴出土人骨 (2万年前)	3	複製	8	大山盛保氏と港川人の発見	1	グラフィック パネル
4	山頂洞101号人頭骨	1	複製	9	ピンザアブ人骨複製	6	レプリカ
5	クロマニヨン人頭骨	1	複製	10	琉球列島更新世の動物	1	グラフィック パネル

### 〔考古〕

No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
1	萩堂式土器	1	資料	20	貝匙	1	レプリカ
2	大当原式土器	1	資料	21	石斧	1	資料
3	下田原式土器	1	資料	22	石斧	1	資料
4	骨製鏃	1	資料	23	類須恵器の壺	1	資料
5	骨製針	1	資料	24	炭化米	1	資料
6	蝶形骨器	1	資料	25	青磁碗	1	資料
7	蝶形骨器	1	レプリカ	26	青磁皿	1	資料
8	蝶形骨器	1	レプリカ	27	白磁小皿	2	資料
9	ゴホウラ製貝輪 (金隈型)	1	レプリカ	28	染付碗	1	資料
10	ゴホウラ製貝輪 (立岩型)	1	レプリカ	29	染付皿	1	資料
11	ゴホウラ製貝輪 (大友型)	1	レプリカ	30	線刻石板	1	資料
12	イモガイ製貝輪 (縦型)	1	レプリカ	31	沖縄考古学年表	1	資料
13	イモガイ製貝輪 (横型)	1	レプリカ	32	先史時代の生活	1	資料
14	貝斧	1	資料	33	遺跡から出土する生物の生息域	1	資料
15	貝斧着柄	1	資料	34	貝が運ばれた道	1	資料
16	貝符	3	レプリカ	35	貝輪の製作工程	1	資料
17	ゴホウラ	1	資料	36	イモガイ・ゴホウラ製品の主な出土地	1	資料
18	イモガイ	1	資料	37	グスクとその時代	1	資料
19	ヤコウガイ	1	資料	38	線刻石板の謎	1	資料

### 〔歴史〕

No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
1	旧首里城正殿鐘 (万国津梁の鐘)	1	複製	7	おもろさうし	2	複製
2	かんざし	6	資料	8	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	1	複製
3	金円通宝・世高通宝・大世通宝	3	資料	9	琉球国惣絵図 (間切集成図)	1	複製
4	鳩目銭 (一括)	10	資料	10	首里城開園	1	写真パネル
5	琉球通宝 (円形)	2	資料	11	首里城正殿 (鎌倉芳太郎氏撮影)	1	写真パネル
6	琉球通宝 (楕円形)	2	資料	12	尚円王御後絵 (鎌倉芳太郎氏撮影)	1	写真パネル

〔美術工芸〕

No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
1	黒漆双龍螺鈿盆	1	資料	9	沖縄の絵画	1	パネル
2	沖縄の漆器	1	パネル	10	木綿白地飛鳥に琉水蛇籠葵菖蒲文様衣裳	1	レプリカ
3	螺鈿づくり用キット	1	資料	11	紅型について	1	パネル
4	屋根獅子	1	資料	12	紅型の道具キット	1	資料
5	玉陵石彫獅子	2	レプリカ	13	芭蕉布	1	資料
6	沖縄の彫刻	1	パネル	14	芭蕉布について	1	パネル
7	風俗図 王子様図	1	資料	15	芭蕉の糸づくりキット	1	資料
8	風俗図 芋売人	1	資料	16	芋麻の糸づくりキット	1	資料

〔民俗〕

No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
1	カビドイ (宮古風)	1	資料	8	虎グワー (張り子)	1	資料
2	八角凧 (八重山風)	1	資料	9	犬グワー (張り子)	1	資料
3	風弾	1	資料	10	チンチン馬グワー (張り子)	1	資料
4	ヤカジ	1	資料	11	猿面	1	資料
5	ホートグワー (張り子)	1	資料	12	鬼面	1	資料
6	ウッチリクブサー (張り子)	2	資料	13	解説パネル	3	パネル
7	ジュリウマ (張り子)	1	資料				

〔教育普及〕

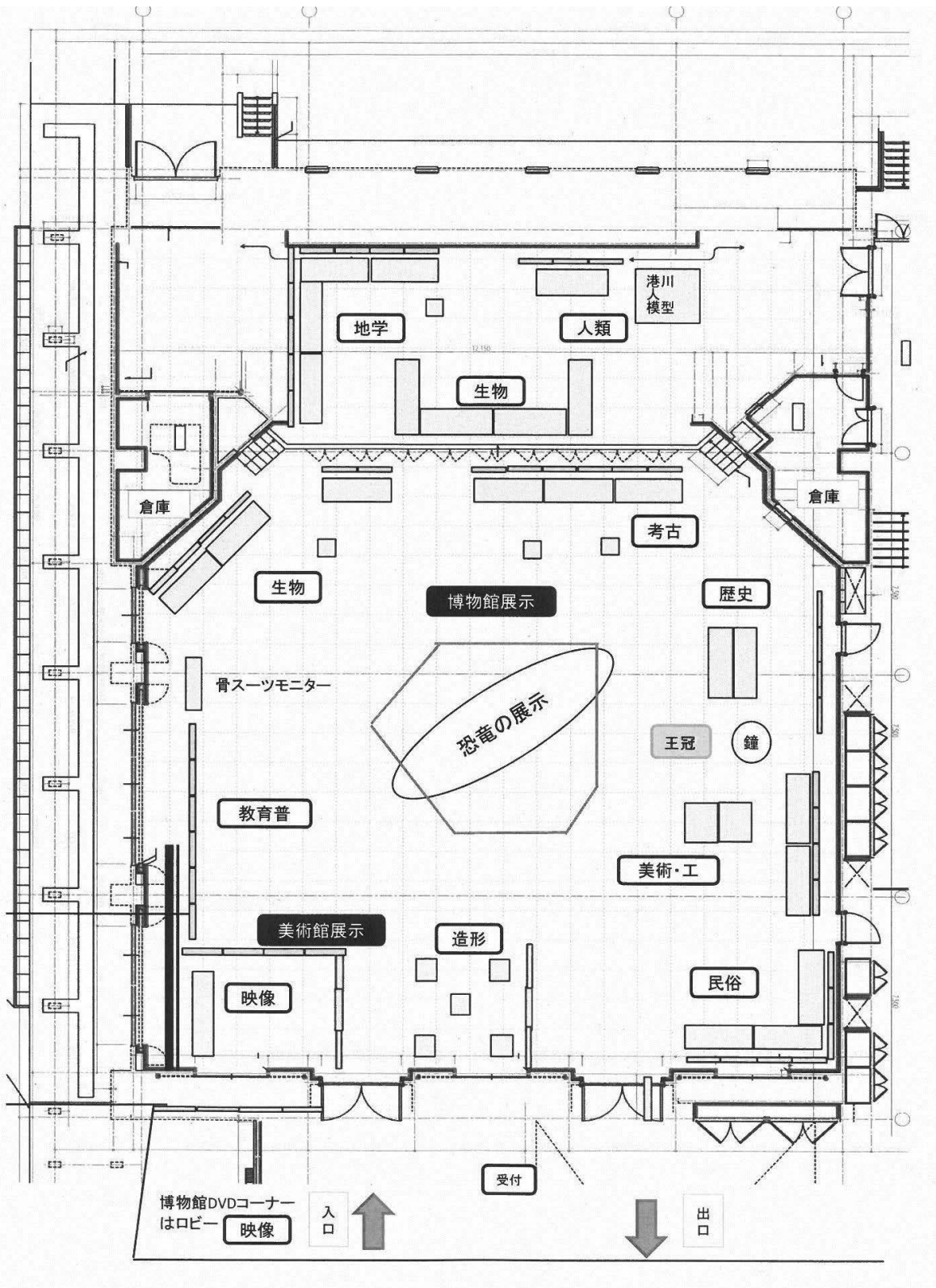
No.	名称	数量	種別	No.	名称	数量	種別
1	「ちむドンドン」	1セット	制作物	3	活動紹介パネル	8	パネル
2	「骨スーツ」	1セット	制作物				

【展示品リストー美術館ー】

No.	作品名	作家名	規格	制作年	種別
1	目しいた野良猫	玉那覇 正吉	H430×W160×D180	1968	造形
2	少年像	玉那覇 正吉	H365×W180×D240	1978	造形
3	サンゴシリーズ1	ゴヤ フリオ	532×624×1121	2001	造形
4	三美德	ゴヤ フリオ	230×298×597	2005	造形
5	ポライオーロ	丸山 映	480×300×295	1977	造形
6	吉屋 チルー物語	金城 哲夫	98分	1962	映像
7	沖縄列島	東 陽一	90分	1969	映像
8	パラダイスビュー	高嶺 剛	113分	1985	映像
9	ウンタマギルー	高嶺 剛	120分	1989	映像



【展示平面図】



#### IV. 燻蒸・消毒処理

2015年度は、2007年度から実施している総合的防害虫管理（IPM）の運用を継続して行い、活動として、年2回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPMモニタリング等を行い、毎月1回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行っている。その目的は、収蔵資料の保存管理のため、定期的な消毒作業を行い、保存環境の適正化に努めている。



(1) 2015年度 全館燻蒸・消毒処理

第1回 全館燻蒸・消毒

期 間：2015年6月29日(月)～7月7日(火) 9日間

消毒箇所：全館

使用薬剤：シフェノトリン(商品名：ミラクンGX)

投 薬 量：0.7～7g/m以下

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

第2回 燻蒸・消毒

期 間：2016年1月17日(日)(閉館後)～1月19日(火) 3日間

消毒箇所：収蔵庫・バックヤード(美)・実習準備室

使用薬剤：シフェノトリン(商品名：ミラクンGX)

投 薬 量：0.7～7g/m以下

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

(2) 簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置(博物館3ヶ所、美術館2か所、県民ギャラリー1か所)を設置、毎日深夜に散布(スミスリン乳剤)し、開閉する場所の害虫駆除を実施している。

又、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろう君」(二酸化炭素)を実施している。

(宮里 宗彦)

## V. 刊行物

(全体)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	沖縄県立博物館・美術館 年報No.8	定期	400	A4 (210)	前年度の博物館・美術館活動報告
2	沖縄県立博物館・美術館 行事案内—平成27年度—	〃	30,000	A3 (四折)	博物館・美術館行事案内

(博物館班)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要第9号	定期	600	A4 (128)	博物館学芸員の調査研究報告書
2	平成27年度博物館教育普及活動	〃		A4 (148)	博物館教育普及活動報告
3	博物館企画展「新収蔵品展—平成26年度収蔵資料—」	〃	500	A4 (16)	博物館企画展 図録
4	〃 ポスター		10	A2	〃 告知ポスター
5	〃 チラシ		1,000	A4	〃 告知チラシ
6	平成27年度博物館特別展 琉球弧の葬墓制—風とサンゴの弔い—	不定期	1,000	A4 (64)	博物館特別展図録
7	〃 ポスター	〃	1,500	B2	〃 告知ポスター
8	〃 チラシ	〃	50,000	A4	〃 告知チラシ
9	平成27年度 博物館企画展 うちくい—沖縄のふるしき—	〃	500	A5 (74)	博物館企画展 図録
10	〃 ポスター	〃	200	B2	〃 告知ポスター
11	〃 チラシ	〃	20,000	A4	〃 告知チラシ
12	戦後70年・生誕130年記念 博物館特別企画 巨匠真山がみつめた平和の色とかたち	〃	500	A4 (13)	博物館特別企画図録
13	〃 チラシ	〃	1,000	A4	〃 告知チラシ
14	平成27年度 九州歴史博物館×沖縄県立博物館・美術館 企画展「沖縄の旧石器人と人類の起源」図録	〃	500	B5 (60)	博物館企画展 図録
15	〃 ポスター	〃	1,000	B2	〃 告知ポスター
16	〃 チラシ	〃	20,000	A4	〃 告知チラシ
17	沖縄県南城市サキタリ洞遺跡の発掘	不定期	3,000	A4 (14)	パンフレット



	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
18	平成27年度 沖縄県立博物館・美術館 企画展 大気と気象～見えない空気の “力と技”	〃	1,000	A 5 (52)	博物館企画展 図録
19	〃 ポスター	〃	1,000	B 2	〃 告知ポスター
20	〃 チラシ	〃	10,000	A 4	〃 告知チラシ
21	沖縄県立芸術大学開学30周年記念事業 沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美 術館 コラボ企画「芸大の御宝展～もの と ひとをつくる～」ポスター	〃	1,000	B 2	沖縄県立芸術大学開学30 周年記念事業 沖縄県立 芸術大学×沖縄県立博物 館・美術館 コラボ企画告 知ポスター
22	〃 チラシ	〃	10,000	A 4	〃 告知チラシ
23	サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書Ⅲ	〃	500	A 4 (116)	報告書

(美術館班)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要第 6号	定期	500	A 4 (133)	美術館学芸員の調査研究 報告書
2	平成27年度美術館教育普及活動	〃	500	A 4 (26)	美術館教育普及活動報告
3	特別企画展「戦後70年特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンパス」図録	不定期	500	A 4 (168)	美術館企画展 図録
4	〃 ポスター	〃	1,000	B 2	〃 告知ポスター
5	〃 チラシ	〃	25,000	A 4	〃 告知チラシ
6	〃 作品目録	〃	4,000	A 3 (二折)	〃 作品目録
7	「石田尚志 渦まく光」展ポスター	〃	1,000	B 2	美術館企画展 告知ポスター
8	〃 チラシ	〃	15,000	A 3 (二折)	〃 告知チラシ
9	〃 作品目録	〃	3,000	A 3	〃 作品目録
10	沖縄の美術シリーズ5「大嶺政寛展 - 情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めて-」 図録	〃	500	A 4 (160)	美術館企画展 図録
11	〃 ポスター	〃	600	B 2	〃 告知ポスター
12	〃 チラシ	〃	15,000	A 4	〃 告知チラシ
13	〃 作品目録	〃	3,000	A 3	〃 作品目録

(指定管理者)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	報道カメラマン大城弘明×山城博明写 真展-二人が撮らえた沖縄・終わらない 戦後 ポスター	不定期	1,000	B 2	企画展 告知ポスター
2	〃 チラシ	〃	70,000	A 4	〃 告知チラシ
3	ディズニー夢と魔法の90年展-ミッキ ーマウスからピクサーまで- ポ スター	〃	700	B 2	〃 告知ポスター
4	〃 チラシ	〃	80,000	A 4	〃 告知チラシ
5	〃 チラシ	〃	105,000	B 5	〃 告知チラシ
6	〃 チラシ (外国語)	〃	2,000	A 4	〃 告知チラシ
7	深海探検 海底二万里の世界 ポスタ ー	〃	1,700	B 2	〃 告知ポスター
8	〃 チラシ	〃	153,000	A 4	〃 告知チラシ
9	〃 ポストカード	〃	1,000	100mm×148mm	〃 告知ポストカード
10	大哺乳類展 ポスター	〃	300	B 2	〃 告知ポスター
11	〃 ポスター	〃	500	B 3	〃 告知ポスター
12	〃 チラシ	〃	105,000	A 4	〃 告知チラシ
13	〃 チラシ	〃	200,000	A 5	〃 告知チラシ

## VI. 展覧会一覧 (2015年度)

	展 示 会 名	場 所	主 催	期 間
1	うちくいー沖縄のふるしきー	博物館特別展示室1・2、 企画展示室	沖縄県立博物館・美術館	4/28～6/21
2	ディズニー 夢と魔法の90年展 ーミッキーマウスからピクサーまで	美術館企画ギャラリー1・2	ディズニー 夢と魔法の90年展実行委員会、文化の杜企業共同体、沖縄タイムス社	4/28～6/28
3	戦後70年 特別企画展 ニシムイ 太陽のキャンパス	美術館コレクションギャラリー1・2・3	沖縄県立博物館・美術館	6/13～3/13
4	戦後70周年記念国頭地区文化財行政連絡協議会25周年記念 『やんばるの戦争遺跡』	エントランスホール	国頭地区文化財行政連絡協議会、沖縄県立博物館・美術館	6/18～6/28
5	深海探検 海底二万里の世界	博物館特別展示室1・2、 企画展示室	文化の杜企業共同体、沖縄テレビ放送	7/17～8/30
6	大哺乳類展 ぼくらの仲間たち	美術館企画ギャラリー1・2	沖縄タイムス社、文化の杜共同企業体	7/18～9/6
7	石田尚志 渦巻く光 BILLowing LIGHT: ISHIDA TAKASHI	美術館企画ギャラリー1・2	沖縄県立博物館・美術館	9/18～10/6
8	琉球弧の葬墓制ー風とサンゴの 吊いー	博物館特別展示室1・2、 企画展示室	沖縄県立博物館・美術館	9/25～11/23
9	戦後70年・生誕130年記念 博物館特別企画 巨匠真山がみつめた平和のいろとかたち	博物館常設展示室 歴史部門 展示室	沖縄県立博物館・美術館、公益財団法人沖縄協会	11/17～2/21
10	沖縄の美術シリーズ5 大嶺政寛展ー情熱の赤瓦 沖縄の原風景を求めてー	美術館企画ギャラリー1・2	沖縄県立博物館・美術館	11/25～12/27
11	新収蔵品展ー平成26年度収蔵資料ー	博物館企画展示室	沖縄県立博物館・美術館	12/8～1/11
12	大嶺薫コレクションー探求する心とその世界ー	博物館特別展示室2	沖縄県立博物館・美術館	12/17～1/31
13	大気と気象ー見えない空気の“力と技”ー	博物館企画展示室	沖縄県立博物館・美術館	1/26～3/6
14	平成27年度 九州歴史資料館× 沖縄県立博物館・美術館 企画展 「沖縄の旧石器人と人類の起源」	九州歴史資料館 第1・第2・ 第4展示室	沖縄県立博物館・美術館	1/27～2/28
15	木 梨 憲 武 展 × 20years INSPIRATIONー瞬間の好奇心ー	美術館企画ギャラリー1・2	沖縄県立博物館・美術館、沖縄テレビ放送	2/9～3/20
16	沖縄県立芸術大学×沖縄県立博物館・美術館 コラボ企画展 「芸大の御宝展ーものとひとをつくる」	博物館特別展示室1・2	沖縄県立芸術大学、 沖縄県立博物館・美術館	2/26～3/13
17	パブロ・ピカソ ゲルニカ (タピスリ) 沖縄特別展ー戦後70年、今 ゲルニカで考えるー Pablo Picasso Gernica(tapestry) Okinawa special exhibition	美術館コレクションギャラリー ー2	沖縄県立博物館・美術館、琉球朝日放送(株)、(協) 沖縄産業計画 (パブロ・ピカソ ゲルニカ (タピスリ) 沖縄特別展実行委員会)	3/19～4/17
18	沖縄の昔話・伝え話ー沖縄伝承話資料展ー	エントランスホール	沖縄県立博物館・美術館、NPO法人沖縄伝承話資料センター	3/23～3/27

# その他の活動

- I 沖縄県博物館協会
- II 全国組織との関わり
- III 沖縄博物館友の会
- IV happ (美術館友の会)

## I. 沖縄県博物館協会

当館からの参加者については「博物館 I. 調査研究等の活動 7. 職員研修」の項を参照のこと。

### 【総会・春の研修会】

期 日：2015年5月14日（木）～15日（金）

場 所：沖縄県平和祈念資料館 講座室

総 会：議案第1号 平成26年度事業実施報告について  
議案第2号 平成26年度決算報告 会計監査結果報告  
議案第3号 平成27年度事業計画案  
議案第4号 平成27年度予算案  
議案第5号 役員の改選について  
その他 新規加入の希望について（個人会員）

研 修 会：講 演 「沖縄戦の“記憶”の保存と継承のあり方」  
安齋育郎（安齋科学・平和事務所所長 立命館大学名誉教授）  
事例報告1 「“記憶”を繋ぐ、“記憶”を保存する、“記憶”を継承するー70年、40年、10年、3つの節目を迎えてー」古謝将史（沖縄県平和祈念資料館主査）  
事例報告2 「沖縄戦における陸軍病院壕内の臭気再現」  
上地克哉（前南風原町立南風原文化センター学芸員）  
事例報告3 「体験がない人が何を語るのかーひめゆり平和祈念資料館の新しい平和講話づくり」仲田晃子（ひめゆり平和祈念資料館説明員）

### 【秋の研修会】

期 日：2015年11月26日（木）～27日（金）

場 所：奄美市博物館

研 修：研修1 「紙芝居を活用した展示と文化財巡り」田里 一寿（宜野座村立博物館）  
研修2 「金武町の歴史文化案内に関する取り組みについて」仲間 陽子（金武町教育委員会）  
研修3 「地域資源を活用した企画展」後藤 法宣（恩納村博物館）

現地視察：原野農芸博物館

## II. 全国組織との関わり

### 1. 日本博物館協会

(1) 全国博物館館長会議

期 日：2015年6月9日（火）

場 所：文部科学省講堂

参 加 者：安里 進

### 2. 国立科学博物館主催 S-Net関連研修

(1) 第23回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研修会

期 日：2015年8月31日（月）

場 所：国立科学博物館 上野本館

参 加 者：山崎仁也

概 要：講座1 「北海道大学総合博物館の標本資料データベース構築、多すぎる問題点ー昆虫コレクションを例としてー」大原昌宏  
講座2 「東大総合研究博物館での標本資料データベース構築とその公開発信ー昆虫コレクションを例としてー」矢後勝也  
講座3 「鹿児島大総合研究博物館における魚類標本データベースの構築」本村浩之

(2) 全国科学博物館協議会総会及び研究発表大会

期 日：2016年2月25日（木）～26日（金）

場 所：富山市科学博物館

参 加 者：山崎仁也、仲里健

概 要：テーマ「科学系博物館における展示の新しい可能性ー事実の伝達と演出のチャレンジー」のもと、事例発表17件を含む活発な討議があった。

### 3. 全国歴史民俗系博物館協議会

(1) 第4回年次集会

期 日：2015年7月23日（木）～24日（金）

場 所：名古屋市博物館

参加者：園原 謙

内 容：総会及び研究集会（テーマ：資料を守る・まさかのための日ごろの備え）、見学会（名古屋城）

### 4. 九州博物館協議会

(1) 学芸員・事務職員研修会

期 日：2015年10月1日（木）～2日（金）

場 所：佐賀県立名古屋城博物館

参加者：園原 謙

### 5. 平成27年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」

(1) 第1回全体会議、第1回ワーキング会議

期 日：2015年6月14日（日）～15日（月）

場 所：九州国立博物館

参加者：外間 一先、梶原 正史

(2) 調査情報収集

①関東地方

期 日：2015年7月7日（火）～8日（水）

場 所：宮内庁書陵部、国文学研究資料館、東京文化財研究所

参加者：外間 一先、梶原 正史

②関西地方A：和歌山県

期 日：2015年8月18日（火）～19日（水）

場 所：和歌山県立近代美術館、印南町公民館、美浜町浜ノ瀬公民館

参加者：梶原 正史

③東海地方

期 日：2015年10月26日（月）～28日（水）

場 所：愛知県立美術館、知多市歴史民俗博物館、三重県総合博物館

参加者：島筒 格

④関西地方B：大阪・兵庫・奈良

期 日：2015年12月9日（水）～12日（土）

場 所：人と未来防災センター、神戸大学震災文庫、尼崎市立地域研究史料館、国立民族学博物館、宮内庁正倉院事務所、奈良国立博物館

参加者：外間 一先、玉那覇 英人

⑤東北地方

期 日：2016年1月7日（木）～8日（金）

場 所：東北歴史博物館、奥松島縄文村歴史資料館、石巻市文化財仮設収蔵庫、東北大学災害科学国際研究所

参加者：片桐 千亜紀、梶原 正史

## III. 博物館友の会

沖縄博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55年）に発足した。

本年度の会員の内訳は、一般会員356名、家族会員48家族（97名）、賛助会員4ヶ所。

博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文



化講演会や会員を対象とした研修会を開催し、博物館常設展示室への展示交流員事業を実施した。  
2015年度（平成27年度）の事業内容は以下のとおり。

事業名及び事業内容	
①	<p><b>【交流員研修】</b> 『展示交流員研修・懇親会』 開催日：2015年6月8日（月・休館日） 講話：「戦後の沖縄観光は博物館から始まった」 講師：宮里一夫氏 参加：59名 懇親会：ダイワロイネットホテル 参加者：講話59名、懇親会56名</p>
②	<p><b>【ガイドツアー】</b> 『フクギ並木と熱帯ドリームセンター観察ガイドツアー』 開催日：2015年7月16日（木） 内容：備瀬フクギ並木ガイド付き散策、 熱帯ドリームセンター ガイドツアー、 本部町立博物館、天然記念物塩川見学 参加者：41名</p> 
③	<p><b>【文化講演会】</b> 『トートーメーの継承の今・昔そして未来』 開催日：2015年9月6日（日） 講師：波平エリ子氏（沖縄大学非常勤講師） 内容：沖縄における位牌祭祀をめぐる トートーメー（尊御前）を考える 聴講者：200名余</p> 
④	<p><b>【民俗探訪】</b> 『糸満市真栄里の大綱引き』 開催日：2015年9月28日（月） 内容：大綱引き見学、瀬長島・ウミカジテラス、 沖縄都市モノレールゆいレール展示館見 学等 参加者：26名</p> 
⑤	<p><b>【歴史探訪】</b> 『安里の歴史を歩き・考える』 開催日：2015年11月10日（火） 講師：真栄里泰山氏（安里の歴史研究会） 内容：オランダ屋敷の跡、金満宮、真言宗八幡神 徳寺、安里八幡宮、うちなーぬうたき、 毛國鼎の墓ほか 参加者：33名</p> 
⑥	<p><b>【県外研修】</b> 『琉球使節の跡を訪ねて』 開催日：2015年12月1日（火）～12月3日（木） 2泊3日 内容：「琉球使節、江戸へ行く！」の最終回。 駿府城、清見寺、西見寺、名古屋城、 徳川美術館、瑞泉寺ほか見学 参加者：22名</p> 

事業名及び事業内容	
⑦	<p><b>【海外研修】</b> 『カンボジア研修旅行』 開催日：2016年2月16日（火）～21日（木） 6日間 博物館学芸員同行 内容：世界遺産アンコールトム遺跡、世界遺産タ プロム遺跡、沖縄ゆいまーる小学校見学 参加者：19名</p>



**【会誌発行】**

年1回 博友

**【会員への情報提供】**

- ①友の会通信「ちゃーびら」毎月発行・送付
- ②友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

**【サークル活動】**

家譜サークル（毎月1回勉強会実施）


**【博物館サポート】**

- ①博物館常設展示室展示交流員の配置業務
- ②文化講演会および学芸員講座当日の資料整理と受付
- ③「ボランティア通信」発送、支援
- ④博物館・美術館移動展支援

## IV. happ（特定非営利活動法人 沖縄県立美術館支援会 happ）

happは2005年（平成17年）に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生した。同年9月に特定非営利活動法人の認証を受ける。happという名称は、happyやhappenの起源となるスカンジナビア語の「happ（幸福）」からきている。h=happiness（しあわせ）・happening（できごと）、a=art（アート）、p=people（人々）、p=place（場所）の意味を込めている。アートを身近に感じ、アートを創造するような活動を通じて、それぞれの「happ=しあわせ」を見つけられる場所を作っていきたいと考え、主に美術館の教育普及活動をサポートしていく。

### （1）平成27（2015）年度 主催事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	<p><b>【補助事業】</b> 鑑賞ツアー ガイド育成事業</p>	<p>ゆんたくミュージアムツアーガイド育成講座</p> 	<p>2015年8月29日 ～8月30日</p>	<p>県民スタジオ</p>	<p>11名</p>
2	<p><b>【補助事業】</b> 鑑賞ツアー ガイド育成事業</p>	<p>なつやすみ美術館アート探検ツアー</p> 	<p>2015年7月23日</p>	<p>美術館 コレクション ギャラリー</p>	<p>14組</p>

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
3	【補助事業】 鑑賞ツアー ガイド育成事業	ゆんたくミュージアムツアー ガイド育成講座(プレ)	2015年8月15日	こどもアトリエ	6名
4	【補助事業】 鑑賞ツアー ガイド育成事業	あきやすみ美術館アート探 検ツアー 	2015年10月15日	美術館 コレクション ギャラリー	30組
5	アクション 活性化部会	happ出張ワークショップ in caféやぶさち 	2015年12月6日	Caféやぶさち	11名
6	【補助事業】 鑑賞ツアーガイ ド育成事業	ゆんたく ミュージアムツアー 	2015年5月～ 2016年3月 (計32回)	美術館 コレクション ギャラリー	のべ 83名
7	【補助事業】 鑑賞ツアー ガイド育成事業	happまつり in沖縄県芸術文化祭 	2015年11月23日	屋外展示場、 エントランス ホール	約 2,000名
8	教育普及部会	那覇紙ヒコーキ大会2015 似顔絵コーナー出展 	2015年11月22日	那覇新都心公園 大原っぱ (芝生スペース)	約50名
9	【補助事業】 鑑賞ツアー ガイド育成事業	ゆんたくミュージアムツアー ガイド育成講座 	2016年1月15日 ～1月16日	美術館講座室、 県民スタジオ	約20名

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
10	【補助事業】 鑑賞ツアーガイド育成事業	2015年度 琉球大学教育学部 美術教育専修 卒業展 	平成28年 2月11日	浦添市美術館企 画展示室	約10名
11	情報発信部会	happ news paperの発行 	2015年 4月～ 2016年 3月	happ事務局にて	—
12	情報発信部会	FMレキオ happ step jump ミュージアムアワー	2015年 4月～ 2016年 3月	FMレキオ	—

#### (2) 平成 27 (2015) 年度 受託事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	受託事業	美術館コレクションギャラ リー展示監視業務	2015年 4月～ 2016年 3月	美術館コレクショ ンギャラリー、 happ事務所	40名
2	受託事業	美術館催事チラシデザイン	2015年 4月～ 2016年 3月	happ事務所	—

#### (3) 平成 27 (2015) 年度 販売事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	販売事業	関連図録、冊子等の販売	2015年 4月～ 2016年 3月	ミュージアム ショップ	—

#### (4) 平成 27 (2015) 年度 共催事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	教育普及部会	夏休みこどもフェスタ(似顔 絵教室、キャラクター描 き方教室、キッズカメラマン) 【主催】沖縄県立博物館・美 術館	2015年 8月 1日 ～8月 2日	県民スタジオ、 博物館実習室、 エントランスホール	各回 約30名
2	教育普及部会	沖縄県芸術文化祭 美術体験 教室 似顔絵体験教室 【主催】沖縄県文化振興会	2015年11月 8日	エントランスホール	45名
3	事務局	クリスマスオーナメント づくり 【制作主催】銘苅小学校 PTCA 【展示主催】happ	制作： 2015年12月 5日 展示： 2015年12月19日 ～12月25日	博物館実習室、 エントランスホール	30名

(5) 平成 27 (2015) 年度 協力事業

	事業担当部会	事業内容	日時	開催場所	参加人数
1	事務局	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展(イラストを描こうワークショップ受付) 【主催】沖縄県立芸術大学	2016年1月	happ事務局にて	—
2	【補助事業】 鑑賞ツアー ガイド育成事業	沖縄県立芸術大学・大学院造形芸術研究科卒業・修了作品展(児童作品鑑賞会) 天久小学校5年生対象 【主催】沖縄県立芸術大学	2016年1月29日	美術館企画展示室	104名
3	音・芸部会	2015旗頭と音楽フェスタ 【主催】安岡中学校区青少年健全育成協議会青年部旗頭、NPO法人沖縄管弦楽団	2015年11月3日	美術館屋外展示場	約450名
4	地域連携部会 情報発信部会	地域連携劇「にしむいー太陽のキャンバスー」	2015年11月8日	講堂	各回 約200名
5	教育普及 活動部会	沖縄県立芸術大学開学30周年記念事業 芸大のお宝展 【主催】沖縄県立芸術大学	2016年2月26日 ～3月13日	博物館企画展示室	1,639名



# 関係法規抄録

- 博物館法
- 博物館法施行規則
- 沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
- 沖縄県立博物館・美術館管理規則
- 沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領
- 沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領
- 博物館法施行令
- 博物館の登録に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館館長職務規程

# 関係法規抄録

## ○博物館法

昭和26年12月1日法律第285号  
〔最終改正〕平成26年6月4日法律第51号

### 第1章 総則

#### (この法律の目的)

第1条 この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

#### (定義)

第2条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和25年法律第118号）による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人（独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2条第1項に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。）を除く。）が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。

2 この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。

3 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）をいう。

#### (博物館の事業)

第3条 博物館は、前条第1項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
- (3) 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
- (4) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (5) 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
- (6) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (7) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (8) 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和二十五年法律第二百四十四号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
- (9) 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
- (10) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
- (11) 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。

2 博物館は、その事業を行うに当つては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。

#### (館長、学芸員その他の職員)

第4条 博物館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

#### (学芸員の資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- (1) 学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したものの
  - (2) 大学に2年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補の職にあつたもの
  - (3) 文部科学大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前二号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認めたる者
- 2 前項第2号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するものを含むものとする。

#### (学芸員補の資格)

第6条 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者は、学芸員補となる資格を有する。

#### (学芸員及び学芸員補の研修)

第7条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、学芸員及び学芸員補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

#### (設置及び運営上望ましい基準)

第8条 文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

#### (運営の状況に関する評価等)

第9条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

#### (運営の状況に関する情報の提供)

第9条の2 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

## 第2章 登録

### (登録)

第10条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会に備える博物館登録原簿に登録を受けるものとする。

### (登録の申請)

第11条 前条の規定による登録を受けようとする者は、設置しようとする博物館について、左に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県の教育委員会に提出しなければならない。

- (1) 設置者の名称及び私立博物館にあつては設置者の住所
  - (2) 名称
  - (3) 所在地
- 2 前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。
- (1) 公立博物館にあつては、設置条例の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び予算の歳出の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面
  - (2) 私立博物館にあつては、当該法人の定款の写し又は当該宗教法人の規則の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び収支の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面

### (登録要件の審査)

第12条 都道府県の教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつた場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めるときは、同条第一項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めるときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。

- (1) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。
- (2) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。
- (3) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。
- (4) 1年を通じて150日以上開館すること。

### (登録事項等の変更)

第13条 博物館の設置者は、第11条第1項各号に掲げる事項について変更があつたとき、又は同条第2項に規定する添付書類の記載事項について重要な変更があつたときは、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、第11条第1項各号に掲げる事項に変更があつたことを知つたときは、当該博物館に係る登録事項の変更登録をしなければならない。

### (登録の取消)

第14条 都道府県の教育委員会は、博物館が第12条各号に掲げる要件を欠くに至つたものと認めるとき、又は虚偽の申請に基いて登録した事実を発見したときは、当該博物館に係る登録を取り消さなければならない。但し、博物館が天災その他やむを得ない事由により要件を欠くに至つた場合においては、その要件を欠くに至つた日から2年間はこの限りでない。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定により登録の取消をしたときは、当該博物館の設置者に対し、速やかにその旨を通知しなければならない。

### (博物館の廃止)

第15条 博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、すみやかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、博物館の設置者が当該博物館を廃止したときは、当該博物館に係る登録をまつ消さなければならない。

### (規則への委任)

第16条 この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

第17条 削除

## 第3章 公立博物館

### (設置)

第18条 公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

### (所管)

第19条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

### (博物館協議会)

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

### (入館料等)

第23条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

### (博物館の補助)

第24条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第25条 削除

### (補助金の交付中止及び補助金の返還)

第26条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し第24条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第一号の場合の取消が虚偽の申請に基いて登録した事実の発見に因るものである場合には、既に交付した補助金を、第三号及び第四号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- (1) 当該博物館について、第十四条の規定による登録の取消があつたとき。
- (2) 地方公共団体が当該博物館を廃止したとき。
- (3) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
- (4) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

## 第4章 私立博物館

### (都道府県の教育委員会との関係)

第27条 都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

### (国及び地方公共団体との関係)

第28条 国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

## 第5章 雑則

### (博物館に相当する施設)

第29条 博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県の教育委員会が指定都市の区域内に所在する場合にあつては、当該指定都市の教育委員会が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものについては、第27条第2項の規定を準用する。

### 附 則 (平成23年12月14日法律第122号) 抄

#### (施行期日)

第1条 この法律は、公布の日から起算して2月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

1 附則第6条、第8条、第9条及び第13条の規定 公布の日

### 附 則 (平成26年6月4日法律第51号) 抄

#### (施行期日)

第1条 この法律は、平成27年4月1日から施行する。

#### (罰則に関する経過措置)

第8条 この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

#### (政令への委任)

第9条 附則第2条から前条までに規定するもののほか、この法律の施行に関し必要な経過措置（罰則に関する経過措置を含む。）は、政令で定める。

## ○博物館法施行令

昭和27年3月20日 政令第47号  
〔最近改正〕 昭和34年4月30日 政令第157号

### (政令で定める法人)

第1条 博物館法（以下「法」という。）第2条第1項の政令で定める法人は、次に掲げるものとする。

- 1 日本赤十字社。
- 2 日本放送協会。

### (施設、設備に要する経費の範囲)

第2条 法第24条第1項に規定する博物館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 1 施設費 施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費。
- 2 設備費 博物館に備えつける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費。

### 附 則 (昭和34年4月30日 政令第157号) 抄

#### (施行期日)

1 この政令は、公布の日から施行する。

## ○博物館法施行規則

昭和30年10月4日 文部省令第24号  
〔最終改正〕 平成27年10月2日 文部科学省令第24号

## 第1章 博物館に関する科目の単位

### (博物館に関する科目の単位)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第5条第1項第1号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	2

2 博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第6条第3項に規定する試験科目について合格点を得ている科目は、これをもって、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

### (博物館実習)

第2条 前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第2条第1項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第29条の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県の教育委員会の指定した博物館に相当する施設（大学においてこれに準ずると認められた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

2 博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

## 第2章 学芸員の資格認定

### (資格認定)

第3条 法第5条第1項第3号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、この章に定める試験認定又は無試験認定（以下「資格認定」という。）の合格者とする。

### (資格認定の施行期日等)

第4条 資格認定は、毎年少なくとも各1回、文部科学大臣が行う。

2 資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。

### (試験認定の受験資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者で2年以上学芸員補の職(法第5条第2項に規定する職を含む。以下同じ。)にあつた者
- (3) 教育職員免許法(昭和24年法律第147号)第2条第1項に規定する教職員の普通免許状を有し、2年以上教育職員の職にあつた者
- (4) 4年以上学芸員補の職にあつた者
- (5) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

### (試験認定の方法及び試験科目)

第6条 試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

2 試験認定は、2回以上にわたり、それぞれ1以上の試験科目について受けることができる。

3 試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目	試験認定の必要科目	
必須科目	生涯学習概論	上記科目の全科目
	博物館概論	
	博物館経営論	
	博物館資料論	
	博物館資料保存論	
	博物館展示論	
	博物館教育論	
	博物館情報・メディア論	
選択科目	文化史	上記科目のうちから受験者の選択する2科目
	美術史	
	考古学	
	民俗学	
	自然科学史	
	物理	
	化学	
	生物学	
	地学	

### (試験科目の免除)

第7条 大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願い出により、当該科目についての試験を免除する。

第8条 削除

### (審査認定の受験資格)

第9条 次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

- (1) 学位規則(昭和28年文部省令第9号)による修士若しくは博士の学位又は専門職学位を有する者であつて、2年以上学芸員補の職にあつた者
- (2) 大学において博物館に関する科目(生涯学習概論を除く。)に関し2年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、2年以上学芸員補の職にあつた者
- (3) 次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦する者
  - イ 学士の学位を有する者であつて、4年以上学芸員補の職にあつた者
  - ロ 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者であつて、6年以上学芸員補の職にあつた者
  - ハ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者であつて、8年以上学芸員補の職にあつた者
  - ニ その他11年以上学芸員補の職にあつた者
- (4) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

### (審査認定の方法)

第10条 審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

### (受験の手続)

第11条 資格認定を受けようとする者は、受験願書(別記第1号様式により作成したもの)に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法(昭和42年法律第81号)第30条の7第3項の規定により同法第30条の5第1項に規定する本人確認情報の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第3号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

- (1) 受験資格を証明する書類
- (2) 履歴書(別記第2号様式により作成したもの)
- (3) 戸籍抄本又は住民票の写し(いずれも出願前6月以内に交付を受けたもの)
- (4) 写真(出願前6月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの)

2 前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認められた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。

3 第7条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。



- 4 審査認定を願ひ出る者については、第1項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。
  - (1) 第9条第1号又は同条第2号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
  - (2) 第9条第3号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
  - (3) 第9条第4号により出願する者にあつては、前2号に準ずる資料又は書類

**(試験認定合格者)**

第12条 試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下、「筆記試験合格者」という。）であつて、1年間学芸員補の職にあつた後に文部科学大臣が認定した者を試験認定合格者とする。

- 2 筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第3号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

**(審査認定合格者)**

第13条 第10条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

**(合格証書の授与等)**

第14条 試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第4号様式によるもの）を授与する。

- 2 筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第5号様式によるもの）を授与する。
- 3 合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願ひ出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

**(合格証明書の交付等)**

第15条 試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願ひ出たときは、合格証明書（別記第6号様式によるもの）を交付する。

- 2 筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第7号様式によるもの）を交付する。
- 3 1以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第17条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の証明を願ひ出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第8号様式によるもの）を交付する。

**(手数料)**

第16条 次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上欄	下欄
1 試験認定を願ひ出る者	一科目につき1,300円
2 審査認定を願ひ出る者	3,800円
3 試験認定の試験科目の全部について免除を願ひ出る者	800円
4 合格証書を書き換え又は再交付を願ひ出る者	700円
5 合格証明書の交付を願ひ出る者	700円
6 筆記試験合格証明書の交付を願ひ出る者	700円
7 筆記試験科目合格証明書を願ひ出る者	700円

- 2 前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書にはるものとする。ただし、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律（平成14年法律第151号）第3条第1項の規定により申請等を行った場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。
- 3 納付した手数料は、これを返還しない。

**(不正の行為を行った者等に対する処分)**

第17条 虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行った者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

- 2 試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。
- 3 前2項の処分をしたときは、処分を受けた者の氏名及び住所を官報に公告する。

### 第3章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第18条 法第22条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

### 第4章 博物館に相当する施設の指定

**(申請の手続)**

第19条 法第29条の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定を受けようとする場合は、博物館相当施設指定申請書（別記第9号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2号第1項に規定する独立行政法人をいう。第21条において同じ。）が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ提出しなければならない。

- (1) 当該施設の有する資料の目録
- (2) 直接当該施設の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及び図面
- (3) 当該年度における事業計画書及び予算の収支の見積に関する書類
- (4) 当該施設の長及び学芸員に相当する職員の氏名を記載した書類

**(指定要件の審査)**

第20条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、博物館に相当する施設として指定しようとするときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

- (1) 博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料を整備していること。
- (2) 博物館の事業に類する事業を達成するために必要な専用の施設及び設備を有すること。
- (3) 学芸員に相当する職員がいること。
- (4) 一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。
- (4) 1年を通じて100日以上開館すること。
- 2 前項に規定する指定の審査に当つては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

第21条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定する博物館に相当する施設（以下「博物館相当施設」という。）が第20条第1項に規定する要件を欠くに至ったときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者（大学に附属する施設にあつては当該大学の長）が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第22条 削除

第23条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設に対し、第20条第1項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

（指定の取消）

第24条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設が第20条第1項に規定する要件を欠くに至ったものと認めるとき、又は虚偽の申請に基づいて指定した事実を発見したときは、当該指定を取り消すものとする。

## 第5章 雑則

（学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第25条 第5条第1号及び第9条第3号イに規定する学士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

（1）旧大学令（大正7年勅令第388号）による学士の称号を有する者

（2）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第155条第1項第2号から第8号までのいずれかに該当する者

（短期大学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第26条 第5条第2号及び第9条第3号ロに規定する大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者には、次に掲げる者を含むものとする。

（1）旧大学令、旧高等学校令（大正7年勅令第389号）、旧専門学校令（明治36年勅令第61号）又は旧教員養成諸学校官制（昭和21年勅令第208号）の規定による大学予科、高等学校高等科、専門学校又は教員養成諸学校を修了し、又は卒業した者

（2）学校教育法施行規則第155条第2項各号のいずれかに該当する者

（修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第27条 第9条第1号に規定する修士の学位を有する者には、学校教育法施行規則第156条各号のいずれかに該当する者を含むものとする。

（博士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第28条 第9条第1号に規定する博士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

（1）旧学位令（大正9年勅令第200号）による博士の称号を有する者

（2）外国において博士の学位に相当する学位を授与された者

（専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）

第29条 第9条第1号に規定する専門職学位を有する者には、外国において専門職学位に相当する学位を授与された者を含むものとする。

附則（平成24年6月29日文部科学省令第24号）

（施行期日）

1 この省令は、住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）の一部及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律（平成21年法律第79号）の施行の日（平成24年7月9日）から施行する。

（経過措置）

2 この省令の施行の日から起算して6月を経過する日までの間における改正後の博物館法施行規則第11条第1項第3号の規定の適用については、同号中「住民票の写し」とあるのは、「住民票の写し（日本の国籍を有しない者にあつては、住民票の写し又は出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律第4条の規定による廃止前の外国人登録法（昭和27年法律第125号）に規定する登録原票の写し若しくは登録原票記載事項証明書）」とする。

附 則（平成27年10月2日文部科学省令第34号） 抄

（施行期日）

1 この省令は、平成27年10月5日から施行する。

## ○博物館の登録に関する規則

昭和50年5月8日 教育委員会規則第5号  
〔最終改正〕平成6年3月31日 教育委員会規則第2号

（趣 旨）

第1条 この規則は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第16条の規定に基づき博物館の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。

（登録原簿等の様式）

第2条 法第10条、第11条第1項及び第11条第2項に規定する登録原簿等の名称及び様式は、次の表に掲げるとおりとする。

根拠条項	名称	様式
法第10条	博物館登録原簿	第1号様式
法第11条第1項	博物館登録申請書	第2号様式
法第11条第2項	博物館資料目録	第3号様式

（博物館登録申請書の添付書類）

第3条 博物館登録申請書には、法第11条第2項に規定する書類のほか、職員名簿（第4号様式）を添付するものとする。

（登録要件の審査）

第4条 法第12条の規定による登録要件の審査及び法第14条第1項の規定による登録の取消しを県教育委員会が行う場合は、当該博物館に対し、必要な資料を求め実地調査及び学識経験者の意見を聴くことができる。

（登録事項等の変更）

第5条 法第13条第1項の規定による変更の届出は、そのつど博物館登録事項等変更届出書（第5号様式）によつて行うものとする。ただし、博物館資料目録の軽微な変更については、毎年3月末日に届け出るものとする。

（博物館の廃止）

第6条 法第15条の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第6号様式）により行うものとする。

（公 示）

第7条 県教育委員会は、博物館の登録若しくは登録事項等の変更があつたとき、又は登録の取消し若しくはまつ消を行つたときは、その旨を沖繩県公報により公示するものとする。

附則

（平成6年3月31日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

第1号様式  
(第2条関係)

No. \_\_\_\_\_

備考	所在地	名称	※の名称及び住所	事項	
				登録	
				年月日	年月日
登録	変更	年月日	年月日	記号番号	第号
				年月日	年月日

(※公立の場合は設置者の名称のみ記入)

(A4版)

第2号様式  
(第2条関係)

博物館登録申請書

文書番号  
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

申請者 氏名 印

博物館法第11条第1項の規定により、下記施設を博物館として登録されるよう別添関係書類等を添えて申請します。

記

設置者の名称

私立博物館設置者の住所

名称

所在地

備考 この申請書には、次の書類を添付すること。

- (1) 公立博物館にあつては設置条例の写し、私立博物館にあつては、法人の定款若しくは寄附行為の写し又は宗教法人の規則の写し
- (2) 館則の写し
- (3) 直接博物館の用に供する建物及び面積を記載した書面並びにその図面
- (4) 当該年度における事業計画書及び公立博物館にあつては予算の歳出の見積もり、私立博物館にあつては収支の見積もりに関する書類
- (5) 博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種類ごとの氏名を記載した書面
- (6) 学芸員は、その資格を有することを証するにたる書類



第5号様式  
(第5条関係)

博物館登録事項変更届出書

文 書 番 号  
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

施 設 名  
届出者氏名

印

博物館法第13条第1項の規定により、下記のとおり変更届を提出します。

記

変 更 年 月 日	年 月 日
変 更 の 理 由	
変 更 事 項 の 種 類	
変更事項の内容	旧
	新

(A4版)

第6号様式  
(第6条関係)

博物館廃止届

文 書 番 号  
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

施 設 名  
届出者氏名

印

博物館法第15条第1項の規定により、下記のとおり届けます。

記

廃 止 年 月 日	年 月 日
廃 止 し た 理 由	
廃 止 後 の 財 産 処 分	
その他参考となるべき事項	

(A4版)



○**沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則**  
平成23年3月31日 教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の7の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(委任)

第2条 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和47年沖縄県条例第32号）第2条第8号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成19年沖縄県教育委員会規則第1号）第2条第3項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

- （1） 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。
- （2） 博物館法（昭和26年法律第285号）第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

(合議等)

第3条 前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規定により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等をしなければならない。

2 前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

附則

(施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

3 沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第11条第8号を次のように改める。

(8) 博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第2号）により委任される事務に関するものを除く。）。

(沖縄県立教育機関組織規則の一部改正)

4 沖縄県立教育機関組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）」を削る。

第4条を削り、第4条の2を第4条とする。

第6条を次のように改める。

(職制等)

第6条 総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

2 所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第7条及び第8条を削り、第9条を第7条とする。

第9条の2の表中「総合教育センター（総務班を除く。） 博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第8条とする。

第10条を第9条とし、第11条を第10条とし、第11条の2を第11条とする。

第12条第1項中「及び博物館・美術館」を削る。

第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。

第18条中「第7条から第16条まで」を「第6条から第18条まで」に改め、同条の表中

「	学芸員	上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。」
---	-----	------------------------------

及び

「	学芸員補	上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。」
---	------	----------------------

を削り、同条を第20条とする。

第17条を第19条とする。

第16条中「第7条」を「第6条」に改め、同条を第18条とする。

第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の4を第15条とする。

第12条の3第1項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。

第12条の2を第13条とする。

(沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正)

5 沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第22号）の一部を次のように改正する。

第4条第2項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

○**沖縄県博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則**

平成23年3月31日 規則第8号

(趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第2号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成19年沖縄県条例第72号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

(博物館・美術館の管理に関する事務の所掌)

第2条 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行

政組織規則」という。)第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。

2 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

#### (内部組織)

第3条 博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

#### (所掌事務)

第4条 総務班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (4) 博物館・美術館協議会に関すること。
- (5) 指定管理者との連絡調整に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

2 博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の博物館施設に係る資料(以下「博物館資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること(美術館班が分掌して処理するものを除く。)
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること(美術館班が分掌して処理するものを除く。)

3 美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の美術館施設に係る資料(以下「美術館資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術館資料の利用に関すること。
- (3) 美術館施設の利用に関すること。
- (4) 美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること(美術館班が分掌して処理するものに限る。)
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること(美術館班が分掌して処理するものに限る。)

#### (職の設置)

第5条 博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。

2 博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

#### (職の職務内容)

第6条 前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- (2) 副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
- (3) 班長は、班の事務を処理する。
- (4) 主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
- (5) 主事は、一般的な事務を処理する。
- (6) 学芸員は、学芸業務に従事する。
- (7) 主任学芸員は、学芸業務を処理する。
- (8) 主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。
- (9) 主任は、一般的な事務を分掌する。
- (10) 専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。

#### (その他組織に関する事項)

第7条 第3条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第5条に規定する公の施設とみなして、同規則の規定を適用する。

#### (委任された事務に係る決裁等)

第8条 教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規定(昭和48年沖縄県訓令第89号)の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。

2 教育委員会事務委任規則第2条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則(昭和53年沖縄県規則第67号)の規定(第3条、第5条及び第13条を除く。)を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第2条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。

4 館長は、前2項の規定又は教育委員会事務委任規則第3条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続きを講ずるものとする。

#### (委任された事務以外の事務の委任及び決裁)

第9条 博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第2条第1項第1号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義を生じたときは、知事に協議しなければならない。

#### (委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については官庁がそれぞれ定める。

#### 附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

**(設置)**

第1条 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料（以下「博物館・美術館資料」という。）を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）を設置する。

**(位置及び施設)**

第2条 博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち3丁目1番1号とする。

2 博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。

- (1) 博物館施設
- (2) 美術館施設
- (3) その他施設

**(事業)**

第3条 博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館・美術館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館・美術館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

**(博物館・美術館の管理)**

第4条 博物館・美術館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

**(指定管理者の業務)**

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務
- (2) 第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務
- (3) 第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18条第2項の規定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務
- (4) 第19条及び同条第3項において準用する第11条第5項から第7項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第19条第3項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第3項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務
- (5) 博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (6) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

**(指定管理者の指定の申請)**

第6条 第4条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

**(指定管理者の指定)**

第7条 教育委員会は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

**(指定管理者の指定等の告示)**

第8条 教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

**(休館日)**

第9条 博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- 2 前項第1号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

**(開館時間)**

第10条 博物館・美術館の開館時間は、午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）までとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

**(観覧料)**

第11条 常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

- 2 常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第1に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,090円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定める



ものとする。

- 4 前2項の規定にかかわらず、1年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第2に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 5 指定管理者は、第2項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。
- 6 教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。
- 7 観覧料は、指定管理者の収入とする。

一部改正〔平成26年条例11号〕

#### (観覧料の減免)

第12条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

#### (観覧料の返還)

第13条 既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

#### (利用の許可)

第14条 別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしないことができる。
  - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
  - (2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。
  - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

#### (利用期間)

第15条 施設等を引き続いて利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

#### (権利の譲渡等の禁止)

第16条 利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

#### (許可の取消し等)

第17条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第1項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第14条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

#### (原状回復の義務)

第18条 利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。

- 2 指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

#### (利用料金)

第19条 利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 利用料金は、別表第3に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 第11条第5項から第7項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。

#### (事業報告書の提出)

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

#### (博物館・美術館協議会)

第21条 博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
- 3 委員の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 第2項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成24年条例46号〕

#### (教育委員会規則への委任)

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

### 附 則

#### (施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。  
(平成19年6月教育委員会規則第11号で、同19年11月1日から施行)

#### (準備行為)

- 2 第7条の規定による指定管理者の指定、第11条第5項の規定による観覧料の承認及び第19条第3項において準用する第11条第5項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第6条から第8条まで、第11条第2項から第6項まで並びに第19条第2項並びに同条第3項において準用する第11条第5項及び第6項の規定の例により行うことができる。

**(沖縄県立教育機関設置条例の一部改正)**

3 沖縄県立教育機関設置条例(昭和47年沖縄県条例第24号)の一部を次のように改正する。

第1条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法(昭和26年法律第285号)第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第5条及び第6条を削り、第6条の2を第5条とし、第7条を第6条とし、第7条の2を第7条とする。

第8条中「、第5条及び第6条の2」を「及び第5条」に改める。

**(沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正)**

4 沖縄県立教育機関使用料徴収条例(昭和47年沖縄県条例第37号)の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「別表第1又は別表第2」を「別表」に改め、同条第2項を削る。

別表第1を削り、別表第2を別表とする。

**附 則 (平成26年3月31日条例第11号抄)**

**(施行期日)**

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1(第11条関係)

区分		基準額(1人につき)	
		個人の場合	団体の場合
博物館施設	一般	410円	330円
	大学生及び高校生	260円	210円
	中学生及び小学生	150円(県外の中学生及び小学生に限る。)	120円(県外の中学生及び小学生に限る。)
美術館施設	一般	310円	250円
	大学生及び高校生	210円	170円
	中学生及び小学生	100円(県外の中学生及び小学生に限る。)	80円(県外の中学生及び小学生に限る。)

備考

1 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者(小学校就学の始期に達するまでの者を除く。)をいう。

2 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

4 「団体の場合」とは、20人以上の団体の観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第2(第11条関係)

区分		基準額(1人につき)		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,230円	770円	460円(県外の中学生及び小学生に限る。)
	常設展、企画展及び特別展	4,320円	2,670円	1,650円(県内の中学生及び小学生にあつては、1,180円)
美術館施設	常設展	930円	620円	310円(県外の中学生及び小学生に限る。)
	常設展及び企画展	4,010円	2,670円	1,340円(県内の中学生及び小学生にあつては、1,030円)

備考

1 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者(小学校就学の始期に達するまでの者を除く。)をいう。

2 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。

3 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

一部改正〔平成26年条例11号〕

別表第3(第14条、第19条関係)

1 施設利用料金

(1) 博物館施設利用料金

区分		基準額(1日につき)
企画展示室	入場料を徴収しない場合	29,930円
	入場料を徴収する場合	89,790円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	39,190円
	入場料を徴収する場合	117,570円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,260円
	入場料を徴収する場合	27,770円
講座室	入場料を徴収しない場合	16,350円
	入場料を徴収する場合	49,060円



## (2) 美術館施設利用料金

区分		基準額（1日につき）
県民ギャラリー1		8,330円
県民ギャラリー2		7,710円
県民ギャラリー3		7,710円
県民ギャラリースタジオ		8,430円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,200円
	入場料を徴収する場合	21,600円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,710円
	入場料を徴収する場合	23,140円
企画展示室1	入場料を徴収しない場合	33,740円
	入場料を徴収する場合	101,210円
企画展示室2	入場料を徴収しない場合	41,860円
	入場料を徴収する場合	125,590円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,360円
	入場料を徴収する場合	28,080円

## (3) その他施設利用料金

区分		基準額（1時間につき）
講堂	入場料を徴収しない場合	3,500円
	入場料を徴収する場合	10,490円

## 2 附属設備利用料金

種別	単位	基準額
舞台器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	1時間につき	3,000円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額

## 備考

1 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。

2 利用料金の基準額が1時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。

(1) 午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）までの間は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の120を乗じて得た額

(2) 午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）後は、超過時間30分間（30分間に満たない端数は、これを30分間とする。）につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の150を乗じて得た額

一部改正〔平成26年条例11号〕

## ○沖縄県立博物館・美術館管理規則

平成19年3月16日 教育委員会規則第1号

〔最終改正〕平成27年3月24日 教育委員会規則第4号

## (趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。）の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第23条第1号及び博物館法（昭和26年法律第285号）第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

## (寄贈及び寄託)

第2条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書（第1号様式）又は博物館・美術館資料寄託申請書（第2号様式）を提出しなければならない。

2 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈承諾書（第3号様式）又は博物館・美術館資料受託承認書（第4号様式）を交付するものとする。

3 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）が必要と認めた場合はこの限りでない。

4 第2項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。

5 第2項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

## (寄贈資料及び寄託資料の管理等)

第3条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

2 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

#### (指定管理者の指定の申請)

第4条 条例第6条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第5号様式）によるものとする。

2 条例第6条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

#### (観覧券の交付)

第5条 指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

#### (観覧料の免除)

第6条 条例第12条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書（第6号様式）を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

2 条例第12条第2項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
- (2) 県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
- (3) 70歳以上の者が常設展を観覧する場合
- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
- (5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
- (6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

#### (入館の禁止等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
- (2) その他指定管理者が適当でないと認める者

#### (施設利用の許可等)

第8条 条例別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書（第7号様式）を提出しなければならない。

#### (利用期間)

第9条 条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。

- (1) 博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室1及び企画展示室2並びにこれらの施設の冷房設備 6月
- (2) 前号に掲げる施設等以外の施設 7日

2 条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願（第8号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

#### (利用料金の免除)

第10条 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第3条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。

2 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書（第9号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

3 指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書（第10号様式）を利用者に交付するものとする。

#### (事業報告書の内容等)

第11条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 博物館・美術館の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 博物館・美術館の利用状況
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

#### (博物館・美術館協議会の組織等)

第12条 博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。

- 2 協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 3 会長は協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 6 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 8 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 9 協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。
- 10 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

**(観覧料の割引)**

第13条 条例別表第1備考4に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

**(附属設備の利用料金の基準額)**

第14条 条例別表第3第2項の表の教育委員会が定める額は、別表に掲げるとおりとする。

**(補 則)**

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

**附 則**

**(施行期日)**

1 この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月1日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

**(準備行為として行う申請に必要な申請書等)**

2

条例附則第2項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第4条の規定の例による。

**(沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止)**

3 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 沖縄県立博物館の管理に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号）
- (2) 沖縄県立博物館協議会規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号）

**(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)**

4 沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第31条第3号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

**附 則（平成27年3月24日教育委員会規則第4号抄）**

**(施行期日)**

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する第33条第4号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

別表（第14条関係）

1 附属設備（冷房設備を除く。）の利用料金

種別	品名	単位	基準額
舞台器具	演台	1台	310円
	花台	1台	100円
	司会台	1台	150円
音響器具	メインスピーカー	1式	1,030円
	コンデンサーマイク	1本	310円
	ワイヤレスマイク	1本	620円
	ダイナミックマイク	1本	210円
	ビデオテープレコーダー	1台	720円
	DVDプレーヤー	1台	1,290円
	CD、MDプレーヤー	1台	410円
	HD/DVDレコーダー	1台	1,290円
照明器具	ポーターライト	1列	310円
	サスペンションライト	1列	510円
	アッパーホリゾンライト	1列	720円
	シーリングライト	1列	620円
	センターピンスポットライト	1台	410円
その他	書画カメラ	1台	820円
	ビデオプロジェクター	1台	1,440円
	電動スクリーン	1式	1,130円
	35ミリフィルム映写機	1式	5,140円

備考 附属設備利用料金の基準額は、1ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 冷房設備の利用料金

	区分	単位	基準額
博物館施設	企画展示室	1時間までごとに	650円
	特別展示室	1時間までごとに	850円
	実習室	1時間までごとに	200円
	講座室	1時間までごとに	350円
美術館施設	県民ギャラリー1	1時間までごとに	180円
	県民ギャラリー2	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリー3	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリースタジオ	1時間までごとに	190円
	県民アトリエ	1時間までごとに	150円
	子供アトリエ	1時間までごとに	170円
	企画展示室1	1時間までごとに	730円
	企画展示室2	1時間までごとに	910円
	講座室	1時間までごとに	210円
その他施設	講堂	1時間までごとに	610円

第1号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料寄贈申込書		年 月 日
沖縄県立博物館・美術館長 殿		
申込者 住 所 氏 名		印
<p>私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。</p>		
記 記		
1	種 別	
2	作 者 名	
3	作 品 名	
4	製作年月日	
5	附 属 品	
6	資料所在地	
7	時価見積額	
8	寄贈の理由	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第2号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料寄託申請書		年 月 日
沖縄県立博物館・美術館長 殿		
申請者 住 所 氏 名		印
<p>私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。</p>		
記 記		
1	種 別	
2	作 者 名	
3	作 品 名	
4	製作年月日	
5	附 属 品	
6	資料所在地	
7	寄託期間	年 月 日 から 年 月 日まで

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第3号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料受贈受諾書		年 月 日
殿		
沖縄県立博物館・美術館長 印		
<p>年 月 日付け申込のあつた博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾          します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第2条第4          項の規定により返却されません。</p>		
記		
1	種 別	
2	作 者 名	
3	作 品 名	
4	製作年月日	
5	附 属 品	
6	資料所在地	
7	時価見積額	
8	寄贈の理由	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第4号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料受託承認書		年 月 日
殿		
沖縄県立博物館・美術館長 印		
<p>年 月 日付け申請のあつた博物館・美術館資料の寄託については下記により受託          します。</p>		
記		
1	種 別	
2	作 者 名	
3	作 品 名	
4	製作年月日	
5	附 属 品	
6	受託期間	年 月 日 から 年 月 日まで
7	備 考	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。







第9号様式  
(第10条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
 指定管理者 殿

申請者 住 所  
 団 体 名  
 代表者氏名  
 電 話 番 号

印

次のとおり利用料金の免除を申請します。

記

- 1 催物の名称
- 2 利用目的
- 3 催物の内容
- 4 利用する日時及び期間  
 自： 年 月 日 時 分 } ( ) 日間  
 至： 年 月 日 時 分 }
- 5 減額・免除を申請する理由
- 6 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第10号様式  
(第10条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書

年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館  
 指定管理者 印

次のとおり利用料金の免除を承認します。

記

- 1 催物の名称
- 2 利用目的
- 3 催物の内容
- 4 利用する日時及び期間  
 自： 年 月 日 時 分 } ( ) 日間  
 至： 年 月 日 時 分 }
- 5 利用料金免除額
- 6 備考

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

## ○沖縄県立博物館・美術館館長執務規程

平成23年4月1日 訓令第103号  
〔最終改正〕 平成25年3月30日 訓令第63号

### (趣旨)

第1条 沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の館長（以下「館長」という。）を地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関しては、この訓令によるものとする。

### (任命及び任期)

第2条 館長は、博物館・美術館の管理運営に関し識見及び能力を有する者のうちから知事が任命する。

2 館長の任期は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。

3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

### (報酬等)

第3条 館長の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

### (勤務条件)

第4条 館長の勤務場所は、博物館・美術館とする。

2 館長の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は文化観光スポーツ部長が別に定める。

3 館長の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

### (服務)

第5条 館長は、その職務の遂行に当たつて、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

2 館長は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

3 館長は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

4 館長は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

### (解任)

第6条 知事は、館長が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、任期内であつても解任することができる。

(1) 館長の職務を怠つたとき。

(2) 前条の規定に違反したとき。

(3) 館長として不適当と認められる行為をしたとき。

(4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しくなくなつたとき。

(5) 任命の必要がなくなつたとき。

### (補則)

第7条 この訓令に定めるもののほか、館長を非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

### 附 則

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

### 附 則（平成25年3月30日訓令第63号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

## ○沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年3月14日 教育長決裁

### (目的)

第1条 この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

(1) 展示会等における原資料等の借用。

(2) 同資料の撮影。

(3) 原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。

(4) 撮影等による複製品の製作。

(5) 原資料等の閲覧。

(6) 教育普及資料の借用。

### (許可の基準)

第3条 博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

(1) 資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。

(2) 好ましくない用途に供されると認められる場合。

(3) 館の事務処理に支障が生じると認められる場合。

(4) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。

(5) 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。

(6) その他、許可することが適当でないと認められる場合。

### (許可申請の手続き)

第4条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

(1) 原資料等の借用（第1号様式）

(2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2号様式）

(3) 複製品の製作（第3号様式）

(4) 原資料等の閲覧（第4号様式）

(5) 教育普及資料の借用（第5号様式）

### (審査及び決定)

第5条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

(1) 事業の趣旨及び内容。

(2) 事業の主体者。

(3) 事業計画。

(4) その他必要な事項。

**(許可書の交付)**

第6条 資料利用を許可する決定を行ったときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおり条件を付した資料利用許可書(以下「許可書」という。)を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認められた軽微なものについては、その限りでない。

- (1) 原資料等の借用(第1-1号様式)
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用(第2-1号様式)
- (3) 複製品の製作(第3-1号様式)
- (4) 原資料等の閲覧(第4-1号様式)
- (5) 教育普及資料の借用(第5-1号様式)

2 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

**附 則**

この要領は、平成14年4月1日から実施する。



別表（第6条関係）各申請の資料利用の許可条件

資料利用の許可条件	
利用申請の内容 (各申請様式)	個別条件
共通条件	
原資料等の借用 (第1号様式)	<p>①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。</p> <p>②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館所蔵」と明記すること。</p> <p>③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。</p> <p>④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。</p> <p>⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。</p>
写真撮影、原板 ・印画の借用 (第2号様式)	<p>①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。</p> <p>②製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。</p> <p>③写真原板の貸与期間は3週間以内とする。</p> <p>④郵送費は申請者が負担すること。</p> <p>⑤資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。</p>
複製品の製作 (第3号様式)	<p>①撮影は原則として休館日の午後に行うこと。</p> <p>②撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。</p> <p>③製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。</p> <p>④製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。</p> <p>⑤写真原板の貸与期間は3週間以内とする。</p> <p>⑥資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。</p>
原資料等の閲覧 (第4号様式)	<p>①展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。</p> <p>②閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。</p> <p>③閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。</p>
教育普及資料 の借用の (第5号様式)	<p>①与期間は1週間以内とする。</p> <p>②資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。</p> <p>③資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。</p> <p>④万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。</p>

第1号様式(第4条関係)

資料利用申請書 (原資料等の借用)	平成 年 月 日	
沖縄県立博物館・美術館長 殿		
申請者 団体名： ( ) 代表者名： 印 住所：〒 (担当者氏名) TEL： FAX：		
下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いいたします。 記		
事業名	年月日～年月日	
借用希望期間		
目的		
展示等場所		
資料名		備考
1.	員数	
2.		
3.		
4.		

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
- ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
- ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。
- ⑨借用によつて生じた成果品を当館に1部(1点)を納付すること。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第1-1号様式(第6条関係)

資料利用許可書 (原資料等の借用)	平成 年 月 日	博美第 号 平成 年 月 日
殿		
		沖縄県立博物館・美術館長
平成 年 月 日付けで申請のあつた資料の館外利用については、下記により許可します。 記		
事業名	年月日～年月日	
借用期間		
目的		
展示等場所		
資料名		備考
1.	員数	
2.		
3.		
4.		

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
- ⑥資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。
- ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。
- ⑧貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。
- ⑨借用によつて生じた成果品を当館に1部(1点)を納付すること。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2号様式（第4条関係）

資料利用申請書  
(写真撮影、原板・印画の借用)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名： 印

申請者 団体名： (担当者氏名 )

住所：〒

TEL：

FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いいたします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
希望日時・期間	年 月 日	～ 月 日	時 時	～ 時
事項	名称	部数	制作予定日	備考
目的	出版物 映画 テレビ DVD C D その他			
資料名		数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じて「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
- ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
- ⑦製作された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
- ⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
- ⑨郵送費は申請者が負担すること。
- ⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第2-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書  
(写真撮影、原板・印画の借用)

平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた資料の利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
日時・期間	年 月 日	～ 月 日	時 時	～ 時
事項	名称	部数	制作予定日	備考
目的	出版物 映画 テレビ DVD C D その他			
資料名		数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
- ②資料の利用に当たっては、必要に応じて「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
- ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
- ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
- ⑤申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。
- ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
- ⑦製作された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
- ⑧写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
- ⑨郵送費は申請者が負担すること。
- ⑩資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3号様式 (第4条関係)

資料利用申請書  
(複製品の製作)

沖縄県立博物館・美術館長 殿

平成 年 月 日 印

代表者名： ( )  
申請者 団体名： (担当者氏名)  
住所：〒  
TEL：  
FAX：

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いいたします。

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
希望日時・期間	年 月 日 ～ 年 月 日 時 ～ 時			
目的				
製作仕様				
製作予定日	平成 年 月 日	製作点数	点	販売価格 円
	資料名	数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※留意事項

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
  - ②資料の利用に当たっては、必要に応じて「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
  - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
  - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
  - ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
  - ⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
  - ⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
  - ⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
  - ⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
  - ⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第3-1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書  
(複製品の製作)

殿

平成 年 月 日 印

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた特別利用については、下記により許可します。

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	※○で囲む
日時・期間	年 月 日 ～ 年 月 日 時 ～ 時			
目的				
製作仕様				
製作予定日	平成 年 月 日	製作点数	点	販売価格 円
	資料名	数量	仕様	備考
1.				
2.				
3.				

※許可条件

- ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。
  - ②資料の利用に当たっては、必要に応じて「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。
  - ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。
  - ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。
  - ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。
  - ⑥撮影は原則として休館日の午後に行うこと。
  - ⑦撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。
  - ⑧製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。
  - ⑨製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付された製作品は当館が展示等で自由に使うことができる。
  - ⑩写真原板の貸与期間は3週間以内とする。
  - ⑪資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第4号様式 (第4条関係)

資料利用申請書  
(原資料等の閲覧)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

代表者名: \_\_\_\_\_ 印  
 団体名: \_\_\_\_\_  
 申請者 (担当者氏名) \_\_\_\_\_ )  
 住所: 〒 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_  
 FAX: \_\_\_\_\_

下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いいたします。

記

目的	平成 年 月 日 時～	時	時	時	時	時	時	時	時
1.									
2.									
3.									
4.									
5.									

※留意事項  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること  
 ⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。  
 ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。  
 ⑧閲覧によって得られた成果(論文や著作等)は、当館に1部(1点)納付すること。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第4-1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書  
(原資料等の閲覧)

平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあった資料の閲覧については、下記により許可します。

記

目的	平成 年 月 日 時～	時	時	時	時	時	時	時	時
1.									
2.									
3.									
4.									
5.									

※許可条件  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること  
 ⑥展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。  
 ⑦閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。  
 ⑧閲覧によって得られた成果(論文や著作等)は、当館に1部(1点)納付すること。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。



第5号様式 (第4条関係)

資料利用申請書  
(教育普及資料の借用)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者 (担当者氏名 ) 印

代表者名 :  
団体名 :  
住所 : 〒  
TEL :  
FAX :

平成 年 月 日

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いいたします。

記

利用区分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
希望日時・期間	年 月 日 ( 時 ) ~	年 月 日 ( 時 ) ~	年 月 日 ( 時 ) ~
行事名	参加人員		
目的			
資料名		数量	備考
1.			
2.			
3.			
4.			

※留意事項  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒 (切手貼付) を添えること。  
 ⑥貸与期間は1週間以内とする。  
 ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 ⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。  
 ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。  
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

第5-1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書  
(教育普及資料の借用)

平成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付けで申請のあつた資料利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
日時・期間	年 月 日 ( 時 ) ~	年 月 日 ( 時 ) ~	年 月 日 ( 時 ) ~
行事名	参加人員		
目的			
資料名		数量	備考
1.			
2.			
3.			
4.			

※許可条件  
 ①当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 ②資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 ③資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 ④資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 ⑤申請の際には、返信用封筒 (切手貼付) を添えること。  
 ⑥貸与期間は1週間以内とする。  
 ⑦資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 ⑧資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。  
 ⑨万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。  
 前項に違反した行為があつたときは、この許可を取り消すことがある。

○沖縄県立博物館・美術館共催及び後援等に関する取扱要領

平成23年5月23日 部長決裁

(目的)

第1条 この要領は、沖縄県立博物館・美術館が共催又は後援等を行う事業について必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この要領において、次の各号に定める用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 共催 事業の企画、運営に参画し、また経費の一部を負担するなど、当該事業について責任の一部を負担することをいう。
- (2) 後援等 後援、協力、協賛等で、当該事業の趣旨に賛同し、事業の実施について協力することをいう。

(名義)

第3条 この要領による共催又は後援等の名義は「沖縄県立博物館・美術館」とする。

(承認基準)

第4条 共催又は後援等の承認基準は別表1のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館活動の見地から館長が特に必要があると認めるものについては、共催又は後援等の承認をすることができるものとする。

(申請手続き)

第5条 共催又は後援等の承認を受けようとするものは、別記第1号様式又は次の事項を記載した書面を、原則として事業開催の14日前までに、沖縄県立博物館・美術館長に提出するものとする。

- (1) 事業の名称、目的及び内容
- (2) 主催者の職、氏名及び事務局等連絡先
- (3) 開催日時(期間)及び開催場所
- (4) 参加対象者及び参加見込者数
- (5) 他の共催者及び後援者等(予定者を含む)
- (6) 参加料金その他参考事項

(決定)

第6条 前条の規定による申請があった場合、沖縄県立博物館・美術館長はその内容を審査し、適当と認められるときは別記第2号様式の回答書により、承認できないときはその旨を、それぞれ当該申請者に通知するものとする。

(事業計画の変更)

第7条 共催又は後援を承認した事業であっても、申請時の事業計画を変更し、又は中止しようとするときは、申請者は速やかに当該変更又は中止に係る内容について届け出なければならない。

(承認の取消)

第8条 共催又は後援等を承認した事業であっても、その内容が第4条の承認基準に該当しなくなったときは、その承認を取り消すものとする。

2 前項の規定による承認の取消については、第6条の規定を準用する。

(事業の完了報告)

第9条 共催又は後援等を承認した事業のうち、必要があると認める場合は、別記第3号様式もしくはそれに変わる書面で報告を求められることができる。

(雑則)

第10条 共催又は後援の承認の手続きを経ずに、第3条に規定する名義を無断使用した場合(承認前に既に印刷し、公表した場合を含む。)は、警告書を出すとともに、以後の共催又は後援等の承認は認めないものとする。

附 則

この要領は、平成23年5月23日から施行する。

別表1(第4条関係)

共催又は後援等の承認基準

主催者についての承認基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 国、地方公共団体及びこれらの機関並びにその連合体</li> <li>2 教育機関及び教育研究団体</li> <li>3 新聞社、放送局等報道関係</li> <li>4 公益法人その他教育、芸術、文化又はスポーツの向上普及に寄与する事業を行う団体(宗教団体又は政治団体を除く。)</li> </ul>
事業内容についての承認基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 県及び県教育委員会の運営方針に反しないものであり、教育施策上からの効果が期待できるものであること。</li> <li>2 博物館・美術館の所掌業務と関連するもので、高い公益性を有すると認められるもの。</li> <li>3 政治的、宗教的又は商業的活動に関する宣伝、勧誘等を意図するものでないこと。</li> <li>4 特定の団体の利益を目的とするものでないこと。</li> <li>5 事業の内容及び規模からみて、営利を目的とするものでない と客観的に判断されるものであること。</li> </ul>

備考

- 1 主催者については、主催者についての承認基準の1から4までのいずれかに該当するものでなければならない。
- 2 事業内容については、事業内容についての承認基準のすべての項目に該当するものでなければならない。

第1号様式

沖縄県立博物館・美術館 館長 殿	申請者 代表者名 団体名 所在地 (電話 )	平成 年 月 日	印
行事の共催、後援等について (申請)			
次のとおり行事を開催するに於いて、沖縄県立博物館・美術館の共催 (後援) (協力) (協費) の承認を得たいので、申請します。			
記			
1 事業名			
2 事業の趣旨・内容 (なるべく具体的に記入すること。)			
3 主催者、共催者 及び後援者			
4 参加者及び参加方法			
5 参加者数			
6 開催日時及び場所			
7 経費負担の区分			
8 その他の必要事項			

第2号様式

殿	沖縄県立博物館・美術館 館長	平成 年 月 日	博 美 第 号 平 成 年 月 日
の について (回答)			
平成年月日付け第号で申請のあった標記のことについては、以下の条件を付して承認します。			
記			
1 事業名			
2 名義使用の方法			
3 名義使用の期間			
4 経 費			
5 実施結果の報告の有無			
6 その他			

沖縄県立博物館・美術館殿

第 平成 年 月 日 号

申請者  
代表者名  
団体名  
所在地  
(電話 )  
印 )

の結果について(報告)

平成年月日付博美第 号により承認のあった標記の事業の結果について、  
次とおり報告します。

記

I 事業報告

1 事業名	
2 事業の概要	
3 参加者	
4 日時及び場所	
5 所見 (事業の効果等を 含む)	
6 備考	

II 収支決算

1) 収入の部	円	円	円	円	円	円
2) 支出の部	円	円	円	円	円	円
合計	円	円	円	円	円	円

沖縄県立博物館・美術館年報 No.9

2016年（平成28）12月22日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館

住 所：〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

T E L：098-941-8200（代表）

F A X：098-941-2392（代表）

ホームページ：<http://www.museums.pref.okinawa.jp>

（沖縄県立博物館・美術館ホームページ）

印 刷：ハーツ

住 所：〒902-0071

沖縄県那覇市繁多川3丁目13番8号（TEL：098-835-3752）